

学校法人 金沢工業大学 御中

2025 KIT総合アンケート 報告書

2025.12.9

有限会社 アイ・ポイント

INDEX

<1>本調査の全体像	2
<2>目的・目標意識、満足度、1年間の振り返りに関して	10
<3>授業、学習支援に関して	23
<4>学生生活に関して	35
<5>進学、就職、卒業時の能力に関して	46
<6>KIT-IDEALSに関して	53
<7>卒業・修了生アンケートに関して	59
<8>教職員アンケートに関して	66
<9>全体のまとめ	78
<資料>属性別集計グラフ	84

<1>本調査の全体像

<1-1>	調査の目的と概略	3
<1-2>	調査の位置づけ	6
<1-3>	在学生・卒業生の基本属性	7

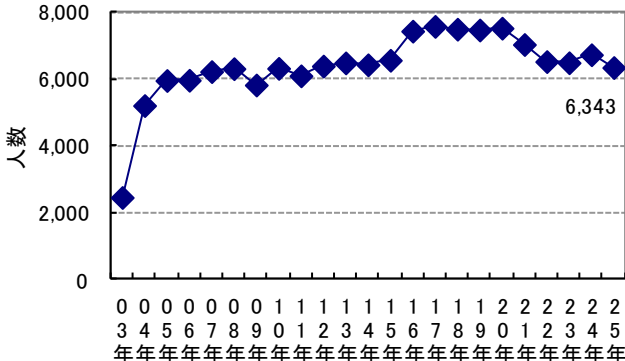
■ 調査目的

- 本調査は金沢工業大学(以下、KIT)を取り囲む関係者の中から、「在學生(新入生～卒業・修了直前)」「卒業・修了生」「教員」「職員」「企業担当者」を対象として、KITに対する評価や満足度を聞き、過去の回答と比較しながら現状を把握することを主目的としている。
- 上記の各層が「KITをどのように見ているか?」「各々の見方にはどのような違いがあるのか?」「以前とどのように変わっているのか?」といった基礎的な情報を把握し、今後の学校運営、広報の検討に活用できるようとりまとめている。
- 本調査は2003年より実施しており、今回が23回目となる。同一内容で比較できる質問に関しては時系列変化で分析している。
- おおよそ3年ごとに実施している「企業担当者」は別報告書としており、2022年より「新入生」も別報告書としてまとめている。

■ 調査方法

調査時期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2025年2月～4月に実施。 ・ 在學生への調査期間は、2005年の調査より、年度当初(4月)から年度末(2月)に変更している。
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「在學生」は学内で配布、「教職員」はメールで配信し、回収ボックスで回収した。「卒業・修了生」「企業担当者」は郵送によって配布、回収している。 ・ すべて『無記名式』とした。
回収数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の全回収数は6,343サンプルであった。(企業担当者を除く) ・ 属性別の回収数は下記の通り。
調査主体	学校法人 金沢工業大学
集計分析	(有)アイ・ポイント

■ 回答者数推移(企業担当者をのぞく)



■ 年度別回収数

対象者	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
新入生	724	1,672	1,610	1,747	1,642	1,652	1,568	1,723	1,607	1,745	1,886	1,614	1,664	1,604	1,541	1,641	1,592	1,627	1,458	1,551	1,428	1,368	1,390
1年次生	106	1,007	1,379	1,364	1,505	1,461	1,369	1,293	1,411	1,299	1,562	1,587	1,447	1,519	1,361	1,384	1,438	1,395	1,435	1,107	1,193	1,205	1,155
2年次生	49	792	1,533	1,313	1,267	1,455	1,146	1,185	1,022	1,321	1,059	1,337	1,545	1,439	1,497	1,422	1,321	1,389	1,318	854	1,024	1,254	1,286
3年次生	106	449	441	599	768	793	643	760	781	756	741	769	744	1,520	1,312	1,350	1,387	1,349	1,274	1,457	1,169	1,176	1,132
卒業・修了直前	976	914	610	549	669	664	711	960	808	873	829	790	865	970	1,509	1,364	1,424	1,439	1,241	1,243	1,318	1,313	1,019
卒業・修了生	163	107	97	80	90	57	110	137	149	146	144	104	125	124	121	138	124	131	153	120	86	102	79
教員	143	133	151	157	136	118	118	112	115	108	118	131	80	134	127	106	102	120	90	113	148	174	148
職員	187	131	134	153	144	109	155	148	202	139	143	93	91	122	106	86	78	71	63	76	120	134	134
企業担当者	—	—	485	—	—	660	—	—	686	—	—	872	—	—	846	—	—	703	—	—	—	416	—
全体(企業除く)	2,454	5,205	5,955	5,962	6,221	6,309	5,820	6,318	6,095	6,387	6,482	6,425	6,561	7,432	7,574	7,491	7,466	7,521	7,032	6,521	6,486	6,726	6,343

※2014年より、「卒業・修了直前」は「卒業直前」と「修了直前」に、「卒業・修了生」は「卒業生」と「修了生」に分けて調査票を作成したが、件数としては合わせた数で表示している。

■属性別回収率

属性	配布数(在学者数)	回収数	回収率
新入生	1,407	1,390	98.8%
1年次生	1,402	1,155	82.4%
2年次生	1,497	1,286	85.9%
3年次生	1,464	1,132	77.3%
卒業直前	1,316	855	65.0%
修了直前	231	164	71.0%
卒業生	1,264	60	4.7%
修了生	198	19	9.6%
教員	271	148	54.6%
職員	320	134	41.9%
全体	9,370	6,343	67.7%

※「配布数」は実際に配布した数となるので、在籍者数とは異なっている。

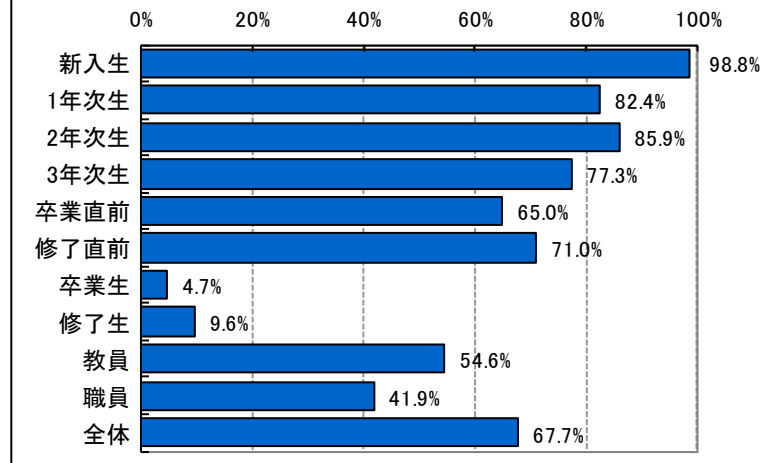
■学部別・学科別回収率(1年次生、2年次生、3年次生)

学部	学部別 在籍者数	学部別 回収数	学部別 回収率	学科	学科別 在籍者数	学科別 回収数	学科別 回収率
工学部	2,515	1,956	77.8%	機械	515	444	86.2%
				航空システム	109	84	77.1%
				ロボティクス	242	185	76.4%
				電気電子	537	403	75.0%
				情報工学	874	672	76.9%
情報 フロンティア 学部	833	718	86.2%	環境土木工	238	168	70.6%
				メディア情報	527	459	87.1%
				経営情報	198	159	80.3%
建築学部	703	554	78.8%	心理科学	108	100	92.6%
				建築	703	554	78.8%
バイオ・化学部	394	302	76.6%	建築	703	554	78.8%
				応用化学	208	126	60.6%
全体	4,445	3,530	79.4%	応用バイオ	186	176	94.6%
				全体	4,445	3,530	79.4%

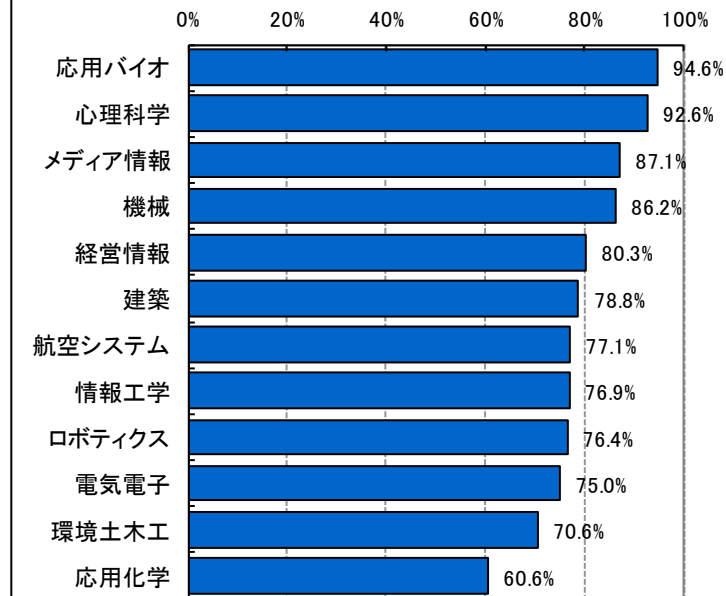
※「新入生」は17学科なので上記の表には加えておらず、「新入生版」で集計している。

※回収率に関しては、学科無回答の47名を除外して集計している。

■属性別 回収率比較



■学科別 回収率比較(1年次～3年次生)

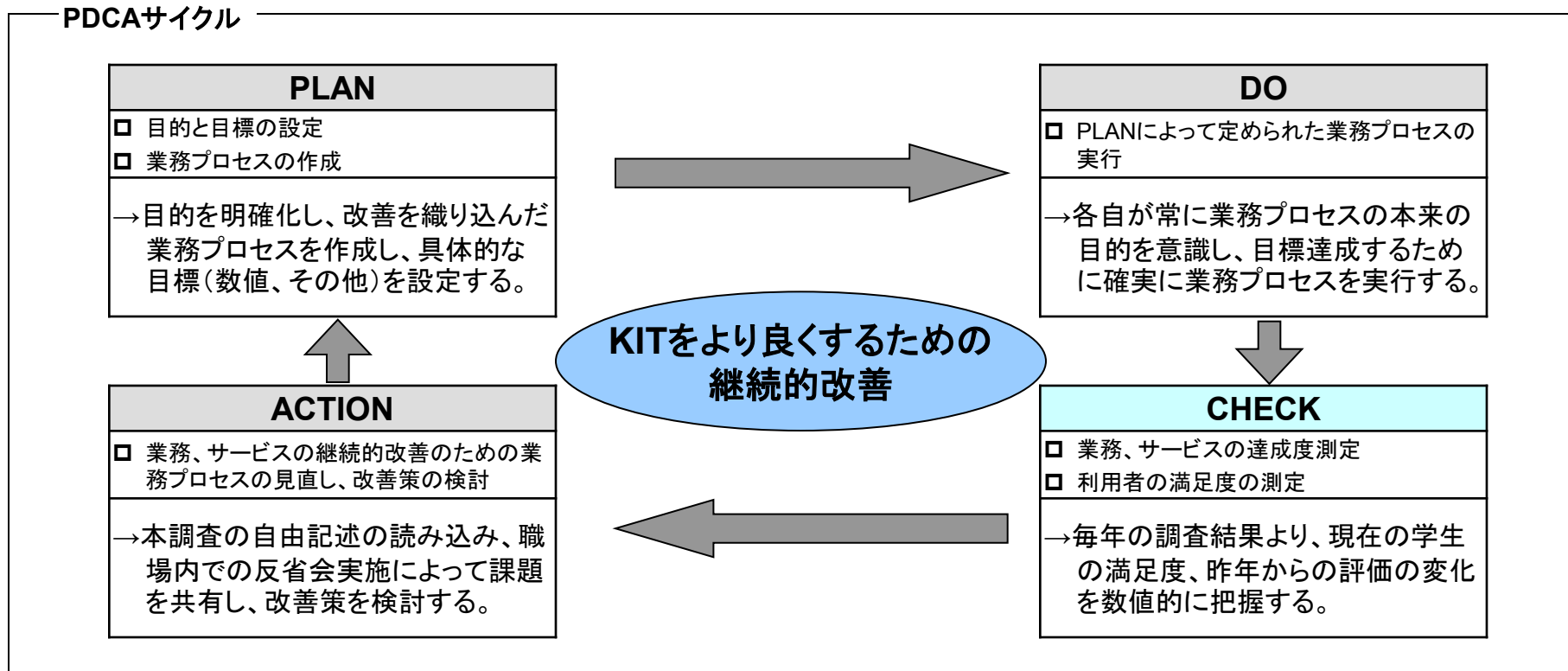


■集計に関して

分野	注意点
分析に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・「目的・目標意識」「総合満足度」などの、重要な指標に関しては「単純集計」「年度別比較」の他に「男女別」「学年別」「学科別」などの属性別のグラフを提示し、分析を行っているが、その他の項目に関しては「単純集計」「年度別比較」のみの分析とし、属性別に関しては巻末にグラフだけを掲載している。 ・報告書内では属性別比較を行っているが、「全体集計」と「属性別比較」の結果が異なっているケースもある。これは、「全体集計」ではすべてのデータが集計対象となるが、属性が未回答の場合は「属性別集計」では集計対象とならないためであり、これらの数値はそのまま表示している。
無回答に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・特に但し書きがない場合は、無回答は集計から除外している。
加重平均に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・各調査項目を属性毎に比較するため、加重平均値を多く活用している。 ・今回の調査では、選択肢を「そう思う～どちらかといえばそう思う～どちらかといえばそう思わない～そう思わない」などのように4択式で構成した。なお、「あてはまらない、分からない」は無回答として処理した。 ・加重平均は上記の選択肢に、+10点、+5点、-5点、-10点を掛けて回答者数で除して算出した。従って、最高点が10点で最低点がマイナス10点となる。 ・「あてはまらない、分からない」「無回答」は回答者数に含めていない。
グラフに関して	<ul style="list-style-type: none"> ・折れ線グラフは主に時系列変化を見る際に利用されるが、この報告書では加重平均を属性毎に比較する際に本来の棒グラフでは見にくくなるため、折れ線グラフで表現しているものもある。
誤差に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書内のデータの「集計値」や「合計値」は小数点第1位までの表示となっているが、これは小数点第2位を四捨五入したものとなっている。「肯定的な意見の合計値」などもこのルールに従っているため、「集計値」と「合計値」の四捨五入の判断が異なり、最大で0.1の差となっているケースもあるが、これは誤差として、そのままとしている。

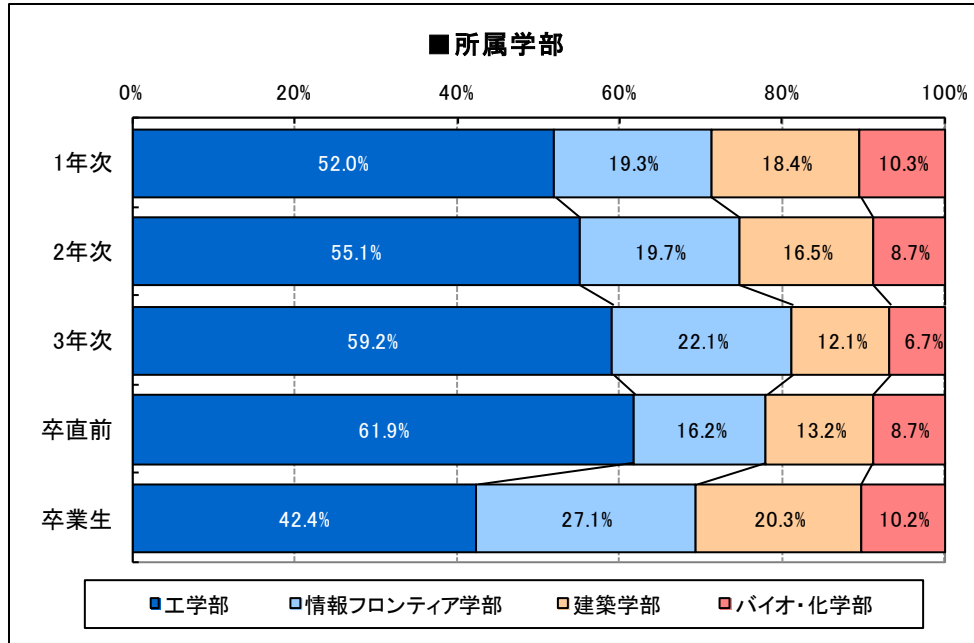
■PDCAサイクルの中での本報告書の位置づけ

本報告書は前出の目的に基づいて作成されているが、具体的なPDCAサイクルの中では下記のように位置づけられる。



- 今回の調査によって得られた「KIT関係者のKITに対する評価、満足度」は、上記「PDCAサイクル」の中の「CHECKステップ」に相当する。
- 「PDCAサイクル」は一時的なものではなく、継続的な改善を目指すものである。従って「他の施設や機能と比較して評価がどうであったか？」という相対的な結果を見るよりも、「昨年と比較して評価がどう変化したのか?」「自らが設定した目標は達成したのか?」といった変化を見る方が、よりPDCAのサイクルに則した見方ができるものと思われる。
- また、今後の改善策を検討するためには「自由記述」が有効であり、多くのヒントが含まれているものと思われる。
- 本調査企画は昨年から改善を重ねて内容を見直しているため、質問方法、選択肢などが異なる部分もあるが、今後はこれらの違いをできるだけ少なくし、より比較検討が行いやすい内容にしていく予定である。

■所属学部、学科

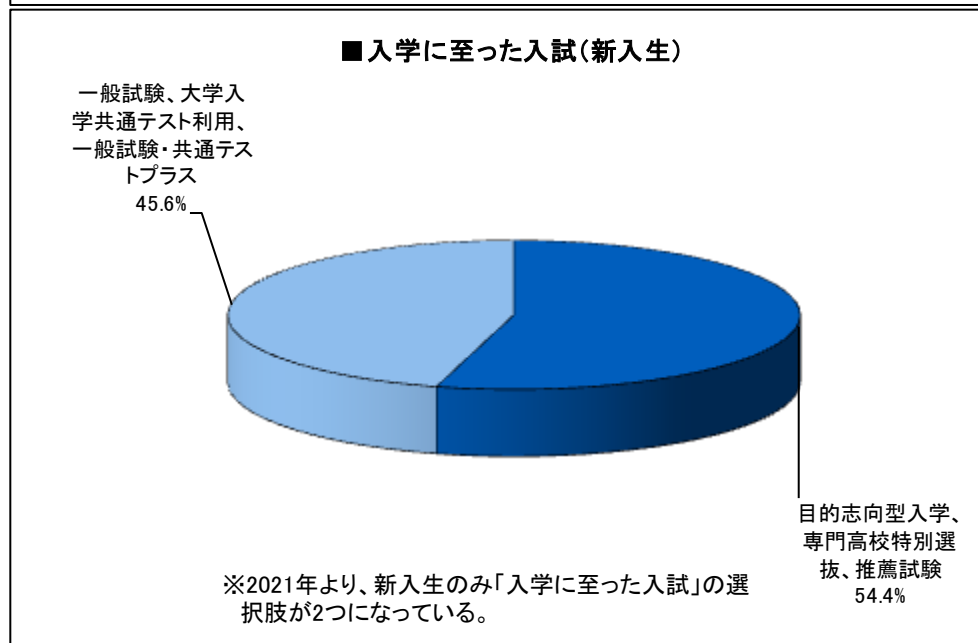
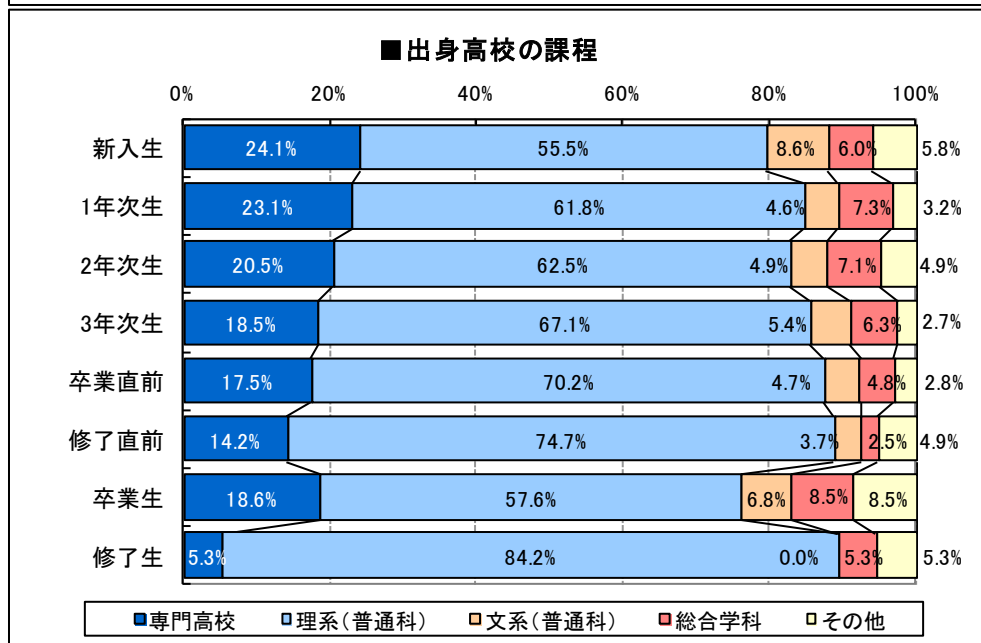
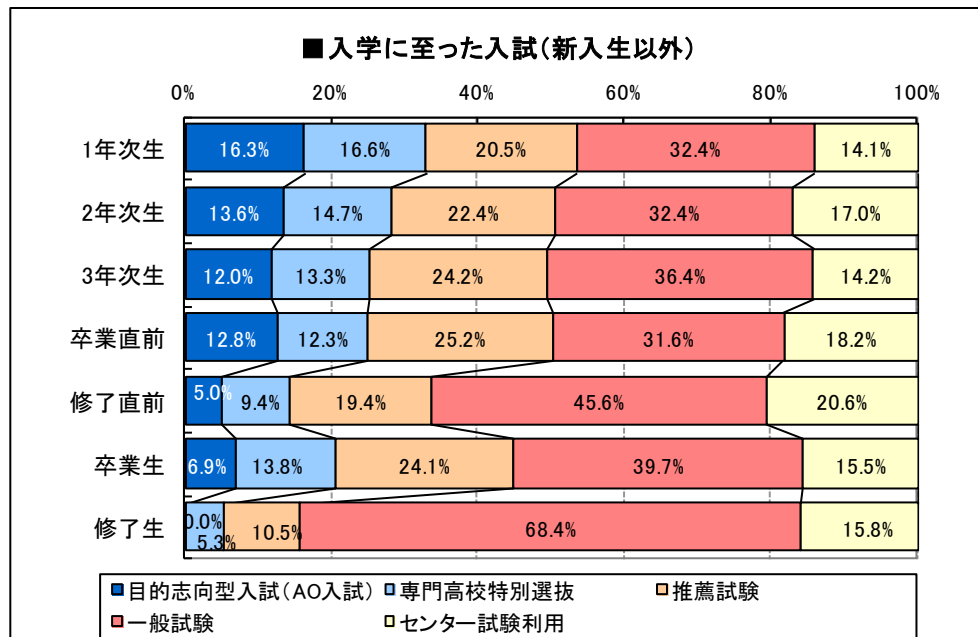
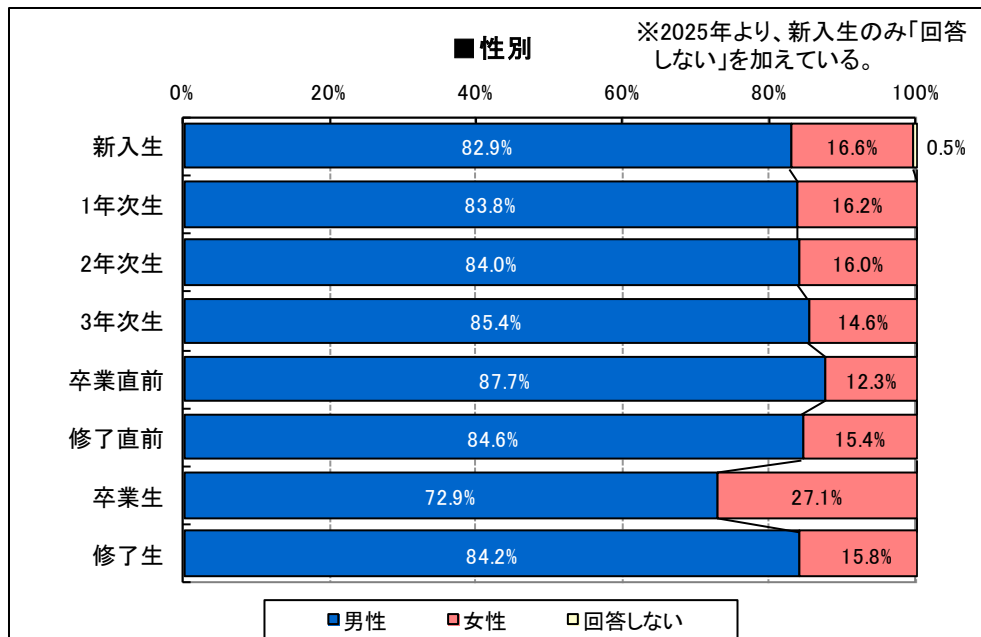


■所属学科

	機械工学科	航空システム工学科	ロボティクス学科	電気電子工学科	情報工学科	環境土木工学科	メディア情報学科	経営情報学科	心理科学科	建築学科	応用化学科	応用バイオ学科	総計
1年次生	13.0%	1.9%	4.1%	8.0%	20.9%	4.0%	13.7%	3.5%	2.1%	18.4%	5.6%	4.8%	100.0%
2年次生	11.0%	2.6%	5.8%	11.3%	18.7%	5.6%	12.3%	4.5%	2.9%	16.5%	4.3%	4.4%	100.0%
3年次生	13.9%	2.6%	5.7%	14.9%	17.5%	4.6%	13.1%	5.5%	3.5%	12.1%	0.8%	5.9%	100.0%
卒業直前	17.4%	2.7%	7.4%	12.3%	14.9%	7.2%	7.5%	4.8%	3.9%	13.2%	3.2%	5.5%	100.0%
卒業生	6.8%	3.4%	5.1%	1.7%	22.0%	3.4%	10.2%	15.3%	1.7%	20.3%	5.1%	5.1%	100.0%

※「新入生」は17学科なので上記のグラフ、表には加えておらず、「新入生版」で集計している。

■性別、出身高校の課程、入学に至った入試



■ 出身地域

■ 在学生の出身地域

	北海道・東北	関東	甲信越	北陸	東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	全体
1年次生	52	75	184	592	116	71	41	13	1,144
	4.5%	6.6%	16.1%	51.7%	10.1%	6.2%	3.6%	1.1%	100.0%
2年次生	52	90	220	615	142	89	36	25	1,269
	4.1%	7.1%	17.3%	48.5%	11.2%	7.0%	2.8%	2.0%	100.0%
3年次生	59	62	160	571	136	88	26	16	1,118
	5.3%	5.5%	14.3%	51.1%	12.2%	7.9%	2.3%	1.4%	100.0%
卒業直前	35	48	122	398	134	82	27	7	853
	4.1%	5.6%	14.3%	46.7%	15.7%	9.6%	3.2%	0.8%	100.0%
修了直前	2	21	20	60	31	19	8	1	162
	1.2%	13.0%	12.3%	37.0%	19.1%	11.7%	4.9%	0.6%	100.0%
全体	200	296	706	2,236	559	349	138	62	4,546
	4.4%	6.5%	15.5%	49.2%	12.3%	7.7%	3.0%	1.4%	100.0%

※新入生は47都道府県で聞いており、新入生だけの報告書に記載している。

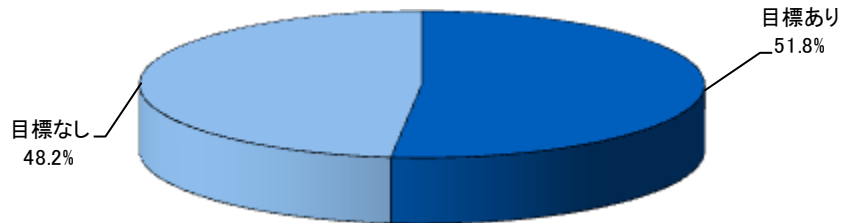
<2> 目的・目標意識、満足度、1年間の振り返りに関して

<2-1>	在学中の目的・目標意識	11
<2-2>	KITの総合満足度	14
<2-3>	分野別の満足度	19
<2-4>	この1年間の振り返り	21
<2-5>	目的・目標意識、満足度、1年間の振り返りのまとめ	22

■現在の目的・目標意識

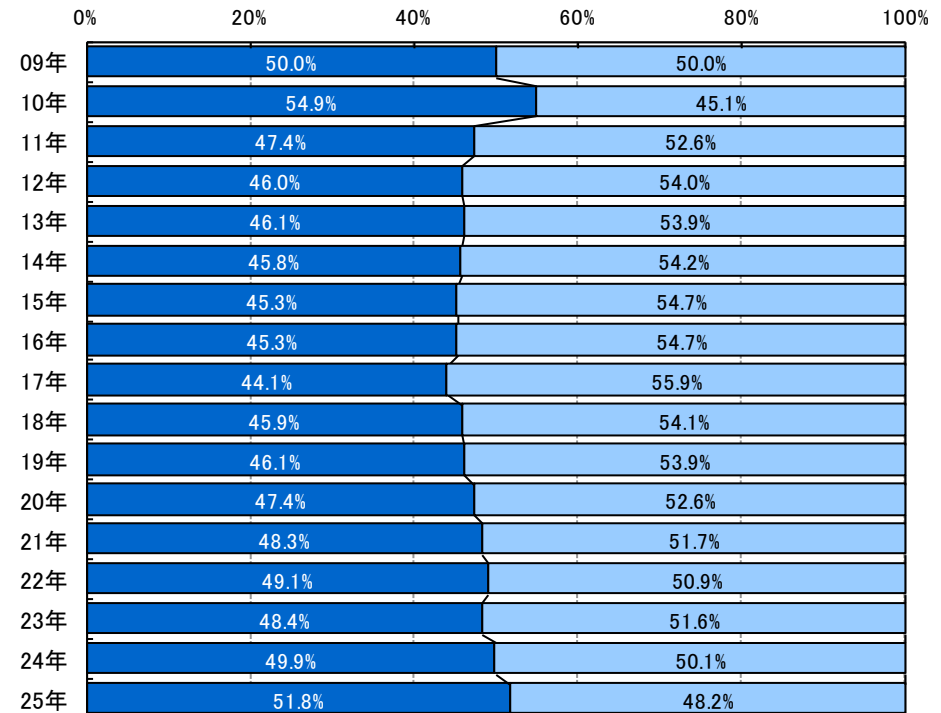
- 「大学生活を送る上での目的・目標の有無」に関しては、「目標あり」が51.8%、「目標なし」が48.2%と、ほぼ半々の割合となっていた。
- 年度別に比較すると、「目標あり」は前回は1.9ポイント上回り、11年以降では初めて5割を超えていた。

■現在の大学生活での目的・目標意識(在学生)



目標あり(51.8%) > 目標なし(48.2%)

■現在の大学生活での目的・目標意識 年度別比較(在学生)

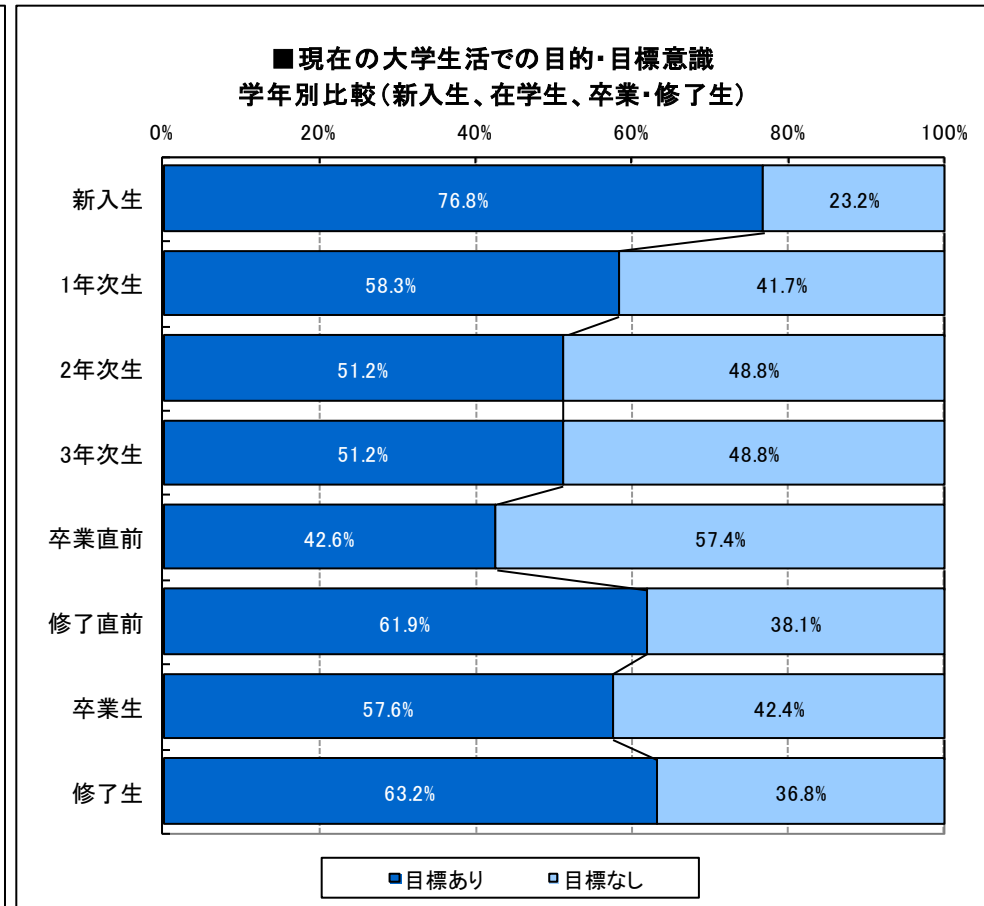
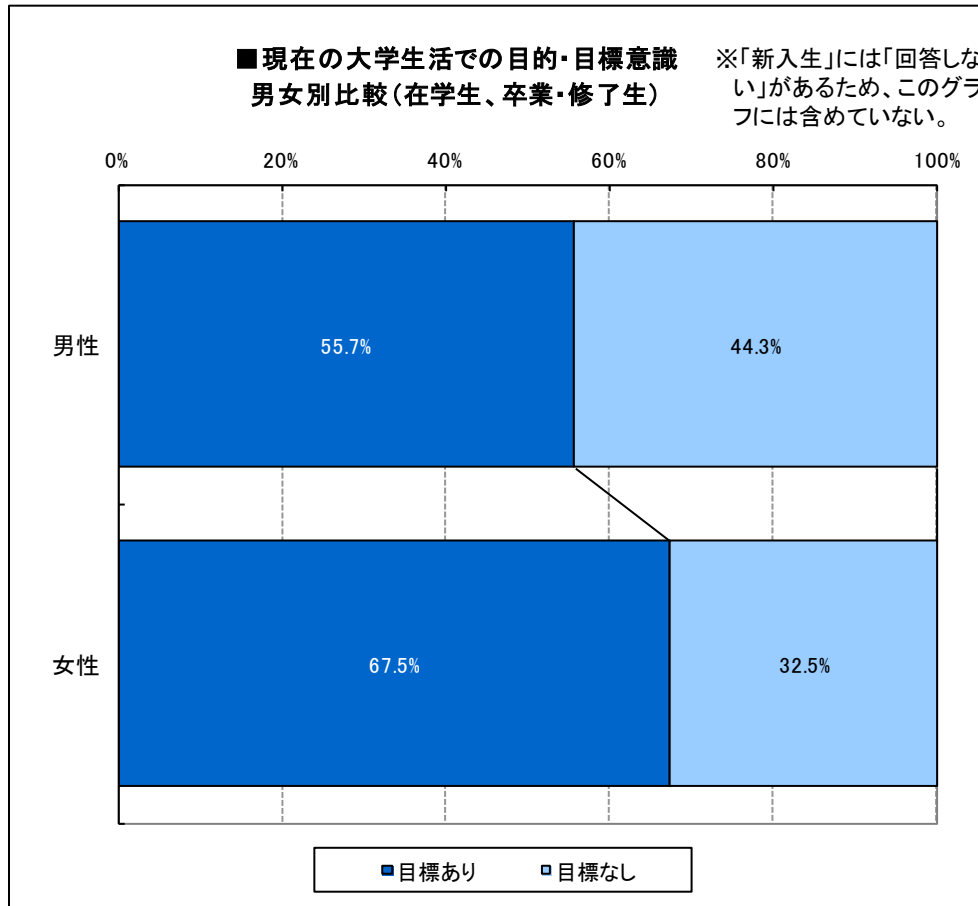


■目標あり □目標なし

※この質問は「新入生」「在学生(卒・修直前を含む)」「卒業生」「修了生」に聞いているが、このページのグラフは年度別の比較が可能な「在学生」のみを対象として比較している。

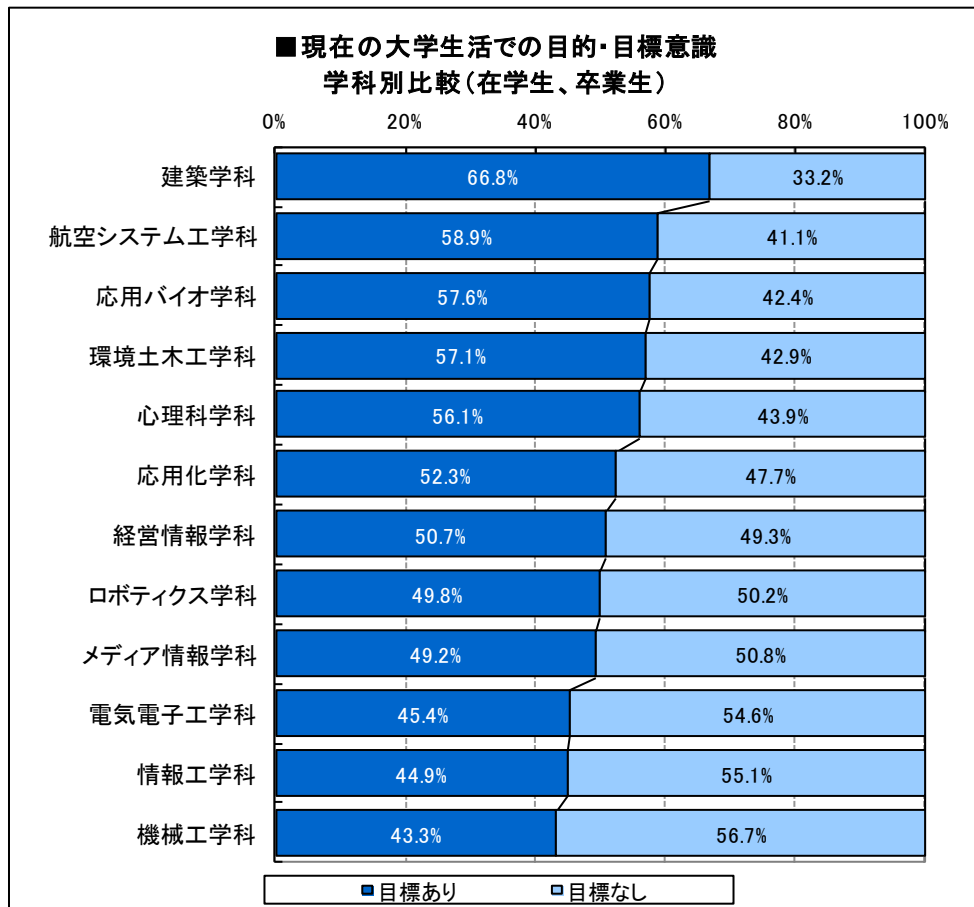
■現在の目的・目標意識 男女別比較、学年別比較

- 「目的・目標意識」を男女別に比較したところ、「目標あり」は「男性」が55.7%、「女性」が67.5%であり、「女性」の方が11.8ポイント多かった。
- 学年別に比較したところ、「目標あり」が最も多かったのは「新入生」の76.8%であり、「修了生」が63.2%、「修了直前」が61.9%が続いていた。一方、最も少なかったのは「卒業直前」の42.6%であった。



■現在の目的・目標意識 学科別比較

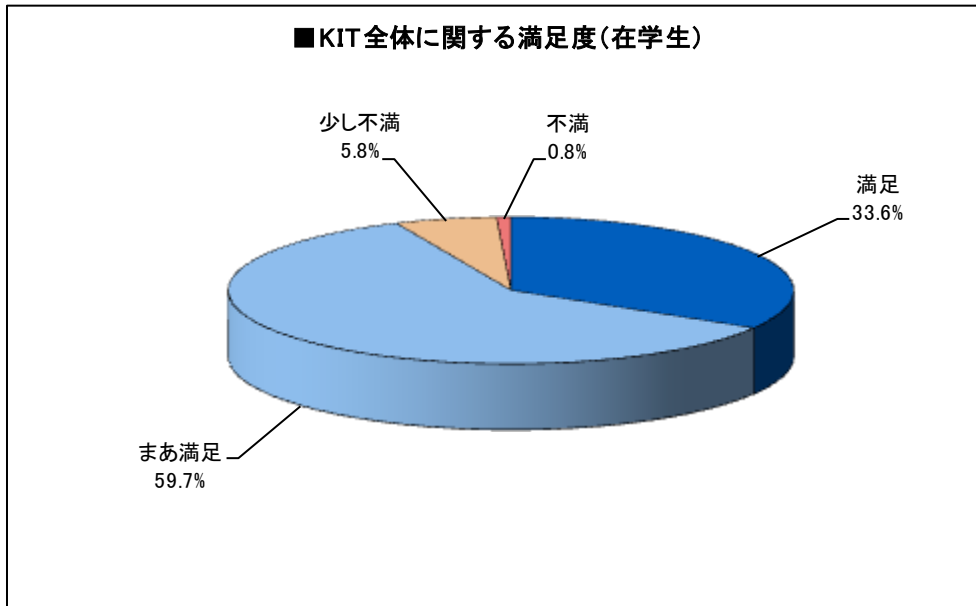
- 学科別で「目標あり」が最も多かったのは「建築学科」の66.8%であり、「航空システム工学科」が58.9%、「応用バイオ学科」が57.6%が続いていた。
- 一方、最も少なかったのは「機械工学科」の43.3%であり、「情報工学科」が44.9%、「電気電子工学科」が45.4%となっていた。



※「新入生」「修了直前」「修了生」は学科構成が異なるので、このグラフには含めていない。

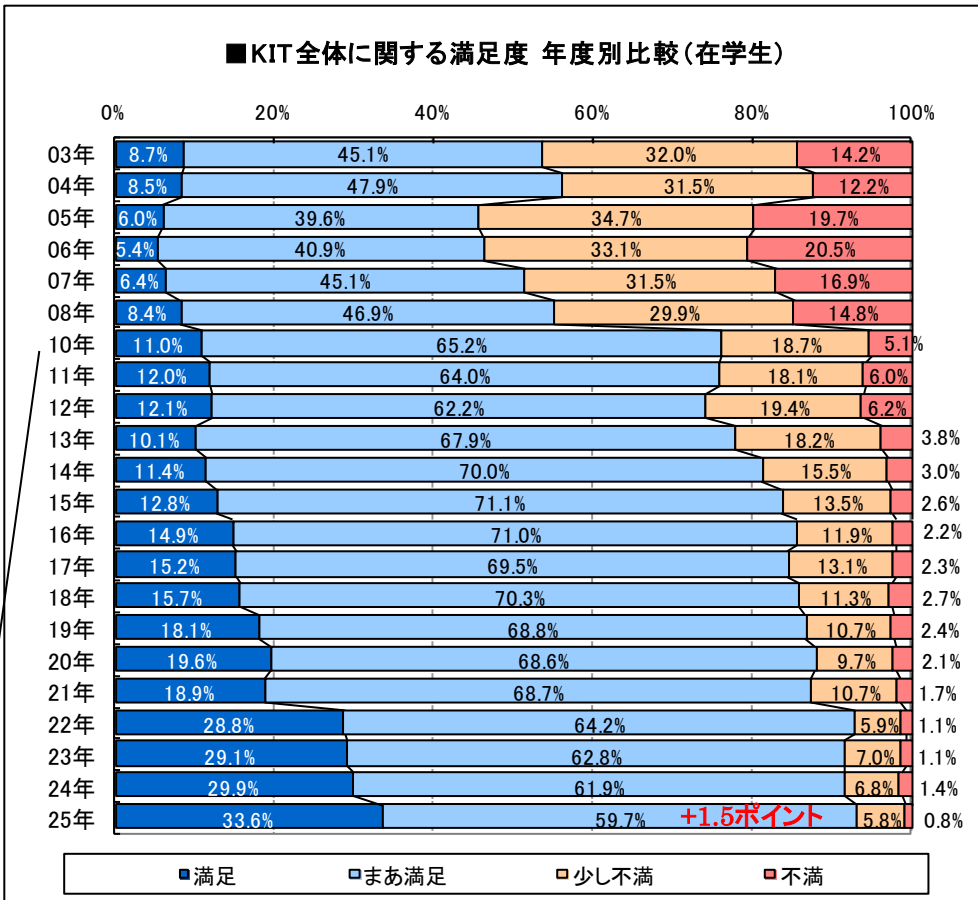
■KIT全体に関する満足度

- 「KIT全体に関する満足度」では、「満足」が33.6%、「まあ満足」が59.7%で、合計すると満足度は93.3%であった。一方、不満という回答の合計は6.6%となっていた。
- KITの総合満足度の質問文は、08年までは「今のKITに満足していますか？」と聞いており、09年には質問を行わなかった。そして、10年からは「KIT全体に関する満足度」として、「満足」～「不満」を選ぶ聞き方に変更している。
- 質問が統一された10年以降を見ると、満足度は12年まで横ばいで、13年以降は例外はあるものの基本的には増加傾向が続き、22年にそれまでの過去最高となった後に、わずかに低下していた。そして、今回は1.5ポイント増加して過去最高となり、「満足」という回答も33.6%と過去最高で、非常に高い満足度が続いていた。



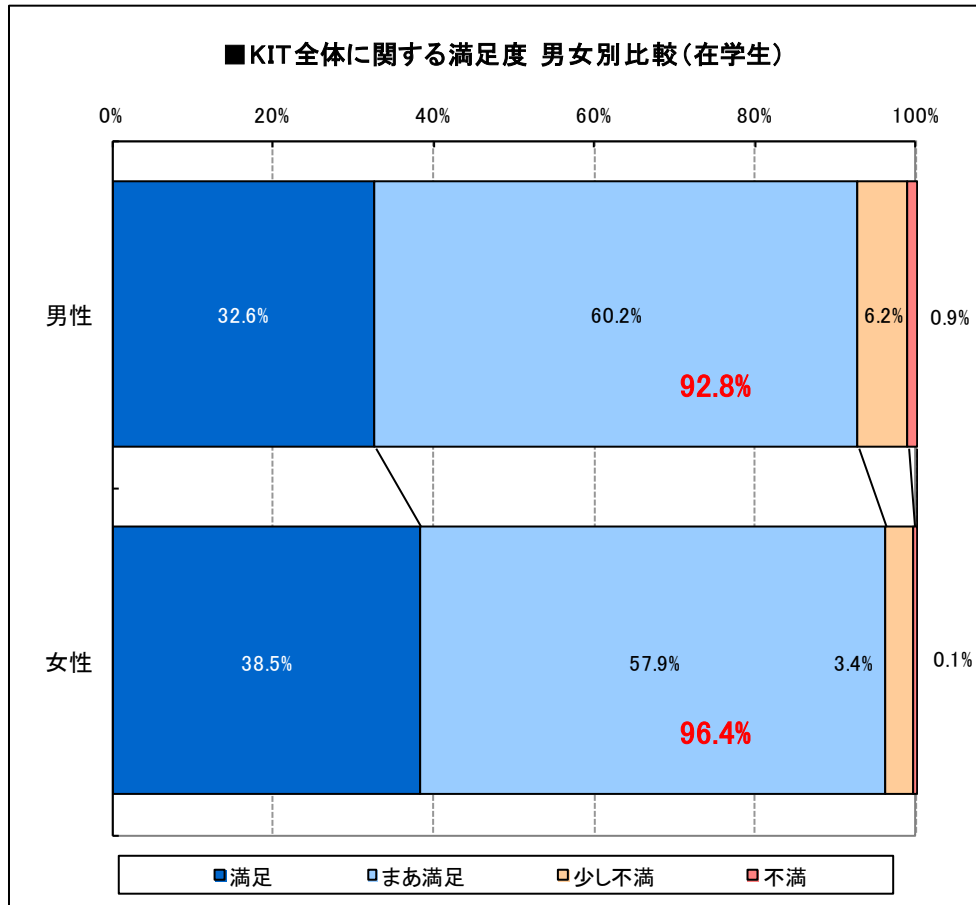
満足している(93.3%) > 不満を持っている(6.6%)

10年から聞き方が変わっている



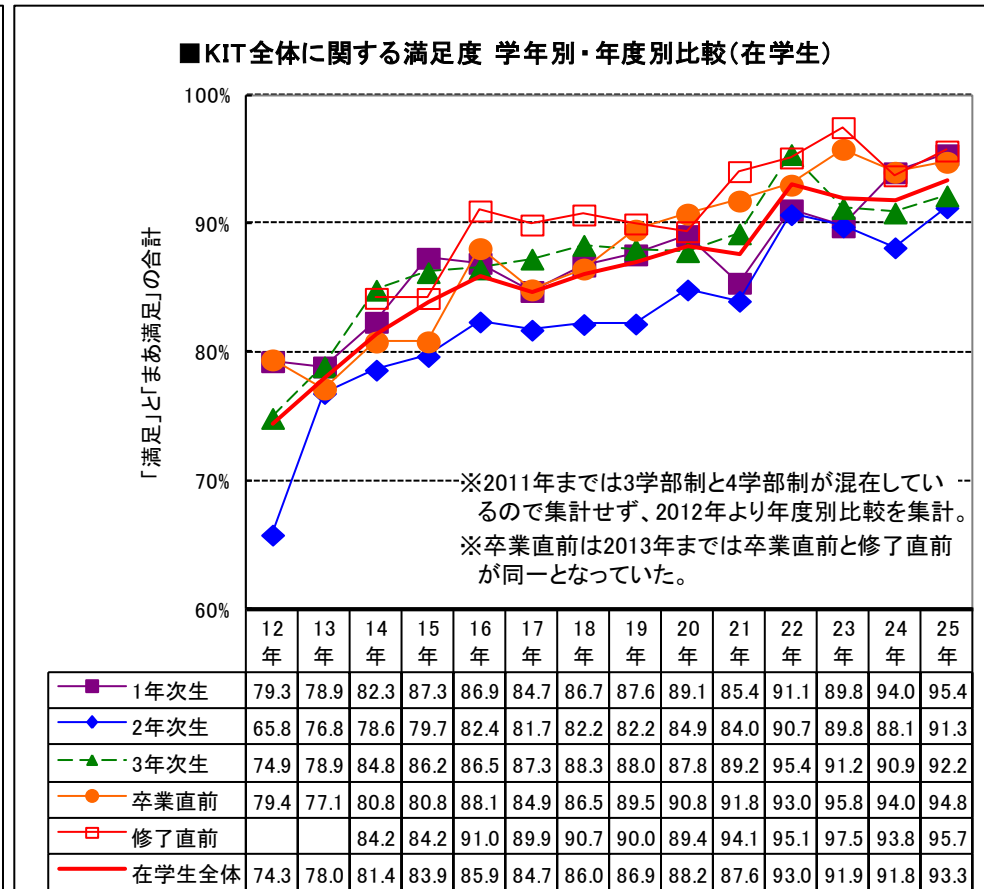
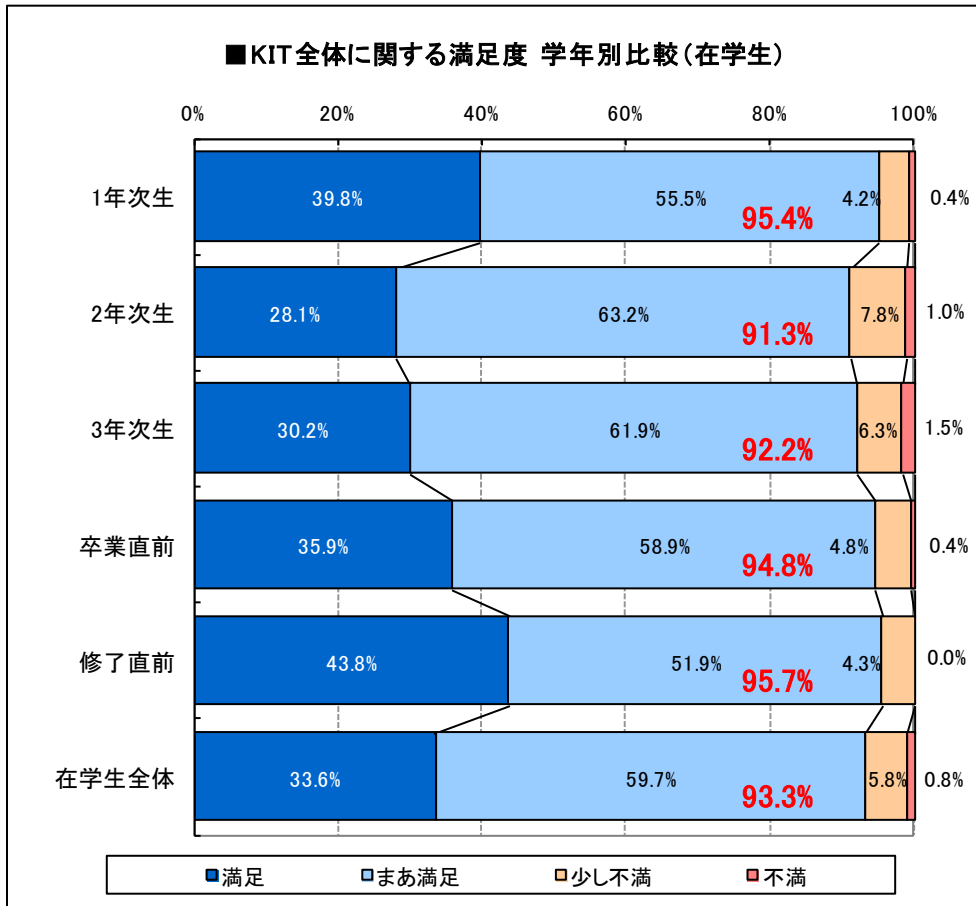
■KIT全体に関する満足度 男女別比較

- 満足度を男女別に比較したところ、「男性」が92.8%、「女性」が96.4%となっており、「女性」の方が3.6ポイント高かった。



■KIT全体に関する満足度 学年別比較、学年別・年度別比較

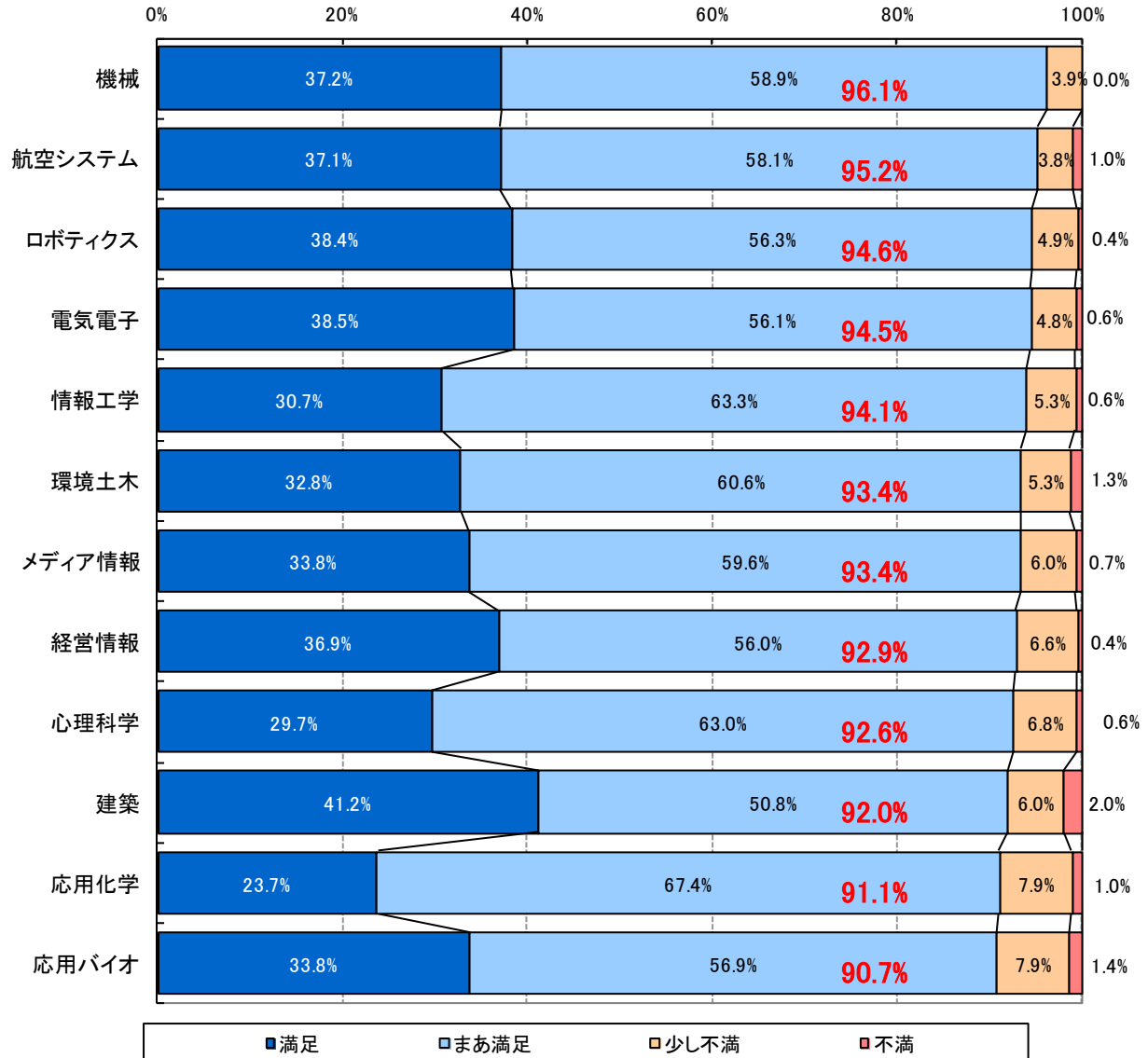
- 満足度を学年別に比較したところ、すべての学年で90%を超えており、最も高かったのは「修了直前」の95.7%で、「1年次生」が95.4%、「卒業直前」が94.8%で続いていた。そして、「満足」の割合も同じ順位となっていた。
- 満足度と学年との関係を見ると、「1年次生」から「2年次生」にかけては満足度が低下しているが、その後「卒業直前」にかけては学年が上がるほど高くなる傾向が見られた。そして、「卒業直前」よりも「修了直前」の方が高かった。
- 年度別の比較を見ると、すべての学年で前年を上回って満足度が高い状態が続いており、「1年次生」と「2年次生」は過去最高となっていた。



■KIT全体に関する満足度 学科別比較

- 満足度の学科別比較でも、すべての学科で満足度は90%を超えており、最も高かったのは「機械」の96.1%で、「航空システム」が95.2%、「ロボティクス」が94.6%で続いていた。
- 一方、満足度が最も低かったのは「応用バイオ」の90.7%であり、「応用化学」が91.1%、「建築」が92.0%で続いていた。ただし、「満足」だけを見ると「建築」の41.2%が最も高く、強く満足している学生が多いようであった。

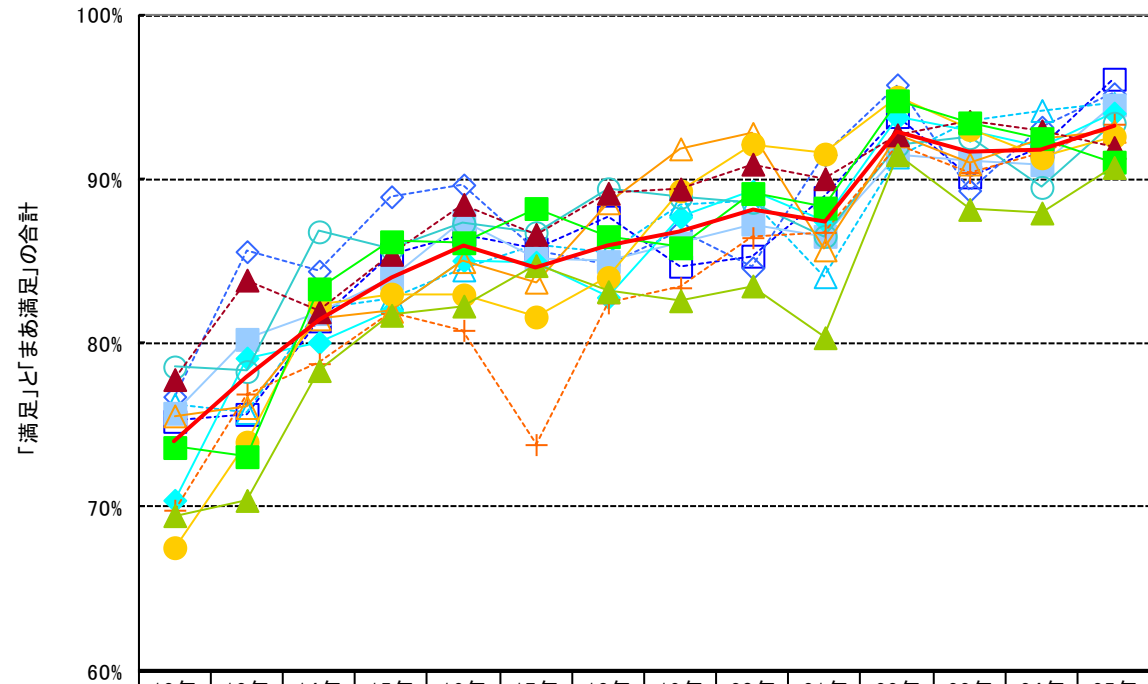
■KIT全体に関する満足度 学科別比較(在学生)



■KIT全体に関する満足度 学科別・年度別比較

- 満足度の学科別・年度別比較は、学部再編のため12年からの比較となっている。
- 「在学生全体」を見ると、全体としてはゆるやかな右肩上がりが続いているが、16年から17年、20年から21年、22年から23年にかけてわずかに低下していた。そして、今回は前回は1.4ポイント上回って過去最高となっていた。
- 学科別に見ても12学科中の10学科が前回は上回っており、「機械」「ロボティクス」「電気電子」「情報工学」「環境土木」「メディア情報」「経営情報」の7学科は過去最高の満足度であった。
- 一方、前回から低下していたのは「建築」と「応用化学」の2学科であった。

■KIT全体に関する満足度 学科別・年度別比較(在学生)



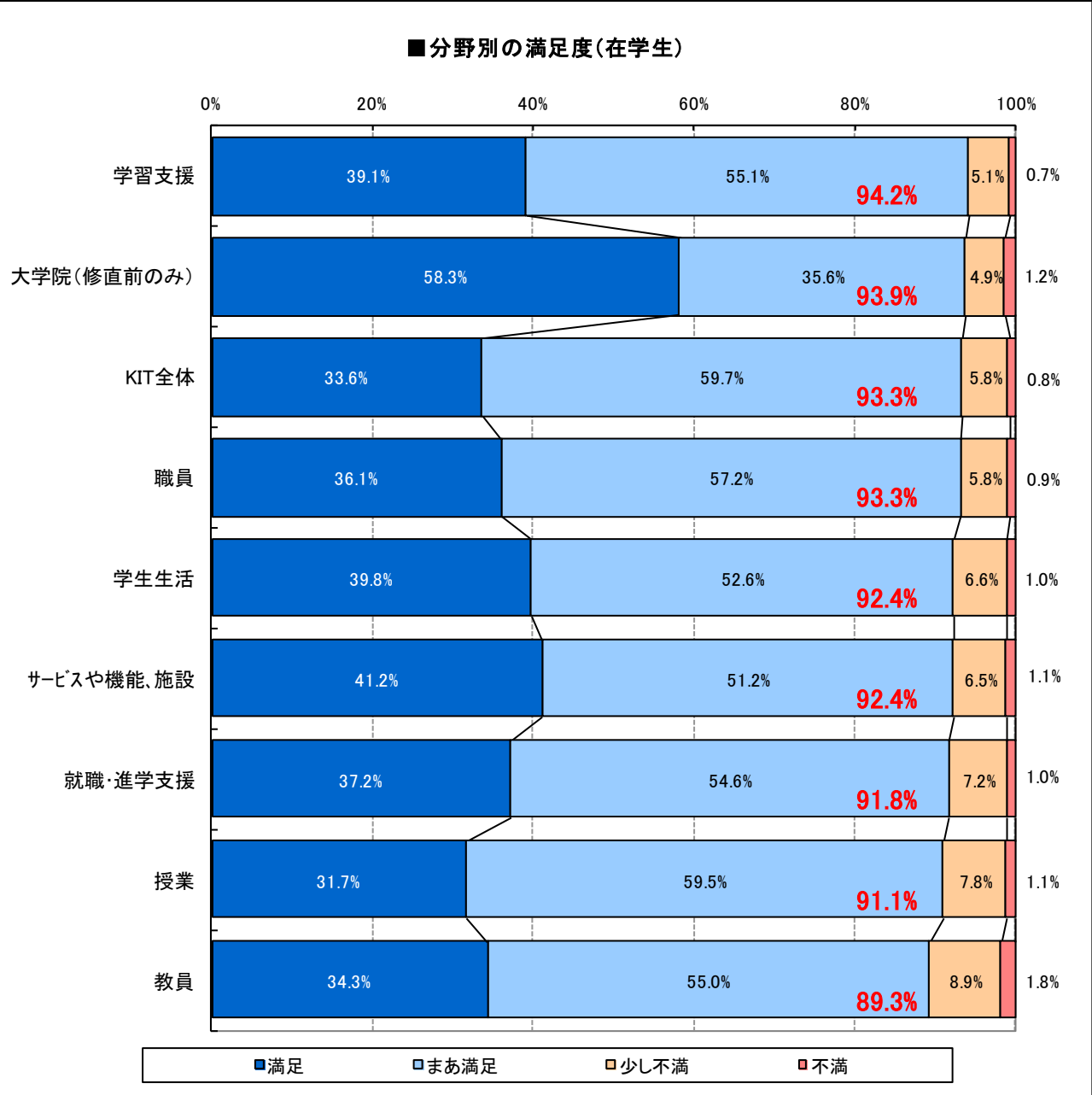
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
---□--- 機械	75.3%	75.7%	81.4%	85.5%	86.7%	85.8%	87.7%	84.7%	85.3%	88.9%	93.8%	90.2%	92.0%	96.1%
---◇--- 航空システム	76.8%	85.6%	84.4%	89.0%	89.7%	85.6%	84.8%	86.9%	84.6%	91.5%	95.8%	89.3%	93.2%	95.2%
---△--- ロボティクス	76.3%	75.8%	82.2%	82.8%	84.5%	86.0%	85.5%	88.5%	88.7%	84.1%	91.4%	93.5%	94.2%	94.6%
---■--- 電気電子	75.7%	80.3%	81.8%	84.0%	87.5%	85.2%	85.0%	86.1%	87.3%	86.5%	91.5%	91.1%	90.9%	94.5%
---◇--- 情報工学	70.4%	79.1%	80.1%	82.0%	85.1%	85.0%	82.8%	87.7%	89.3%	87.5%	93.8%	93.0%	91.9%	94.1%
---○--- 環境土木	78.6%	78.3%	86.8%	85.8%	87.3%	86.8%	89.4%	88.9%	88.6%	86.5%	92.1%	92.6%	89.5%	93.4%
---+--- メディア情報	69.8%	76.9%	78.8%	81.8%	80.8%	73.8%	82.5%	83.4%	86.5%	86.8%	92.0%	90.4%	91.6%	93.4%
---△--- 経営情報	75.6%	76.1%	81.5%	82.0%	85.0%	83.7%	88.6%	91.9%	92.8%	85.7%	92.7%	91.0%	92.4%	92.9%
---●--- 心理科学	67.5%	74.0%	82.3%	83.0%	83.0%	81.6%	84.0%	89.3%	92.2%	91.6%	95.0%	93.1%	91.3%	92.6%
---▲--- 建築	77.8%	83.9%	81.9%	85.4%	88.5%	86.7%	89.2%	89.4%	90.9%	90.1%	92.7%	93.6%	93.0%	92.0%
---■--- 応用化学	73.7%	73.1%	83.3%	86.2%	86.1%	88.2%	86.5%	85.8%	89.2%	88.3%	94.8%	93.5%	92.5%	91.1%
---▲--- 応用バイオ	69.5%	70.4%	78.4%	81.7%	82.3%	84.8%	83.2%	82.6%	83.5%	80.4%	91.5%	88.2%	88.0%	90.7%
---●--- 在学生全体	74.0%	77.9%	81.4%	84.0%	85.9%	84.6%	85.9%	86.9%	88.1%	87.4%	92.9%	91.7%	91.8%	93.2%

※2011年までは3学部制と4学部制が混在しているので集計せず。
 ※2012年から2018年までは14学科体制であったが、2019年からの12学科体制として学科を合わせて再集計を行っている。
 ※グラフの配色は下記の通り。

- ・ブルー系:工学部
- ・オレンジ系:情報フロンティア学部
- ・茶系:建築学部
- ・グリーン系:バイオ・化学部

■分野別満足度

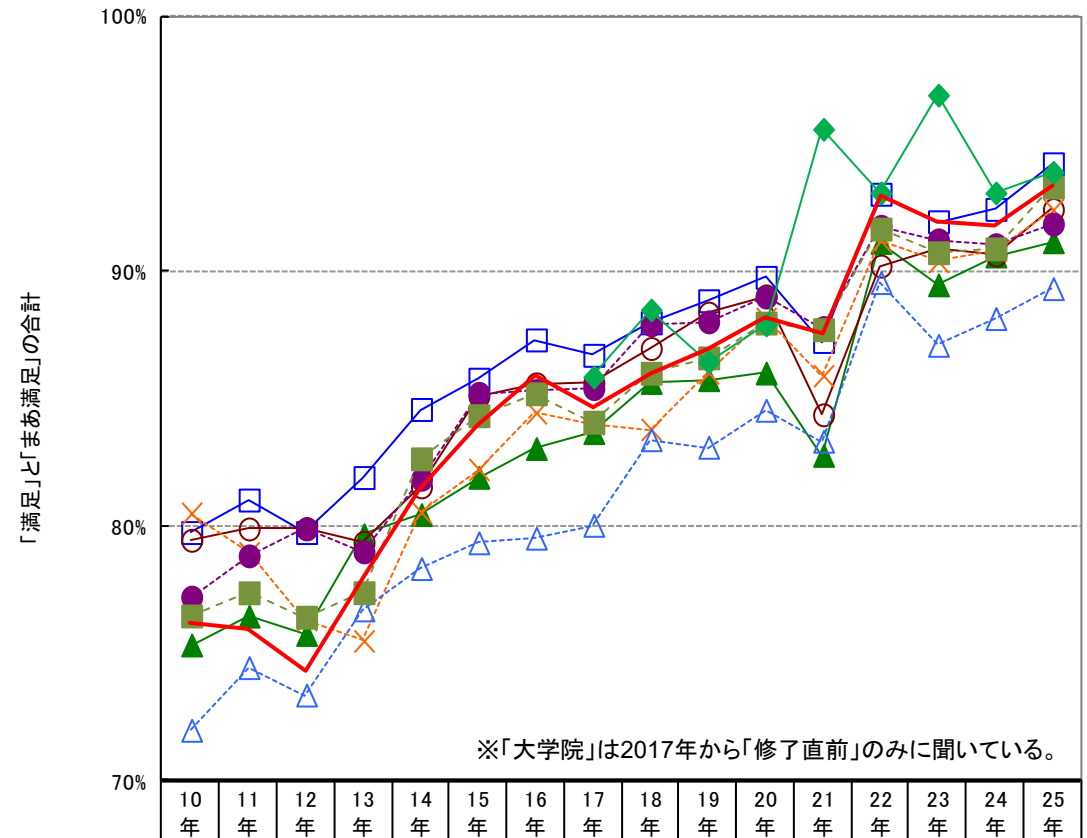
- 大学生活の9分野の満足度で最も高かったのは「学習支援」の94.2%であった。次いで、「大学院」が93.9%、「KIT全体」と「職員」が93.3%で続いていたが、「大学院」では「満足」が58.3%と非常に多い点が特徴的であった。
- 一方、満足度が最も低かったのは「教員」の89.3%で、唯一90%を下回っていたが、満足度としてはこれも十分に高いと言える。



■分野別満足度 年度別比較

- 分野別の満足度はほとんどの分野で20年から21年にかけて大きく低下した後、22年にかけて大きく向上して過去最高となるなど、大きな変動が続いていたが、それ以降は横ばいが続いていた。
- 今回はすべての分野で前回を上回り、9分野中の7分野が過去最高となっていた。前回からの向上が特に大きかったのは「職員」の2.4ポイントであった。
- 上記で見たように前回から低下した分野はなかったが、「教員」と「大学院」の2分野は過去最高とはならなかった。

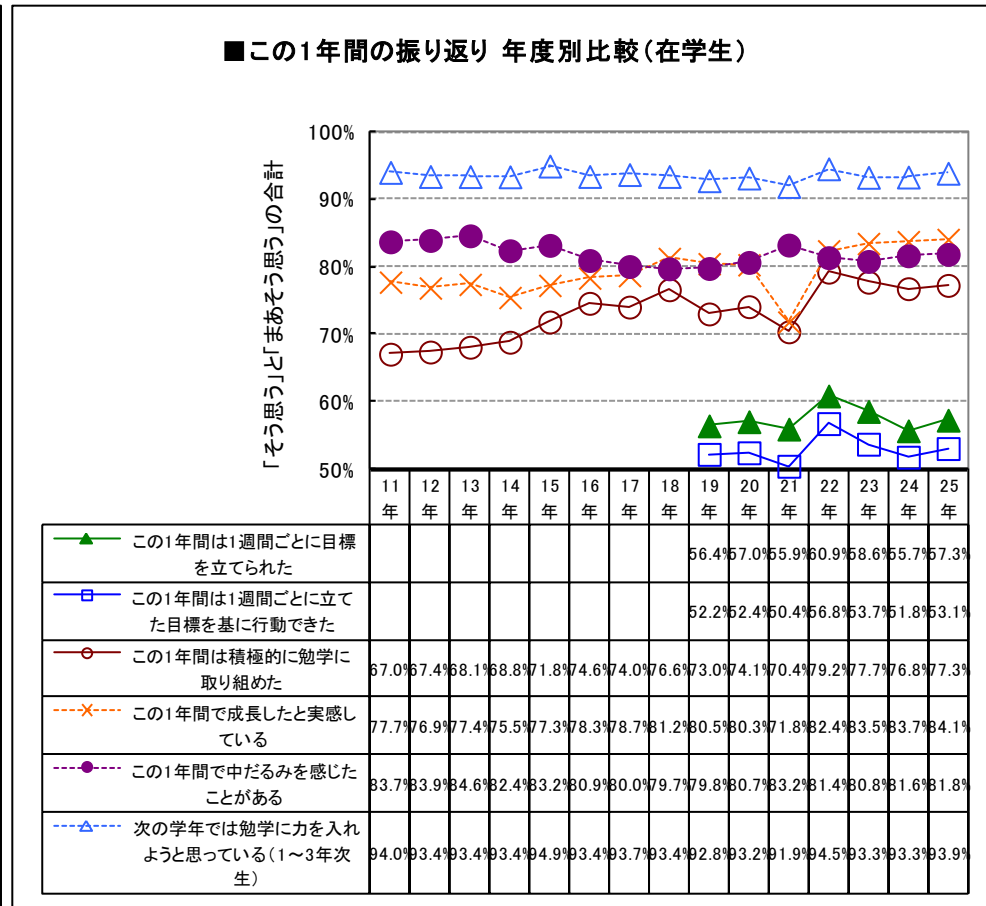
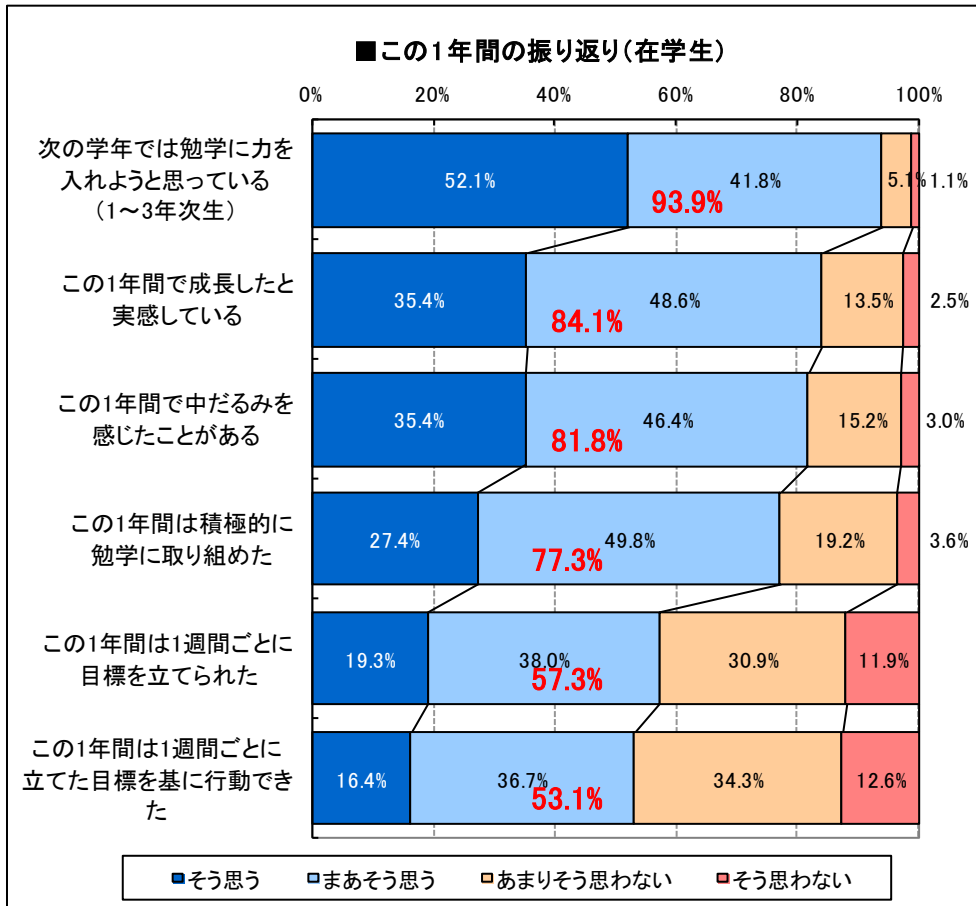
■分野別の満足度 年度別比較



	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
▲ 授業	75.3%	76.4%	75.7%	79.6%	80.4%	81.9%	83.0%	83.6%	85.6%	85.7%	86.0%	82.8%	91.1%	89.4%	90.6%	91.1%
□ 学習支援	79.7%	81.0%	79.7%	81.9%	84.6%	85.7%	87.3%	86.7%	88.0%	88.8%	89.7%	87.2%	93.0%	91.9%	92.4%	94.2%
○ 学生生活	79.4%	79.9%	79.9%	79.3%	81.5%	85.1%	85.6%	85.6%	87.0%	88.3%	89.0%	84.3%	90.2%	90.8%	90.6%	92.4%
× サービスや機能、施設	80.5%	78.9%	76.3%	75.5%	80.5%	82.2%	84.4%	84.0%	83.8%	86.0%	88.1%	85.9%	91.2%	90.4%	90.8%	92.4%
● 就職・進学支援	77.2%	78.8%	79.9%	79.0%	81.8%	85.2%	85.3%	85.4%	87.9%	88.0%	89.0%	87.8%	91.7%	91.2%	91.0%	91.8%
△ 教員	72.0%	74.4%	73.3%	76.7%	78.3%	79.3%	79.5%	80.0%	83.4%	83.1%	84.5%	83.3%	89.5%	87.1%	88.1%	89.3%
■ 職員	76.5%	77.4%	76.4%	77.4%	82.6%	84.3%	85.2%	84.1%	86.0%	86.6%	87.9%	87.7%	91.6%	90.7%	90.9%	93.3%
◆ 大学院(修了直前のみ)								85.8%	88.5%	86.4%	87.9%	95.6%	93.1%	96.9%	93.1%	93.9%
— KIT全体	76.2%	76.0%	74.3%	78.0%	81.4%	83.9%	85.9%	84.7%	86.0%	86.9%	88.2%	87.6%	93.0%	91.9%	91.8%	93.3%

■この1年間の振り返り 年度別比較

- 「この1年間の振り返り」で肯定的な意見が最も多かったのは、1～3年次生だけに聞いた「次の学年では勉学に力を入れようと思っている」の93.9%であった。次いで、「この1年間で成長したと実感している」が84.1%であり、約8割の学生は充実した1年を過ごしたようであった。そして、ネガティブな回答となるが、「この1年間で中だるみを感じたことがある」が81.8%であり、約8割の学生は充実感とともに中だるみも感じていた。
- 一方、肯定的な意見が最も少なかったのは、「この1年間は1週間ごとに立てた目標を基に行動できた」の53.1%で、次いで「この1年間は1週間ごとに目標を立てられた」が57.3%で続いており、目標を立てることと、それに基づく行動に苦手意識が感じられた。
- 年度別の比較を見ると、すべての項目が前年を上回っており、「この1年間は1週間ごとに目標を立てられた」と「この1年間は1週間ごとに立てた目標を基に行動できた」「この1年間は積極的に勉学に取り組めた」の3項目は22年からの低下傾向が止まっていた。そして、わずかな差ではあるが「この1年間で成長したと実感している」が過去最高となっていた。



<2-5> 目的・目標意識、満足度、1年間の振り返りのまとめ

「大学生活を送る上で目的・目標がある」は51.8%であり、11年以降では初めて5割を超えていた。

- 「大学生活を送る上で目的・目標の有無」に関しては、「目標あり」が51.8%、「目標なし」が48.2%と、ほぼ半々の割合となっていた。
- 年度別に比較すると、「目標あり」は前回は1.9ポイント上回り、11年以降では初めて5割を超えていた。

満足度は性別では「女性」、学年別では「修了直前」が高く、学科では「機械」「航空システム」が高かった。

- 満足度の男女別比較を見ると、「男性」が92.8%、「女性」が96.4%であった。
- 学年別で最も高かったのは「修了直前」の95.7%であった。そして、全学年で前回は上回り、「1年次生」と「2年次生」は過去最高となっていた。
- 学科別で最も高かったのは「機械」の96.1%であり、「航空システム」が95.2%、「ロボティクス」が94.6%で続いていた。そして、12学科中の10学科が前回は上回っており、「機械」「ロボティクス」「電気電子」「情報工学」「環境土木」「メディア情報」「経営情報」の7学科は過去最高となっていた。

「目標あり」の割合は、性別では「女性」、学年別では「新入生」が最も多かった。そして学科では「建築学科」「航空システム工学科」が多く、「機械工学科」が少なかった。

- 「目標あり」は「男性」が55.7%、「女性」が67.5%であり、「女性」の方が11.8ポイント多かった。
- 学年別では「新入生」が76.8%で最も多く、「修了生」が63.2%、「修了直前」が61.9%で続いており、最も少なかったのは「卒業直前」の42.6%であった。
- 学科別で「目標あり」が最も多かったのは「建築学科」の66.8%であり、「航空システム工学科」が58.9%、「応用バイオ学科」が57.6%で続いていた。一方、最も少なかったのは「機械工学科」の43.3%であった。

分野別では「学習支援」「大学院」の満足度が高かった。年度別に見ると22年以降は全体的に横ばいが続いていたが、今回はすべてで前回は上回り、7分野が過去最高となっていた。

- 分野別で満足度が最も高かったのは「学習支援」の94.2%であり、「大学院」が93.9%、「KIT全体」と「職員」が93.3%で続いていた。一方、最も低かったのは「教員」の89.3%であったが、これも満足度としては十分に高いと言える。
- 年度別では、22年以降は全体的に横ばいが続いていたが、今回はすべての分野で前回は上回り、9分野中の7分野が過去最高となっていた。

KIT全体に関する満足度は93.3%と過去最高であり、「満足」という回答も33.6%で過去最高となっていた。

- 「KIT全体に関する満足度」は「満足」が33.6%、「まあ満足」が59.7%で、合わせると93.3%であり、不満という回答の合計は6.6%となっていた。
- 満足度は12年まで横ばいで、13年以降は例外はあるものの基本的には増加傾向が続き、22年にそれまでの過去最高となった後、わずかに低下していた。そして、今回は1.5ポイント増加して過去最高となり、「満足」という回答も33.6%と過去最高で、非常に高い満足度が続いていた。

1年間の振り返りでは、「成長実感」と「中だるみを感じている」という相反する意見がいずれも約8割となっていた。そして、目標を立てて行動する点に苦手意識が見られた。

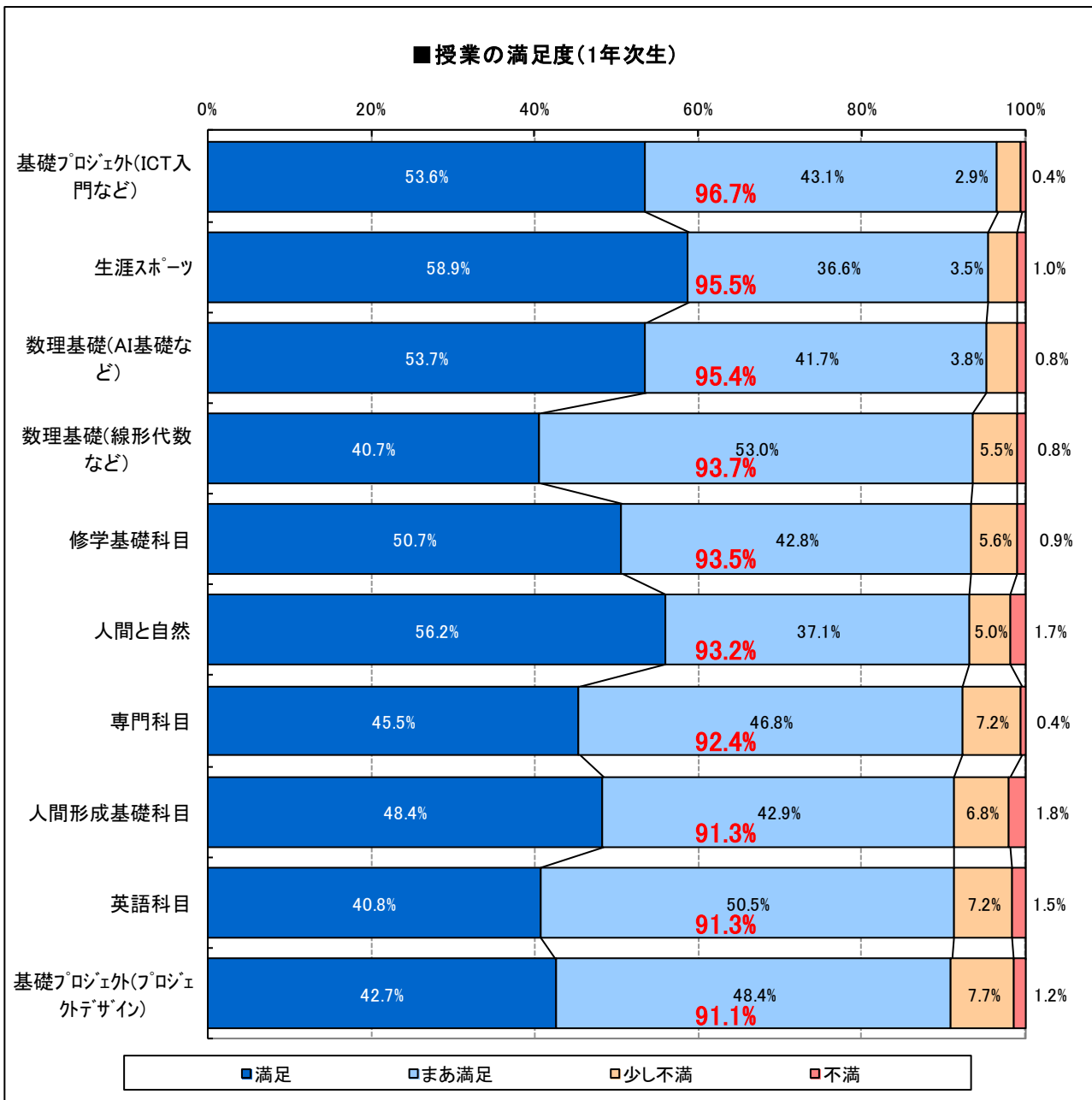
- 1年間の振り返りの肯定的な意見は、「次の学年では勉学に力を入れようと思っている」が93.3%、「この1年間で成長したと実感している」が84.1%と多かったが、「この1年間で中だるみを感じたことがある」が81.8%で続いており、約8割の学生が成長実感とともに中だるみも感じていた。
- 「この1年間は1週間ごとに目標を立てられた」と「この1年間は1週間ごとに立てた目標を基に行動できた」という目標を立てて行動する点に苦手意識が見られたが、年度別に見ると22年からの低下傾向が止まっていた。

<3> 授業、学習支援に関して

<3-1>	授業の満足度	24
<3-2>	授業の仕組み評価	32
<3-3>	授業、学習支援のまとめ	34

■授業の満足度 1年次生

- 「1年次生」の授業で満足度が最も高かったのは「基礎プロジェクト(ICT入門など)」の96.7%であり、「生涯スポーツ」が95.5%、「数理基礎(AI基礎など)」が95.4%で続いていた。
- 一方、満足度が最も低かったのは「基礎プロジェクト(プロジェクトデザイン)」の91.1%であり、「英語科目」と「人間形成基礎科目」が91.3%で続いていた。
- 満足度の内訳を見ると、「満足」という回答は「生涯スポーツ」が58.9%で最も高く、「人間と自然」が56.2%で続いており、強く満足している意見が多かった。



■授業の満足度の年度別比較 1年次生

- 「1年次生」の授業の満足度に関しては、前回の24年に3科目が新規に追加されているが、それらも含めた10科目のうち8科目が前を上回っており、7科目は過去最高となっていた。
- 以前から継続している科目もゆるやかな右肩上がりが続いており、23年からの科目では「数理基礎(線形代数など)」「数理基礎(AI基礎など)」が過去最高となり、中絶も含めて13年から継続している科目でも「生涯スポーツ」「修学基礎科目」「人間と自然」が過去最高となっていた。
- 一方、前回から低下していたのは「基礎プロジェクト(ICT入門など)」「専門科目」の2科目であった。

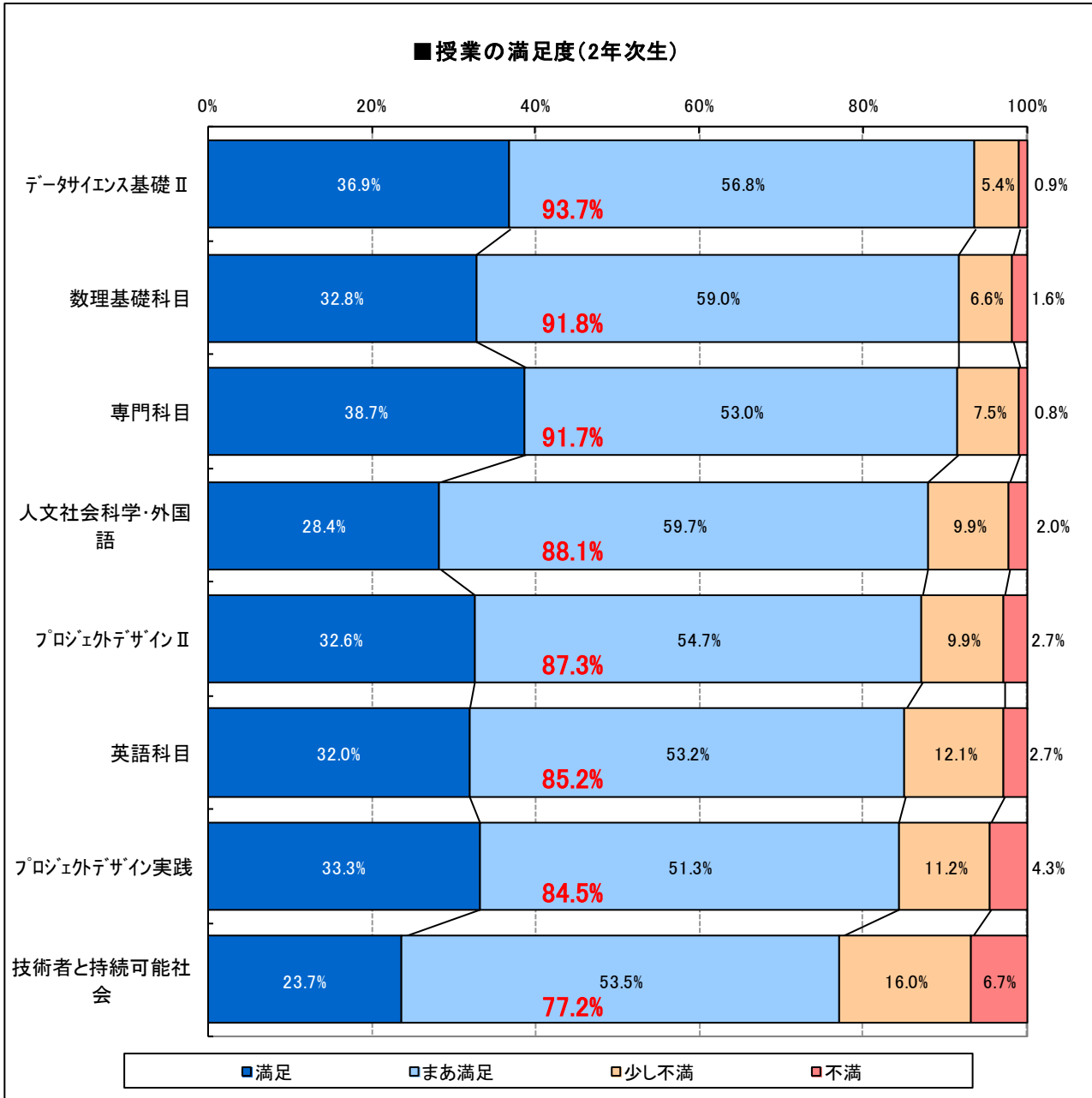
■対面授業の満足度 年度別比較(1年次生)



	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
▲ 数理基礎(線形代数など)											82.5%	91.2%	93.7%
□ 数理基礎(AI基礎など)											94.4%	94.5%	95.4%
○ 英語科目	76.8%	80.7%	82.9%	83.7%	85.2%	86.5%	86.4%	87.3%		91.6%	91.4%	90.7%	91.3%
× 基礎プロジェクト(プロジェクトデザイン)												89.8%	91.1%
● 基礎プロジェクト(ICT入門など)												97.0%	96.7%
△ 人間形成基礎科目												87.8%	91.3%
■ 生涯スポーツ	86.5%	87.8%	90.2%	89.7%	88.7%	89.0%	88.9%	90.8%	86.7%	93.4%	92.7%	93.8%	95.5%
◆ 専門科目	84.1%	81.8%	87.7%	83.4%	83.6%	84.8%	84.8%	89.9%	84.0%	87.9%	89.6%	93.0%	92.4%
○ 修学基礎科目	81.0%	86.4%	86.3%	87.2%	84.5%	86.3%	83.7%	87.6%	90.0%	87.1%	88.4%	89.3%	93.5%
□ 人間と自然	63.3%	66.6%	74.0%	71.9%	72.1%	68.6%	63.3%	60.5%			81.0%	91.7%	93.2%

■授業の満足度 2年次生

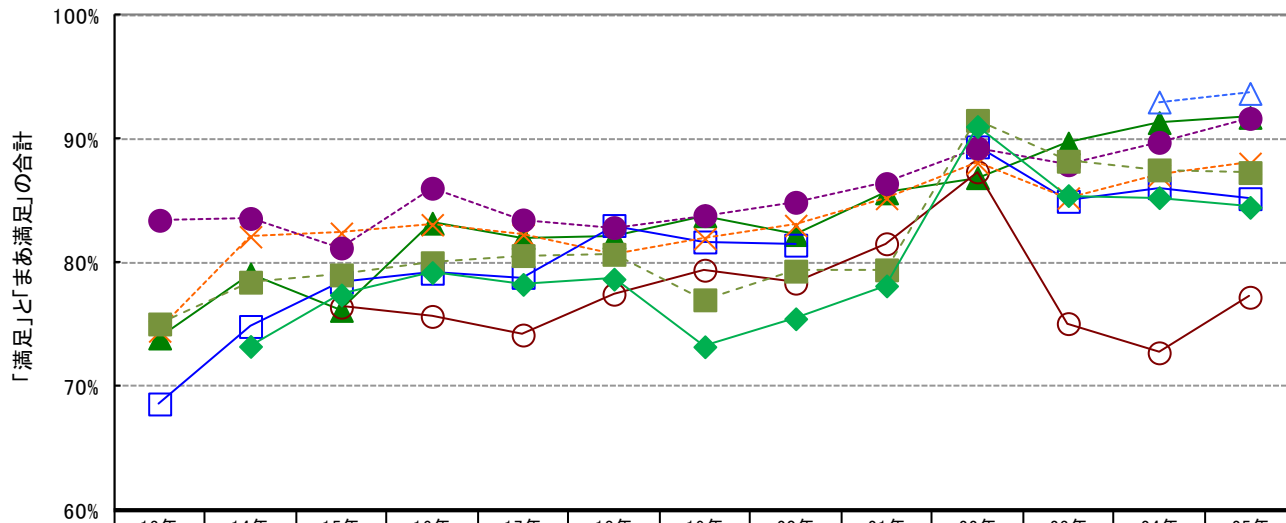
- 「2年次生」の授業で満足度が最も高かったのは「データサイエンス基礎Ⅱ」の93.7%であり、「数理基礎科目」が91.8%、「専門科目」が91.7%で続いていた。
- 一方、満足度が最も低かったのは「技術者と持続可能社会」の77.2%で、他と比べても低さが目立っており、「満足」も23.7%と少なかった。



■授業の満足度の年度別比較 2年次生

- 「技術者と持続可能社会」は22年まで「技術者と社会」であったが、内容的に同一と考えて継続的に比較を行っている。
- まず、前回から加わった「データサイエンス基礎Ⅱ」は前回は上回っていた。
- 上記以外の7科目のうち3科目は前回は上回っており、特に「技術者と持続可能社会」は4.5ポイントと大きく向上していた。ただし、この科目は上下動が大きい点も特徴的と言える。その他では「数理基礎科目」「人文社会科学・外国語」「専門科目」が過去最高となっていた。
- 一方、前回は下回っていたのは「英語科目」「プロジェクトデザインⅡ」「プロジェクトデザイン実践」の3科目であったが、いずれもわずかな低下であった。

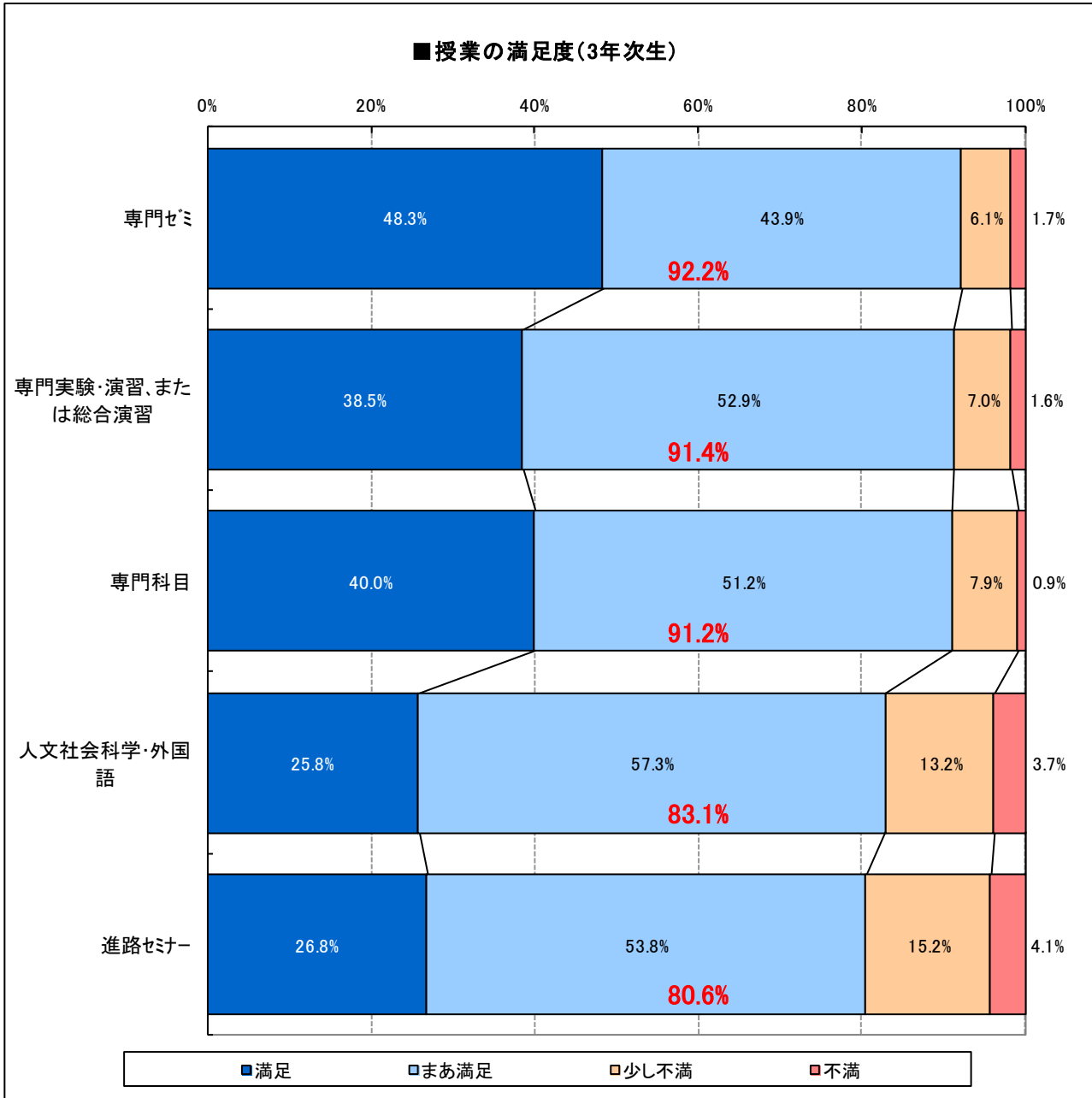
■対面授業の満足度 年度別比較(2年次生)



	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
▲ 数理基礎科目	73.9%	79.1%	76.2%	83.2%	82.1%	82.1%	83.8%	82.3%	85.7%	86.9%	89.7%	91.4%	91.8%
□ 英語科目	68.6%	74.9%	78.5%	79.2%	78.8%	83.0%	81.7%	81.4%		89.4%	85.0%	86.1%	85.2%
○ 技術者と持続可能社会			76.4%	75.7%	74.2%	77.5%	79.4%	78.4%	81.6%	87.4%	75.1%	72.7%	77.2%
× 人文社会科学・外国語	74.5%	82.1%	82.4%	83.1%	82.3%	80.8%	82.0%	83.0%	85.2%	88.1%	85.3%	87.1%	88.1%
● 専門科目	83.5%	83.6%	81.2%	86.1%	83.5%	82.9%	83.8%	84.9%	86.4%	89.3%	88.0%	89.8%	91.7%
△ データサイエンス基礎Ⅱ												93.0%	93.7%
■ プロジェクトデザインⅡ	75.1%	78.5%	79.0%	80.0%	80.6%	80.7%	77.0%	79.3%	79.4%	91.5%	88.2%	87.5%	87.3%
◆ プロジェクトデザイン実践		73.3%	77.4%	79.2%	78.3%	78.7%	73.2%	75.5%	78.1%	91.1%	85.5%	85.3%	84.5%

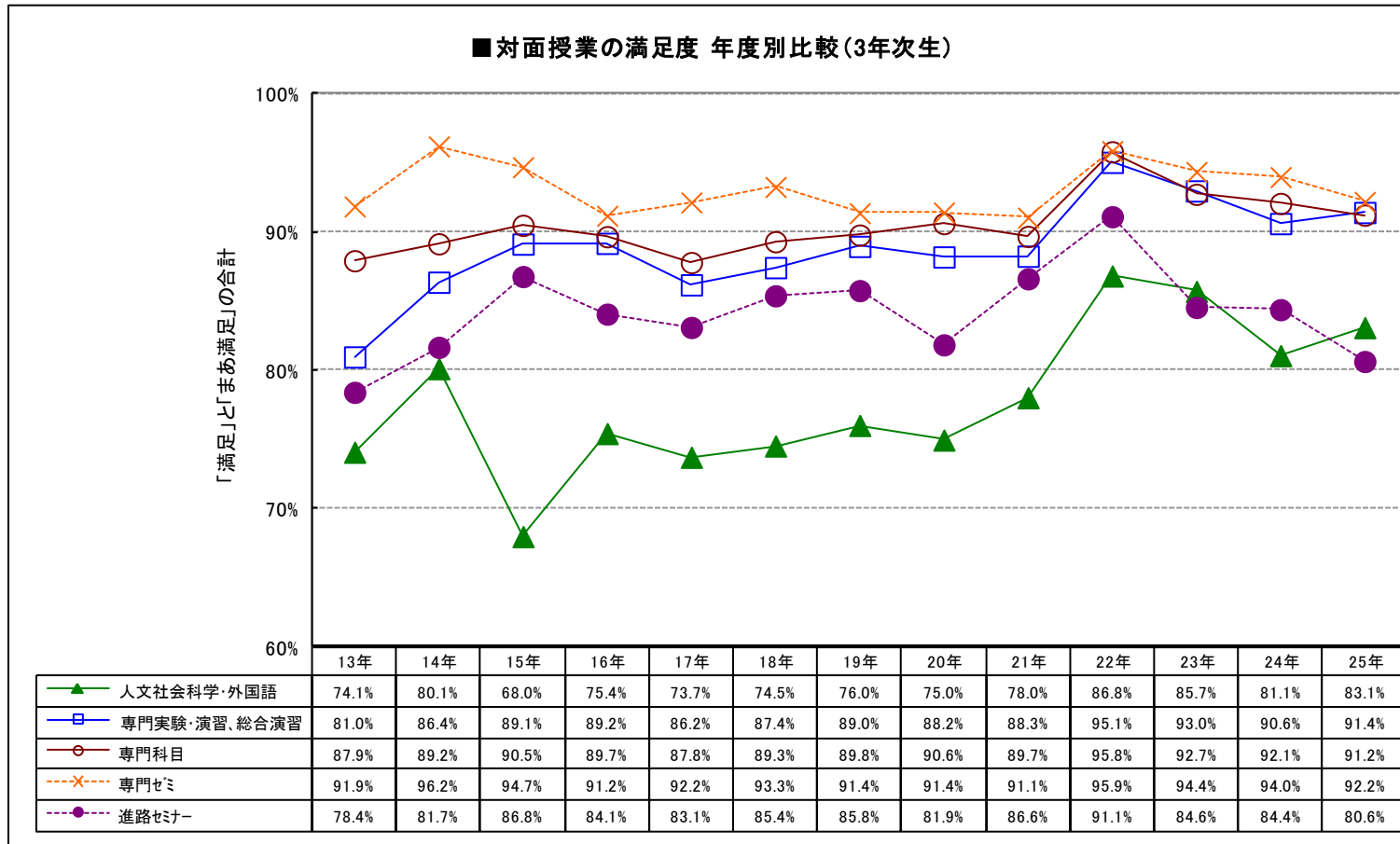
■授業の満足度 3年次生

- 「3年次生」の授業で満足度が最も高かったのは「専門ゼミ」の92.2%であり、「専門実験・演習、または総合演習」が91.4%、「専門科目」が91.2%が続いていた。
- 一方、満足度が最も低かったのは「進路セミナー」の80.6%であった。



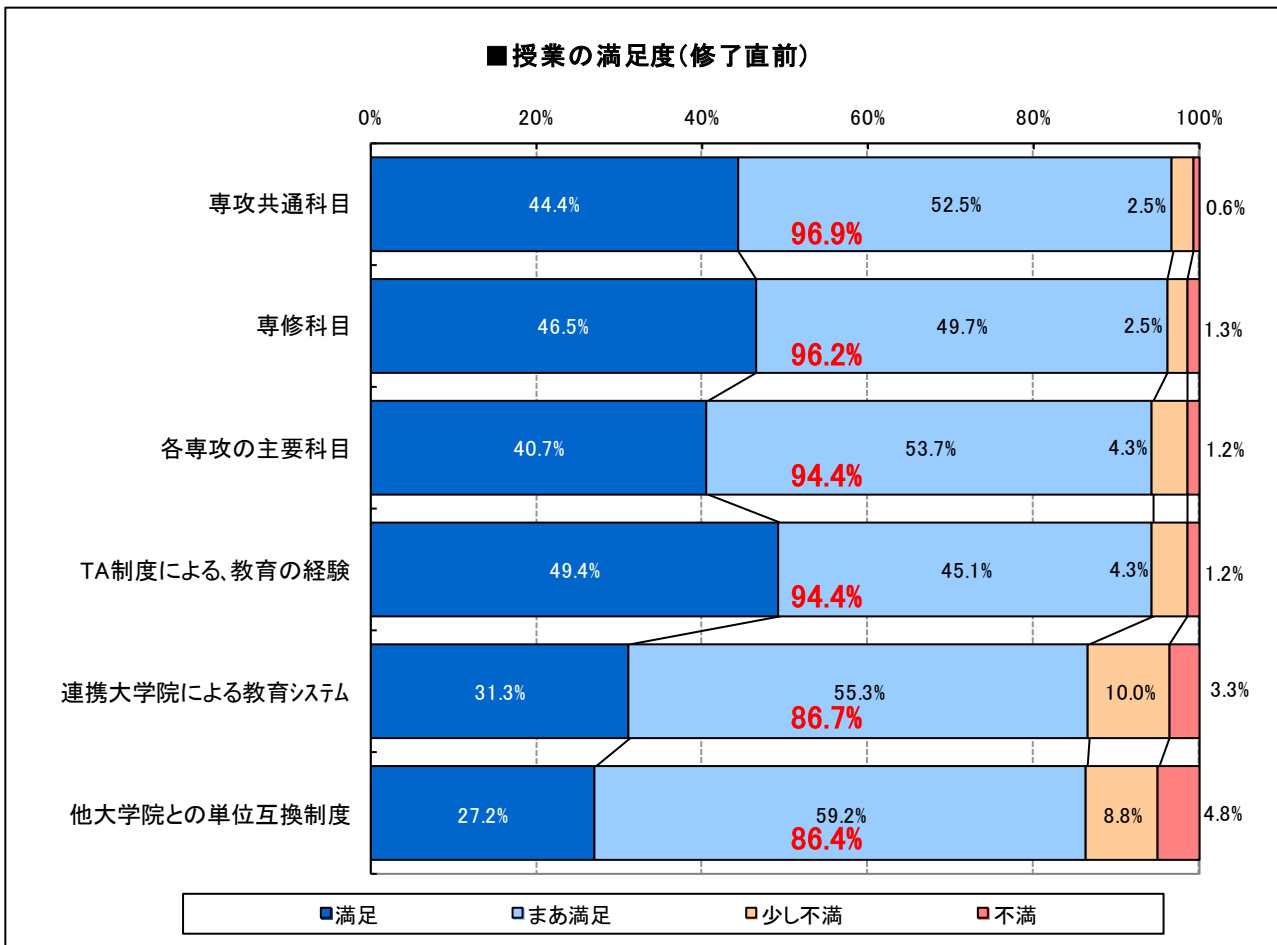
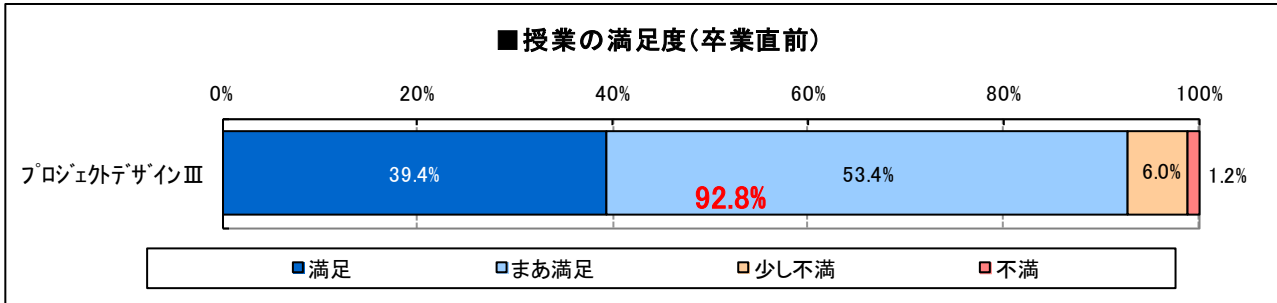
■授業の満足度の年度別比較 3年次生

- 「3年次生」の授業の満足度は、22年には多くが過去最高の満足度となっていたが、その後はゆるやかに低下が続いており、今回も低下するものが多く見られた。
- 前回から向上していたのは「人文社会科学・外国語」と「専門実験・演習、総合演習」の2科目で、「人文社会科学・外国語」は2.0ポイントの向上となっていた。そして、それ以外の3科目はすべて前回は下回っており、「進路セミナー」は3.8ポイントと大きく低下していた。



■授業の満足度 卒業・修了直前

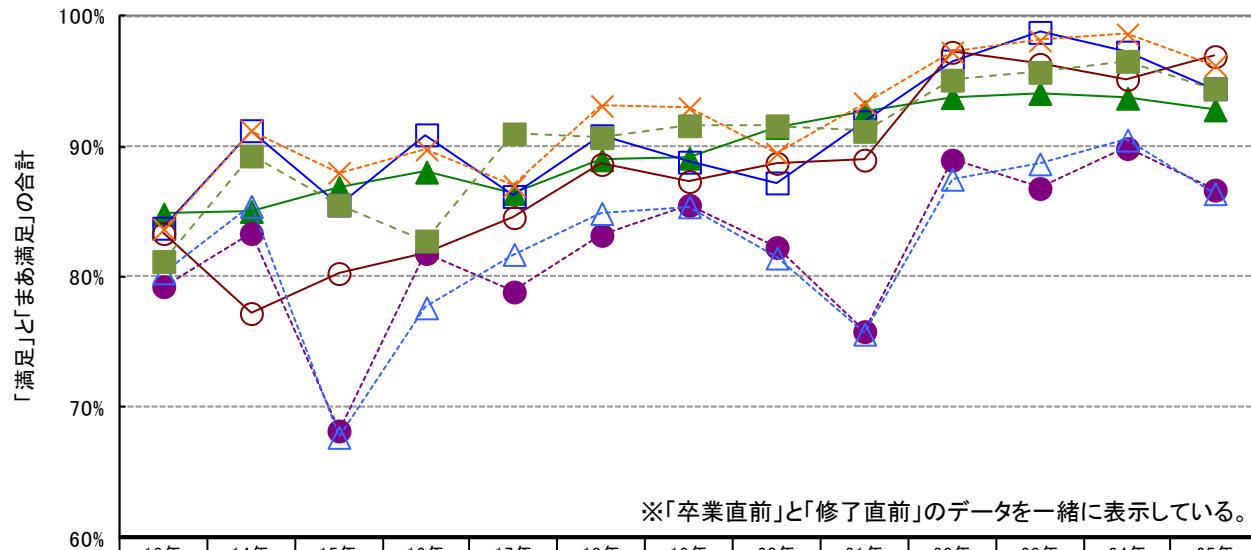
- 「卒業直前」の授業は「プロジェクトデザインⅢ」の1科目だけであるが、満足度は92.8%と高かった。
- 「修了直前」の授業で満足度が最も高かったのは「専攻共通科目」の96.9%であり、「専修科目」が96.2%、「各専攻の主要科目」と「TA制度による、教育の経験」が94.4%で続いていた。
- 一方、満足度が最も低かったのは「他大学院との単位互換制度」の86.4%であった。



■授業の満足度の年度別比較 卒業・修了直前

- 「卒業直前」の1科目と「修了直前」の6科目の年度別比較はひとつのグラフでまとめて見ている。
- 「卒業直前」の「プロジェクトデザインⅢ」は23年が過去最高であったが、その後わずかづつではあるが2年連続で低下が続いていた。
- 「修了直前」の6科目では「専攻共通科目」が前回は上回っていたが、他の5科目はすべて前回から低下しており、「他大学院との単位互換制度」では4.1ポイント、「連携大学院による教育システム」は3.2ポイントと大きく低下していた。

■対面授業の満足度 年度別比較(卒業・修了直前)



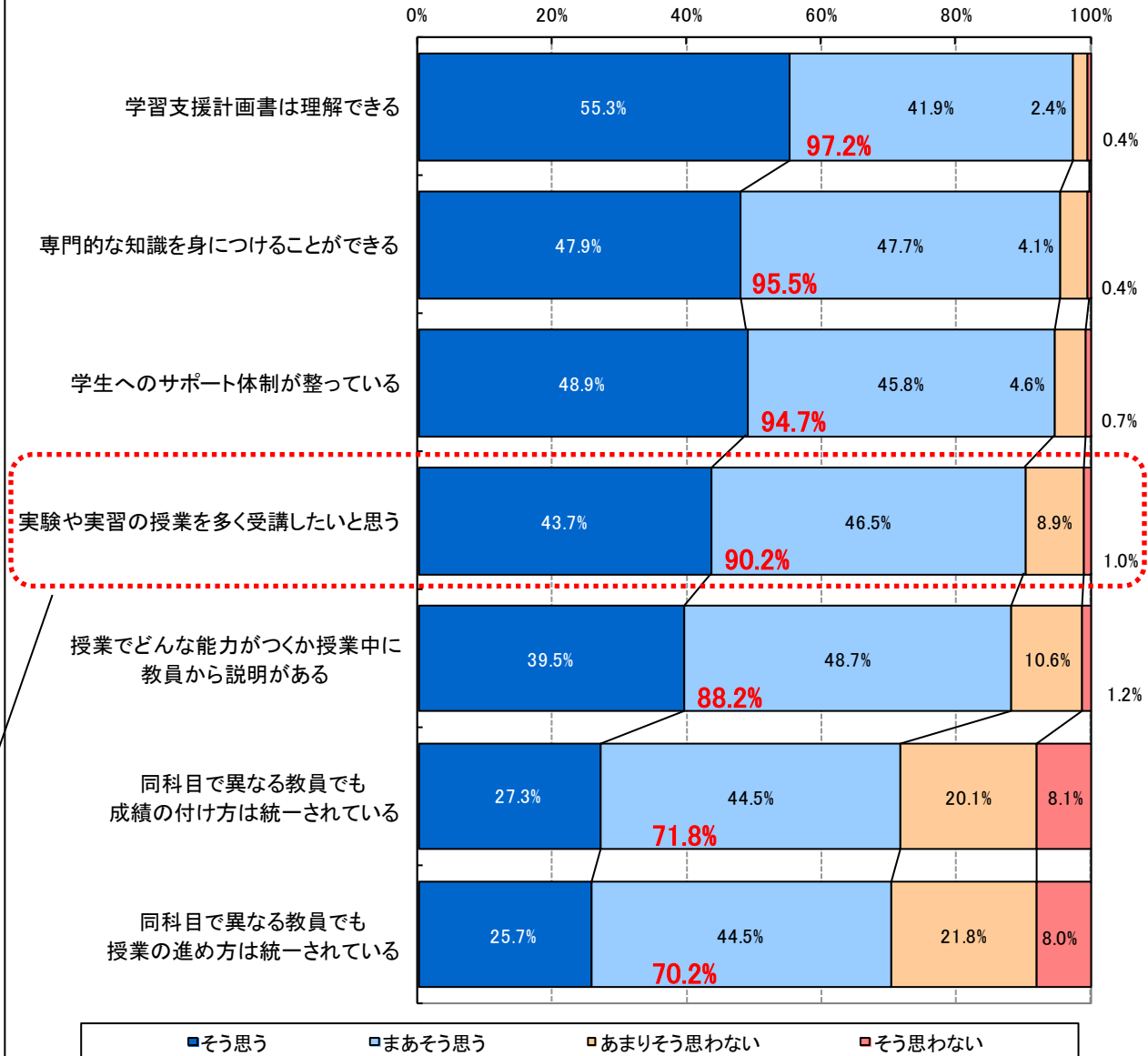
	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
▲ プロジェクトデザインⅢ	84.8%	85.0%	86.9%	88.0%	86.4%	89.0%	89.1%	91.5%	92.7%	93.8%	94.1%	93.7%	92.8%
□ 各専攻の主要科目	83.7%	91.2%	85.5%	90.9%	86.2%	90.8%	88.8%	87.2%	91.9%	96.6%	98.8%	97.3%	94.4%
○ 専攻共通科目	83.3%	77.2%	80.3%	81.8%	84.6%	88.6%	87.3%	88.7%	89.0%	97.2%	96.3%	95.2%	96.9%
× 専修科目	83.7%	91.2%	88.0%	89.8%	87.0%	93.1%	93.0%	89.5%	93.3%	97.2%	98.1%	98.6%	96.2%
● 連携大学院による教育システム	79.3%	83.3%	68.2%	81.8%	78.8%	83.2%	85.5%	82.3%	75.8%	89.0%	86.8%	89.9%	86.7%
△ 他大学院との単位互換制度	80.3%	85.4%	67.7%	77.6%	81.7%	84.9%	85.4%	81.5%	75.6%	87.5%	88.7%	90.5%	86.4%
■ TA制度による、教育の経験	81.2%	89.3%	85.5%	82.8%	91.0%	90.7%	91.6%	91.6%	91.2%	95.1%	95.7%	96.6%	94.4%

■授業の仕組み評価

- 授業の仕組みの評価として、現状の評価を聞く6つの質問と、要望を聞く1つの質問をしている。
- 現状の評価を聞く質問で肯定的な意見が最も多かったのは「学習支援計画書は理解できる」の97.2%で、非常に高い評価であった。次いで、「専門的な知識を身につけることができる」が95.5%、「学生へのサポート体制が整っている」が94.7%で続いていた。
- 一方、最も評価が低かったのは「同科目で異なる教員でも授業の進め方は統一されている」の70.2%であり、「同科目で異なる教員でも成績の付け方は統一されている」の71.8%とともに低さが目立っており、「同科目で異なる教員の対応」に対する不満が見られた。
- 要望を聞く質問は「実験や実習の授業を多く受講したいと思うか？」であるが、90.2%が肯定的な意見であり、強い要望が感じられた。

要望を聞く質問

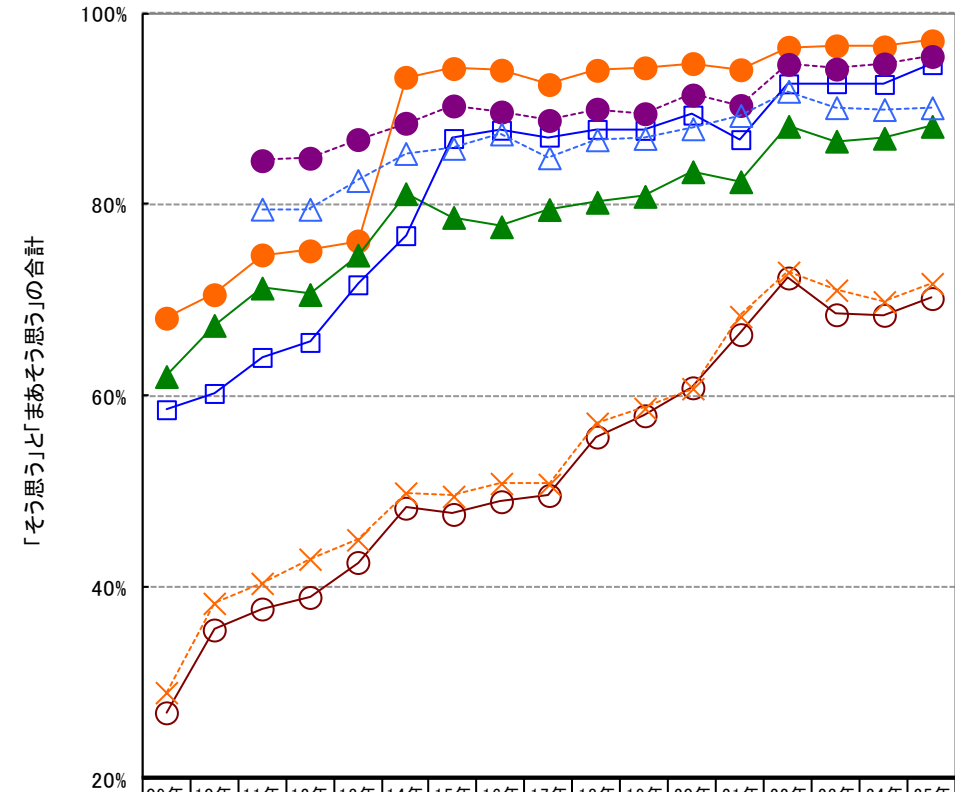
■授業の仕組み評価(在学生)



■授業の仕組み評価 年度別比較

- 授業の仕組みの評価の年度別比較を見ると、22年まではほとんどの項目でゆるやかな右肩上がりとなっていたが、それ以降は横ばいが続いており、変化も小さかった。
- 全体としては横ばい傾向ではあるが、今回はすべての項目で前回を上回っていた。そして、「学習支援計画書は理解できる」「授業でどんな能力がつくか授業中に教員から説明がある」「学生へのサポート体制が整っている」「専門的な知識を身につけることができる」の4項目が過去最高となっていた。
- 「同科目で異教員でも授業方法は統一されている」と「同科目で異教員でも成績評価は統一されている」の2項目は、評価は低いものの2年ほど続いた低下傾向が止まっており、いずれも前回を上回っていた。

■授業の仕組み評価 年度別比較(在学生)



	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
● 学習支援計画書は理解できる	68.2%	70.6%	74.8%	75.2%	76.2%	93.3%	94.3%	94.1%	92.6%	94.1%	94.3%	94.8%	94.1%	96.5%	96.6%	96.5%	97.2%
▲ 授業でどんな能力がつくか授業中に教員から説明がある	62.1%	67.4%	71.3%	70.6%	74.8%	81.2%	78.7%	77.7%	79.5%	80.3%	80.9%	83.5%	82.4%	88.2%	86.7%	87.0%	88.2%
■ 学生へのサポート体制が整っている	58.6%	60.3%	64.0%	65.6%	71.6%	76.8%	86.9%	87.8%	87.1%	87.9%	87.8%	89.4%	86.8%	92.7%	92.7%	92.6%	94.7%
○ 同科目で異教員でも授業方法は統一されている	26.9%	35.5%	37.7%	38.9%	42.6%	48.3%	47.6%	48.9%	49.6%	55.7%	57.9%	60.9%	66.4%	72.4%	68.5%	68.5%	70.2%
× 同科目で異教員でも成績評価は統一されている	29.0%	38.3%	40.4%	42.9%	45.0%	49.9%	49.5%	50.9%	50.8%	57.2%	58.7%	60.8%	68.3%	73.0%	71.1%	69.9%	71.8%
● 専門的な知識を身につけることができる			84.6%	84.9%	86.8%	88.5%	90.4%	89.7%	88.8%	90.0%	89.5%	91.5%	90.4%	94.7%	94.2%	94.8%	95.5%
▲ 実験や実習の授業を多く受講したいと思う			79.6%	79.5%	82.6%	85.4%	85.9%	87.4%	84.9%	86.8%	87.0%	88.0%	89.4%	91.9%	90.2%	90.0%	90.2%

<3-3> 授業、学習支援のまとめ

「1年次生」では「基礎プロジェクト(ICT入門など)」「生涯スポーツ」「数理基礎(AI基礎など)」の満足度が高く、7科目が過去最高となっていた。

- 「1年次生」の授業で満足度が最も高かったのは「基礎プロジェクト(ICT入門など)」の96.7%であり、「生涯スポーツ」が95.5%、「数理基礎(AI基礎など)」が95.4%で続いていた。一方、最も低かったのは「基礎プロジェクト(プロジェクトデザイン)」の91.1%であった。
- 今回は10科目のうち8科目が前回は上回っており、7科目は過去最高となっていた。前回から低下していたのは「基礎プロジェクト(ICT入門など)」「専門科目」の2科目であった。

「2年次生」では「データサイエンス基礎Ⅱ」「数理基礎科目」などの満足度が高く、以前からの科目では「数理基礎科目」「人文社会科学・外国語」「専門科目」が過去最高であった。

- 「2年次生」の授業で満足度が最も高かったのは「データサイエンス基礎Ⅱ」の93.7%であり、「数理基礎科目」が91.8%、「専門科目」が91.7%で続いていた。一方、満足度が最も低かったのは「技術者と持続可能社会」の77.2%で、他と比べても低さが目立っており、「満足」も23.7%と少なかった。
- 前回から加わった「データサイエンス基礎Ⅱ」は前回は上回っていた。その他、以前からの科目では、7科目のうち3科目が前回は上回り、「数理基礎科目」「人文社会科学・外国語」「専門科目」は過去最高となっていた。

「3年次生」では「専門ゼミ」「専門実験・演習、または総合演習」などの満足度が高かったが、全体としては22年度をピークとして低下傾向が続いていた。

- 「3年次生」の授業で満足度が最も高かったのは「専門ゼミ」の92.2%であり、「専門実験・演習、または総合演習」が91.4%、「専門科目」が91.2%で続いていた。一方、最も低かったのは「進路セミナー」の80.6%であった。
- 22年には多くが過去最高の満足度となっていたが、その後はゆるやかに低下が続いており、前回は上回っていたのは「人文社会科学・外国語」と「専門実験・演習、総合演習」の2科目だけであった。

「卒業直前」の「プロジェクトデザインⅢ」の満足度は2年連続で低下していた。「修了直前」では「専攻共通科目」「専修科目」の満足度が高かったが、6科目中の5科目が前回は下回っていた。

- 「卒業直前」の「プロジェクトデザインⅢ」の満足度は92.8%であったが、2年連続で低下が続いていた。
- 「修了直前」では「専攻共通科目」「専修科目」の満足度が高く、「他大学院との単位互換制度」が低かった。そして、「専攻共通科目」は前回は上回ったものの、他の5科目はすべて前回から低下していた。

授業の仕組みの評価は「学習支援計画書は理解できる」「専門的な知識を身につけることができる」などが高かった。全体的には横ばいで、「同科目で異なる教員の対応」の評価が低かった。

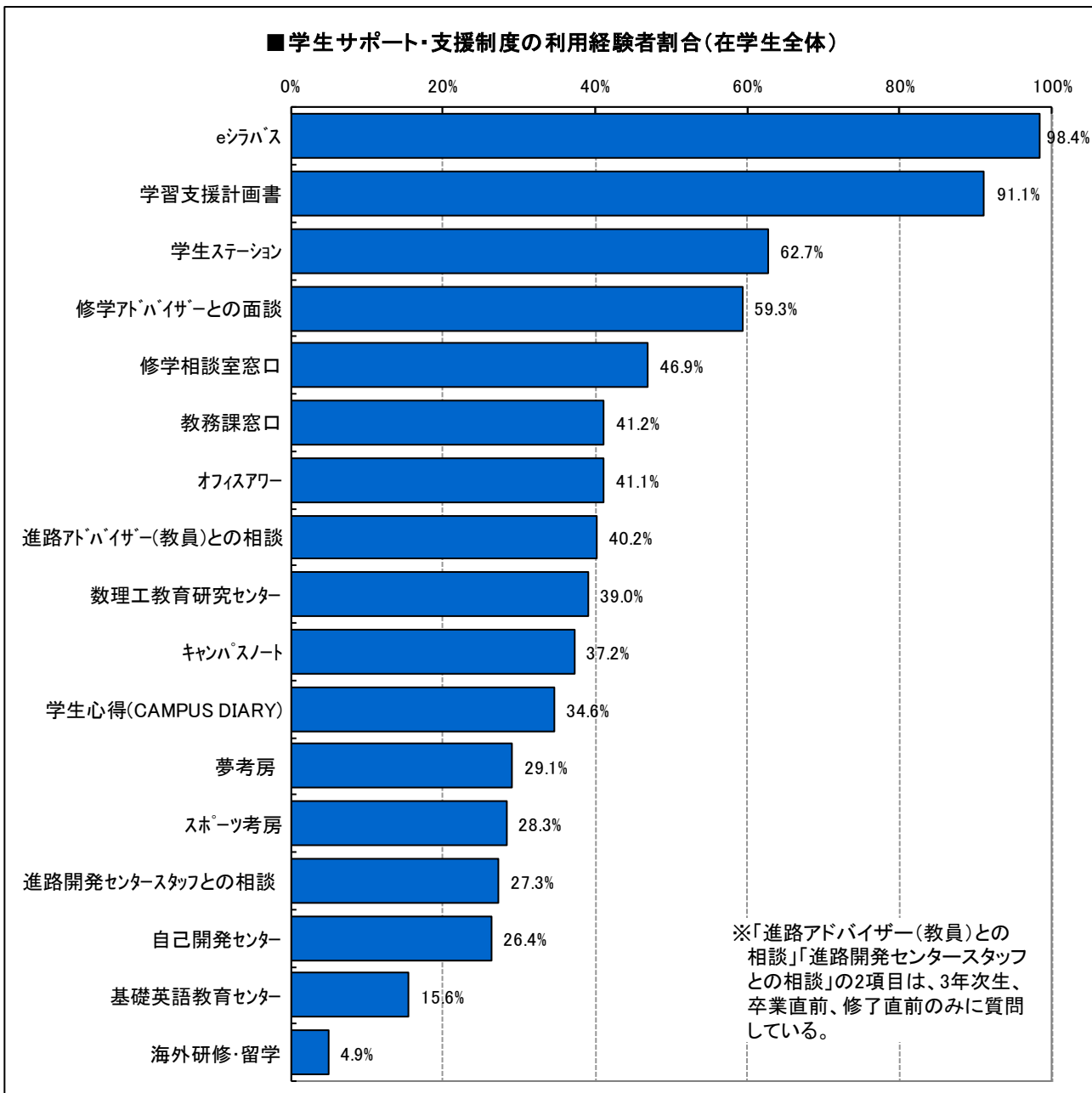
- 授業の仕組みでは「学習支援計画書は理解できる」「専門的な知識を身につけることができる」「学生へのサポート体制が整っている」の評価が高かった。そして、年度別に見ると横ばいとなるものが多かった。
- 一方、「同科目で異なる教員でも授業の進め方は統一されている」「同科目で異なる教員でも成績の付け方は統一されている」の評価が低かった。
- 要望を聞く質問の「実験や実習の授業を多く受講したいと思うか？」では90.2%が肯定的な意見であり、強い要望が感じられた。

<4> 学生生活に関して

<4-1>	学生サポート・支援制度の利用状況	36
<4-2>	学生サポート・支援制度の評価	38
<4-3>	学生サポート・支援制度の利用者割合と評価	40
<4-4>	教職員と大学の改善取り組み状況の評価	41
<4-5>	勉強、課外活動に費やした時間	43
<4-6>	学生生活のまとめ	45

■ 学生サポート・支援制度の利用経験者割合

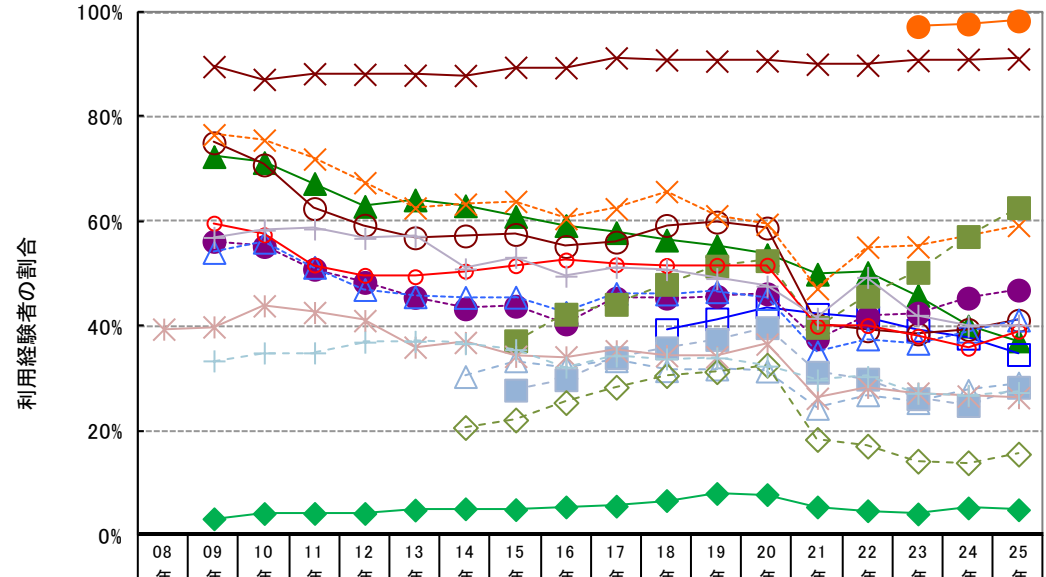
- 学生サポート・支援制度で利用経験者の割合が最も高かったのは、「eシラバス」の98.4%であり、「学習支援計画書」の91.1%とともに他と比べて高さが目立っていた。
- 上記に次いで、「学生ステーション」が62.7%、「修学アドバイザーとの面談」が59.3%、「修学相談窓口」が46.9%で続いていた。
- 一方、利用経験者の割合が最も低かったのは「海外研修・留学」の4.9%であり、低さが目立っていた。



■学生サポート・支援制度の利用経験者割合 年度別比較

- 学生サポート・支援制度の利用経験者割合の年度別比較を見ると、コロナ禍の影響で21年には全体的に低下しており、その後は向上するもの、横ばいとなるもの、低下が続くものなどに分かれていた。ただし、「学習支援計画書」の利用率は調査開始から常にほぼ9割であり、23年から加わった「eシラバス」とともに高い利用率が続いていた。
- 今回は多くが前回を上回っており、「学生ステーション」は過去最高の利用率となっている。
- 一方、前回を下回っていたのは「キャンパスノート」「学生心得(CAMPUS DIARY)」「海外研修・留学」「自己開発センター」であり、「キャンパスノート」と「学生心得(CAMPUS DIARY)」は過去最低の利用率となっていた。

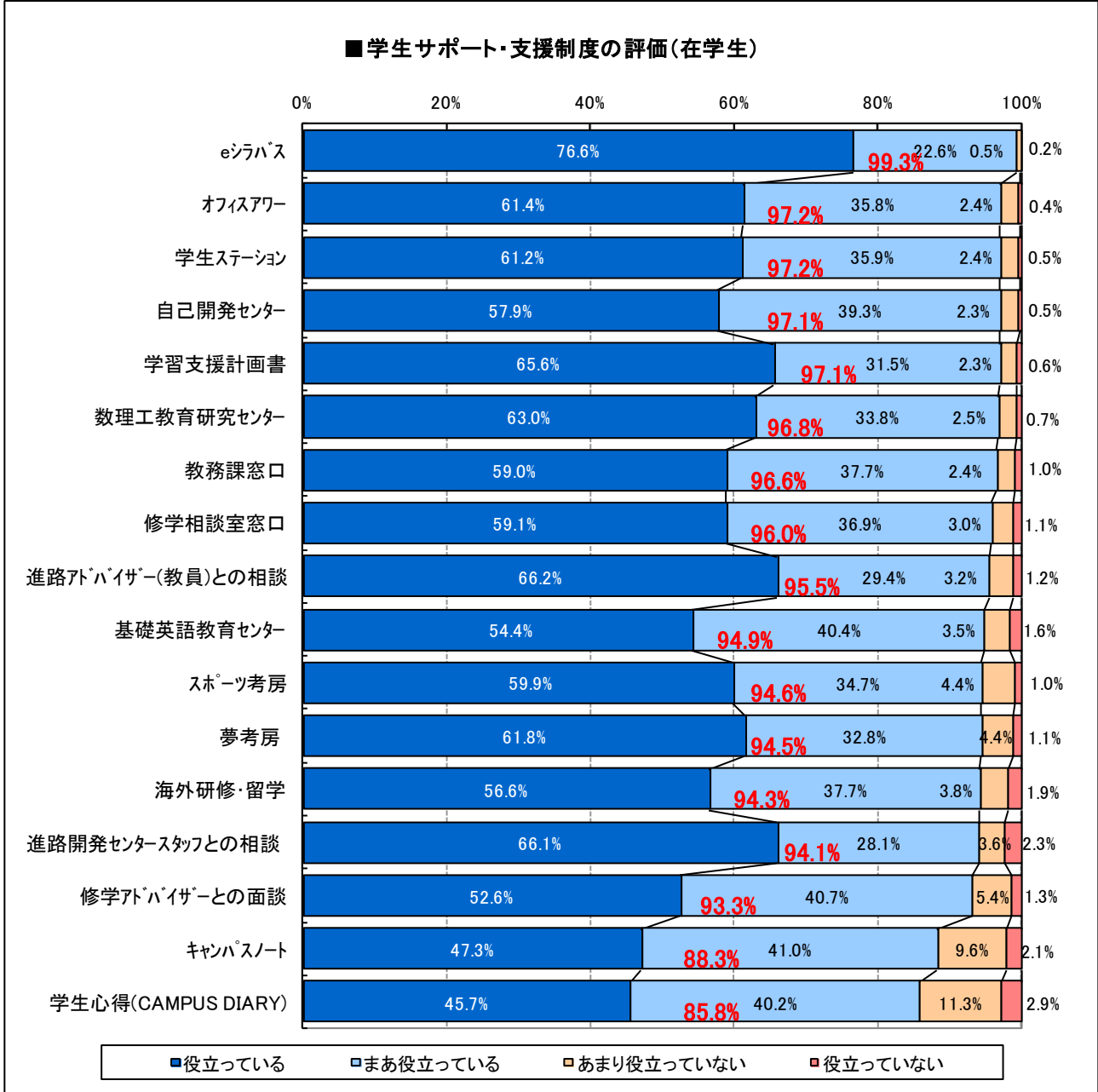
■学生サポート・支援制度の利用経験者割合 年度別比較(在学生)



	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
—×— 学習支援計画書		89.7%	87.2%	88.3%	88.2%	88.0%	88.0%	89.5%	89.4%	91.3%	90.9%	90.7%	90.7%	90.1%	89.9%	90.8%	91.0%	91.1%
—○— eシラバス																97.3%	97.8%	98.4%
—▲— キャンパスノート		72.4%	71.3%	67.3%	62.9%	64.2%	63.0%	61.0%	59.3%	57.9%	56.5%	55.4%	53.7%	50.0%	50.3%	45.9%	40.0%	37.2%
—□— 学生心得(CAMPUS DIARY)												39.4%	41.4%	43.7%	42.3%	41.8%	39.3%	37.7%
—○— オフィスアワー		75.1%	70.9%	62.5%	59.3%	56.9%	57.3%	57.6%	55.3%	56.1%	59.3%	59.9%	58.8%	40.3%	39.1%	38.5%	39.4%	41.1%
—×— 修学アドバイザーとの面談		76.6%	75.6%	72.0%	67.5%	62.6%	63.4%	63.9%	60.6%	62.5%	65.8%	61.1%	59.5%	47.2%	55.1%	55.2%	57.2%	59.3%
—●— 修学相談室窓口		56.2%	55.3%	50.9%	48.4%	45.5%	43.3%	43.8%	40.5%	45.4%	45.4%	45.7%	46.2%	37.6%	41.8%	42.5%	45.4%	46.9%
—△— 教務課窓口		54.1%	56.1%	51.3%	47.0%	45.6%	45.5%	45.6%	42.6%	46.3%	46.2%	46.6%	45.3%	35.1%	37.6%	36.7%	39.1%	41.2%
—■— 学生ステーション								37.2%	42.3%	44.2%	48.0%	51.5%	52.5%	39.8%	45.7%	50.3%	57.2%	62.7%
—◆— 海外研修・留学		3.2%	4.2%	4.2%	4.2%	4.9%	5.1%	4.9%	5.5%	5.6%	6.7%	8.0%	7.8%	5.4%	4.7%	4.1%	5.3%	4.9%
—○— 数理工教育研究センター		59.7%	57.5%	51.7%	49.7%	49.5%	50.5%	51.6%	52.7%	51.8%	51.6%	51.7%	51.7%	40.0%	40.1%	38.1%	35.8%	39.0%
—△— 夢考房							30.4%	33.4%	32.2%	33.4%	31.5%	31.8%	31.4%	24.3%	26.9%	25.4%	27.7%	29.1%
—■— スポーツ考房								27.8%	29.8%	34.0%	35.9%	37.5%	39.7%	31.2%	29.9%	26.2%	24.9%	28.3%
—×— 自己開発センター	39.4%	39.9%	43.9%	42.6%	41.1%	36.0%	36.9%	34.2%	34.2%	35.3%	34.4%	34.2%	36.6%	26.2%	28.3%	27.2%	26.7%	26.4%
—◇— 基礎英語教育センター							20.6%	22.1%	25.4%	28.3%	30.6%	31.3%	32.5%	18.4%	17.1%	14.2%	13.9%	15.6%
—+— 進路アドバイザー(教員)との相談		57.0%	58.4%	58.6%	56.8%	57.2%	51.0%	53.2%	49.6%	51.3%	50.8%	49.1%	47.7%	41.5%	49.4%	42.1%	40.0%	40.2%
—+— 進路開発センタースタッフとの相談		33.4%	34.9%	34.9%	37.0%	37.1%	36.7%	35.5%	32.2%	34.3%	33.8%	34.0%	32.4%	29.7%	30.4%	27.2%	26.8%	27.3%

■ 学生サポート・支援制度の評価

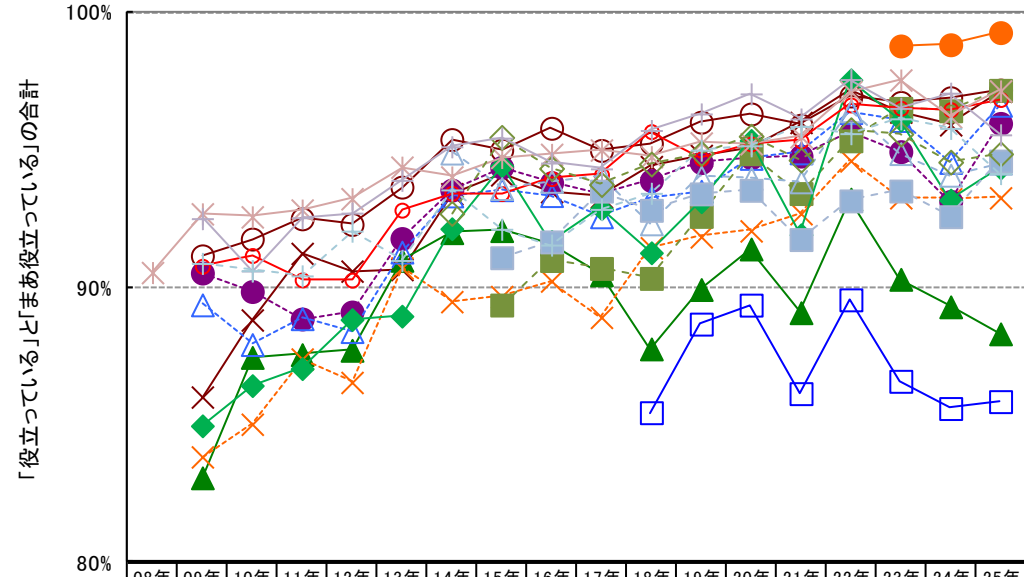
- 「学生サポート・支援制度」を「利用している」と答えた学生に、各々のサポート・支援制度の評価を聞いたところ、肯定的な意見はすべての項目で85%以上で、「役立っている」だけを見ても45%を超えており、全体的に高い評価となっていた。
- 最も評価が高かったのは「eシラバス」の99.3%であり、「役立っている」が76.6%であった。
- 上記に次いで、「オフィスアワー」と「学生ステーション」が97.2%、「自己開発センター」と「学習支援計画書」が97.1%となっていた。
- 一方、最も評価が低かったのは「学生心得(CAMPUS DIARY)」の85.8%であり、「キャンパスノート」が88.3%となっていたが、これらも決して低い評価ではなかった。



■ 学生サポート・支援制度の評価 年度別比較

- 学生サポート・支援制度の評価を年度別に比較したところ、今回は多くの項目が前年を上回っており、「eシラバス」「オフィスアワー」「修学相談室窓口」「教務課窓口」「学生ステーション」「数理工教育研究センター」「スポーツ考房」の7項目は過去最高の評価となっていた。
- 一方、前年を下回っていたのは「キャンパスノート」「進路アドバイザー(教員)との相談」「進路開発センタースタッフとの相談」の3項目であった。

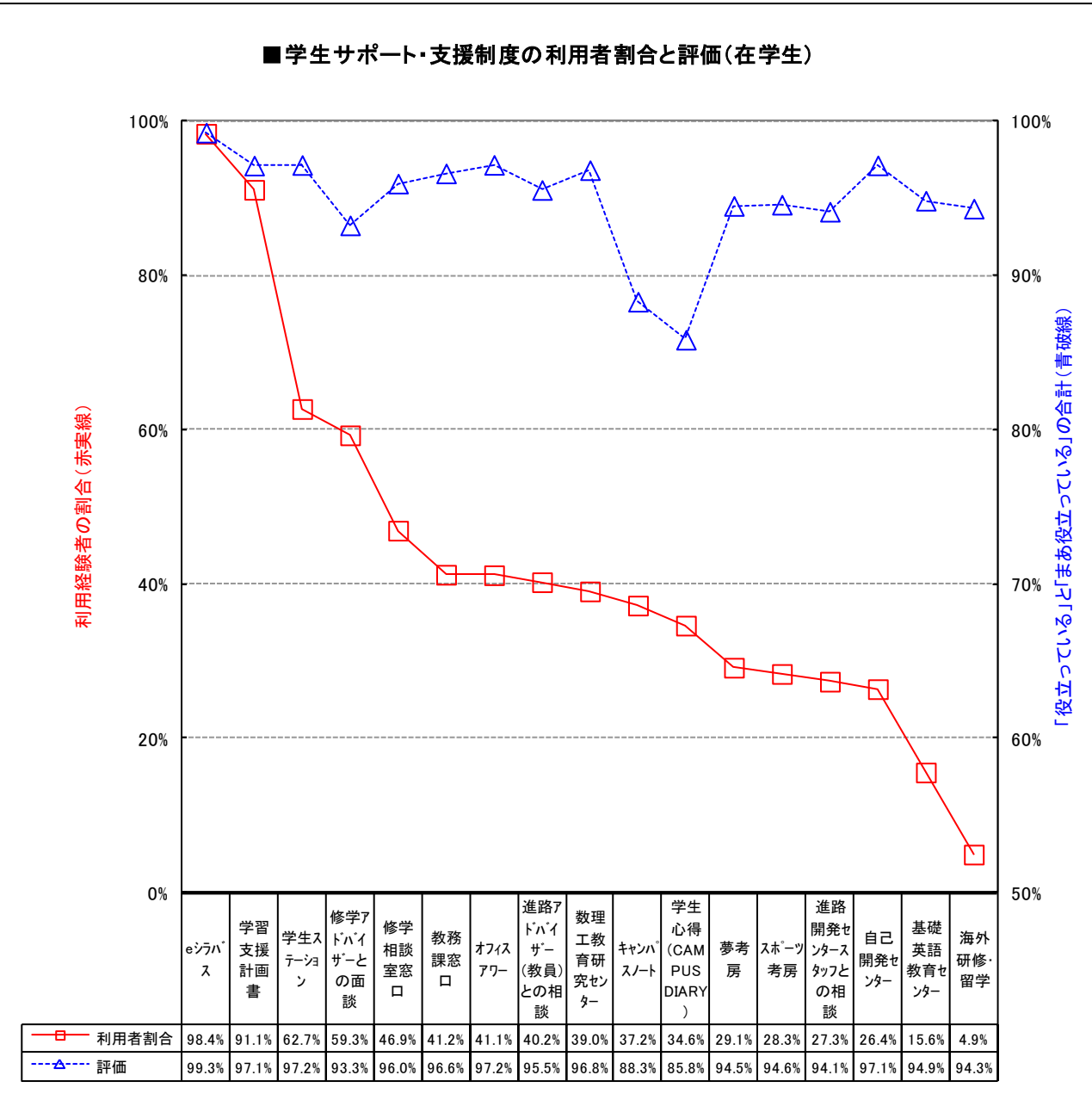
■ 学生サポート・支援制度の評価 年度別比較 (在学生)



	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
—×— 学習支援計画書		86.0%	88.8%	91.2%	90.6%	90.6%	93.4%	94.1%	93.5%	93.3%	94.4%	94.8%	95.1%	96.0%	97.2%	96.4%	95.9%	97.1%
—●— eシラバス																98.8%	98.8%	99.3%
—▲— キャンパスノート		83.1%	87.4%	87.5%	87.7%	91.0%	92.0%	92.1%	91.6%	90.5%	87.8%	89.9%	91.4%	89.1%	93.2%	90.3%	89.3%	88.3%
—□— 学生心得(CAMPUS DIARY)											85.4%	88.7%	89.3%	86.1%	89.5%	86.6%	85.6%	85.8%
—○— オフィスアワー		91.1%	91.8%	92.5%	92.3%	93.6%	95.4%	95.0%	95.8%	95.0%	95.2%	96.0%	96.3%	95.9%	97.0%	96.7%	96.9%	97.2%
—×— 修学アドバイザーとの面談		83.8%	85.0%	87.4%	86.5%	90.7%	89.5%	89.7%	90.2%	88.9%	91.4%	91.8%	92.1%	92.7%	94.6%	93.3%	93.2%	93.3%
—●— 修学相談室窓口		90.5%	89.8%	88.8%	89.1%	91.8%	93.5%	94.4%	93.8%	93.4%	93.9%	94.5%	94.7%	94.8%	95.6%	94.9%	93.1%	96.0%
—△— 教務課窓口		89.4%	87.9%	88.9%	88.4%	91.3%	93.3%	93.6%	93.3%	92.6%	93.3%	93.5%	94.7%	94.9%	96.4%	96.1%	94.5%	96.6%
—■— 学生ステーション								89.4%	91.0%	90.7%	90.3%	92.6%	94.9%	93.4%	95.3%	96.5%	96.4%	97.2%
—◆— 海外研修・留学		85.0%	86.4%	87.0%	88.8%	88.9%	92.1%	94.4%	91.7%	92.9%	91.3%	93.1%	95.3%	91.9%	97.5%	96.1%	93.2%	94.3%
—○— 数理工教育研究センター		90.8%	91.2%	90.3%	90.3%	92.8%	93.4%	93.4%	94.0%	94.1%	95.7%	94.7%	95.2%	95.3%	96.6%	96.5%	96.5%	96.8%
—△— 夢考房							94.9%	93.6%	93.9%	94.0%	92.3%	94.0%	94.0%	93.8%	96.4%	94.9%	94.1%	94.5%
—■— スポーツ考房								91.1%	91.7%	93.5%	92.8%	93.4%	93.5%	91.7%	93.1%	93.5%	92.6%	94.6%
—×— 自己開発センター	90.5%	92.7%	92.6%	92.8%	93.2%	94.4%	94.0%	94.7%	94.8%	95.0%	94.8%	95.2%	95.2%	95.5%	97.1%	97.5%	96.2%	97.1%
—◆— 基礎英語教育センター							92.7%	95.5%	94.3%	93.7%	94.5%	94.9%	95.5%	94.6%	95.7%	95.6%	94.6%	94.9%
—+— 進路アドバイザー(教員)との相談		92.5%	90.6%	92.5%	92.7%	93.9%	95.1%	95.4%	94.5%	94.3%	95.7%	96.3%	97.0%	96.1%	97.6%	96.5%	97.1%	95.5%
—+— 進路開発センタースタッフとの相談		90.9%	90.6%	90.4%	92.0%	91.0%	93.5%	92.1%	91.5%	92.8%	93.4%	95.0%	95.1%	95.9%	95.6%	96.1%	95.8%	94.1%

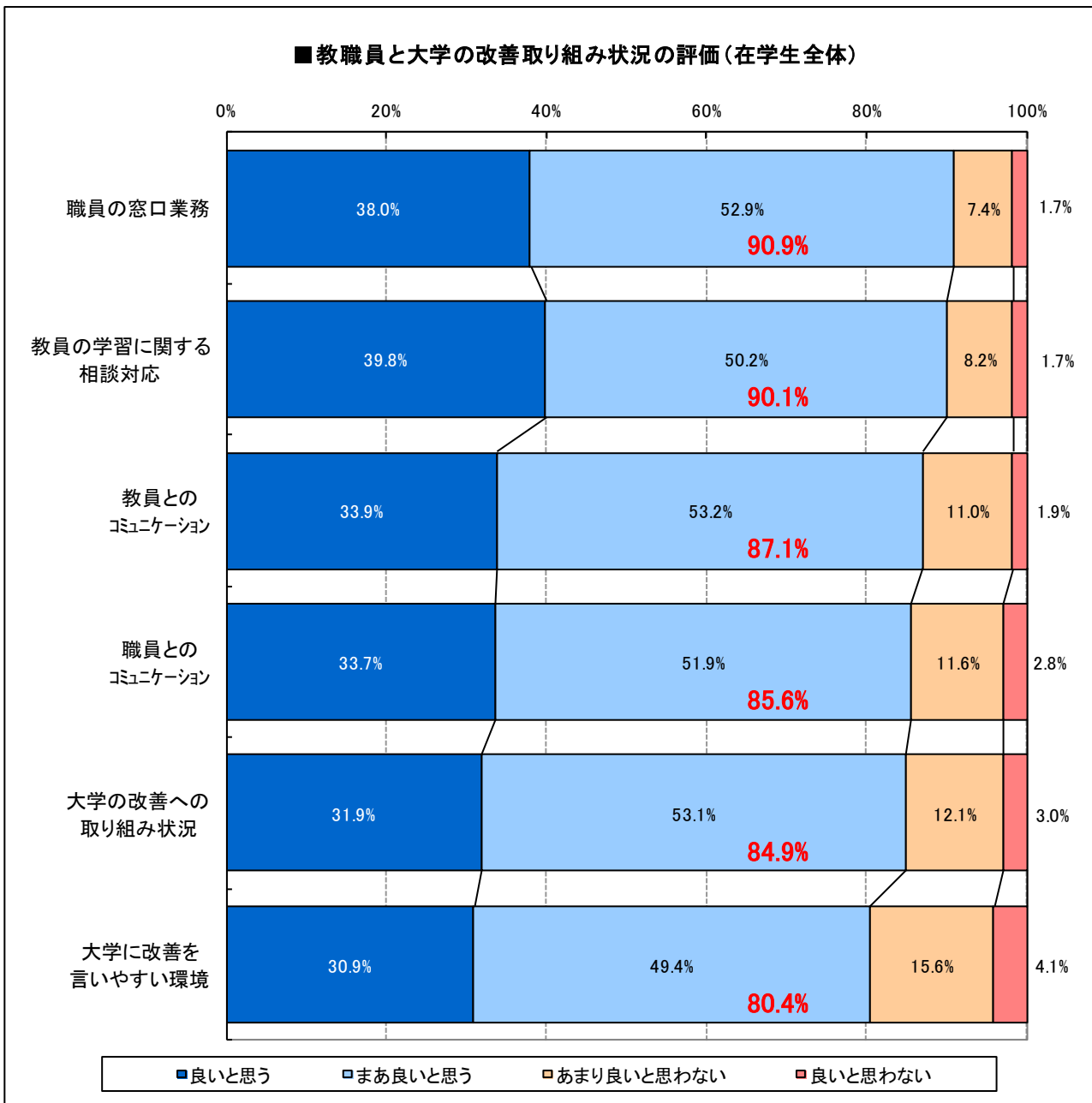
■ 学生サポート・支援制度の利用者割合と評価の比較

- 学生サポート・支援制度の利用経験者の割合と内容評価を同じグラフにまとめて、関係性を見ている。赤い実線は利用経験者の割合で、グラフの左側の数値軸に対応しており、青い破線は「役立っている」と「まあ役立っている」の合計で、右の数値軸に対応している。
- 利用経験者の割合を見ると、「eシラバス」と「学習支援計画書」が突出しており、この2項目は満足度も高かった。
- 一方、「海外研修・留学」と「基礎英語教育センター」は利用率の低さは目立っているものの、利用者からの評価は高かった。そして、「キャンパスノート」と「学生心得(CAMPUS DIARY)」の利用率は同程度であり、決して少なくはないが、評価では低さが目立っていた。



■教職員と大学の改善取り組み状況の評価

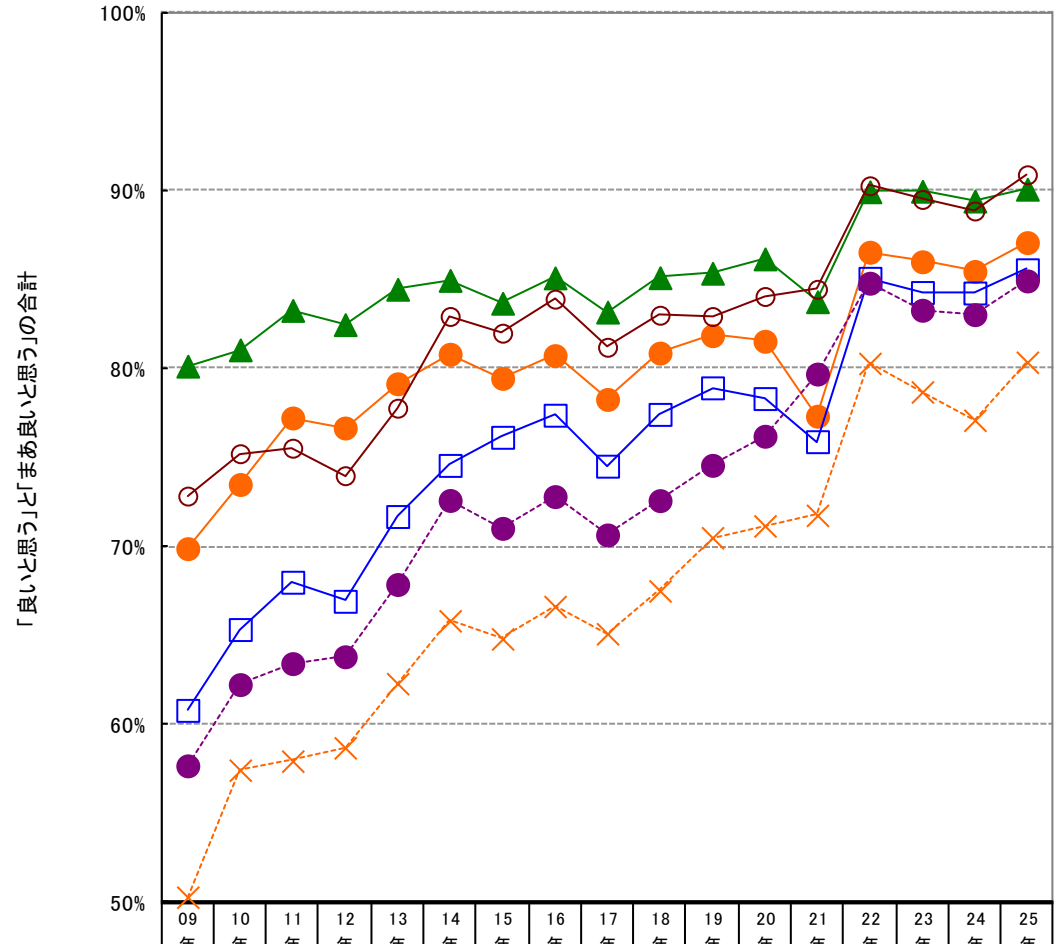
- 教職員と大学の改善取り組み状況で最も評価が高かったのは「職員の窓口業務」の90.9%であり、「教員の学習に関する相談対応」が90.1%、「教員とのコミュニケーション」が87.1%が続いていた。
- 一方、肯定的な意見が最も少なかったのは「大学に改善を言いやすい環境」の80.4%であり、「大学の改善への取り組み状況」が84.9%が続いていた。



■教職員と大学の改善取り組み状況の評価 年度別比較

- 教職員と大学の改善取り組み状況の評価を年度別に比較すると、20年から21年にかけてはコロナ禍のためか、教職員とのコミュニケーションや相談対応が大きく低下しており、21年から22年にかけては反動として全項目の評価が大きく向上してそれまでの過去最高となっていた。
- 22年以降は全体的にゆるやかな低下が続いていたが、今回はすべての項目が前年を上回って、いずれも過去最高の評価となっていた。特に「大学に改善を言いやすい環境」は3.3ポイントと大きく向上していた。

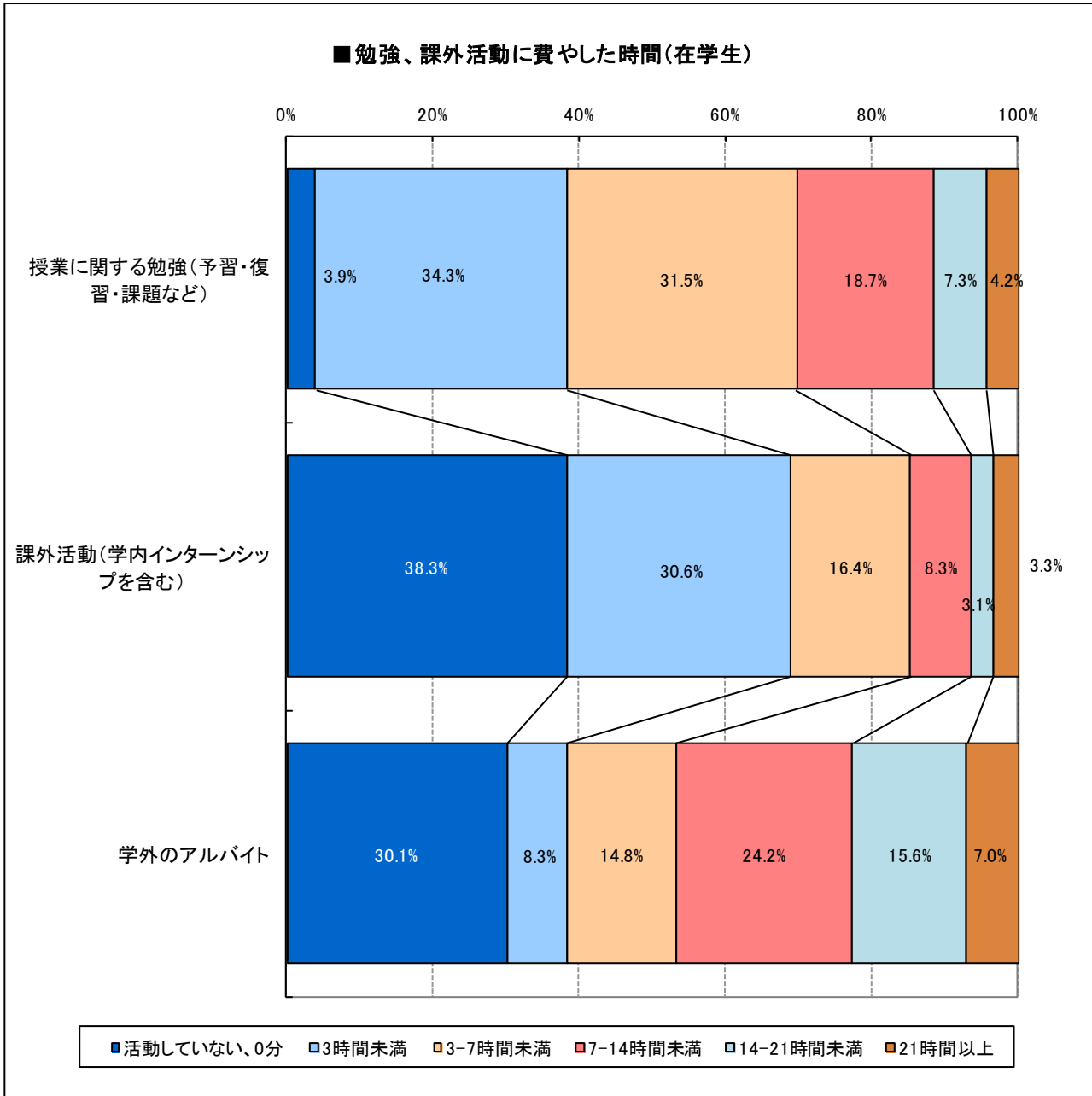
■教職員と大学の改善取り組み状況の評価 年度別比較(在学生)



● 教員とのコミュニケーション	69.9%	73.5%	77.2%	76.7%	79.2%	80.8%	79.5%	80.7%	78.3%	80.9%	81.9%	81.5%	77.3%	86.5%	86.0%	85.5%	87.1%
▲ 教員の学習に関する相談対応	80.1%	81.1%	83.3%	82.5%	84.5%	85.0%	83.7%	85.1%	83.2%	85.1%	85.4%	86.2%	83.8%	89.9%	90.0%	89.4%	90.1%
□ 職員とのコミュニケーション	60.8%	65.3%	68.0%	66.9%	71.7%	74.6%	76.1%	77.4%	74.5%	77.4%	78.9%	78.3%	75.9%	85.1%	84.3%	84.3%	85.6%
○ 職員の窓口業務	72.8%	75.2%	75.5%	74.0%	77.8%	82.9%	82.0%	83.9%	81.2%	83.0%	82.9%	84.1%	84.5%	90.3%	89.5%	88.9%	90.9%
× 大学に改善を言いやすい環境	50.3%	57.4%	57.9%	58.7%	62.3%	65.8%	64.8%	66.6%	65.1%	67.5%	70.5%	71.2%	71.8%	80.3%	78.7%	77.1%	80.4%
● 大学の改善への取り組み状況	57.7%	62.2%	63.4%	63.8%	67.9%	72.6%	71.0%	72.8%	70.7%	72.6%	74.6%	76.2%	79.7%	84.8%	83.3%	83.0%	84.9%

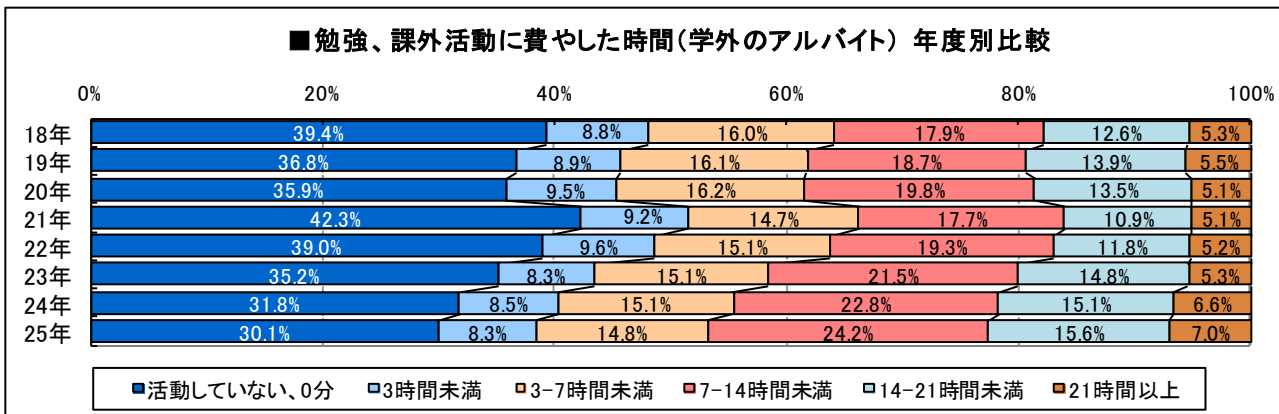
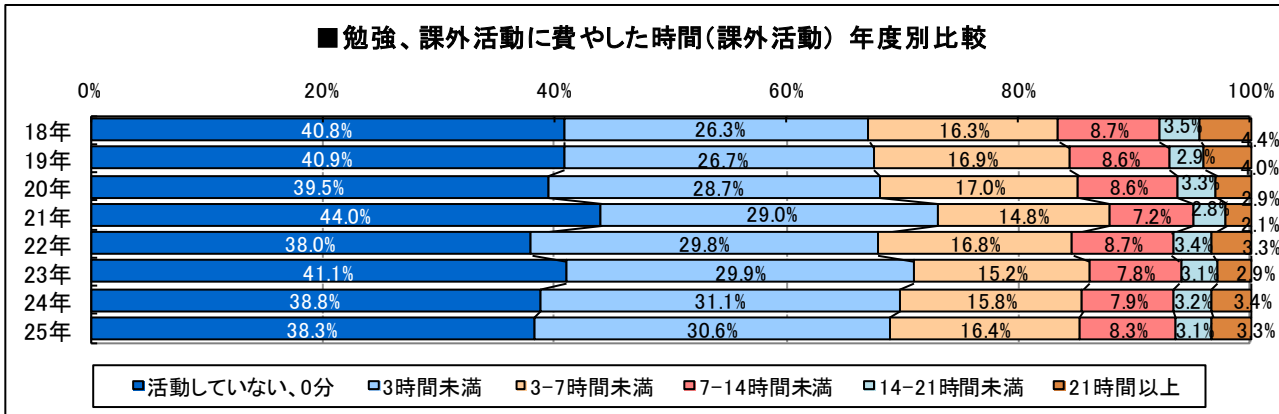
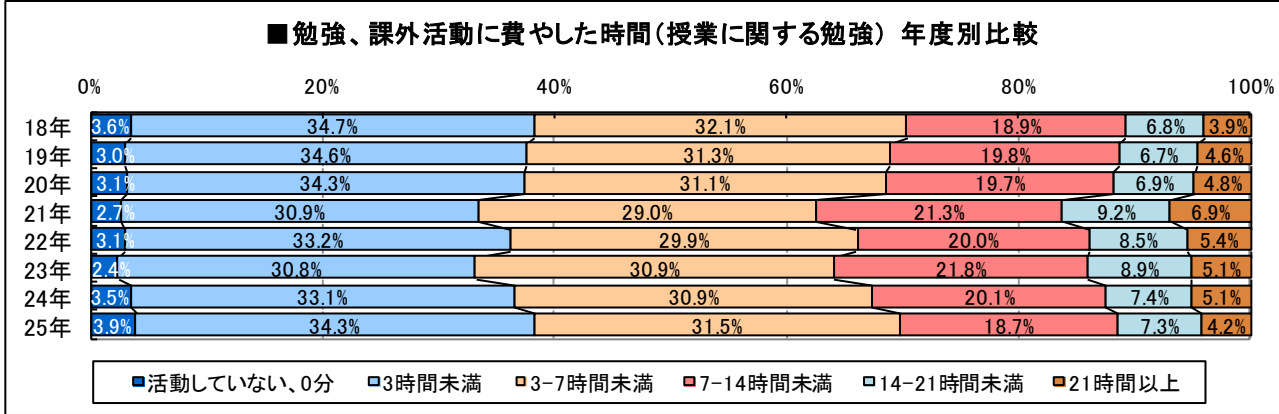
■勉強、課外活動に費やした時間

- 勉強、課外活動に費やした時間は、「普段の1週間の生活の中で費やした時間(1週間の合計)はどの程度でしょうか?」という質問文で、3つの分野に関して聞いている。
- 「授業に関する勉強(予習・復習・課題など)」に関しては、「活動していない、0分」が3.9%、「3時間未満」が34.3%、「3-7時間未満」が31.5%、「7-14時間未満」が18.7%、「14-21時間未満」が7.3%、「21時間以上」が4.2%となっており、「1日に1時間以上(後半3つの選択肢の合計)」は30.2%であった。
- 「課外活動(学内インターンシップを含む)」では、「活動していない、0分」が38.3%と非常に多かった。そして、「3時間未満」が30.6%、「3-7時間未満」が16.4%と短い時間帯が多く、「1日に1時間以上」の合計は14.7%であった。
- 「学外のアパート」も「活動していない、0分」が30.1%と多く、アルバイト自体をしていない学生が多かった。一方で「1日に1時間以上」の合計も46.8%と非常に多かった。



■勉強、課外活動に費やした時間 年度別比較

- 勉強、課外活動に費やした時間を年度別に比較すると、コロナ禍の影響が大きい21年には「授業に関する勉強」に充てる時間が増加し、「課外活動」と「学外のアルバイト」が減少していた。22年以降は「授業に関する勉強」は短くなる傾向となり、逆に「学外のアルバイト」は継続的に時間が長くなる傾向が見られた。
- 「授業に関する勉強」は上記で見たように、21年に多くの時間が費やされていた。その後は増減が続き、23年以降は短くなる傾向が続いていた。
- 「課外活動」は21年に短くなり、22年に反動と思われるような変化があり、23年以降はほぼ横ばいが続いていた。
- 「学外のアルバイト」に費やす時間は21年に大きく減少していたが、それ以降は徐々に増加する傾向が続いており、アルバイト自体をしていない学生の減少も続いていた。



<4-6> 学生生活のまとめ

学生サポート・支援制度の利用率は「eシラバス」と「学習支援計画書」が非常に高く、「海外研修・留学」が低かった。そして、今回は「学生ステーション」の利用率が過去最高であった。

- 学生サポート・支援制度で利用経験者の割合が高かったのは、「eシラバス」と「学習支援計画書」であり、他と比べて高さが目立っていた。一方、最も低かったのは「海外研修・留学」であり、低さが目立っていた。
- 年度別に比較するとほとんどの項目はコロナ禍の21年に一気に低下し、その後は様々な動きとなっていたが、今回は多くが前回を上回っており、「学生ステーション」は過去最高の利用率となっていた。一方、「キャンパスノート」と「学生心得(CAMPUS DIARY)」は過去最低の利用率となっていた。

「授業に関する勉強」に費やす時間は短くなる傾向にあり、「課外活動」は横ばい、「学外のアルバイト」は長くなる傾向となっていた。そして、アルバイト自体をしていない学生の減少が続いていた。

- 「1日に1時間以上」を費やした時間を見ると、「授業に関する勉強」が30.2%、「課外活動」が14.7%、「学外のアルバイト」が46.8%であり、アルバイトに費やされている時間が長かった。ただし、アルバイト自体をしていない学生も30.1%と多かった。
- 年度別に見ると、23年以降は「授業に関する勉強」に費やす時間が短くなり、「課外活動」は横ばい傾向であった。そして、「学外のアルバイト」は長くなる傾向にあり、アルバイト自体をしていない学生の減少が続いていた。

学生サポート・支援制度の評価は全体的に高く、「eシラバス」「オフィスアワー」「学生ステーション」などの高さが目立っていた。そして、多くが前回を上回り、7項目が過去最高となっていた。

- 学生サポート・支援制度の評価は全体的に高く、「eシラバス」「オフィスアワー」「学生ステーション」「自己開発センター」「学習支援計画書」などの高さが目立っていた。一方、「学生心得(CAMPUS DIARY)」「キャンパスノート」が低かったが、肯定的な意見は85%を超え、決して低いものではなかった。
- 年度別に比較したところ、今回は多くが前回を上回っており、「eシラバス」「オフィスアワー」「修学相談室窓口」「教務課窓口」「学生ステーション」「数理工教育研究センター」「スポーツ考房」の7項目は過去最高の評価となっていた。

教職員とのコミュニケーションの面の評価は全体的に高く、「職員の窓口業務」「教員の学習に関する相談対応」などが高かった。そして、今回はすべてが過去最高の評価となっていた。

- 教職員と大学の改善取り組み状況で評価が高かったのは「職員の窓口業務」「教員の学習に関する相談対応」「教員とのコミュニケーション」などであり、「大学に改善を言いやすい環境」がやや低かった。
- 20年から21年にかけてはコロナ禍のためか、教職員とのコミュニケーションや相談対応が大きく低下しており、22年には反動によって多くがそれまでの過去最高となっていた。今回もすべてが前回を上回って、いずれも過去最高の評価となっていた。

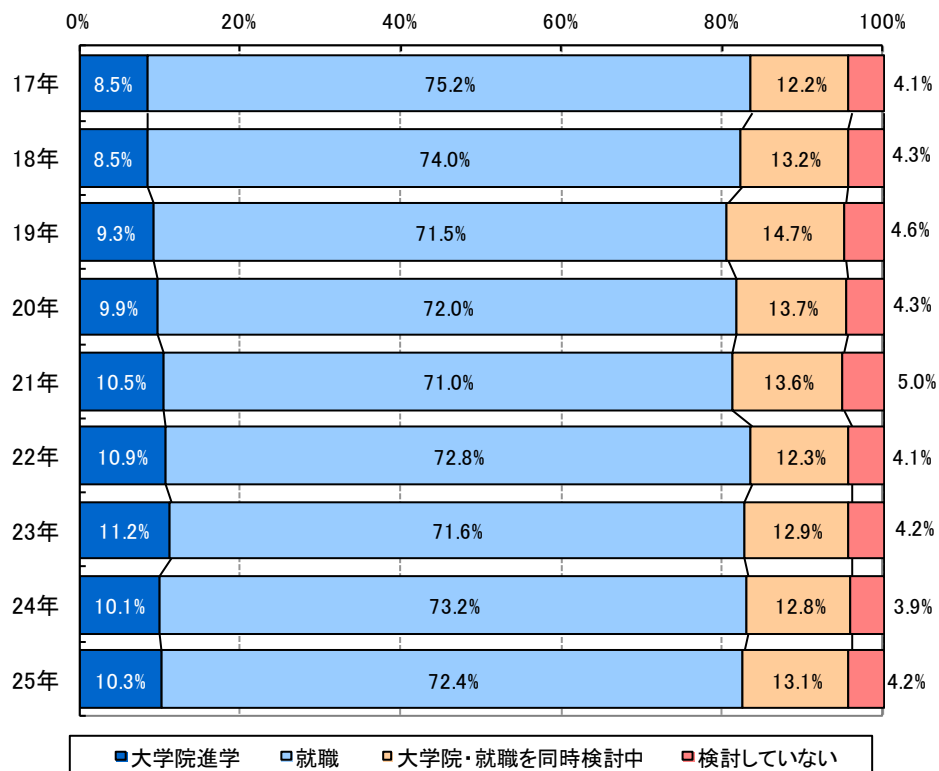
<5> 進学、就職、卒業時の能力に関して

<5-1>	大学院への進学・就職意向、情報の入手状況	47
<5-2>	最終の進路	48
<5-3>	卒業時の能力	49
<5-4>	進学、就職、卒業時の能力のまとめ	52

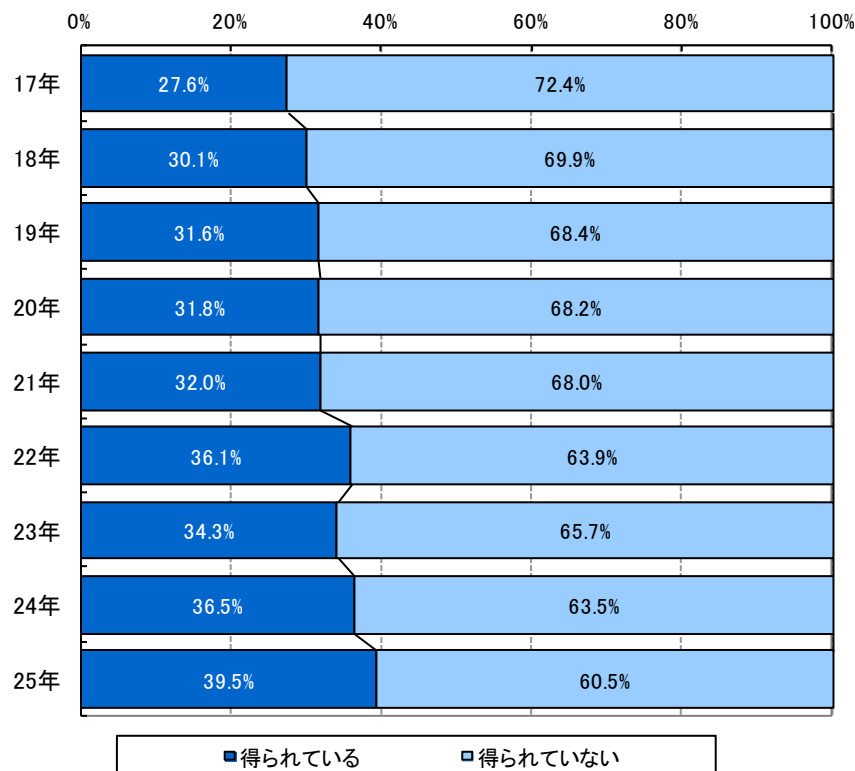
■ 大学院進学・就職意向、情報の入手状況

- 「大学院進学・就職意向」は「就職」が72.4%、「大学院・就職を同時検討中」が13.1%、「大学院進学」が10.3%、「検討していない」が4.2%であり、今回は大きな変化は見られず、継続的な傾向もなかった。
- 「大学院進学の情報入手状況」では、「得られている」が39.5%、「得られていない」が60.5%であり、「得られている」は23年から継続的に増加して過去最高となっていた。

■ 大学院進学・就職意向 年度別比較(新入生・在学生)

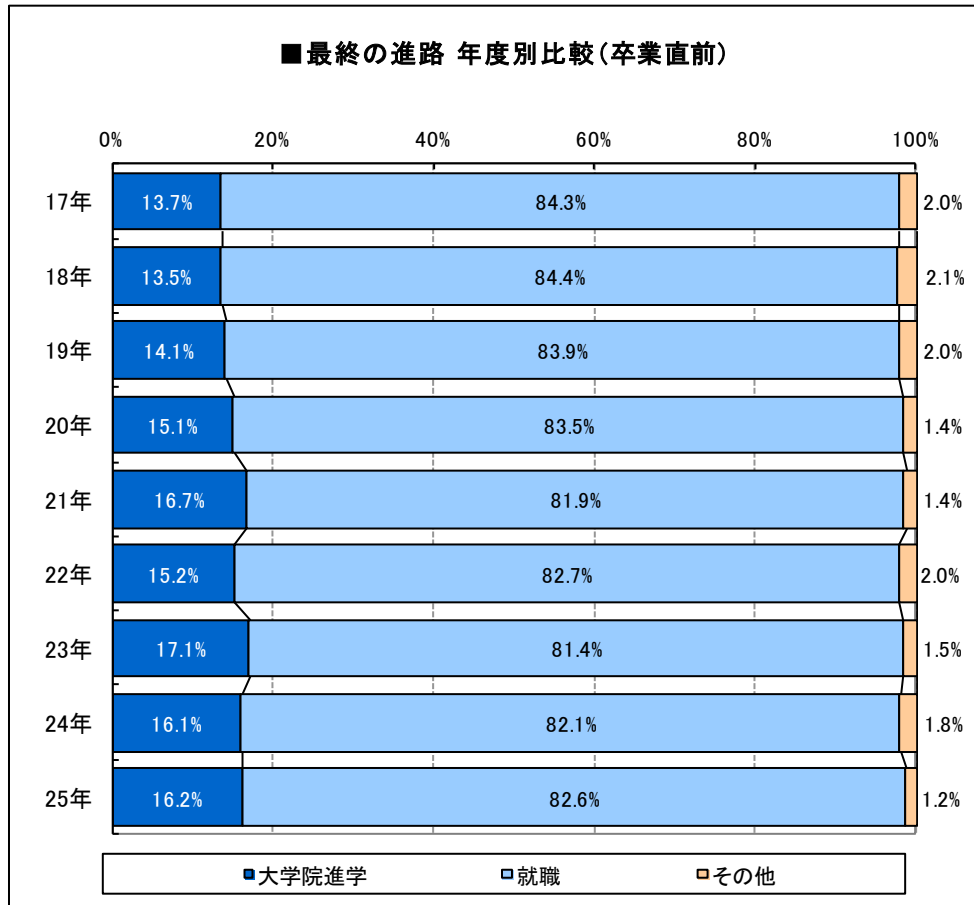


■ 大学院進学の情報入手状況 年度別比較(在学生)



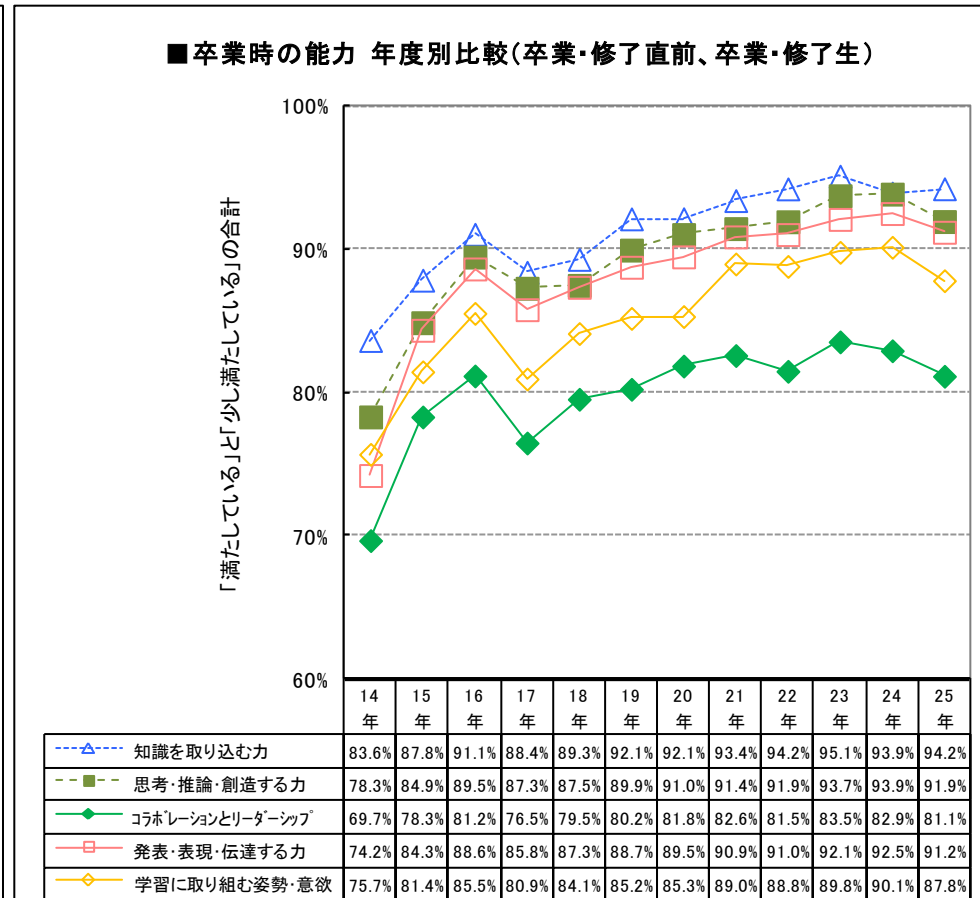
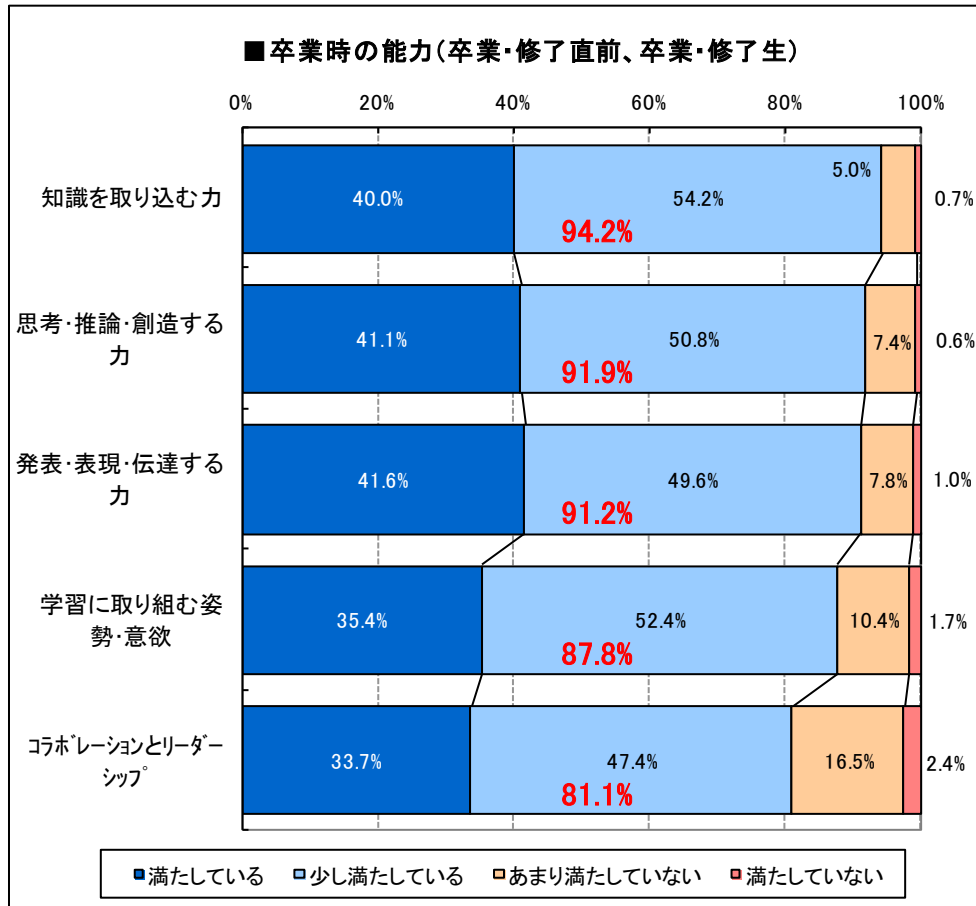
■最終の進路

- 「卒業直前」の学生の「最終の進路」で最も多かったのは「就職」の82.6%であり、「大学院進学」が16.2%、「その他」が1.2%となっており、年度別に見ても大きな変化は見られなかった。



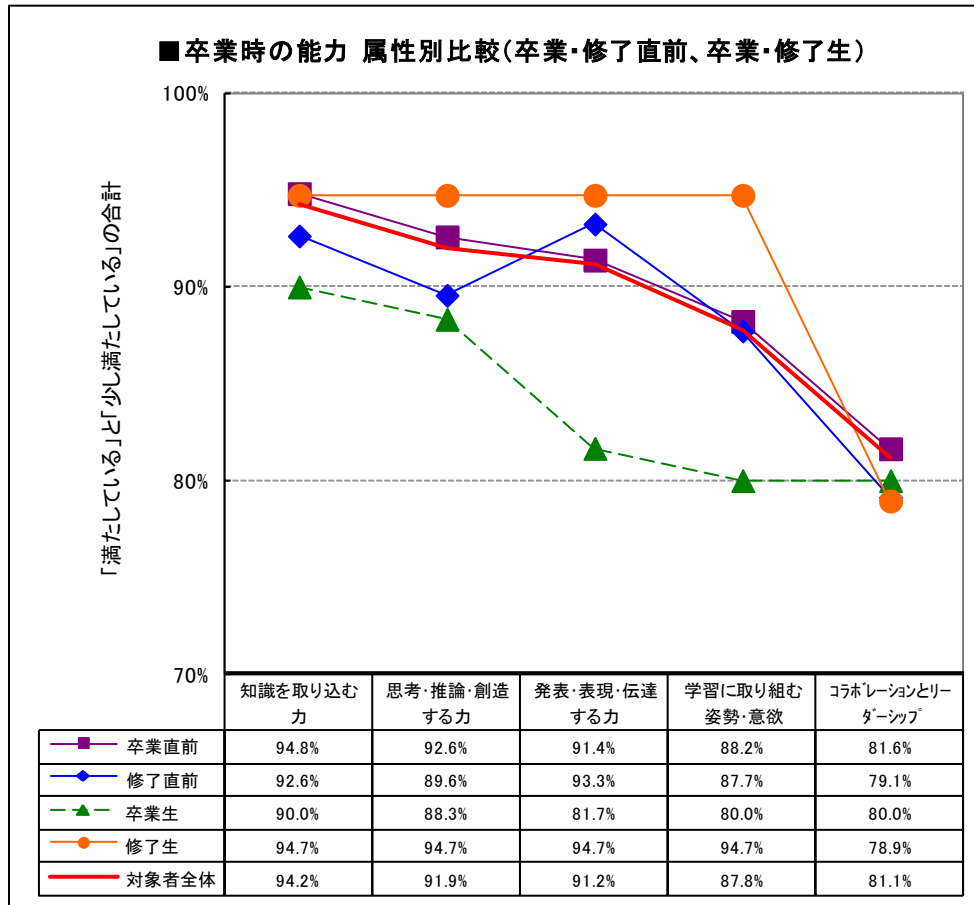
■ 卒業時の能力 年度別比較

- 「卒業時の能力」は「卒業・修了直前」「卒業・修了生」の学生に自己評価を聞いているが、肯定的な意見が最も多かったのは、「知識を取り込む力」の94.2%であり、「思考・推論・創造する力」が91.9%、「発表・表現・伝達する力」が91.2%で続いていた。一方、最も少なかったのは「コラボレーションとリーダーシップ」の81.1%であった。
- 年度別には全体的にゆるやかな右肩上がりが続いており、前回は「思考・推論・創造する力」「発表・表現・伝達する力」「学習に取り組む姿勢・意欲」が過去最高となっていたが、今回は「知識を取り込む力」以外はすべて前回は下回っていた。



■卒業時の能力 属性別比較

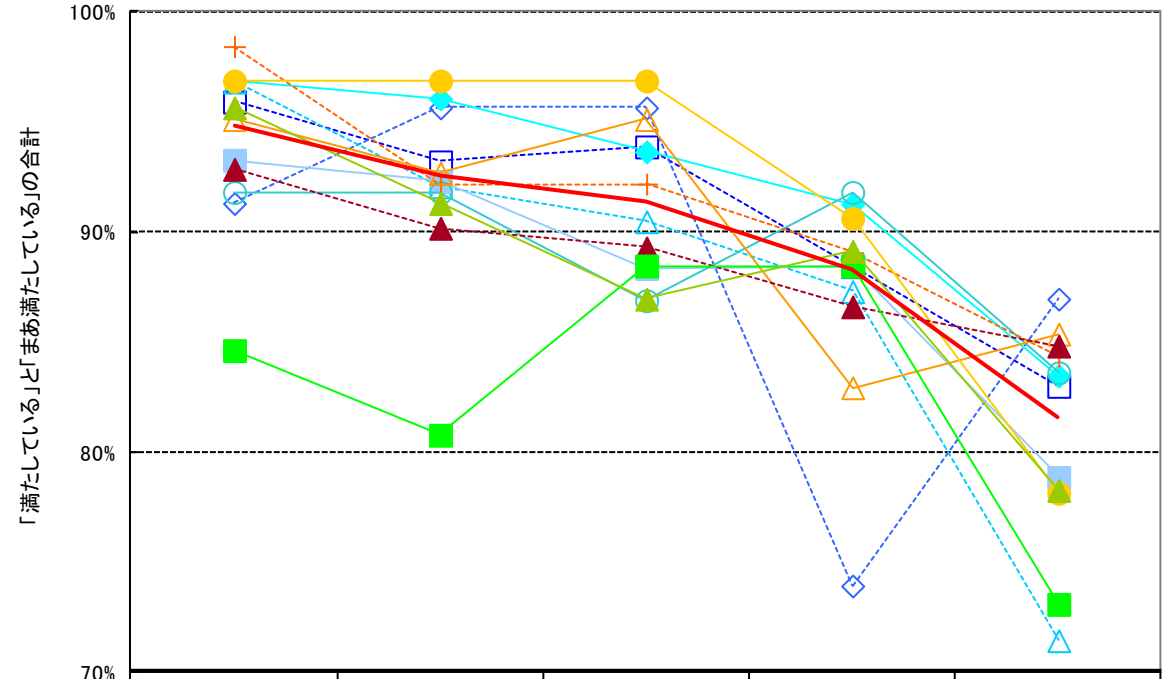
- 卒業時の能力の自己評価を属性別に比較したところ、全体的に「修了生」の自己評価が高く、「卒業生」が低かった。



■卒業時の能力 学科別比較

- 卒業時の能力の自己評価は、「卒業直前」のみ学科別に比較をしている。
- 自己評価が高めであったのは、「心理科学」「情報工学」「メディア情報」「機械」などであり、「経営情報」は「発表・表現・伝達する力」「コラボレーションとリーダーシップ」が高かった。
- 一方、全体的に低さが目立っていたのは「応用化学」であり、「航空システム」は「学習に取り組む姿勢・意欲」「ロボティクス」は「コラボレーションとリーダーシップ」が低かった。

■卒業時の能力 学科別比較(卒業直前)



	知識を取り込む力	思考・推論・創造する力	発表・表現・伝達する力	学習に取り組む姿勢・意欲	コラボレーションとリーダーシップ
---□--- 機械	95.9%	93.2%	93.9%	88.4%	83.0%
---◇--- 航空システム	91.3%	95.7%	95.7%	73.9%	87.0%
---△--- ロボティクス	96.8%	92.1%	90.5%	87.3%	71.4%
---■--- 電気電子	93.3%	92.3%	88.3%	88.5%	78.8%
---●--- 情報工学	96.9%	96.1%	93.7%	91.3%	83.5%
---○--- 環境土木	91.8%	91.8%	86.9%	91.8%	83.6%
---+--- メディア情報	98.4%	92.2%	92.2%	89.1%	84.4%
---△--- 経営情報	95.1%	92.7%	95.1%	82.9%	85.4%
---●--- 心理科学	96.9%	96.9%	96.9%	90.6%	78.1%
---▲--- 建築	92.9%	90.2%	89.3%	86.6%	84.8%
---■--- 応用化学	84.6%	80.8%	88.5%	88.5%	73.1%
---▲--- 応用バイオ	95.7%	91.3%	87.0%	89.1%	78.3%
--- 卒業直前全体	94.8%	92.6%	91.4%	88.3%	81.6%

＜5-4＞進学、就職、卒業時の能力のまとめ

進路希望は「就職」が72.4%、「大学院進学」は10.3%で、年度別には大きな変化は見られなかった。大学院進学の情報「得られている」が過去最高の39.5%であった。

- 「大学院進学・就職意向」は「就職」が72.4%、「大学院・就職を同時検討中」が13.1%、「大学院進学」が10.3%、「検討していない」が4.2%であり、今回は大きな変化は見られず、継続的な傾向もなかった。
- 「大学院進学の情報は何を得られていますか？」では、「得られている」が39.5%、「得られていない」が60.5%であり、「得られている」は23年から継続的に増加して過去最高となっていた。

卒業時の能力の自己評価は「修了生」が全体的に高かった。学科では「心理科学」「情報工学」「メディア情報」「機械」が高く、「応用化学」は全体的に低さが目立っていた。

- 卒業時の能力の自己評価は、全体的に「修了生」の自己評価が高く、「卒業生」が低かった。
- 学科別では「心理科学」「情報工学」「メディア情報」「機械」で自己評価が高めであった。
- 一方、全体的に低さが目立っていたのは「応用化学」であり、「航空システム」「ロボティクス」でも低さが目立つ項目が見られた。

「卒業直前」の最終進路は「就職」が82.6%、「大学院進学」が16.2%で年度別には大きな変化は見られなかった。

- 「卒業直前」の学生の「最終の進路」で最も多かったのは「就職」の82.6%であり、「大学院進学」が16.2%、「その他」が1.2%となっていた。
- 年度別には大きな変化は見られなかった。

卒業時の能力の自己評価は「知識を取り込む力」「思考・推論・創造する力」に大きな自信を持っていたが、年度別には1項目を除いて前回は下回っていた。

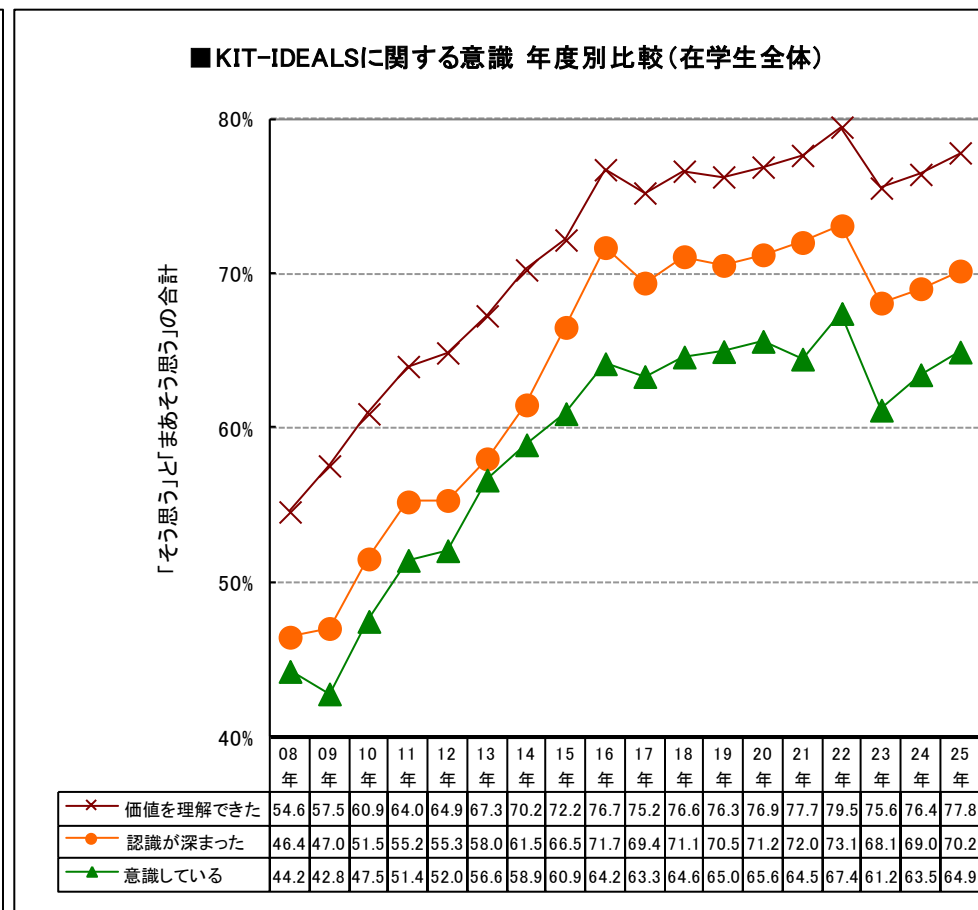
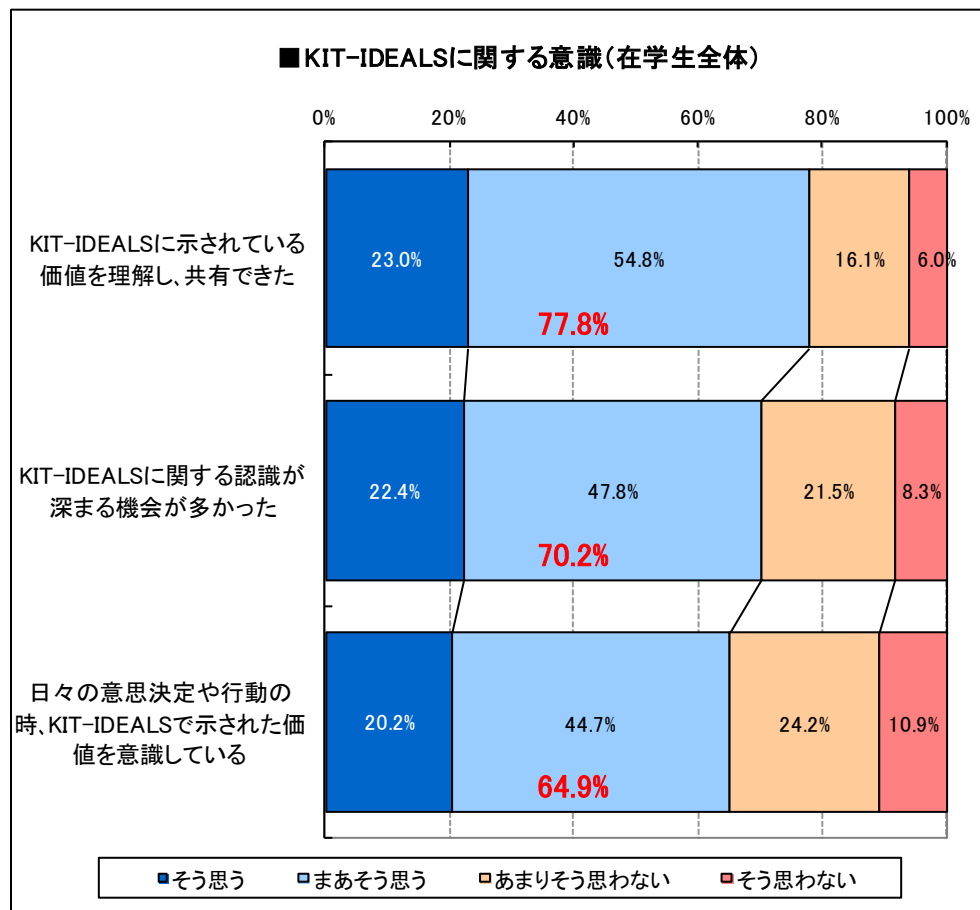
- 「卒業時の能力」で肯定的な意見が最も多かったのは、「知識を取り込む力」の94.2%であり、「思考・推論・創造する力」が91.9%、「発表・表現・伝達する力」が91.2%で続いていた。一方、最も少なかったのは「コラボレーションとリーダーシップ」の81.1%であった。
- 年度別には全体的にゆるやかな右肩上がりが続いており、前回は3項目が過去最高となっていたが、今回は「知識を取り込む力」以外はすべて前回は下回っていた。

<6>KIT-IDEALSに関して

<6-1>	KIT-IDEALSに関する意識	54
<6-2>	教職員のKIT-IDEALSの達成度	55
<6-3>	KIT-IDEALSに関するまとめ	58

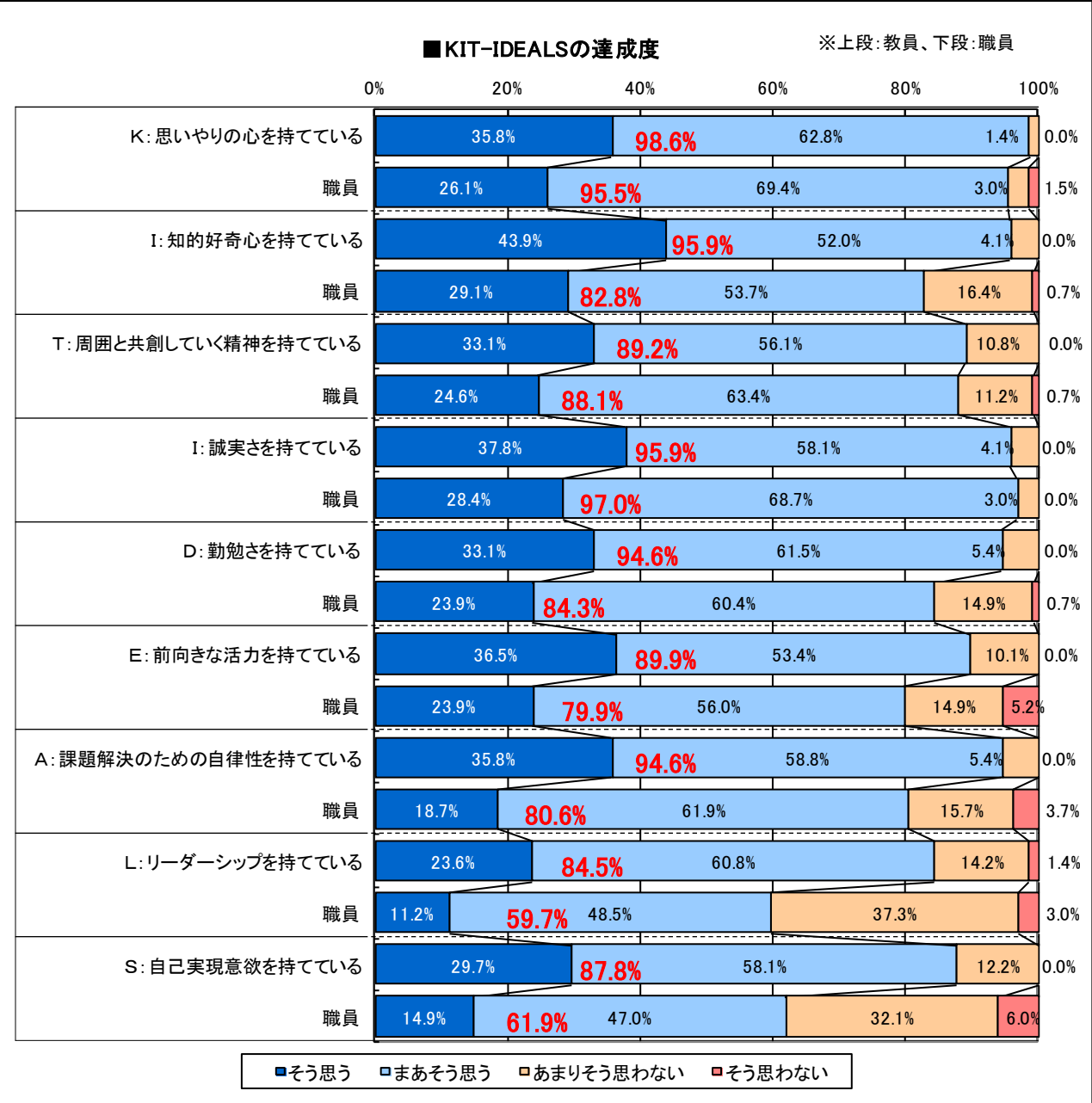
■KIT-IDEALSに関する意識、年度別比較

- KIT-IDEALSに関する質問の肯定的な意見を見ると、「KIT-IDEALSに示されている価値を理解し、共有できた」が77.8%、「KIT-IDEALSに関する認識が深まる機会が多かった」が70.2%、「日々の意思決定や行動の時、KIT-IDEALSで示された価値を意識している」が64.9%となっていた。
- 年度別比較を見ると、例外はあるものの22年までは肯定的な意見が増加する傾向が続いており、22年には3項目ともに過去最高となっていたが、23年に3項目ともに大きく低下し、その後、今回にかけて増加傾向が続いていた。



■教職員のKIT-IDEALSの達成度

- 「教員」と「職員」へのKIT-IDEALSの達成度で肯定的な意見を見たところ、「I:誠実さを持っている」は「職員」の方が多かったものの、他の8項目は「教員」の方が多かった。
- 「教員」で達成度が最も高かったのは、「K:思いやりの心を持っている」の98.6%であり、「I:知的好奇心を持っている」と「I:誠実さを持っている」が95.9%で続いていた。一方、最も低かったのは「L:リーダーシップを持っている」の84.5%であった。
- 「職員」で達成度が最も高かったのは、「I:誠実さを持っている」の97.0%であり、「K:思いやりの心を持っている」が95.5%、「T:周囲と共創していく精神を持っている」が88.1%で続いていた。一方、最も低かったのは「L:リーダーシップを持っている」の59.7%であった。

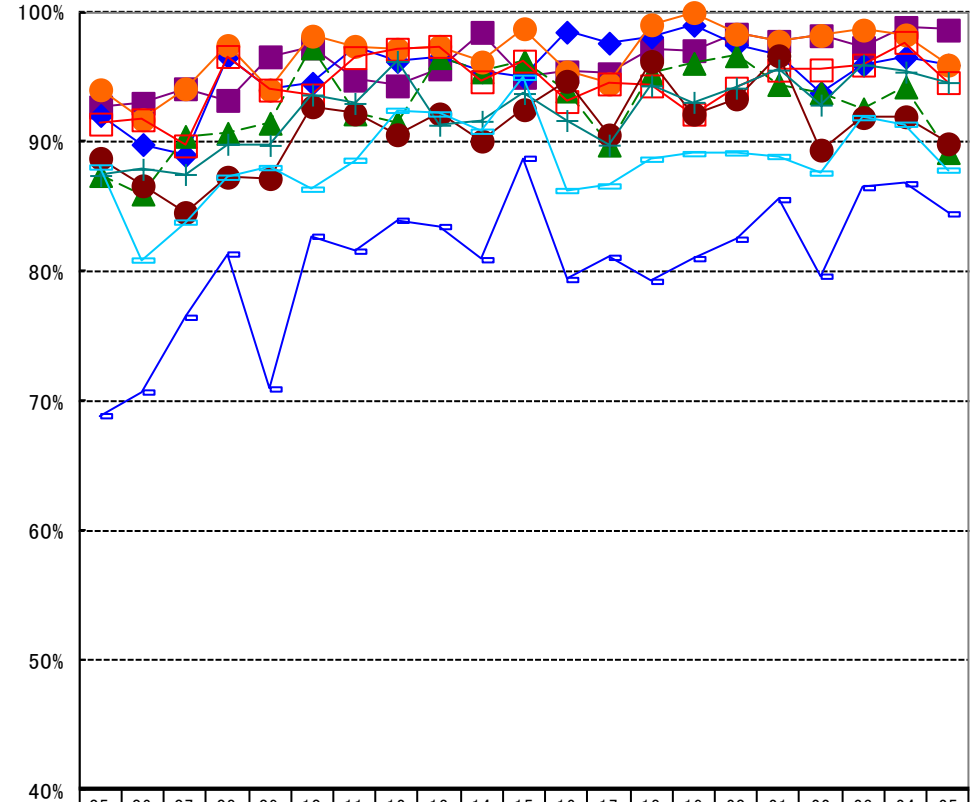


■教員のKIT-IDEALSの達成度 年度別比較

- 「教員」のKIT-IDEALSの達成度の年度別比較を見ると、すべての項目が前回から低下していた。
- 最も大きく低下していたのは、「T:周囲と共創していく精神を持っている」であり、5.1ポイントの低下であった。次いで、「S:自己実現意欲を持っている」が3.6ポイントの低下となっていた。

■教員のKIT-IDEALSの達成度 年度別比較

「そう思う」と「ややそう思う」の合計



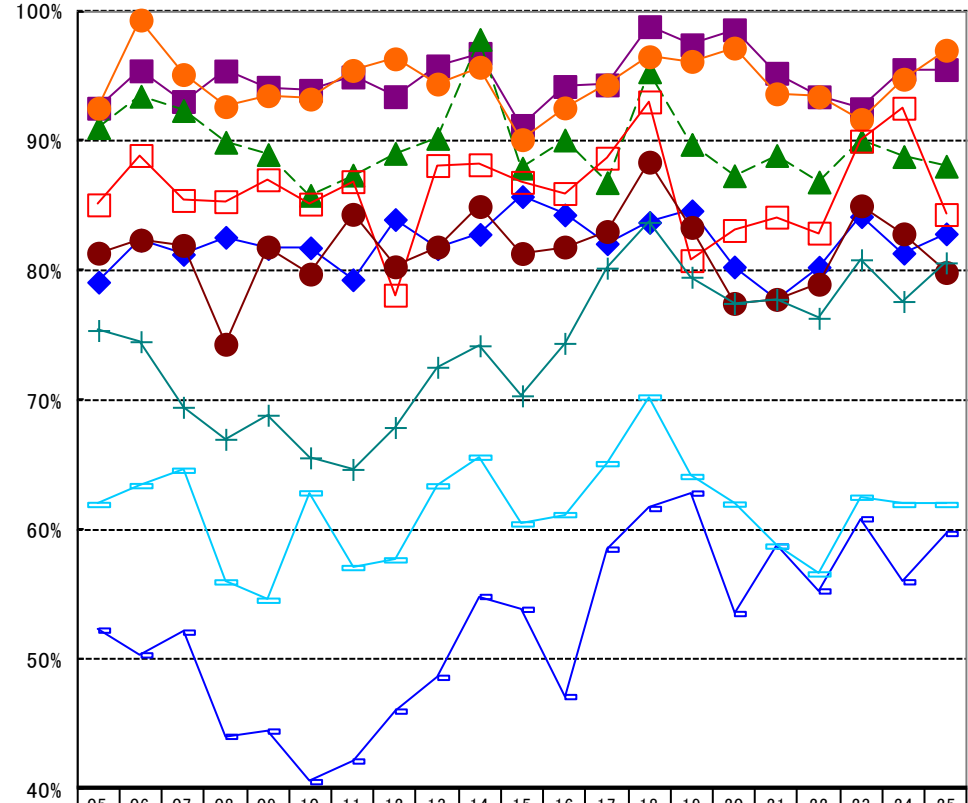
	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
■ K: 思いやりの心を持っている	92.7	93.0	94.1	93.2	96.6	97.3	94.8	94.3	95.7	98.5	95.0	95.4	95.3	97.2	97.1	98.3	97.8	98.2	97.3	98.9	98.6
■ I: 知的好奇心を持っている	92.1	89.8	89.0	96.6	94.0	94.5	97.4	96.2	96.5	95.4	95.0	98.5	97.6	98.1	99.0	97.5	96.7	93.8	95.9	96.6	95.9
■ T: 周囲と共創していく精神を持っている	87.4	86.0	90.4	90.7	91.5	97.3	92.2	91.5	96.5	95.4	96.3	93.9	89.8	95.3	96.1	96.7	94.4	93.8	92.6	94.3	89.2
■ I: 誠実さを持っている	94.0	91.7	94.1	97.5	94.0	98.2	97.4	97.2	97.4	96.2	98.8	95.4	94.5	99.1	100.0	98.3	97.8	98.2	98.6	98.3	95.9
■ D: 勤勉さを持っている	91.4	91.7	89.7	96.6	94.0	93.6	96.5	97.2	97.4	94.7	96.3	93.1	94.5	94.3	92.2	94.2	95.6	95.6	95.9	97.7	94.6
■ E: 前向きな活力を持っている	88.7	86.6	84.6	87.3	87.2	92.7	92.2	90.6	92.2	90.1	92.5	94.7	90.6	96.2	92.2	93.3	96.7	89.4	91.9	92.0	89.9
■ A: 課題解決のための自律性を持っている	87.4	87.9	87.5	89.8	89.7	93.6	93.0	96.2	91.3	91.6	93.8	91.7	89.8	94.3	93.1	94.2	95.6	92.9	95.9	95.4	94.6
■ L: リーダーシップを持っている	68.9	70.7	76.5	81.4	70.9	82.7	81.6	84.0	83.5	80.9	88.8	79.4	81.1	79.2	81.0	82.5	85.6	79.6	86.5	86.8	84.5
■ S: 自己実現意欲を持っている	88.1	80.9	83.8	87.3	88.0	86.4	88.6	92.5	92.2	90.8	95.0	86.3	86.6	88.7	89.1	89.2	88.9	87.6	91.9	91.4	87.8

■ 職員のKIT-IDEALSの達成度 年度別比較

- 「職員」のKIT-IDEALSの達成度は9項目中の4項目が前回から増加しており、増加が最も大きかったのは「L:リーダーシップを持っている」の3.7ポイントで、「A:課題解決のための自律性を持っている」が3.0ポイント、「I:誠実さを持っている」が2.2ポイント、「I:知的好奇心を持っている」が1.5ポイント前回は上回っていた。
- 一方、前回を下回っていたのは3項目であり、特に「D:勤勉さを持っている」は8.2ポイントと大きく低下していた。

■ 職員のKIT-IDEALSの達成度 年度別比較

「そう思う」と「ややそう思う」の合計



	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
■ K: 思いやりの心を持っている	92.5	95.4	93.1	95.4	94.2	93.9	94.9	93.4	95.8	96.8	91.2	94.2	94.3	98.8	97.4	98.6	95.2	93.4	92.5	95.5	95.5
■ I: 知的好奇心を持っている	79.1	82.4	81.3	82.6	81.7	81.8	79.3	83.9	81.7	82.8	85.7	84.3	82.1	83.7	84.6	80.3	77.8	80.3	84.2	81.3	82.8
■ T: 周囲と共創していく精神を持っている	91.0	93.5	92.4	89.9	89.0	85.8	87.4	89.1	90.2	97.8	87.9	90.1	86.8	95.3	89.7	87.3	88.9	86.8	90.0	88.8	88.1
■ I: 誠実さを持っている	92.5	99.3	95.1	92.7	93.5	93.2	95.5	96.4	94.4	95.7	90.1	92.6	94.3	96.5	96.2	97.2	93.7	93.4	91.7	94.8	97.0
■ D: 勤勉さを持っている	85.1	88.9	85.4	85.3	87.0	85.1	86.9	78.1	88.1	88.2	86.8	86.0	88.7	93.0	80.8	83.1	84.1	82.9	90.0	92.5	84.3
■ E: 前向きな活力を持っている	81.3	82.4	81.9	74.3	81.8	79.7	84.3	80.3	81.8	84.9	81.3	81.8	83.0	88.4	83.3	77.5	77.8	78.9	85.0	82.8	79.9
■ A: 課題解決のための自律性を持っている	75.4	74.5	69.4	67.0	68.8	65.5	64.6	67.9	72.5	74.2	70.3	74.4	80.2	83.7	79.5	77.5	77.8	76.3	80.8	77.6	80.6
■ L: リーダーシップを持っている	52.2	50.3	52.1	44.0	44.4	40.5	42.1	46.0	48.6	54.8	53.8	47.1	58.5	61.6	62.8	53.5	58.7	55.3	60.8	56.0	59.7
■ S: 自己実現意欲を持っている	61.9	63.4	64.6	56.0	54.5	62.8	57.1	57.7	63.4	65.6	60.4	61.2	65.1	70.2	64.1	62.0	58.7	56.6	62.5	61.9	61.9

<6-3> KIT-IDEALSに関するまとめ

約7割の学生がKIT-IDEALSを意識しているようであった。
3指標ともに22年に過去最高となり、23年に大きく低下したものの、
その後は増加傾向が続いていた。

- KIT-IDEALSに関する質問の肯定的な意見を見ると、「KIT-IDEALSに示されている価値を理解し、共有できた」が77.8%、「KIT-IDEALSに関する認識が深まる機会が多かった」が70.2%、「日々の意思決定や行動の時、KIT-IDEALSで示された価値を意識している」が64.9%となっていた。
- 年度別比較を見ると、例外はあるものの22年までは肯定的な意見が増加する傾向が続いており、22年には3項目ともに過去最高となっていたが、23年に3項目ともに大きく低下し、その後は今回も含めて増加傾向が続いていた。

KIT-IDEALSの達成度では「I: 誠実さを持っている」だけが「教員」
より「職員」の方が高かった。「教員」は「K: 思いやりの心を持
持っている」が高く、「職員」は「I: 誠実さを持っている」が高かった。

- 「教員」と「職員」へのKIT-IDEALSの達成度では、「I: 誠実さを持っている」は「職員」の方が多かったものの、他の8項目は「教員」の方が多かった。
- 「教員」は「K: 思いやりの心を持っている」「I: 知的好奇心を持っている」「I: 誠実さを持っている」が高く、「L: リーダーシップを持っている」が低かった。
- 「職員」は「I: 誠実さを持っている」「K: 思いやりの心を持っている」「T: 周囲と共創していく精神を持っている」が高く、「L: リーダーシップを持っている」が低かった。

「教員」のKIT-IDEALSの達成度はすべての項目が前回は下回り、
特に「T: 周囲と共創していく精神を持っている」
「S: 自己実現意欲を持っている」などの低下が大きかった。

- 「教員」のKIT-IDEALSの達成度の年度別比較を見ると、すべての項目が前回から低下していた。
- 最も大きく低下していたのは、「T: 周囲と共創していく精神を持っている」であり、5.1ポイントの低下であった。次いで、「S: 自己実現意欲を持っている」が3.6ポイント、「D: 勤勉さを持っている」が3.1ポイントの低下となっていた。

「職員」のKIT-IDEALSの達成度では「L: リーダーシップを持て
ている」「A: 課題解決のための自律性を持っている」「I: 誠実さを
持っている」「I: 知的好奇心を持っている」が前回は上回っていた。

- 「職員」のKIT-IDEALSの達成度は9項目中の4項目が前回から増加しており、増加が最も大きかったのは「L: リーダーシップを持っている」の3.7ポイントで、「A: 課題解決のための自律性を持っている」が3.0ポイント、「I: 誠実さを持っている」が2.2ポイント、「I: 知的好奇心を持っている」が1.5ポイント前回は上回っていた。
- 一方、前回は下回っていたのは3項目であり、特に「D: 勤勉さを持っている」は8.2ポイントと大きく低下していた。

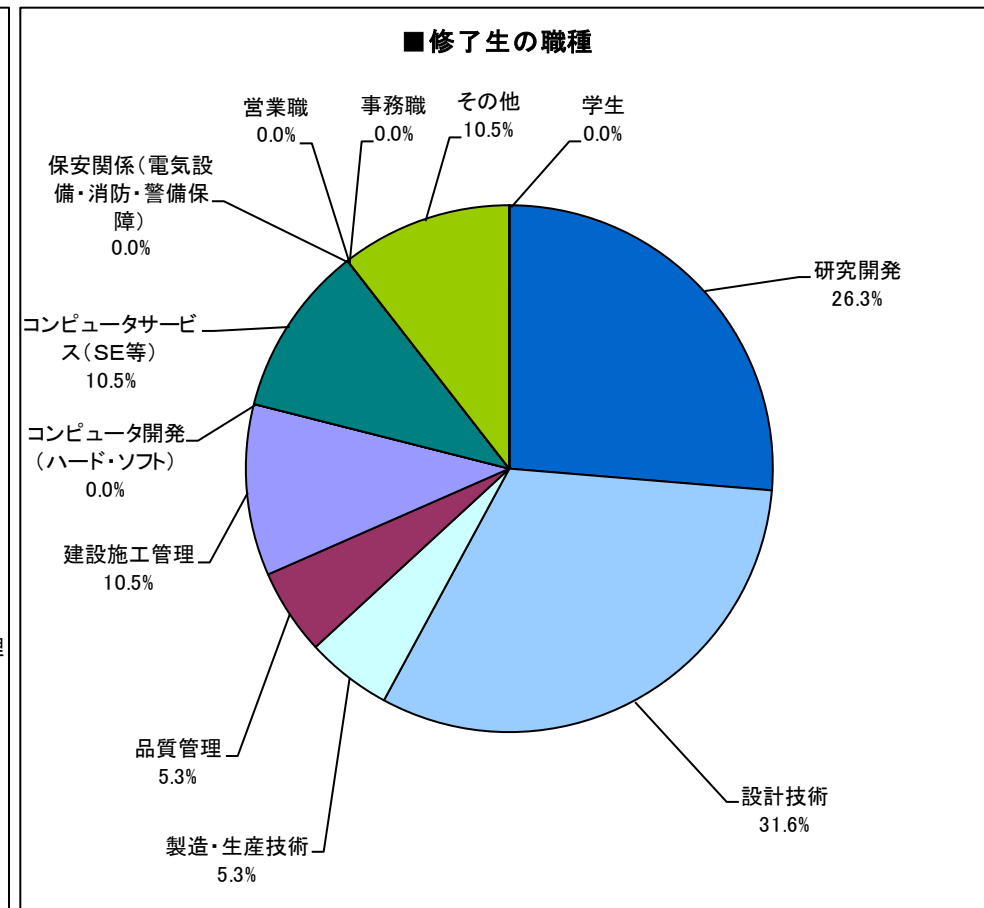
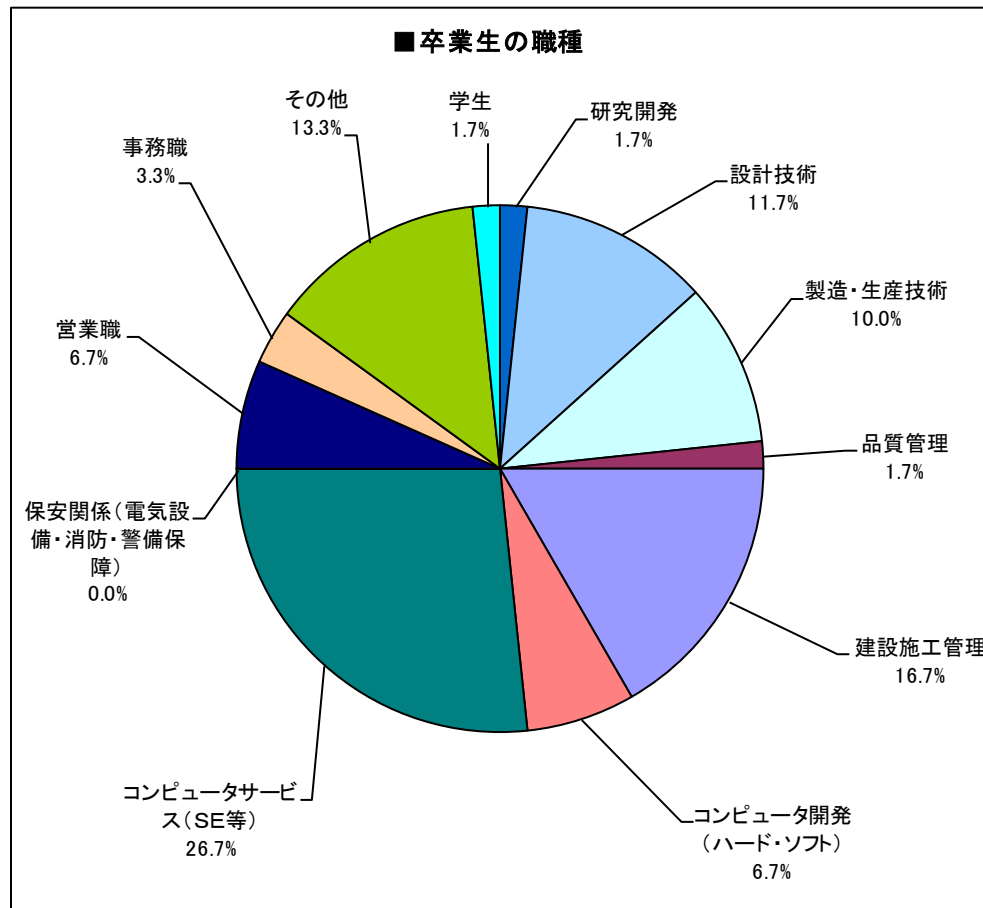
<7> 卒業・修了生アンケートに関して

<7-1>	卒業・修了生の基本属性	60
<7-2>	就職・進学支援の評価	62
<7-3>	卒業後のKITの評価	64
<7-4>	卒業・修了生アンケートのまとめ	65

<7-1>卒業・修了生の基本属性

■現在の職種

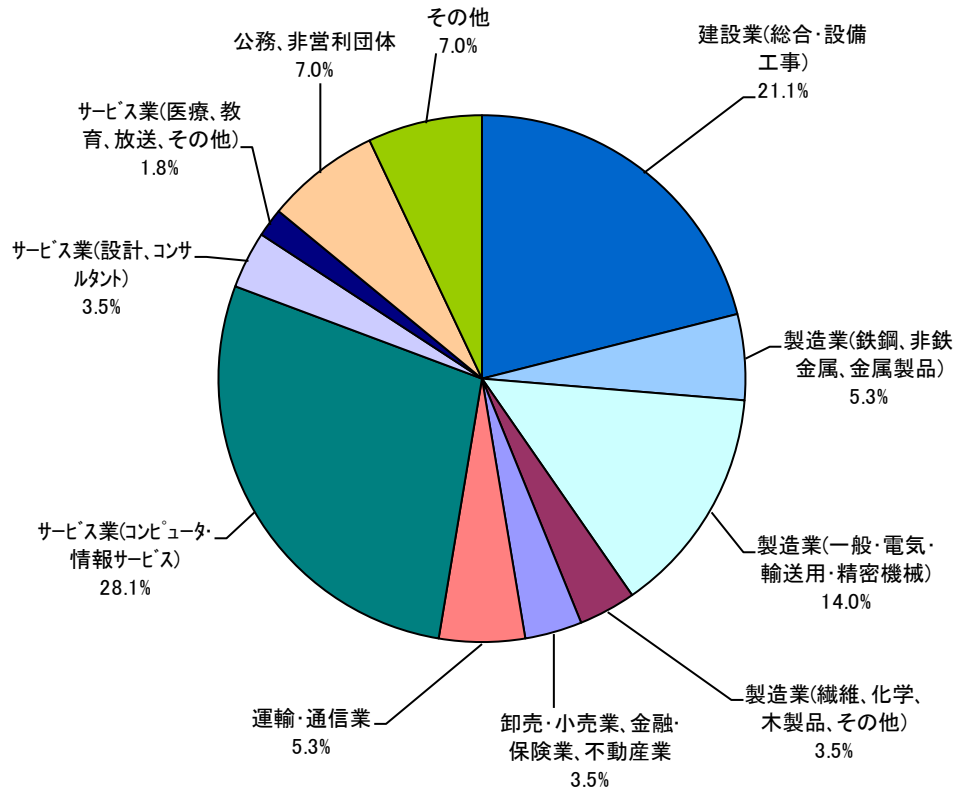
- 卒業生の職種では「コンピュータサービス(SE等)」が26.7%で最も多く、「建設施工管理」が16.7%、「その他」が13.3%で続いていた。
- 修了生の職種では「設計技術」が31.6%で最も多く、「研究開発」が26.3%、「建設施工管理」「コンピュータサービス(SE等)」「その他」がいずれも10.5%で続いていた。



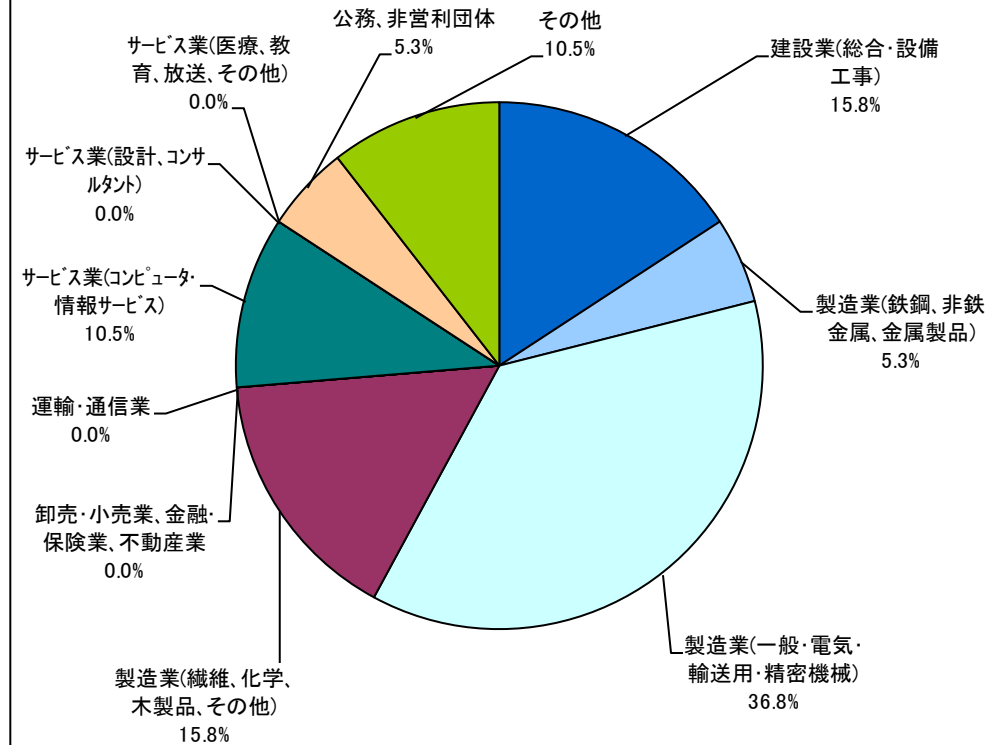
■現在の会社の業種

- 卒業生の会社の業種で最も多かったのは「サービス業(コンピュータ・情報サービス)」の28.1%であり、「建設業(総合・設備工事)」が21.1%、「製造業(一般・電気・輸送用・精密機械)」が14.0%で続いていた。
- 修了生の業種で最も多かったのは「製造業(一般・電気・輸送用・精密機械)」の36.8%であり、「建設業(総合・設備工事)」と「製造業(繊維、化学、木製品、その他)」が15.8%で続いていた。

■卒業生の会社の業種

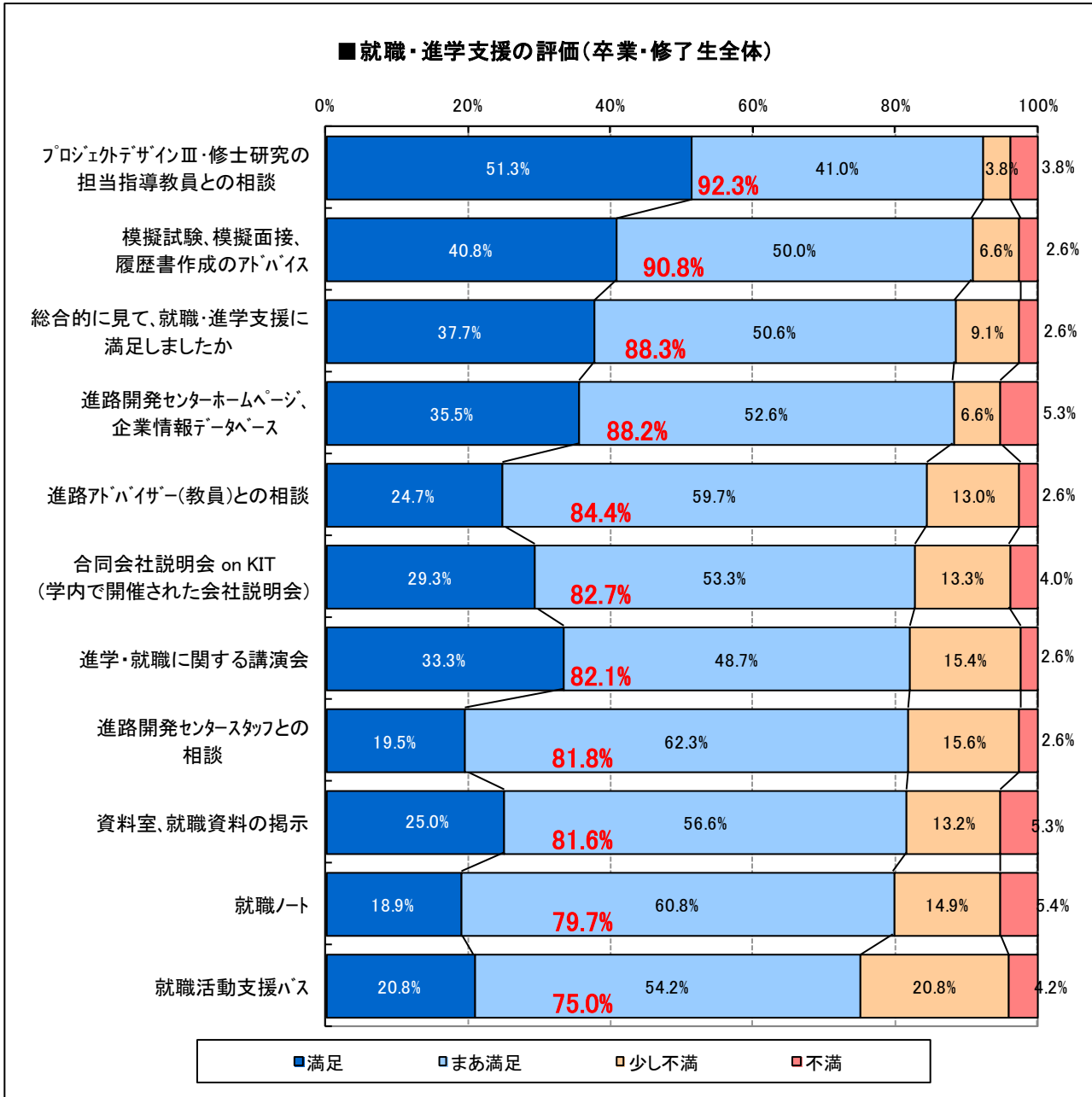


■修了生の会社の業種



■就職・進学支援の評価

- 「卒業・修了生」の就職・進学支援の全体的な評価として、「総合的に見て、就職・進学支援に満足しましたか」を見ると、「満足」が37.7%、「まあ満足」が50.6%となっており、合わせると満足度は88.3%となっていた。
- 支援策の評価で最も高かったのは「プロジェクトデザインⅢ・修士研究の担当指導教員との相談」の92.3%であり、「模擬試験、模擬面接、履歴書作成のアドバイス」が90.8%、「進路開発センターホームページ、企業情報データベース」が88.2%で続いていた。
- 一方、最も低かったのは「就職活動支援バス」の75.0%であり、「就職ノート」が79.7%で続いていた。

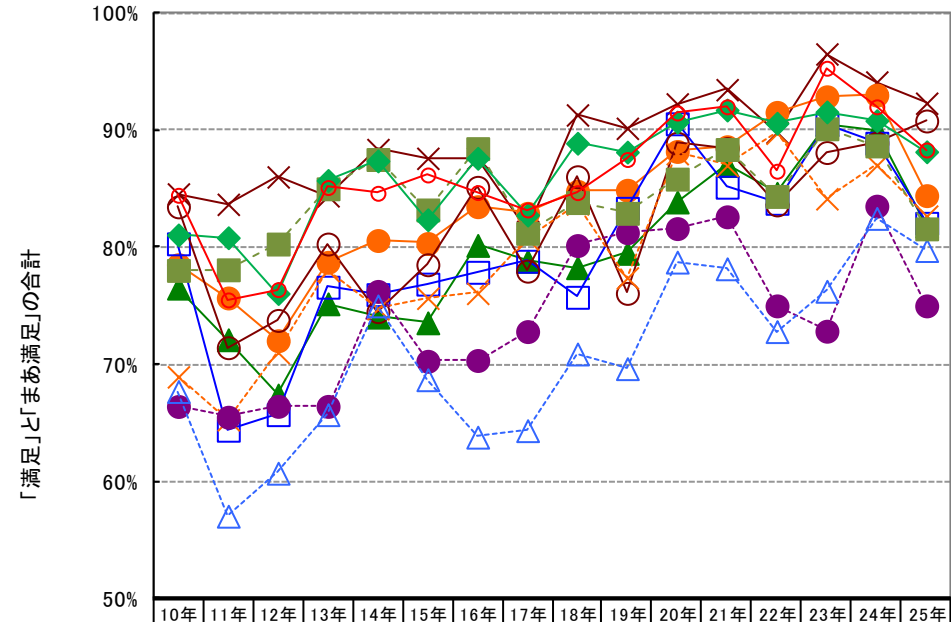


■就職・進学支援の評価 年度別比較

- 就職・進学支援の評価の年度別比較で、「総合的に見て、就職・進学支援に満足しましたか」を見ると、過去最高であった23年から連続して低下しており、今回は3.7ポイント低下していた。
- 支援策の評価で前回は上回っていたのは「模擬試験、模擬面接、履歴書作成のアドバイス」だけであったが、前回は1.9ポイント上回って過去最高の評価となっていた。
- 他の支援策はすべて前回は下回っており、全体的に低下傾向が続いていた。特に低下が大きかったのは「進路アドバイザー(教員)との相談」で、前回より8.6ポイント低下しており、「就職活動支援バス」が8.5ポイント、「進路開発センタースタッフとの相談」が8.2ポイント低下していた。

- ※「プロジェクトデザインⅢ・修士研究の担当指導教員との相談」は2013年まで「工学設計Ⅲ・修士研究の担当指導教員との相談」であった。
- ※「進学・就職に関する講演会」は2015年まで「就職・進学に関する講演会」であった。
- ※「就職活動支援バス」は2017年まで「就職活動支援バス Discover Job Express、就職プラザ」として聞いていた。

■就職・進学支援の評価 年度別比較(卒業・修了生全体)



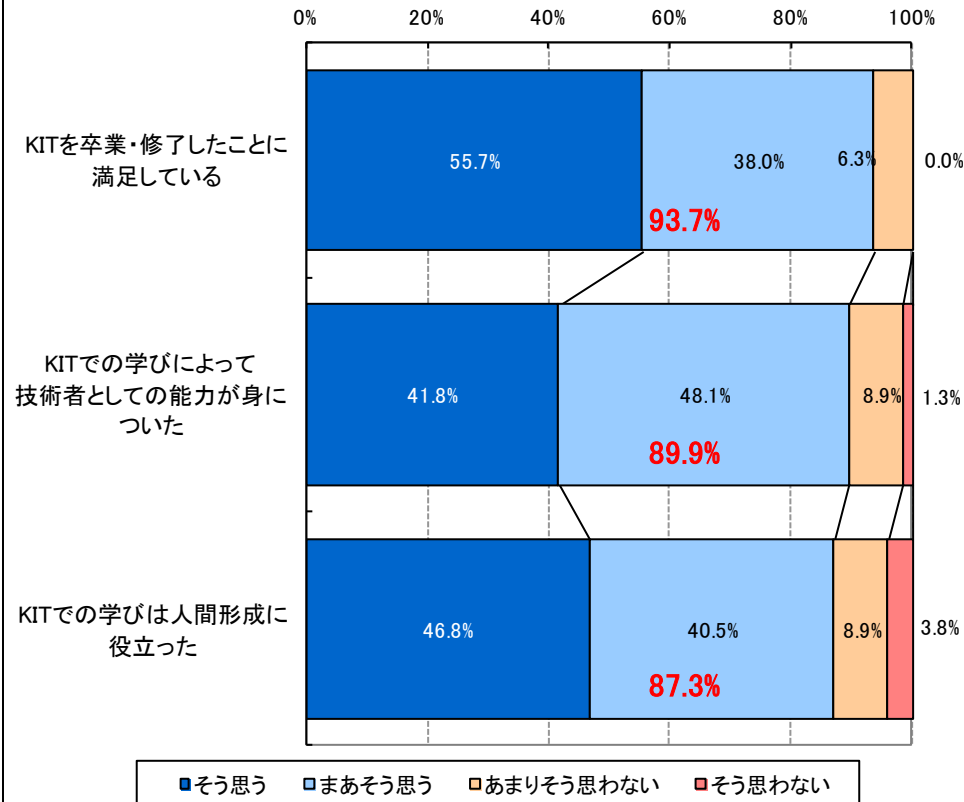
	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
× プロジェクトデザインⅢ・修士研究の担当指導教員との相談	84.6%	83.7%	86.0%	84.4%	88.3%	87.6%	87.6%	81.4%	91.3%	90.2%	92.2%	93.5%	89.8%	96.5%	94.1%	92.3%
● 進路アドバイザー(教員)との相談	78.5%	75.7%	72.0%	78.7%	80.6%	80.3%	83.5%	82.9%	84.8%	84.9%	88.2%	88.6%	91.5%	92.9%	93.0%	84.4%
▲ 進路開発センタースタッフとの相談	76.5%	72.1%	67.4%	75.2%	74.0%	73.6%	80.2%	78.8%	78.3%	79.5%	83.9%	87.0%	84.6%	90.5%	90.0%	81.8%
□ 進学・就職に関する講演会	80.3%	64.4%	65.7%	76.6%	76.0%	76.9%	77.9%	78.8%	75.7%	83.3%	90.6%	85.1%	83.8%	90.5%	88.9%	82.1%
○ 模擬試験、模擬面接、履歴書作成のアドバイス	83.5%	71.4%	73.8%	80.3%	74.5%	78.5%	85.1%	78.0%	86.0%	76.1%	88.9%	88.4%	83.6%	88.1%	88.9%	90.8%
× 合同会社説明会 on KIT(学内で開催された会社説明会)	68.9%	65.3%	71.0%	78.0%	74.8%	75.7%	76.1%	80.7%	83.7%	77.4%	88.0%	87.0%	89.7%	84.1%	87.0%	82.7%
● 就職活動支援バス	66.4%	65.5%	66.4%	66.4%	76.2%	70.3%	70.3%	72.8%	80.2%	81.3%	81.6%	82.6%	75.0%	72.8%	83.5%	75.0%
△ 就職ノート	67.7%	57.0%	60.7%	65.7%	75.0%	68.7%	63.8%	64.3%	70.9%	69.6%	78.7%	78.2%	72.8%	76.3%	82.5%	79.7%
■ 資料室、就職資料の掲示	78.0%	78.1%	80.3%	85.0%	87.5%	83.2%	88.4%	81.2%	83.8%	82.9%	85.8%	88.4%	84.3%	90.1%	88.7%	81.6%
◆ 進路開発センターホームページ、企業情報データベース	81.1%	80.8%	76.1%	85.7%	87.4%	82.4%	87.6%	82.8%	88.9%	88.1%	90.7%	91.7%	90.6%	91.6%	90.8%	88.2%
○ 総合的に見て、就職・進学支援に満足しましたか	84.4%	75.5%	76.4%	85.1%	84.6%	86.2%	84.7%	83.2%	84.7%	87.5%	91.5%	92.0%	86.5%	95.3%	92.0%	88.3%

<7-3>卒業後のKITの評価

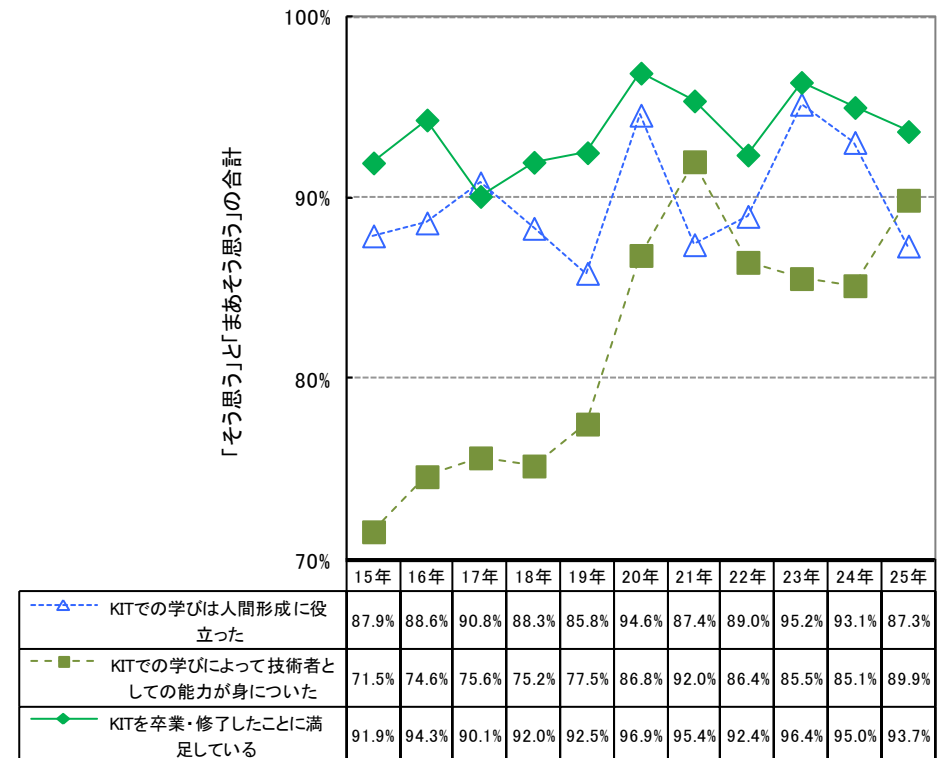
■卒業後のKITの評価 年度別比較

- 卒業後に振り返ってのKITの評価は「卒業生」と「修了生」にのみ聞いている。
- 「KITを卒業・修了したことに満足している」に対しては、「そう思う」が55.7%、「まあそう思う」が38.0%であり、93.7%が満足と答えていた。そして、「KITでの学びによって技術者としての能力が身についた」は89.9%、「KITでの学びは人間形成に役立った」は87.3%が肯定的な意見であり、いずれも高い評価となっていた。
- 年度別の比較で「KITを卒業・修了したことに満足している」を見ると、2年連続で低下しており、今回は1.3ポイント低下していた。また、「KITでの学びは人間形成に役立った」も連続して低下し、今回は5.8ポイントと大きな低下となっていた。一方、「KITでの学びによって技術者としての能力が身についた」は前回は4.8ポイント上回り、21年に次ぐ高さとなっていた。

■卒業後に振り返ってのKITの評価(卒業・修了生全体)



■卒業後に振り返ってのKITの評価 年度別比較 (卒業・修了生全体)



職種は、卒業生では「コンピュータ(SE等)」、修了生では「設計技術」が最も多かった。業種は、卒業生では「サービス業(コンピュータなど)」、修了生では「製造業(一般・電気など)」が最も多かった。

- 卒業生の現在の職種は「コンピュータサービス(SE等)」が26.7%で最も多く、修了生では「設計技術」が31.6%で最も多かった。
- 卒業生の会社の業種は「サービス業(コンピュータ・情報サービス)」が28.1%で最も多く、修了生では「製造業(一般・電気・輸送用・精密機械)」が36.8%で最も多かった。

「KITを卒業・修了したことの満足度」は93.7%と高いが、「人間形成に役立った」とともに2年連続で低下していた。一方、「技術者としての能力が身についた」は前回は上回っていた。

- 「KITを卒業・修了したことに満足している」に対しては、93.7%が肯定的な意見で満足度は非常に高いものの、年度別では2年連続で低下していた。また、「KITでの学びは人間形成に役立った」は87.3%であったが、同様に連続して低下していた。
- 「KITでの学びによって技術者としての能力が身についた」の肯定的な意見は89.9%であり、前回は4.8ポイント上回っていた。

「就職・進学支援」の総合満足度は88.3%であったが、2年連続で低下していた。支援策の評価も多くが低下し、「進路アドバイザー(教員)との相談」「就職活動支援バス」などの低下が大きかった。

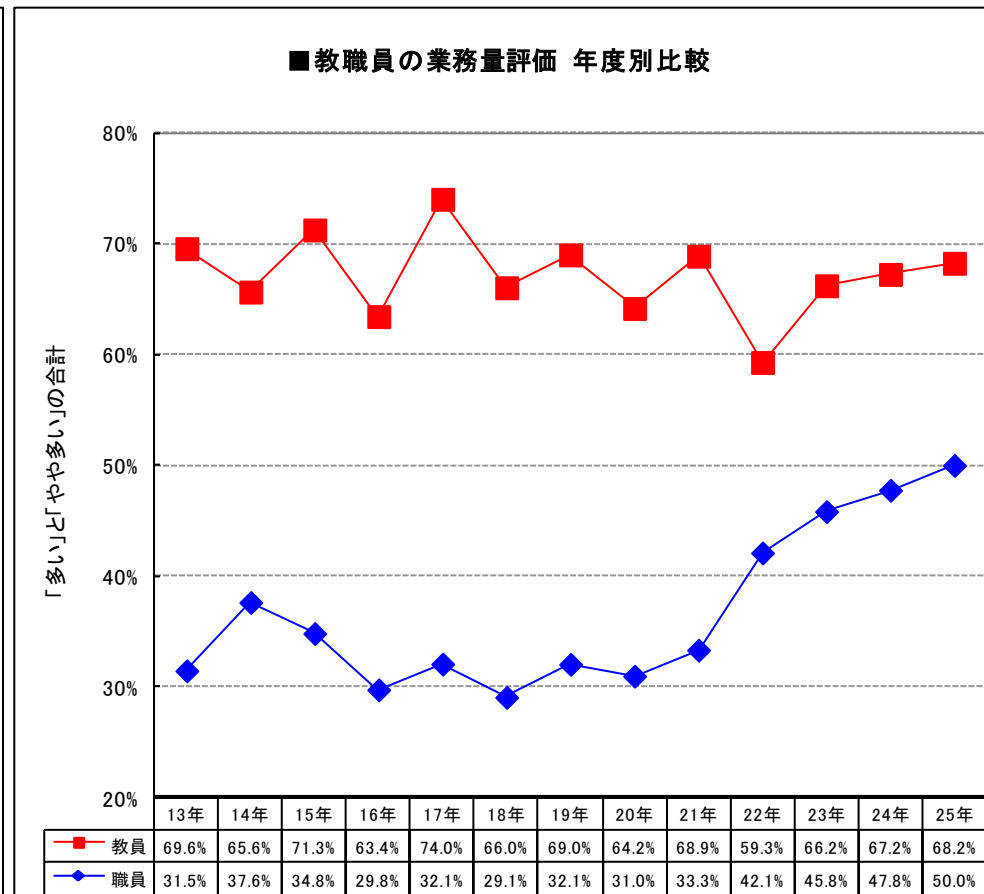
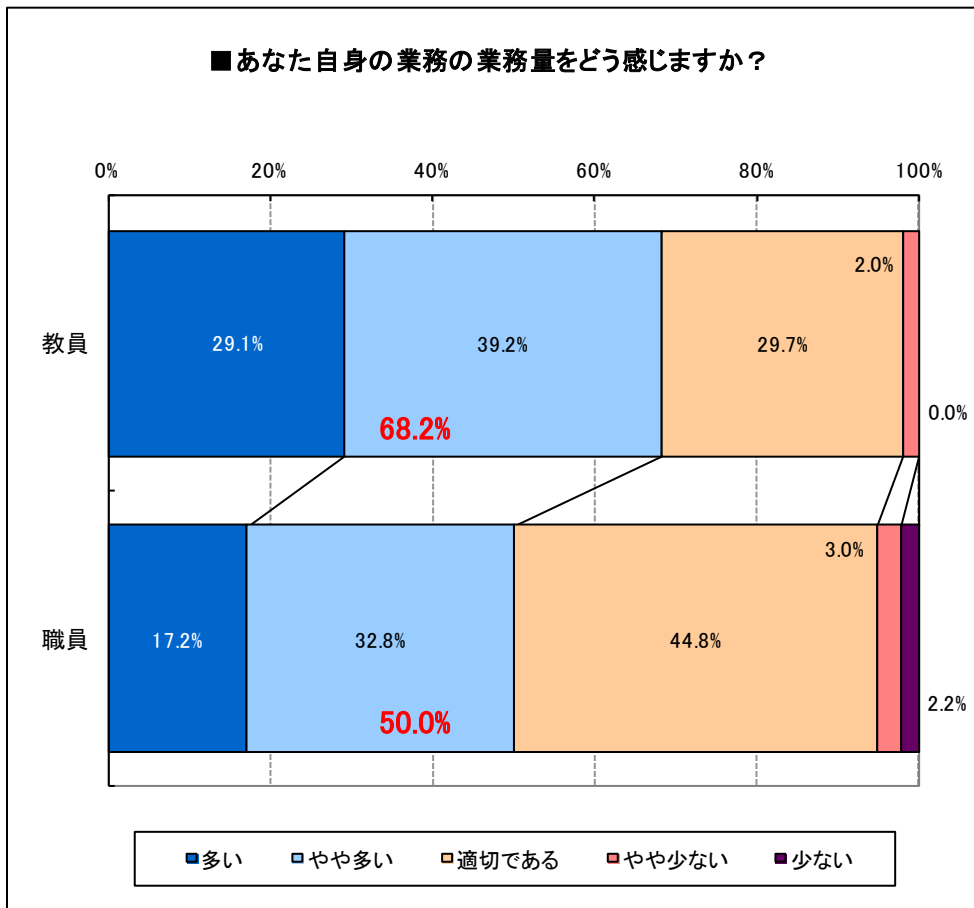
- 「就職・進学支援の総合満足度」は88.3%で、2年連続で低下していた。
- 支援策では「プロジェクトデザインⅢ・修士研究の担当指導教員との相談」「模擬試験、模擬面接、履歴書作成のアドバイス」の評価が高く、「就職活動支援バス」「就職ノート」が低かった。
- 今回は「模擬試験、模擬面接、履歴書作成のアドバイス」以外はすべて前回は下回っており、特に「進路アドバイザー(教員)との相談」「就職活動支援バス」「進路開発センタースタッフとの相談」の低下が大きかった。

<8>教職員アンケートに関して

<8-1>	業務の状況に関して	67
<8-2>	教員の授業および学習支援の自己評価	73
<8-3>	KITでの満足度	74
<8-4>	教職員アンケートのまとめ	77

■自分自身の業務量

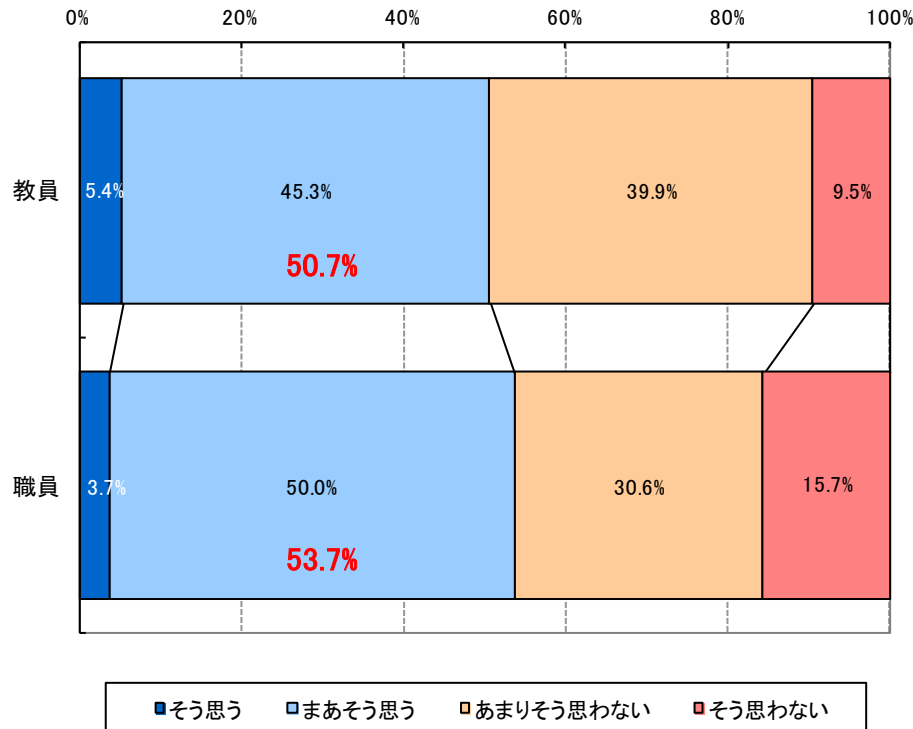
- 「あなた自身の業務量をどう感じますか？」に対して、「教員」では「多い」が29.1%、「やや多い」が39.2%であり、合計すると68.2%が業務量が多いと感じており、「適切である」は29.7%であった。
- 「職員」では「多い」が17.2%、「やや多い」が32.8%であり、合計すると50.0%が業務量が多いと答えており、「適切である」は44.8%であった。
- 業務量が多いという回答の合計の年度別比較を見ると、「教員」は22年まで増減を繰り返していたが、23年からはゆるやかな増加傾向が続いていた。一方、「職員」は21年から増加する傾向が続いており、今回も2.2ポイント増加して過去最高となっていた。



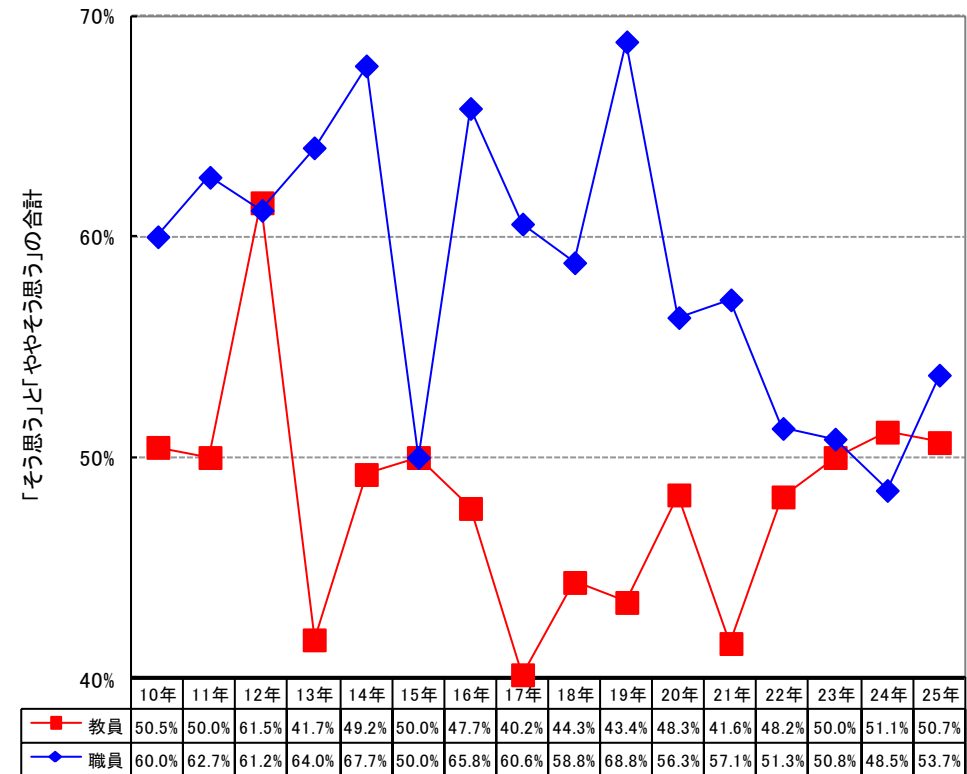
■自分自身の業務改善状況

- 「あなた自身の業務は昨年度より改善されていますか？」に対して、「教員」では「そう思う」が5.4%、「まあそう思う」が45.3%であり、合計すると50.7%が業務は改善されていると感じていた。そして、「職員」では「そう思う」が3.7%、「まあそう思う」が50.0%で合計すると53.7%となり、「教員」を3.0ポイント上回っていた。ただし、「職員」では「そう思わない」が15.7%と多い点が特徴的であった。
- 肯定的な意見の合計の年度別比較を見ると、わずかに例外はあるものの、調査開始から「職員」の方が高い傾向にあり、19年のように25.4ポイントという大きな差がついている年もあった。しかし、ここ数年は両者の差が縮まっており、今回もわずかな差となっていた。

■あなた自身の業務は昨年度より改善されていますか？

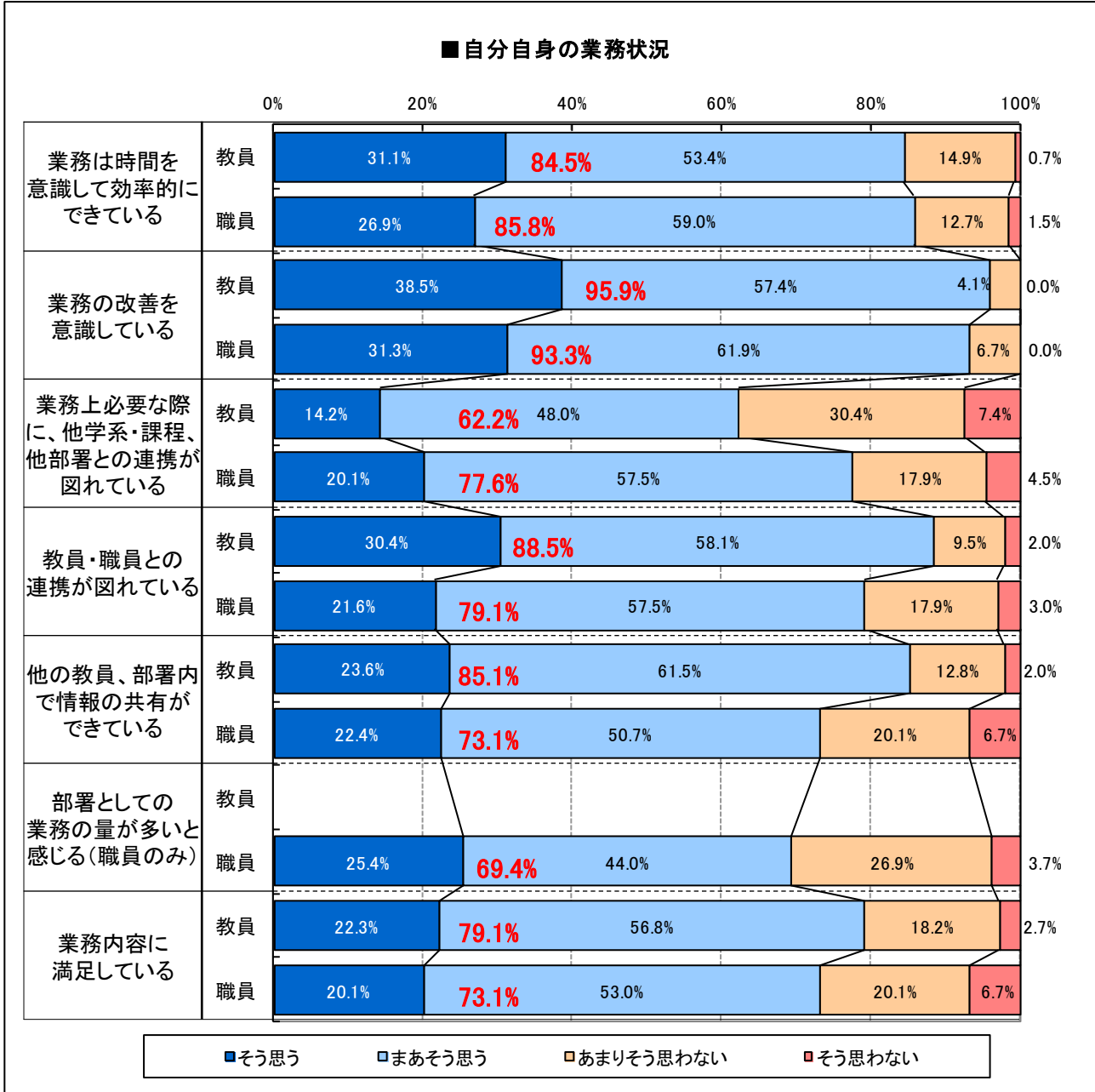


■業務の改善状況 年度別比較



■ 自分自身の業務状況

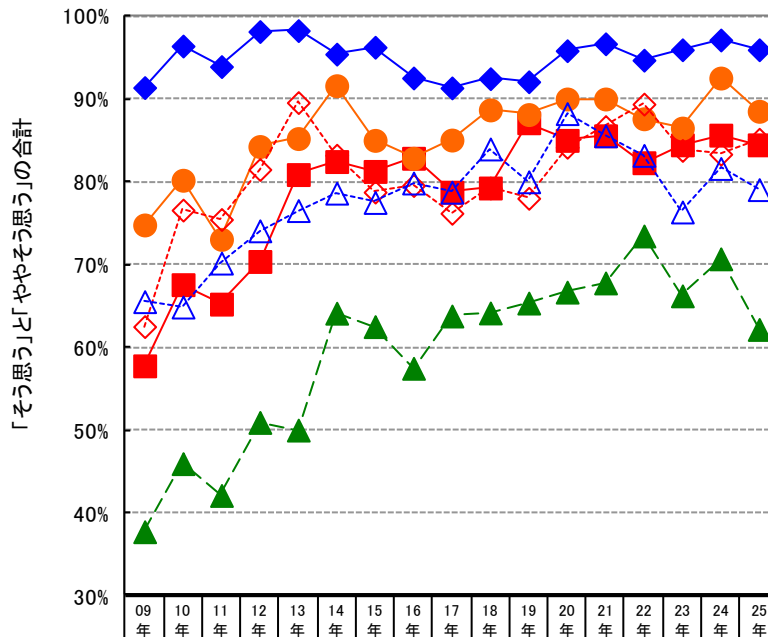
- 自分自身の業務状況に関して、まず、「業務内容に満足している」の肯定的な意見を見ると、「教員」が79.1%、「職員」が73.1%であり、差は6.0ポイントとなっていた。
- 満足度以外の項目では、「教員」「職員」とともに「業務の改善を意識している」で肯定的な意見が最も多く、「教員」が95.9%、「職員」が93.3%となっていた。また、「業務は時間を意識して効率的にできている」も「教員」が84.5%、「職員」が85.8%と多かった。
- 上記以外の項目では両者の差がやや大きく、「教員・職員との連携が図れている」「他の教員、部署内で情報の共有ができています」では「教員」の方が肯定的な意見が多かった。一方、「業務上必要な際に、他学系・課程、他部署との連携が図れている」では「職員」の方が多く、その差は15.4ポイントと大きかった。



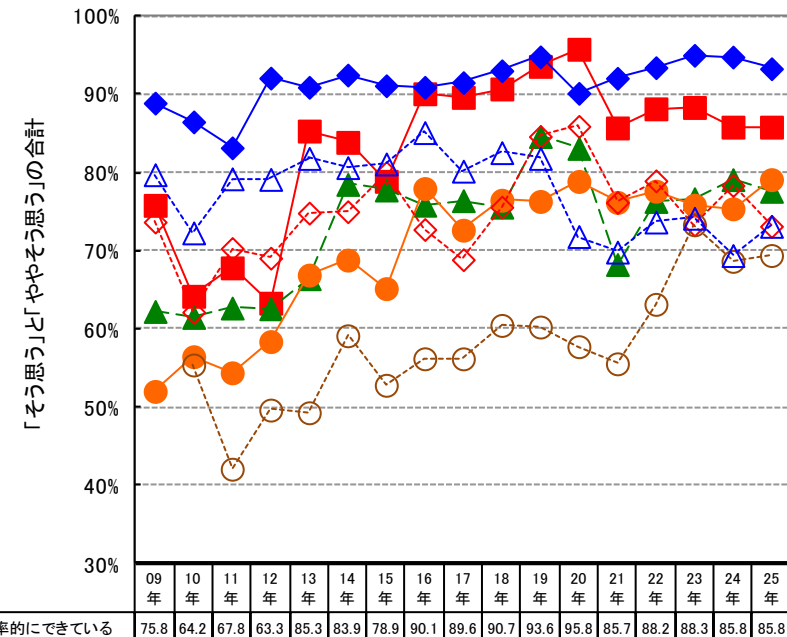
■自分自身の業務状況 年度別比較

- 「教員」の業務状況の年度別比較を見ると、「業務内容に満足している」は20年に過去最高となった後に23年まで低下が続き、今回は向上していたが、今回は低下となっていた。他の項目では、「他教員と情報の共有ができています」は前回は上回ったものの、他はすべて低下しており、「他学系等と連携が図れている」は8.5ポイントと大きな低下となっていた。
- 「職員」の「業務内容に満足している」は前回は過去最低となっていたが、今回は3.7ポイント向上していた。他の項目では、「教員との連携が図れている」が前回は上回って過去最高となっていた。また、「部署としての業務の量が多いと感じる」も前回は上回ったものの、これは業務量が多いという不満意見が増加しているということになる。

■教員の自分自身の業務状況 年度別比較

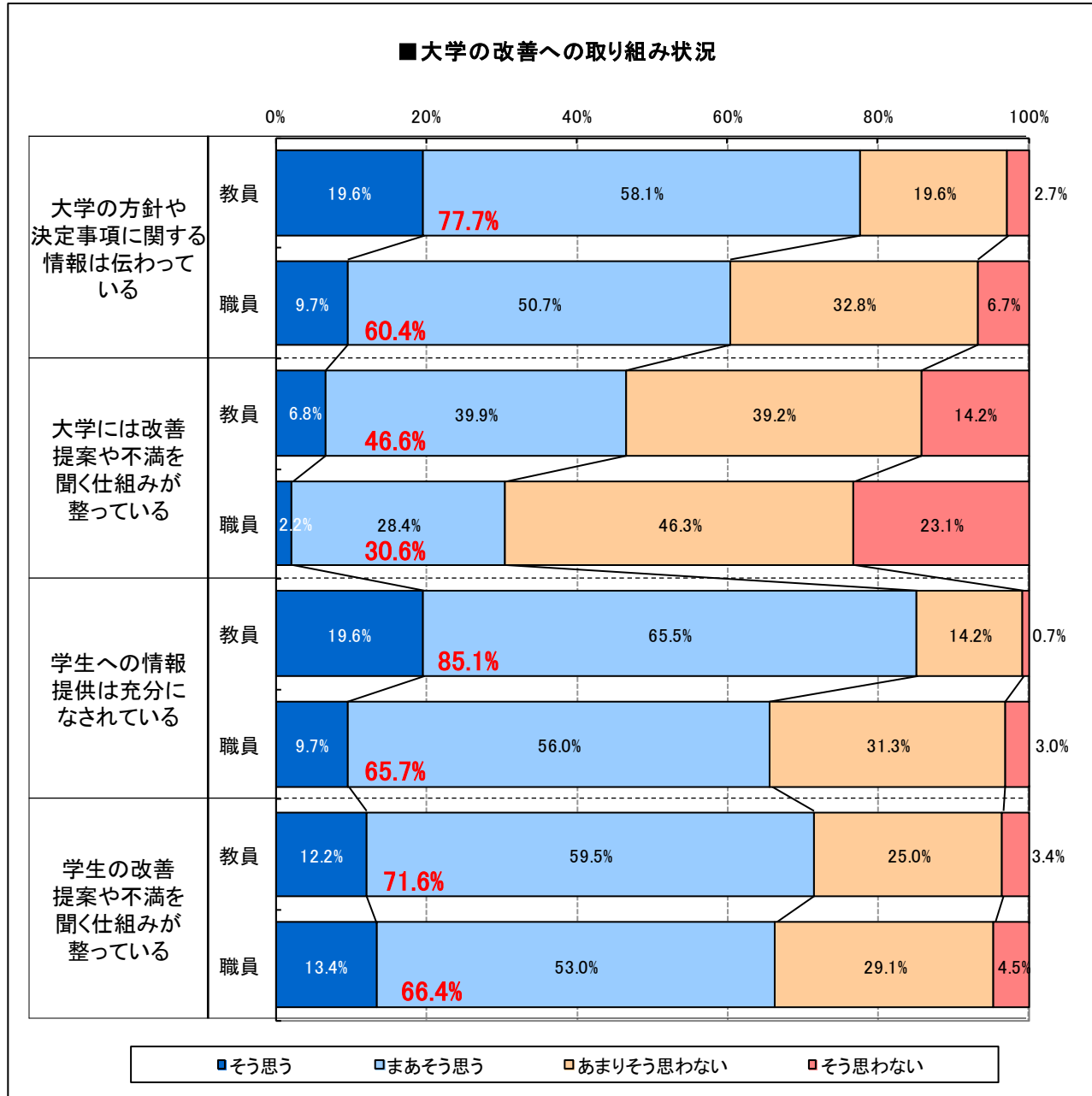


■職員の自分自身の業務状況 年度別比較



■大学の改善への取り組み状況

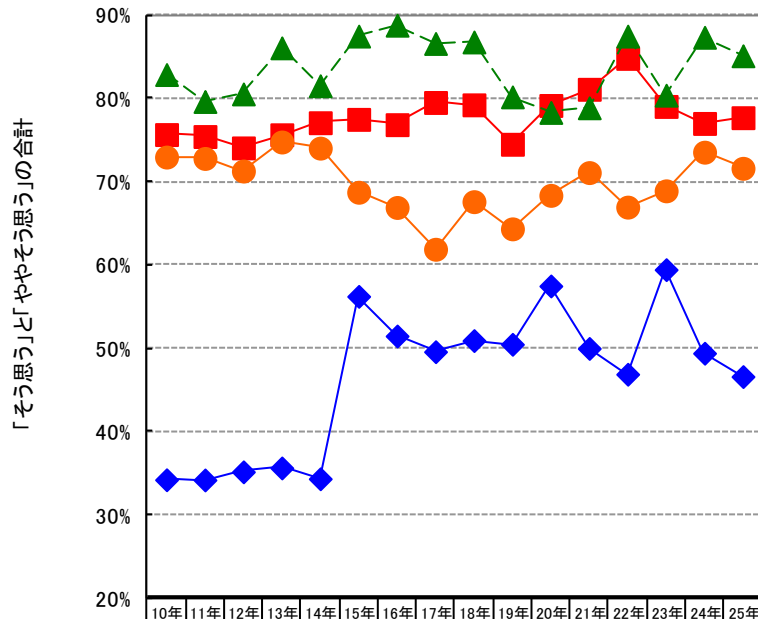
- 大学の改善への取り組み状況の評価は、すべての項目で「教員」の方が肯定的な意見が多かった。
- 「教員」と「職員」の差が最も大きかったのは「学生への情報提供は充分になされている」であり、差は19.4ポイントであった。
- 一方、差が最も小さかったのは「学生の改善提案や不満を聞く仕組みが整っている」であり、差は5.2ポイントであった。
- その他では、「大学には改善提案や不満を聞く仕組みが整っている」で、「職員」の「そう思わない」が23.1%と非常に多く、職員はこのあたりに大きな不満を感じているようであった。



■大学改善への取り組み状況 年度別比較

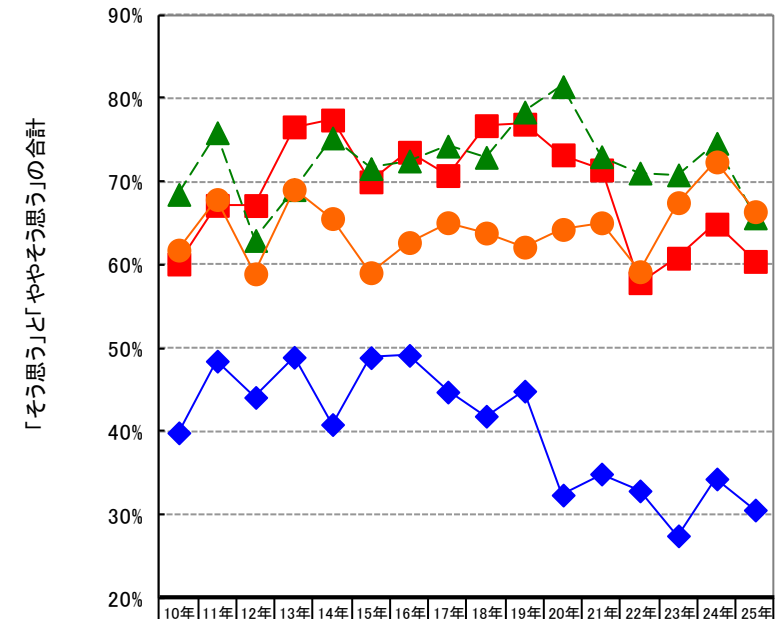
- 「教員」の大学の改善への取り組み状況の年度別比較を見ると、「大学の方針や決定事項に関する情報は伝わっている」の肯定的な意見は前回より0.7ポイントとわずかに向上していたが、他はすべて前を下回っており、「大学には改善提案や不満を聞く仕組みが整っている」は連続して低下していた。
- 「職員」は前回には4項目すべてが向上し、「学生の改善提案や不満を聞く仕組みが整っている」は過去最高の評価となっていた。しかし、今回はすべてが低下しており、特に「学生への情報提供は充分になされている」は8.9ポイントと大きな低下となっていた。

■教員の大学の改善への取り組み状況 年度別比較



■ 大学の方針や決定事項に関する情報は伝わっている	75.7%	75.4%	74.1%	75.7%	77.1%	77.5%	76.9%	79.5%	79.2%	74.5%	79.2%	81.1%	84.8%	79.1%	77.0%	77.7%
■ 大学には改善提案や不満を聞く仕組みが整っている	34.2%	34.2%	35.2%	35.7%	34.4%	56.3%	51.5%	49.6%	50.9%	50.5%	57.5%	50.0%	46.9%	59.5%	49.4%	46.6%
■ 学生への情報提供は充分になされている	82.9%	79.6%	80.6%	86.1%	81.5%	87.5%	88.8%	86.6%	86.8%	80.2%	78.3%	78.9%	87.5%	80.4%	87.4%	85.1%
■ 学生の改善提案や不満を聞く仕組みが整っている	73.0%	72.8%	71.3%	74.8%	74.0%	68.8%	66.9%	61.9%	67.6%	64.4%	68.4%	71.1%	67.0%	68.9%	73.6%	71.6%

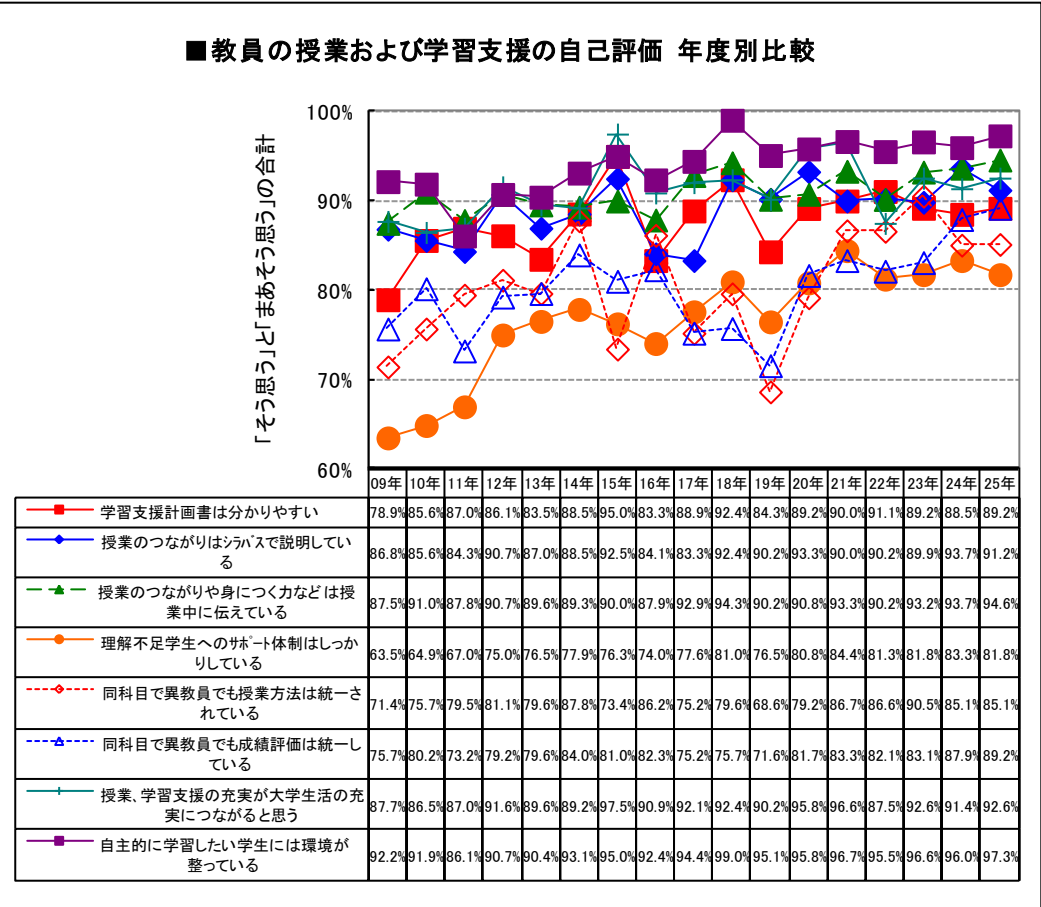
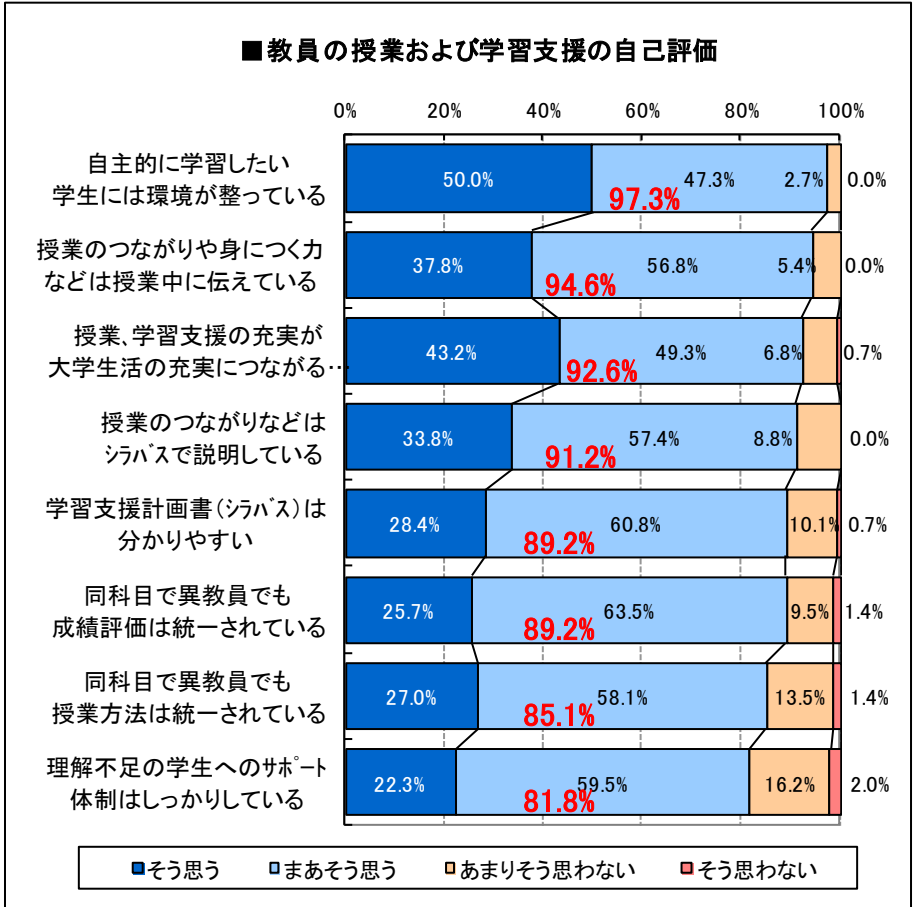
■職員の大学の改善への取り組み状況 年度別比較



■ 大学の方針や決定事項に関する情報は伝わっている	60.1%	67.2%	67.2%	76.6%	77.4%	70.0%	73.6%	70.8%	76.7%	76.9%	73.2%	71.4%	57.9%	60.8%	64.9%	60.4%
■ 大学には改善提案や不満を聞く仕組みが整っている	39.9%	48.5%	44.1%	48.9%	40.9%	48.9%	49.2%	44.8%	41.9%	44.9%	32.4%	34.9%	32.9%	27.5%	34.3%	30.6%
■ 学生への情報提供は充分になされている	68.5%	75.9%	63.0%	69.1%	75.3%	71.6%	72.5%	74.3%	72.9%	78.4%	81.4%	73.0%	71.1%	70.8%	74.6%	65.7%
■ 学生の改善提案や不満を聞く仕組みが整っている	61.8%	67.9%	59.0%	69.1%	65.6%	59.1%	62.7%	65.1%	63.9%	62.2%	64.3%	65.1%	59.2%	67.5%	72.4%	66.4%

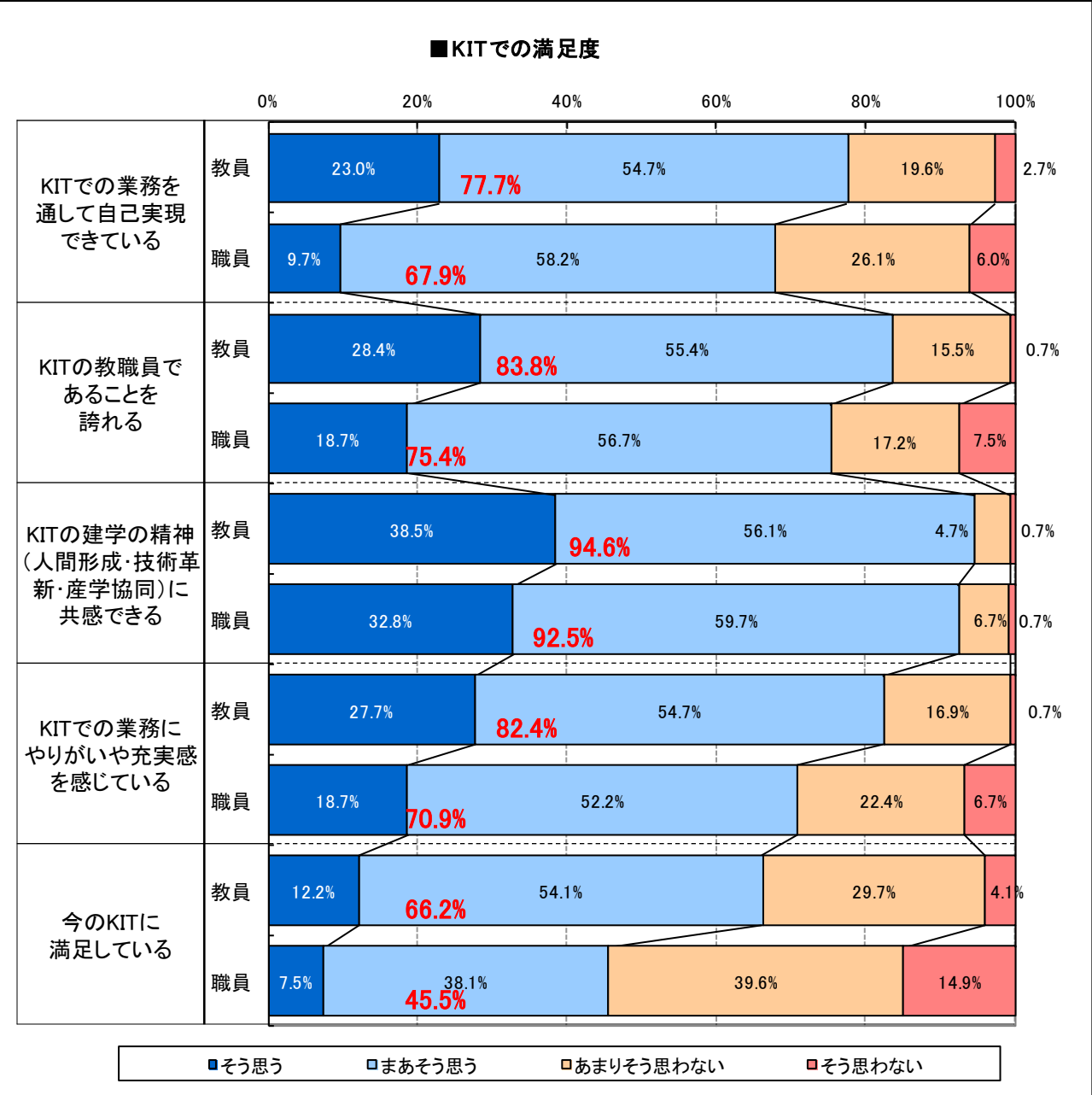
■教員の授業および学習支援の自己評価

- 教員には「授業および学習支援の自己評価」を聞いているが、肯定的な意見が最も多かったのは「自主的に学習したい学生には環境が整っている」の97.3%であった。次いで、「授業のつながりや身につく力などは授業中に伝えている」が94.6%、「授業、学習支援の充実が大学生活の充実につながると思う」が92.6%で続いていた。
- 一方、肯定的な意見が最も少なかったのは「理解不足の学生へのサポート体制はしっかりしている」の81.8%で、次いで「同科目で異教員でも授業方法は統一されている」が85.1%、「同科目で異教員でも成績評価は統一されている」が89.2%で続いており、「同科目で異なる教員の対応」にやや課題を感じているようであった。
- 年度別に比較を見ると、大きな変化ではないものの前回を上回る項目が多く、「授業のつながりや身につく力などは授業中に伝えている」と「同科目で異教員でも成績評価は統一されている」は過去最高となっていた。



■KITでの満足度

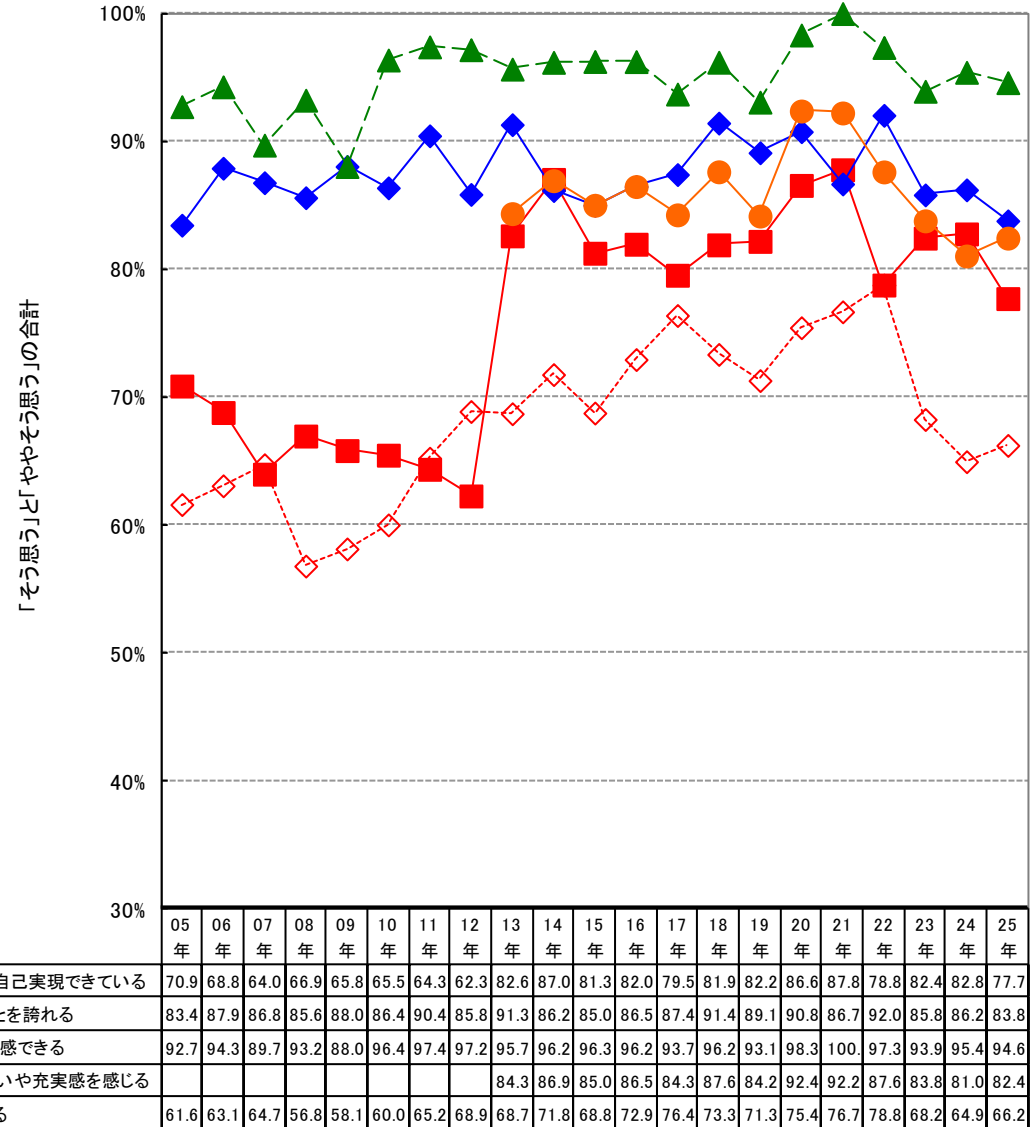
- 最も重要な指標である「今のKITに満足している」を見ると、「教員」では「そう思う」が12.2%、「まあそう思う」が54.1%であり、合計すると満足度は66.2%となっていた。「職員」では「そう思う」が7.5%、「まあそう思う」が38.1%で、満足度は45.5%と半数に届かず、「教員」を20.7ポイント下回っていた。また、「職員」では「そう思わない」が14.9%と多い点も気になった。
- 満足度も含めて、すべての項目で「教員」の方が肯定的な意見が多く、充実している様子がうかがえた。最も差が大きかったのは満足度の20.7ポイントであり、「KITでの業務にやりがいや充実感を感じている」の11.5ポイントが続いていた。
- 一方、最も差が小さかったのは「KITの建学の精神に共感できる」の2.1ポイントであった。



■教員のKITでの満足度の年度別比較

- 「教員」の「今のKITに満足している」の肯定的な意見は、22年の過去最高から前回まで2年連続で低下していたが、今回は1.3ポイントの向上となっていた。同様に「KITでの業務にやりがいや充実感を感じている」は20年の過去最高から継続的に低下が続き、前回には過去最低となっていたが、今回は1.4ポイントの向上となっていた。
- 上記の2項目以外はすべて前回は下回っていた。「KITの教職員であることを誇れる」は2.4ポイントの低下で調査開始の05年に次ぐ低さとなり、「KITでの業務を通して自己実現できている」は5.1ポイントの低下で13年以降で最も低くなっており、やや気になる結果となっていた。

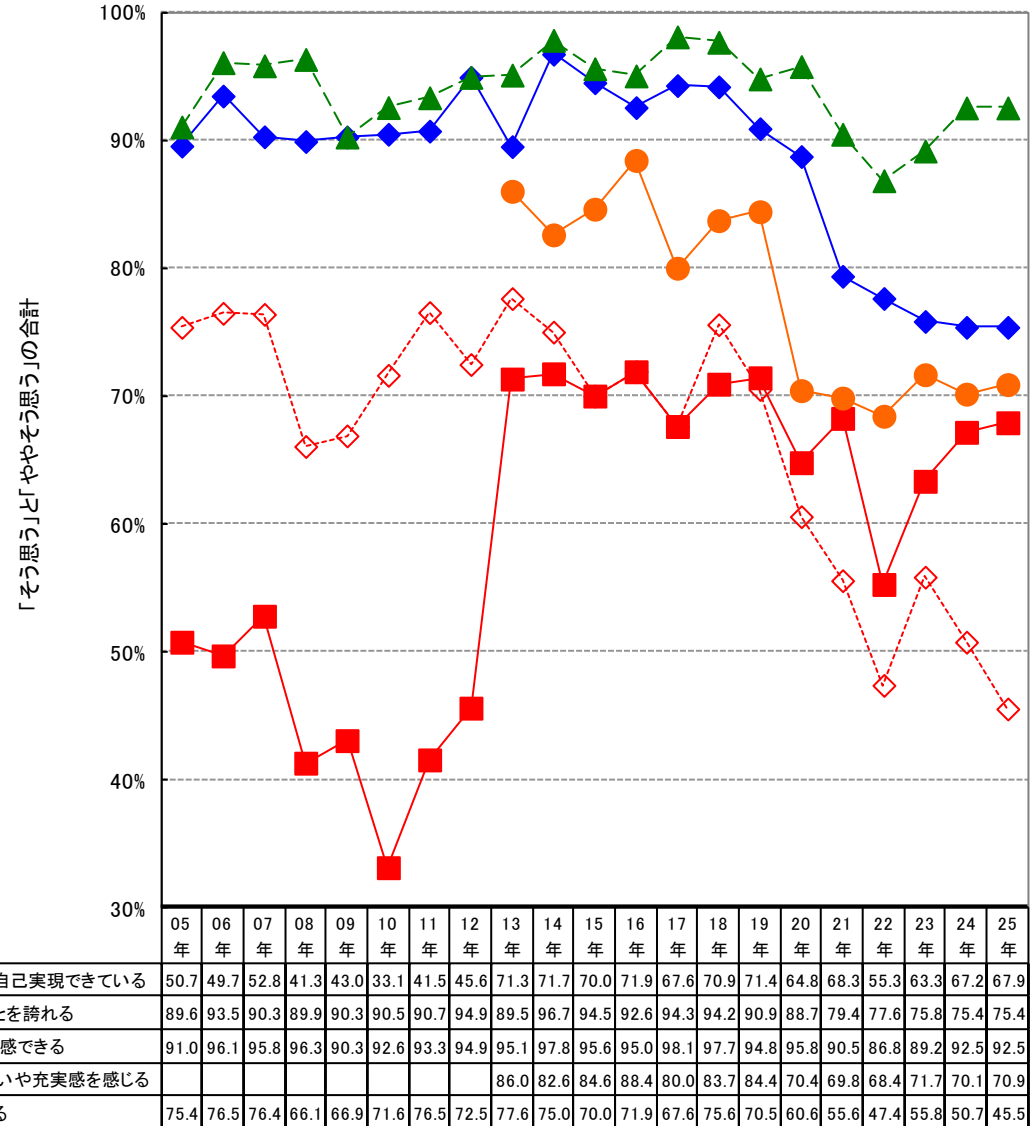
■教員のKITでの満足度 年度別比較



■ 職員のKITでの満足度の年度別比較

- 「職員」の「今のKITに満足している」は19年から低下傾向が続いて22年にはそれまでの過去最高となり、23年には向上したものの、その後は再び連続して低下しており、今回は5.2ポイント低下して過去最低の満足度となっていた。これは非常に気になる結果と言える。
- 上記以外では、継続的に低下傾向が続いていた「KITの教職員であることを誇れる」が横ばいとなっていた。ただし、過去最低だった前回からの横ばいであり、安心できる結果とは言えない。
- 「KITの建学の精神に共感できる」は前回から横ばい、「KITでの業務を通して自己実現できている」は微増であったが、いずれも継続的な向上から横ばいに転じていた。

■ 職員のKITでの満足度 年度別比較



<8-4>教職員アンケートのまとめ

「業務量が多い」と感じる意見は「教員」で68.2%、「職員」で50.0%とやや差があったが、いずれも前回は上回り、「職員」は過去最高となっていた。

- 「教員」では68.2%が業務量が多いと感じており、「適切である」は29.7%であった。一方、「職員」では50.0%が多いと感じており、「適切である」は44.8%であった。
- 業務量が多いという回答の合計の年度別比較を見ると、「教員」は22年まで増減を繰り返していたが、23年からはゆるやかな増加傾向が続いていた。一方、「職員」は21年から増加する傾向が続いており、今回も2.2ポイント増加して過去最高となっていた。

大学改善への取り組み状況は「教員」の評価の方が高かったが、「教員」は4項目中の3項目、「職員」は4項目すべてが低下しており、両者ともに改善が進んでいるとは感じていないようであった。

- 大学の改善への取り組み状況の評価は、すべての項目で「教員」の方が肯定的な意見が多く、差が最も大きかったのは「学生への情報提供は充分になされている」であり、小さかったのは「学生の改善提案や不満を聞く仕組みが整っている」であった。
- 「教員」では「大学の方針や決定事項に関する情報は伝わっている」がわずかに向上していたが、他の3項目はすべて前回は下回っていた。そして、「職員」は4項目すべてが低下していた。

「業務は昨年度より改善されていますか？」に対する肯定的な意見は「教員」「職員」ともに約5割であった。以前は「職員」で改善を実感する意見が多かったが、ほとんど差がなくなっている。

- 「あなた自身の業務は昨年度より改善されていますか？」に対する肯定的な意見は、「教員」が50.7%、「職員」が53.7%であり、いずれも約半数が改善されていると感じていた。ただし、「職員」では「そう思わない」が15.7%と多い点特徴的であった。
- 肯定的な意見の年度別比較を見ると、わずかに例外はあるものの、調査開始から「職員」の方が多い傾向にあり、大きな差がついている年もあった。しかし、ここ数年は両者の差が縮まっており、今回もわずかな差となっていた。

「同科目で異なる教員の対応」にやや課題を感じているようであったが、「異教員での成績評価の統一」は過去最高となっており、改善が進んでいる様子がうかがえた。

- 「教員」の授業および学習支援の自己評価では、「自主的に学習したい学生には環境が整っている」「授業のつながりなどはシラバスで説明している」「授業、学習支援の充実が大学生活の充実につながると思う」が高かった。
- 目立って低いわけではないが、「同科目で異なる教員の対応」にやや課題を感じているようであった。ただし、「同科目で異教員でも成績評価は統一されている」も過去最高となっており、改善は進んでいるようであった。

「教員」の「業務内容の満足度」は前回は下回って79.1%であった。「職員」の満足度は過去最低の前回から向上して73.1%で、「教員との連携が図れている」は過去最高となっていた。

- 「業務内容の満足度」は「教員」が79.1%、「職員」が73.1%であり、「教員」は前回より低下し、「職員」は過去最低であった前回から向上していた。
- 「教員」「職員」ともに「業務の改善を意識している」「業務は時間を意識して効率的にできている」で肯定的な意見が多かった。
- 「教員」は6項目中の5項目が前回は下回り、「他学系等と連携が図れている」の低下が大きかった。一方、「職員」は「教員との連携が図れている」が前回は上回って過去最高となっていた。

「KITの満足度」は「教員」が66.2%、「職員」が過去最低の45.5%であった。他に「業務を通して自己実現」「教職員であることへの誇り」なども低く、気になる結果となっていた。

- 「KITの満足度」は「教員」が66.2%、「職員」が45.5%と、20.7ポイントの差がついていた。年度別では「教員」は前回は1.3ポイント上回ったが、「職員」は2年連続で低下して過去最低となっており、非常に気になる結果と言える。
- 「教員」は満足度も含めてすべての項目で「職員」を上回ったものの、「KITの教職員であることを誇れる」「KITでの業務を通して自己実現できている」は前回からの低下が大きかった。また、「職員」の「KITの教職員であることを誇れる」も過去最低だった前回から横ばいで、いずれも気になる結果であった。

<9> 全体のまとめ

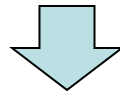
<9-1> 現状と今後の課題のまとめ

79

<9-1>現状と今後の課題のまとめ

(1) 目的・目標意識、満足度、1年間の振り返りのまとめ

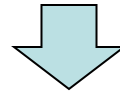
現状のまとめ	ポイント
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「大学生活を送る上で目的・目標がある」は51.8%であり、11年以降では初めて5割を超えていた。 ■ 「目標あり」の割合は、性別では「女性」、学年別では「新入生」が最も多かった。そして学科では「建築学科」「航空システム工学科」が多く、「機械工学科」が少なかった。 ■ KIT全体に関する満足度は93.3%と過去最高であり、「満足」という回答も33.6%で過去最高となっていた。 ■ 満足度は性別では「女性」、学年別では「修了直前」が高く、学科では「機械」「航空システム」が高かった。 ■ 分野別では「学習支援」「大学院」の満足度が高かった。年度別に見ると22年以降は全体的に横ばいが続いていたが、今回はすべてで前回は上回り、7分野が過去最高となっていた。 ■ 1年間の振り返りでは、「成長実感」と「中だるみを感じている」という相反する意見がいずれも約8割となっていた。そして、目標を立てて行動する点に苦手意識が見られた。 ■ 約7割の学生がKIT-IDEALSを意識しているようであった。3指標ともに22年に過去最高となり、23年に大きく低下したものの、その後は増加傾向が続いていた。 	<p>「目的・目標意識あり」は51.8%で11年以降で初めて5割を超えた。</p> <p>「満足度」は93.3%、「満足」という回答は33.6%でいずれも過去最高であった。</p> <p>満足度は「修了直前」が高く、学科では「機械」「航空システム」が高かった。</p> <p>分野別の満足度は7分野が過去最高であり、特に「学習支援」「大学院」が高かった。</p> <p>1年間の振り返りでは、「成長実感」と「中だるみを感じている」という相反する意見がいずれも8割であった。</p>



- ❖ 学生の「満足度」は過去最高の93.3%であり、この点は誇れる点であると思われる。一方、「目標あり」という回答は増加したものの約5割にとどまっており、「目的・目標の持たせ方」は引き続き課題になる点であると思われる。
- ❖ 「満足度」との連動によるものと思われるが、分野別に見ても過去最高の満足度となるものが多く、全体的に授業の内容や学内の各機能の充実が進んでいるようであった。引き続き、この流れを続けることが重要になると思われる。
- ❖ 1年間の振り返りでは、「成長実感」と「中だるみを感じている」という意見が多かったが、これは学生の正直な気持ちだと思われ、これを理解しながら、より成長に向かわせるサポートが求められているものと思われる。

(2) 授業のまとめ

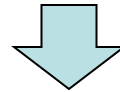
現状のまとめ	ポイント
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「1年次生」では「基礎プロジェクト(ICT入門など)」「生涯スポーツ」「数理基礎(AI基礎など)」の満足度が高く、7科目が過去最高となっていた。 ■ 「2年次生」では「データサイエンス基礎Ⅱ」「数理基礎科目」などの満足度が高く、以前からの科目では「数理基礎科目」「人文社会科学・外国語」「専門科目」が過去最高であった。 ■ 「3年次生」では「専門ゼミ」「専門実験・演習、または総合演習」などの満足度が高かったが、全体としては22年度をピークとして低下傾向が続いていた。 ■ 「卒業直前」の「プロジェクトデザインⅢ」の満足度は2年連続で低下していた。「修了直前」では「専攻共通科目」「専修科目」の満足度が高かったが、6科目中の5科目が前回は下回っていた。 ■ 授業の仕組みの評価は「学習支援計画書は理解できる」「専門的な知識を身につけることができる」などが高かった。全体的には横ばいで、「同科目で異なる教員の対応」の評価が低かった。 	<p>「1年次生」では「基礎プロジェクト(ICT入門など)」「生涯スポーツ」の満足度が高く、7科目が過去最高となっていた。</p> <p>「2年次生」では「データサイエンス基礎Ⅱ」「数理基礎科目」などの満足度が高く、「数理基礎科目」「人文社会科学・外国語」「専門科目」が過去最高であった。</p> <p>「3年次生」では「専門ゼミ」などの満足度が高かったが、全体としては低下傾向が続いていた。</p> <p>授業の仕組みでは、「同科目で異なる教員の対応」の評価が低かった。</p>



- ❖ 「1年次生」では過去最高の満足度となる科目が多く、授業の内容が充実している様子がうかがえた。一方、「3年次生」では全体的に低下傾向が続いており、しっかりとした検証が必要ではないかと思われる。
- ❖ 「同科目で異なる教員の対応」は以前から学生が気にしている点として挙げられることが多く、不満に直結する点ともなっている。今後も、不平等感や不信感、不利益を感じさせないということが重要なポイントになると思われる。

(3) 学生生活のまとめ

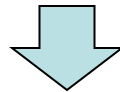
現状のまとめ	ポイント
<ul style="list-style-type: none"> ■ 学生サポート・支援制度の利用率は「eシラバス」と「学習支援計画書」が非常に高く、「海外研修・留学」が低かった。そして、今回は「学生ステーション」の利用率が過去最高であった。 ■ 学生サポート・支援制度の評価は全体的に高く、「eシラバス」「オフィスアワー」「学生ステーション」などの高さが目立っていた。そして、多くが前を上回り、7項目が過去最高となっていた。 ■ 教職員とのコミュニケーションの面の評価は全体的に高く、「職員の窓口業務」「教員の学習に関する相談対応」などが高かった。そして、今回はすべてが過去最高の評価となっていた。 ■ 「授業に関する勉強」に費やす時間は短くなる傾向にあり、「課外活動」は横ばい、「学外のアパート」は長くなる傾向となっていた。そして、アルバイト自体をしていない学生の減少が続いていた。 	<p style="text-align: center;">学生サポート・支援制度では「学生ステーション」の利用率が過去最高となり、利用者からの評価も高かった。</p> <p style="text-align: center;">教職員とのコミュニケーションの面の評価は全体的に高く、すべてが過去最高となっていた。</p> <p style="text-align: center;">時間の使い方では「授業に関する勉強」は短くなり、「学外のアパート」は長くなる傾向が見られた。</p>



- ❖ 今回は「学生ステーション」の利用率と評価の高さが特徴的であった。これは何らかの改善によるものと思われるが、しっかりとそれらの検証を行い、他の学生サポート・支援制度へ広げていくことが全体のレベルアップにつながるものと思われる。
- ❖ 時間の使い方に関しては、授業に関する勉強時間の減少と学外アルバイト時間の増加という傾向が見られた。これに関しては、一概に悪いとは言えず、バランスが重要だと思われるが、まず、しっかりとした実態把握が必要ではないかと思われる。

(4) 進学、就職、卒業時の能力、卒業・修了生アンケートのまとめ

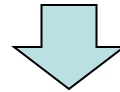
現状のまとめ	ポイント
<ul style="list-style-type: none"> ■ 進路希望は「就職」が72.4%、「大学院進学」は10.3%で、年度別には大きな変化は見られなかった。大学院進学の情報「得られている」が過去最高の39.5%であった。 ■ 「卒業直前」の最終進路は「就職」が82.6%、「大学院進学」が16.2%で年度別には大きな変化は見られなかった。 ■ 卒業時の能力の自己評価は「知識を取り込む力」「思考・推論・創造する力」に大きな自信を持っていたが、年度別には1項目を除いて前回は下回っていた。 ■ 卒業時の能力の自己評価は「修了生」が全体的に高かった。学科では「心理科学」「情報工学」「メディア情報」「機械」が高く、「応用化学」は全体的に低さが目立っていた。 ■ 職種は、卒業生では「コンピュータ(SE等)」、修了生では「設計技術」が最も多かった。業種は、卒業生では「サービス業(コンピュータなど)」、修了生では「製造業(一般・電気など)」が最も多かった。 ■ 「就職・進学支援」の総合満足度は88.3%であったが、2年連続で低下していた。支援策の評価も多くが低下し、「進路アドバイザー(教員)との相談」「就職活動支援バス」などの低下が大きかった。 ■ 「KITを卒業・修了したことの満足度」は93.7%と高いが、「人間形成に役立った」とともに2年連続で低下していた。一方、「技術者としての能力が身についた」は前回は上回っていた。 	<p>「大学院進学の情報」の伝達は進んでいるようであったが、「進路希望」「最終進路」には大きな変化は見られなかった。</p> <p>卒業時の能力の自己評価のほとんどが前回は下回っていた。</p> <p>「就職・進学支援」の総合満足度は88.3%と高いものの、2年連続で低下していた。</p> <p>「KITを卒業・修了したことの満足度」も93.7%と非常に高いものの、2年連続で低下していた。</p>



- ❖ 「大学院進学の情報」の伝達は進んでいるようであったが、「進路希望」「最終進路」には大きな変化は見られなかった。これらを見ると、大学院への進学率を向上させるには、情報伝達の強化だけではなく、大学院進学の意味やメリットをしっかりと見せることが必要になると思われる。
- ❖ 「就職・進学支援の満足度」「KITを卒業・修了したことの満足度」は、いずれもスコア的には高いものの、低下傾向が続いていた。この指標はKITで過ごして社会に出た学生の総合的な評価となるため、現在の高さに安心することなく、低下傾向の要因をしっかりと把握し、改善を続けることが重要だと思われる。

(5) 教職員アンケートのまとめ

現状のまとめ	ポイント
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「業務量が多い」と感じる意見は「教員」で68.2%、「職員」で50.0%とやや差があったが、いずれも前回は上回り、「職員」は過去最高となっていた。 ■ 「業務は昨年度より改善されていますか？」に対する肯定的な意見は「教員」「職員」ともに約5割であった。以前は「職員」で改善を実感する意見が多かったが、ほとんど差がなくなっている。 ■ 「教員」の「業務内容の満足度」は前回は下回って79.1%であった。「職員」の満足度は過去最低の前回から向上して73.1%で、「教員との連携が図れている」は過去最高となっていた。 ■ 大学改善への取り組み状況は「教員」の評価の方が高かったが、「教員」は4項目中の3項目、「職員」は4項目すべてが低下しており、両者ともに改善が進んでいるとは感じていないようであった。 ■ 「同科目で異なる教員の対応」にやや課題を感じているようであったが、「異教員での成績評価の統一」は過去最高となっており、改善が進んでいる様子がうかがえた。 ■ 「KITの満足度」は「教員」が66.2%、「職員」が過去最低の45.5%であった。他に「業務を通して自己実現」「教職員であることへの誇り」なども低く、気になる結果となっていた。 ■ KIT-IDEALSの達成度では「I: 誠実さを持っている」だけが「教員」より「職員」の方が高かった。「教員」は「K: 思いやりの心を持っている」が高く、「職員」は「I: 誠実さを持っている」が高かった。 ■ 「教員」のKIT-IDEALSの達成度はすべての項目が前回は下回り、特に「T: 周囲と共創していく精神を持っている」「S: 自己実現意欲を持っている」などの低下が大きかった。 ■ 「職員」のKIT-IDEALSの達成度では「L: リーダーシップを持っている」「A: 課題解決のための自律性を持っている」「I: 誠実さを持っている」「I: 知的好奇心を持っている」が前回は上回っていた。 	<p>「KITの満足度」は「教員」が66.2%、「職員」が過去最低の45.5%であり、「業務を通して自己実現」「教職員であることへの誇り」なども低かった。</p> <p>大学改善への取り組み状況は「教員」の評価の方が高かったが、ほとんどの項目が前回から低下しており、「教員」「職員」ともに改善が進んでいるとは感じていないようであった。</p> <p>「同科目で異なる教員の対応」は教員自身も課題を感じているようであったが、「成績評価」では徐々に改善も進んでいるようであった。</p>



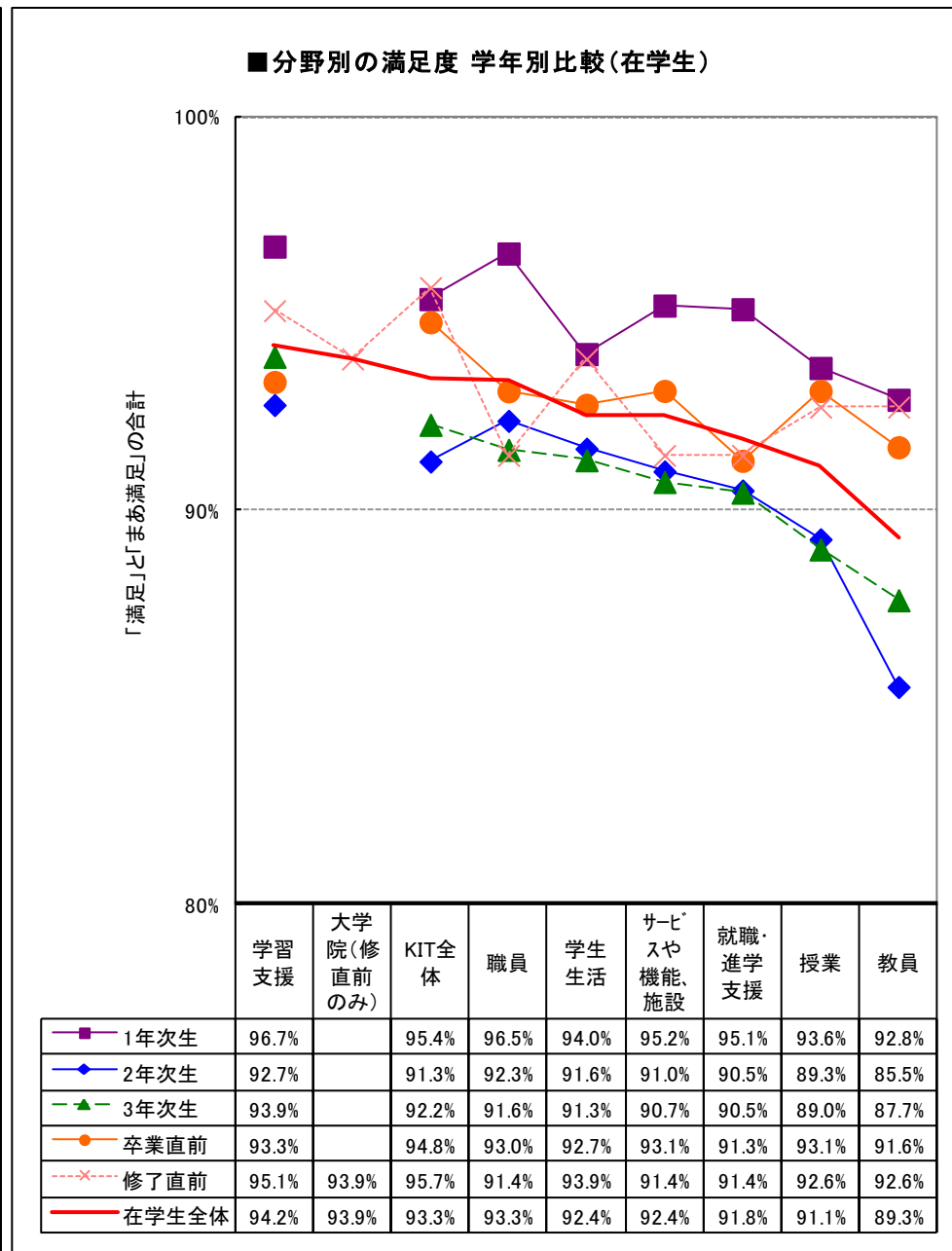
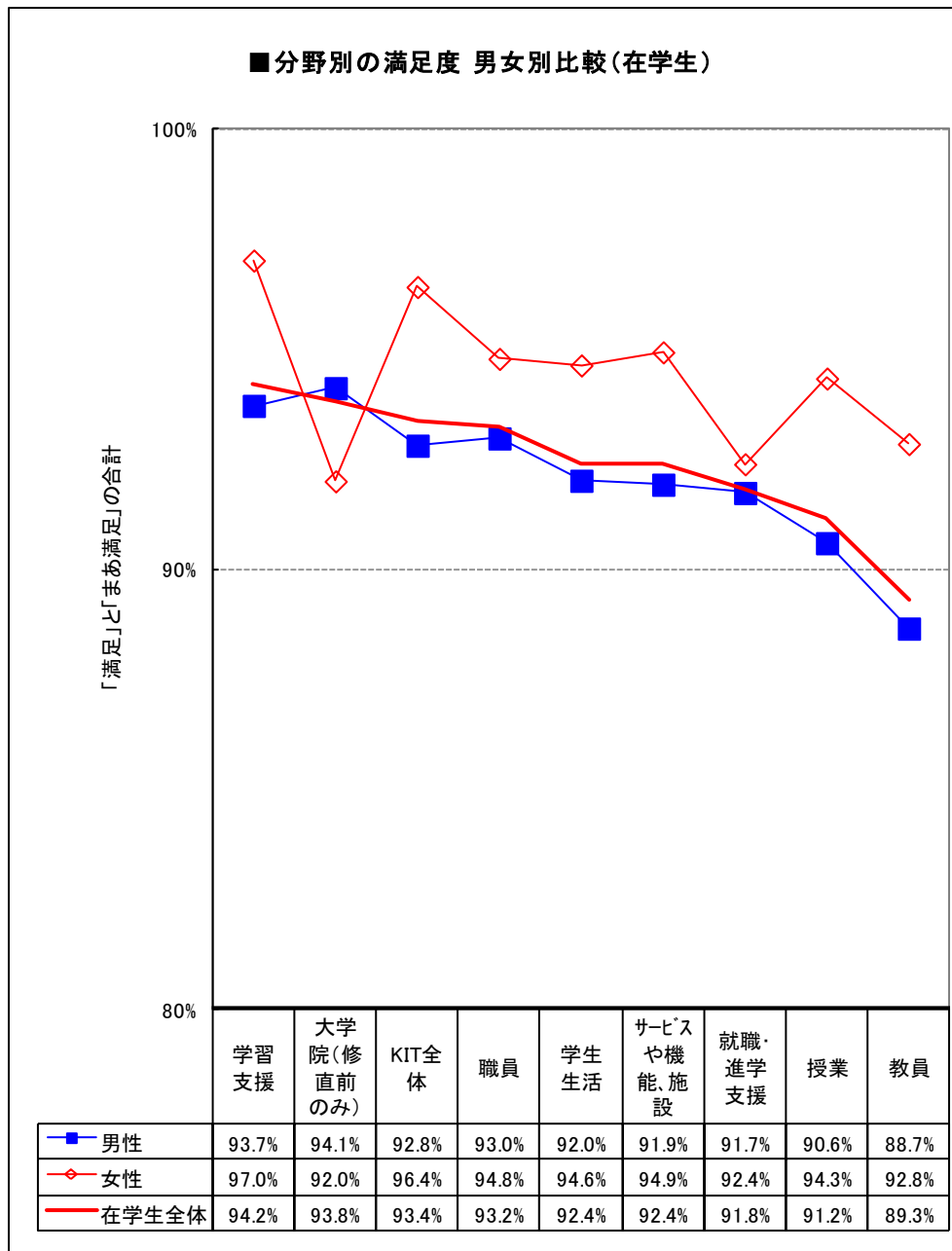
- ❖ 「KITの満足度」は「教員」が66.2%、「職員」が過去最低の45.5%であり、学生の93.3%と比べると、非常に低いものとなっていた。これは今年度のアンケートの大きなポイントであり、しっかりと受け止めることが必要だと思われる。
- ❖ すべてではないものの、「教員」「職員」のアンケートからは、改善が着実に進んでいるという印象は得られなかった。この点も大きなポイントであると思われる。
- ❖ 「同科目で異なる教員の対応」は学生のアンケートでも常に挙げられる課題であり、教員自身も課題を感じていることから、継続的にしっかりとした運営が求められる点と言える。

＜資料＞属性別集計グラフ

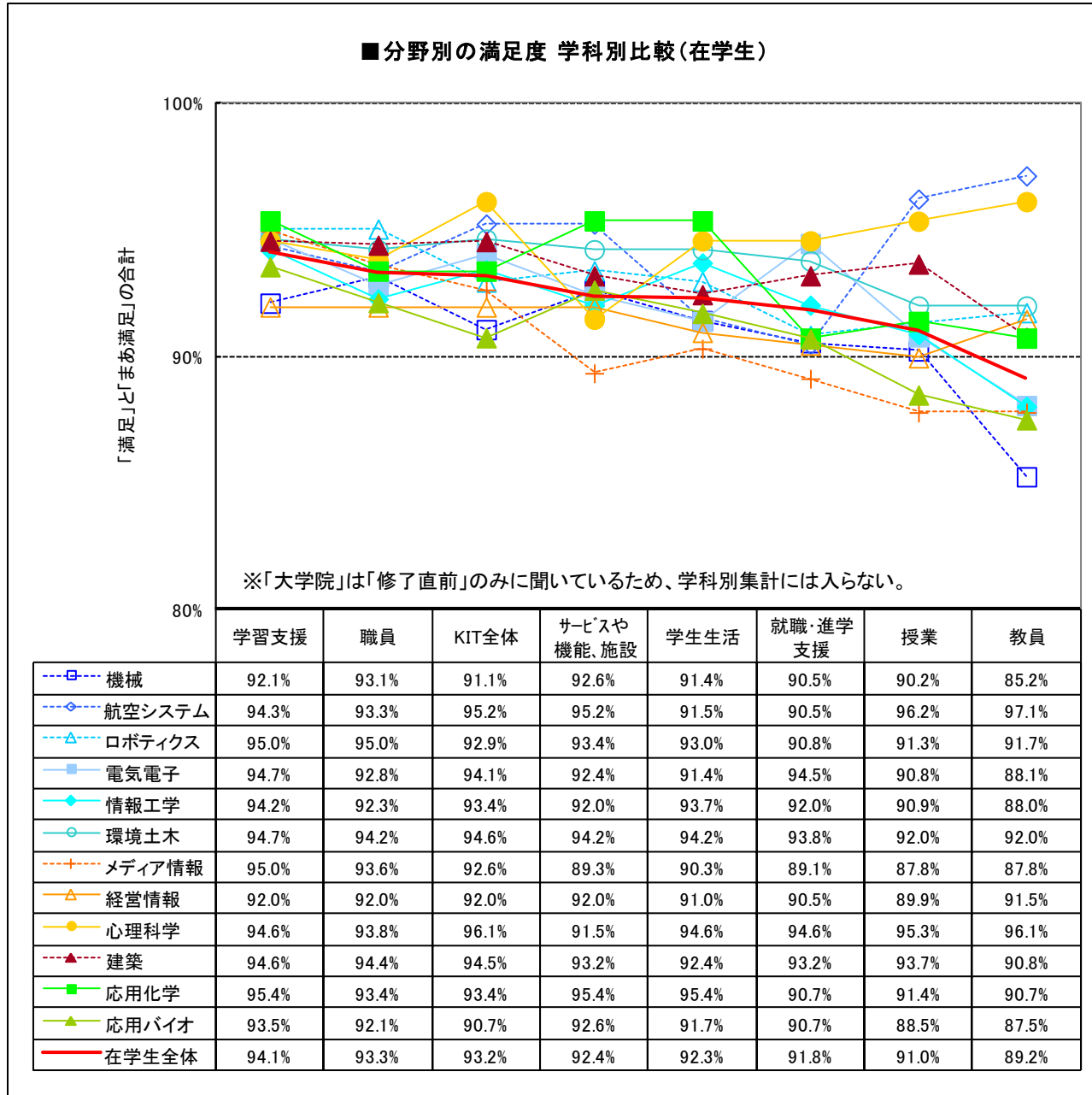
＜資料:1＞分野別の満足度の属性別比較	85
＜資料:2＞この1年間の振り返りの属性別比較	94
＜資料:3＞授業の満足度の属性別比較	96
＜資料:4＞授業の仕組み評価の属性別比較	101
＜資料:5＞学生サポート・支援制度の利用経験者割合、評価の属性別比較	103
＜資料:6＞勉強、課外活動に費やした時間の属性別比較	109
＜資料:7＞大学院進学・就職意向の属性別比較	114
＜資料:8＞大学院進学の情報入手状況の属性別比較	116
＜資料:9＞最終の進路の属性別比較	118
＜資料:10＞教職員と大学の改善取り組み状況の評価の属性別比較	119
＜資料:11＞KIT-IDEALSに関する意識の属性別比較	121

<資料:1>分野別の満足度の属性別比較

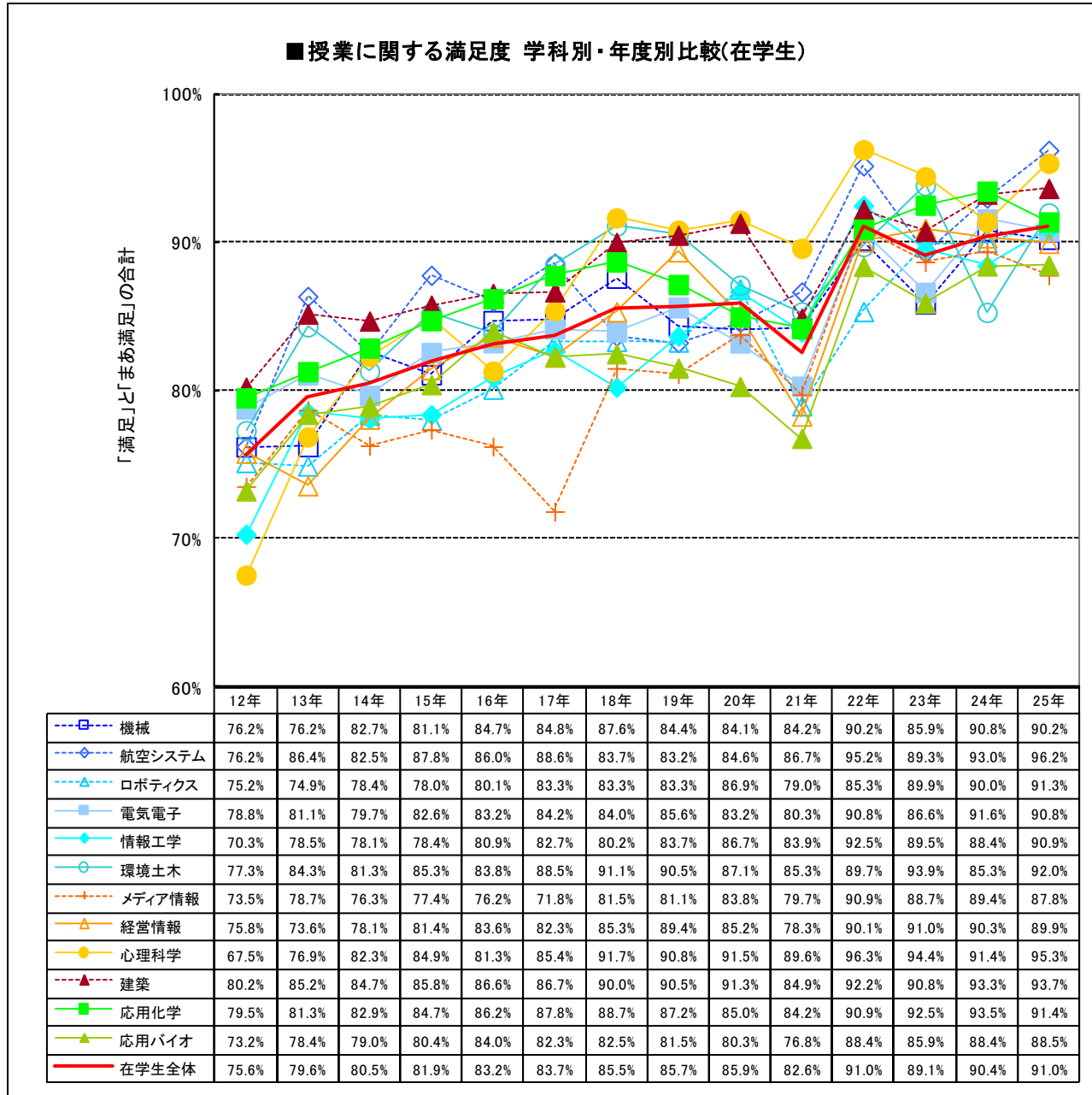
■分野別の満足度 男女別比較、学年別比較



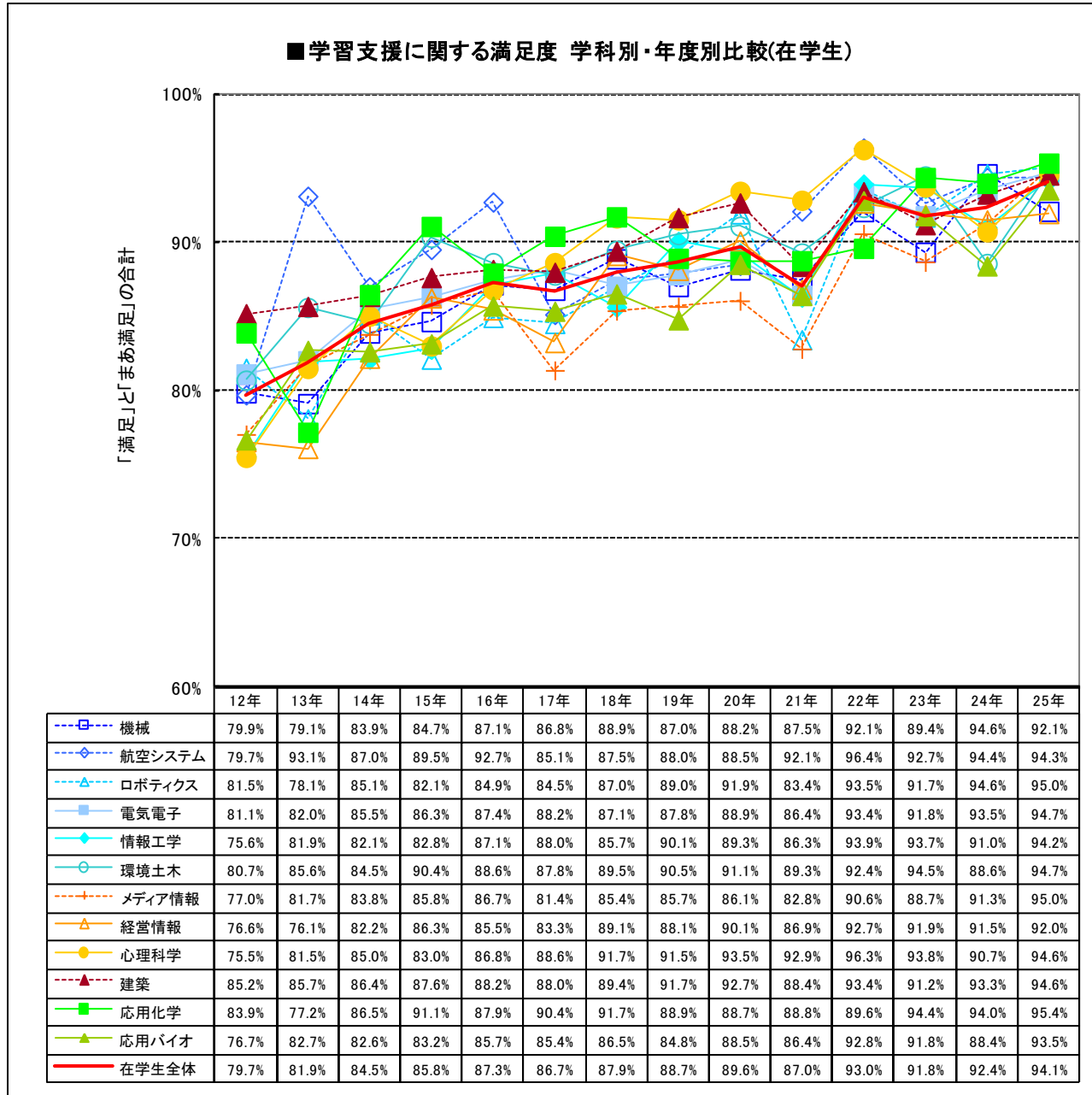
■分野別の満足度 学科別比較



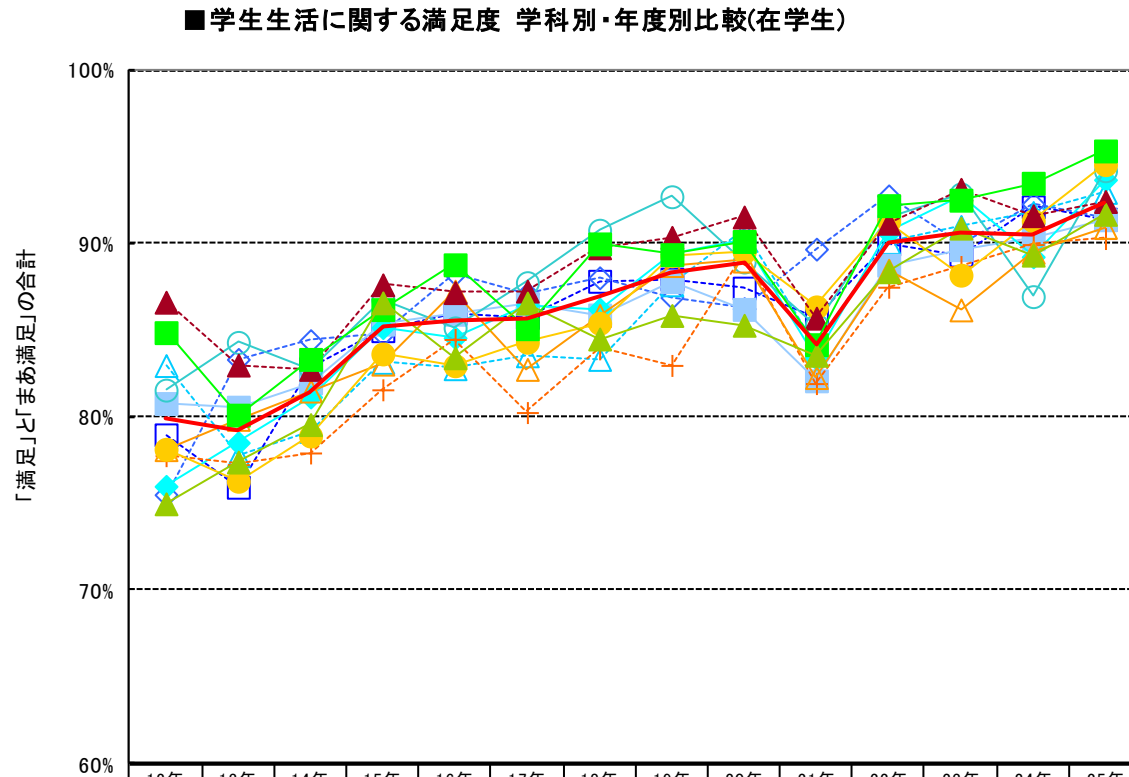
■分野別の満足度:授業に関する満足度 学科別・年度別比較



■分野別の満足度:学習支援に関する満足度 学科別・年度別比較



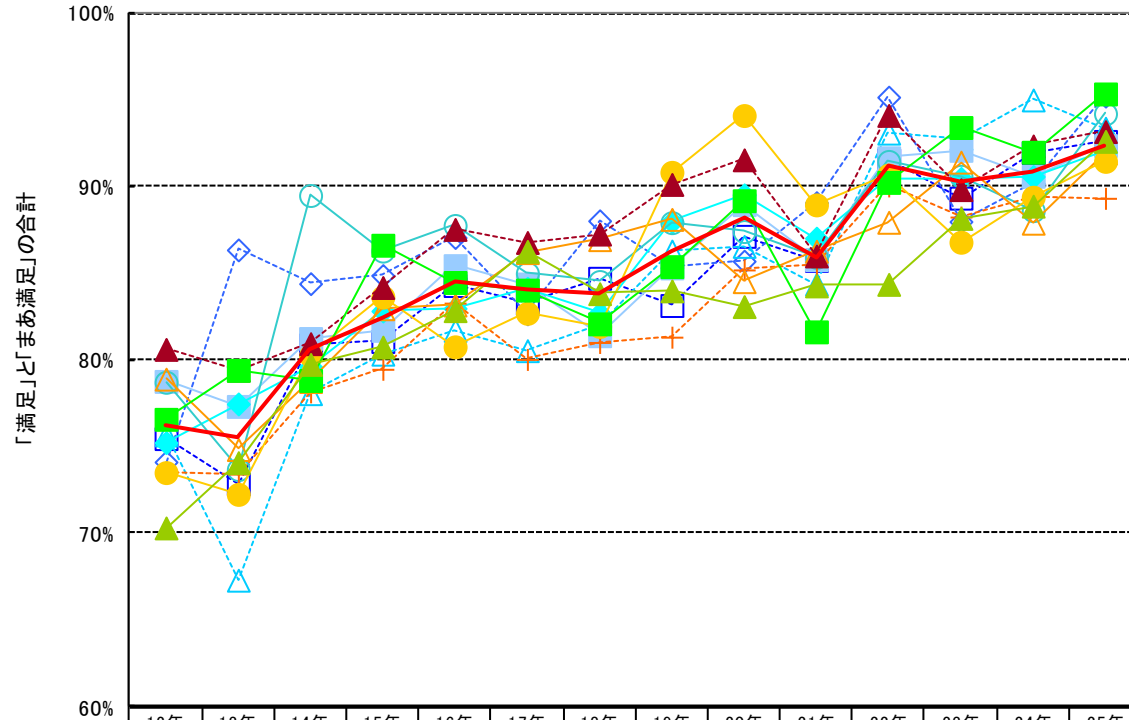
■分野別の満足度:学生生活に関する満足度 学科別・年度別比較



	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
---□--- 機械	79.0%	76.0%	82.8%	85.0%	86.0%	85.8%	87.8%	88.0%	87.4%	85.8%	90.0%	89.4%	92.1%	91.4%
---◇--- 航空システム	75.5%	83.3%	84.4%	84.8%	88.3%	87.1%	88.0%	86.9%	86.3%	89.7%	92.8%	90.0%	92.3%	91.5%
---△--- ロボティクス	83.0%	77.8%	79.2%	83.2%	82.8%	83.5%	83.3%	87.6%	90.7%	84.1%	90.1%	91.0%	91.8%	93.0%
---■--- 電気電子	80.8%	80.6%	82.0%	85.4%	85.9%	86.6%	85.9%	87.8%	86.2%	82.1%	88.8%	89.7%	90.3%	91.4%
---◆--- 情報工学	76.0%	78.5%	81.2%	85.2%	84.6%	86.5%	86.2%	89.4%	90.2%	83.4%	90.6%	92.7%	89.3%	93.7%
---○--- 環境土木	81.6%	84.3%	82.8%	86.8%	85.2%	87.8%	90.8%	92.7%	89.0%	85.3%	91.5%	92.9%	87.0%	94.2%
---+--- メディア情報	77.8%	77.3%	77.9%	81.6%	84.5%	80.3%	83.9%	83.0%	89.4%	81.9%	87.5%	88.7%	90.0%	90.3%
---△--- 経営情報	78.1%	79.9%	81.5%	83.1%	87.3%	82.8%	85.9%	88.8%	89.0%	82.3%	88.5%	86.2%	89.5%	91.0%
---●--- 心理科学	78.1%	76.3%	78.9%	83.6%	83.0%	84.3%	85.4%	89.3%	89.5%	86.4%	91.3%	88.2%	91.3%	94.6%
---▲--- 建築	86.6%	83.0%	82.8%	87.6%	87.2%	87.3%	89.8%	90.4%	91.6%	85.7%	91.2%	93.2%	91.6%	92.4%
---■--- 応用化学	84.9%	80.1%	83.3%	86.2%	88.8%	85.1%	90.0%	89.4%	90.1%	84.2%	92.2%	92.5%	93.5%	95.4%
---▲--- 応用バイオ	75.0%	77.4%	79.9%	86.6%	83.4%	86.6%	84.5%	85.9%	85.3%	83.6%	88.4%	90.9%	89.4%	91.7%
---■--- 在学生全体	79.9%	79.3%	81.4%	85.2%	85.6%	85.6%	86.9%	88.3%	88.9%	84.2%	90.1%	90.7%	90.5%	92.3%

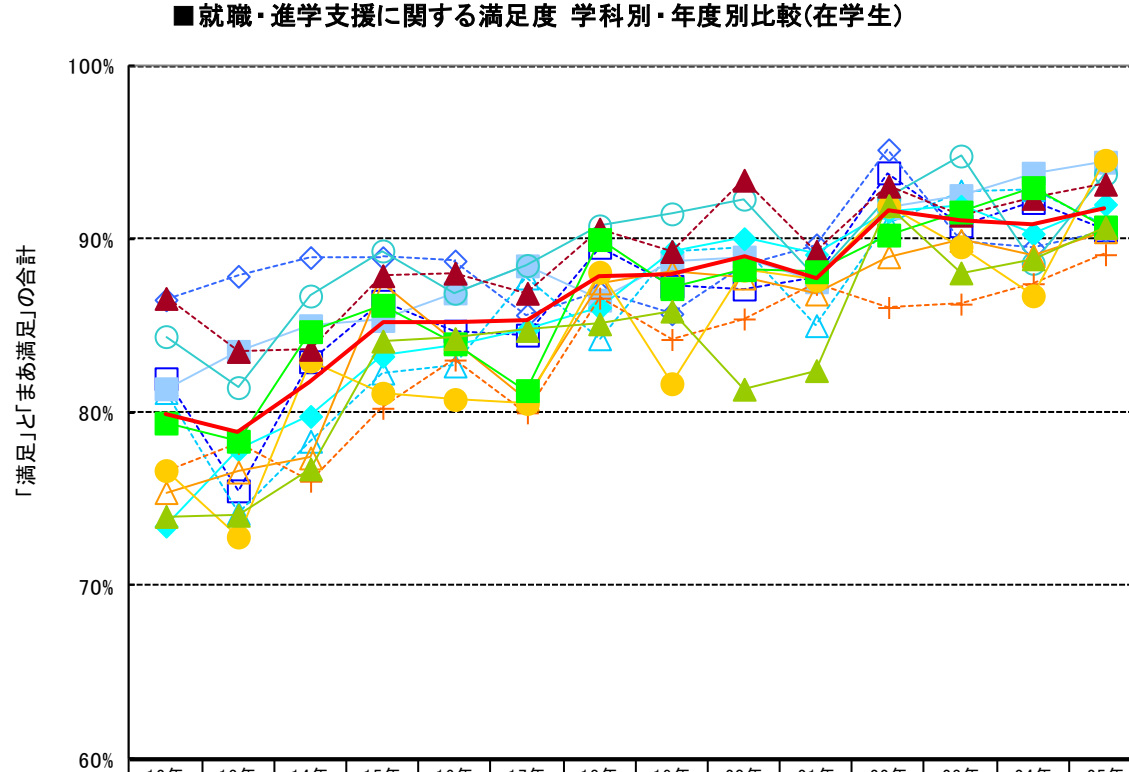
■分野別の満足度:サービスや機能、施設に関する満足度 学科別・年度別比較

■サービスや機能、施設に関する満足度 学科別・年度別比較(在学生)



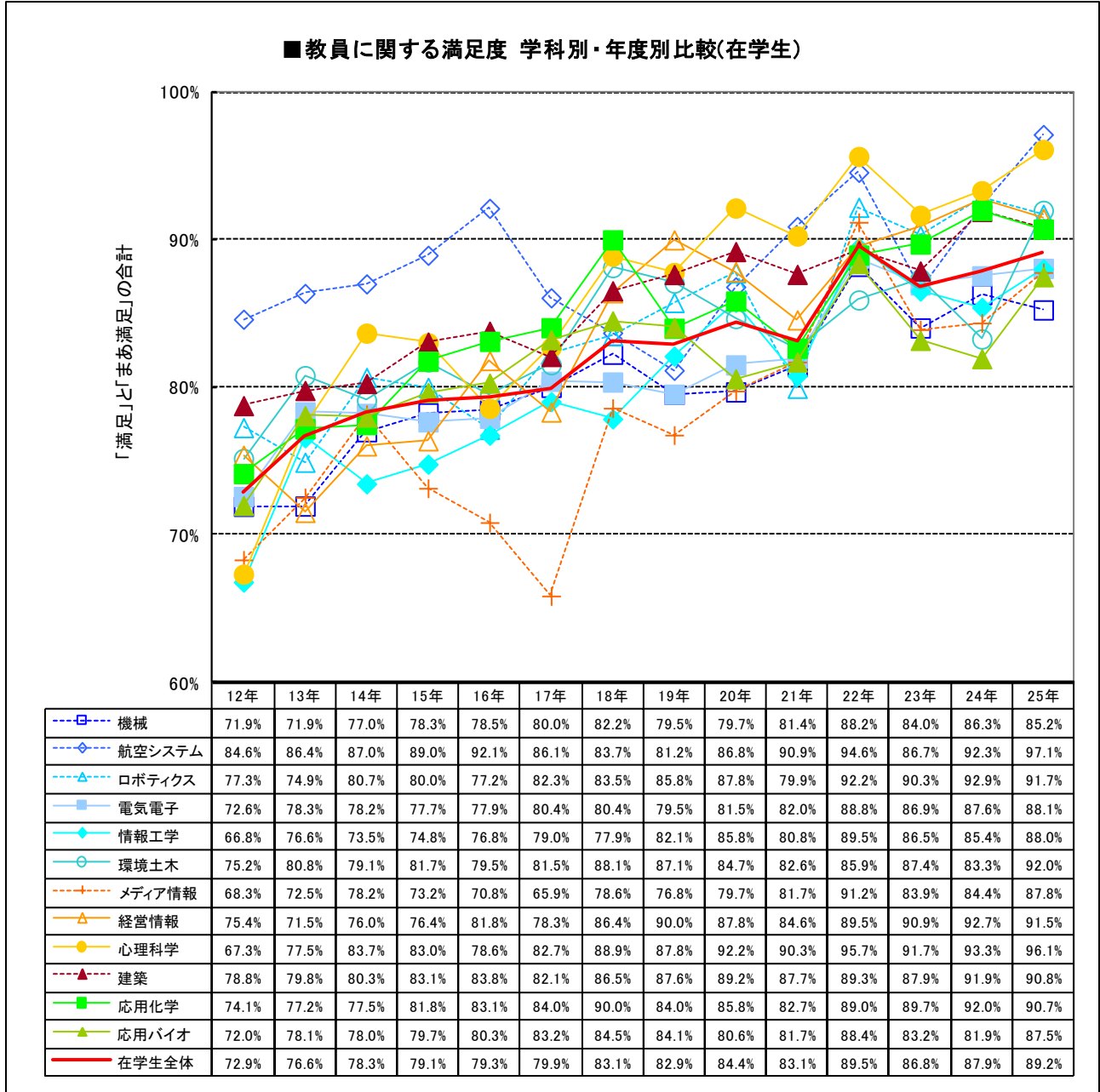
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
---□--- 機械	75.5%	72.9%	80.9%	81.1%	84.3%	83.3%	84.7%	83.2%	87.1%	85.8%	91.6%	89.4%	92.0%	92.6%
---◇--- 航空システム	74.1%	86.4%	84.4%	84.9%	87.1%	82.7%	88.0%	85.3%	85.7%	89.1%	95.2%	88.0%	90.2%	95.2%
---△--- ロボティクス	75.7%	67.3%	78.1%	80.3%	81.7%	80.5%	82.1%	86.3%	86.6%	84.4%	93.1%	92.8%	95.0%	93.4%
---■--- 電気電子	78.8%	77.3%	81.3%	81.7%	85.5%	84.4%	81.4%	85.3%	89.0%	85.8%	91.7%	92.1%	90.6%	92.4%
---◆--- 情報工学	75.2%	77.5%	79.6%	82.8%	83.0%	84.1%	82.7%	88.0%	89.5%	87.0%	90.5%	90.5%	90.6%	92.0%
---○--- 環境土木	78.7%	73.7%	89.5%	86.3%	87.8%	85.0%	84.5%	87.9%	87.4%	85.9%	91.5%	90.6%	88.6%	94.2%
---+--- メディア情報	73.5%	73.4%	78.2%	79.5%	83.3%	80.0%	81.0%	81.3%	85.2%	85.5%	90.1%	88.3%	89.4%	89.3%
---△--- 経営情報	78.9%	74.8%	78.8%	83.0%	83.2%	86.2%	87.0%	88.1%	84.5%	86.3%	88.0%	91.4%	87.9%	92.0%
---●--- 心理科学	73.5%	72.3%	80.3%	83.6%	80.8%	82.7%	81.9%	90.8%	94.1%	89.0%	90.7%	86.8%	89.4%	91.5%
---▲--- 建築	80.6%	79.4%	81.0%	84.2%	87.5%	86.8%	87.3%	90.1%	91.6%	86.0%	94.1%	89.8%	92.4%	93.2%
---■--- 応用化学	76.6%	79.4%	78.8%	86.6%	84.5%	84.0%	82.1%	85.4%	89.2%	81.6%	90.3%	93.4%	92.0%	95.4%
---▲--- 応用バイオ	70.3%	74.1%	79.9%	80.8%	82.9%	86.3%	83.8%	84.0%	83.1%	84.3%	84.4%	88.2%	88.9%	92.6%
---■--- 在学生全体	76.2%	75.6%	80.5%	82.4%	84.6%	84.0%	83.8%	86.2%	88.2%	85.9%	91.2%	90.3%	90.8%	92.4%

■分野別の満足度:就職・進学支援に関する満足度 学科別・年度別比較

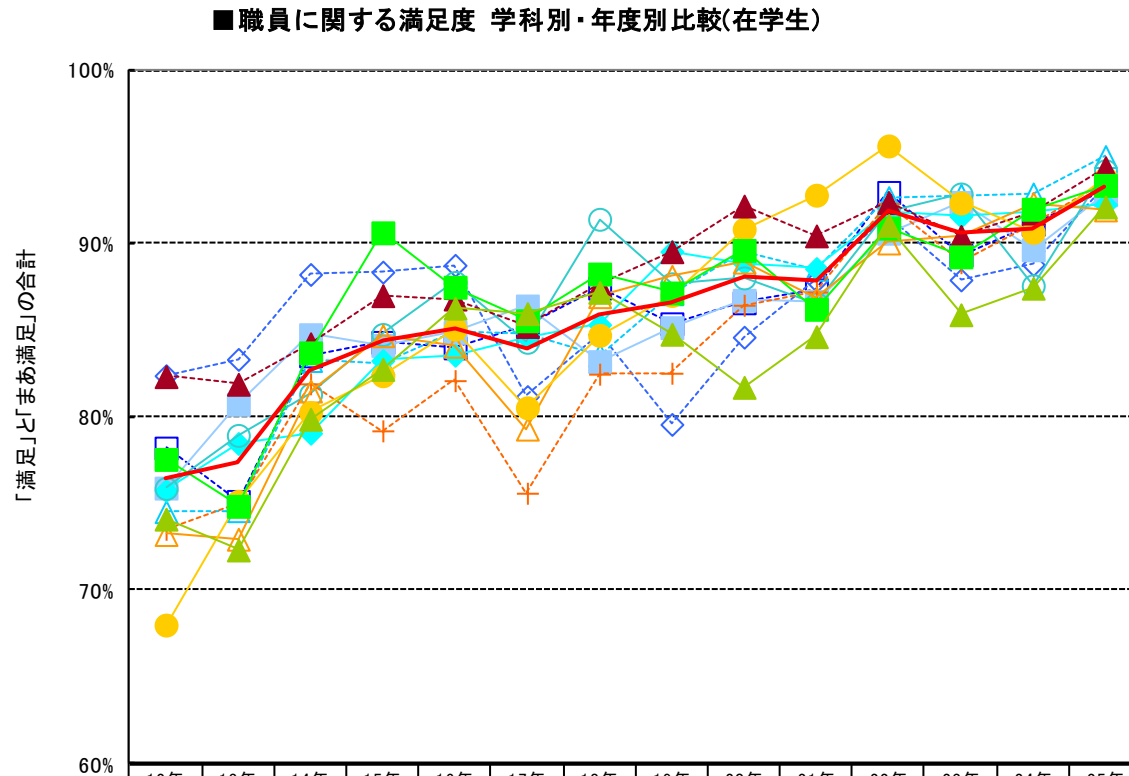


	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
---□--- 機械	82.0%	75.5%	82.9%	86.4%	84.7%	84.5%	89.6%	87.3%	87.1%	87.8%	93.8%	90.8%	92.1%	90.5%
---◇--- 航空システム	86.5%	87.9%	89.0%	89.0%	88.8%	85.6%	87.0%	85.7%	88.5%	89.7%	95.2%	89.9%	89.5%	90.5%
---△--- ロボティクス	81.2%	74.2%	78.4%	82.3%	82.7%	87.8%	84.3%	89.3%	89.6%	85.0%	90.9%	92.8%	92.9%	90.8%
---■--- 電気電子	81.4%	83.5%	85.0%	85.3%	86.9%	88.5%	86.5%	88.7%	89.0%	87.6%	91.8%	92.5%	93.8%	94.5%
---◆--- 情報工学	73.5%	77.9%	79.8%	83.3%	83.9%	84.8%	86.1%	89.3%	90.1%	89.1%	91.6%	91.9%	90.3%	92.0%
---○--- 環境土木	84.4%	81.5%	86.7%	89.3%	86.9%	88.5%	90.8%	91.5%	92.3%	87.8%	92.4%	94.8%	88.6%	93.8%
---+--- メディア情報	76.6%	78.2%	76.1%	80.3%	83.0%	80.0%	86.6%	84.2%	85.4%	87.4%	86.1%	86.3%	87.5%	89.1%
---△--- 経営情報	75.4%	76.6%	77.4%	87.4%	84.1%	80.8%	87.5%	88.1%	87.8%	86.9%	89.0%	90.0%	89.1%	90.5%
---●--- 心理科学	76.7%	72.8%	83.0%	81.1%	80.8%	80.5%	88.1%	81.7%	88.2%	87.7%	91.9%	89.6%	86.8%	94.6%
---▲--- 建築	86.6%	83.5%	83.7%	87.9%	88.1%	86.9%	90.6%	89.3%	93.4%	89.3%	93.1%	91.4%	92.4%	93.2%
---■--- 応用化学	79.4%	78.4%	84.7%	86.2%	84.0%	81.3%	90.0%	87.2%	88.3%	88.1%	90.3%	91.6%	93.0%	90.7%
---▲--- 応用バイオ	74.0%	74.1%	76.8%	84.1%	84.3%	84.8%	85.1%	85.9%	81.4%	82.4%	92.0%	88.1%	88.9%	90.7%
---■--- 在学生全体	79.9%	78.9%	81.8%	85.2%	85.2%	85.3%	87.8%	88.0%	89.0%	87.7%	91.7%	91.0%	90.9%	91.8%

■分野別の満足度:教員に関する満足度 学科別・年度別比較

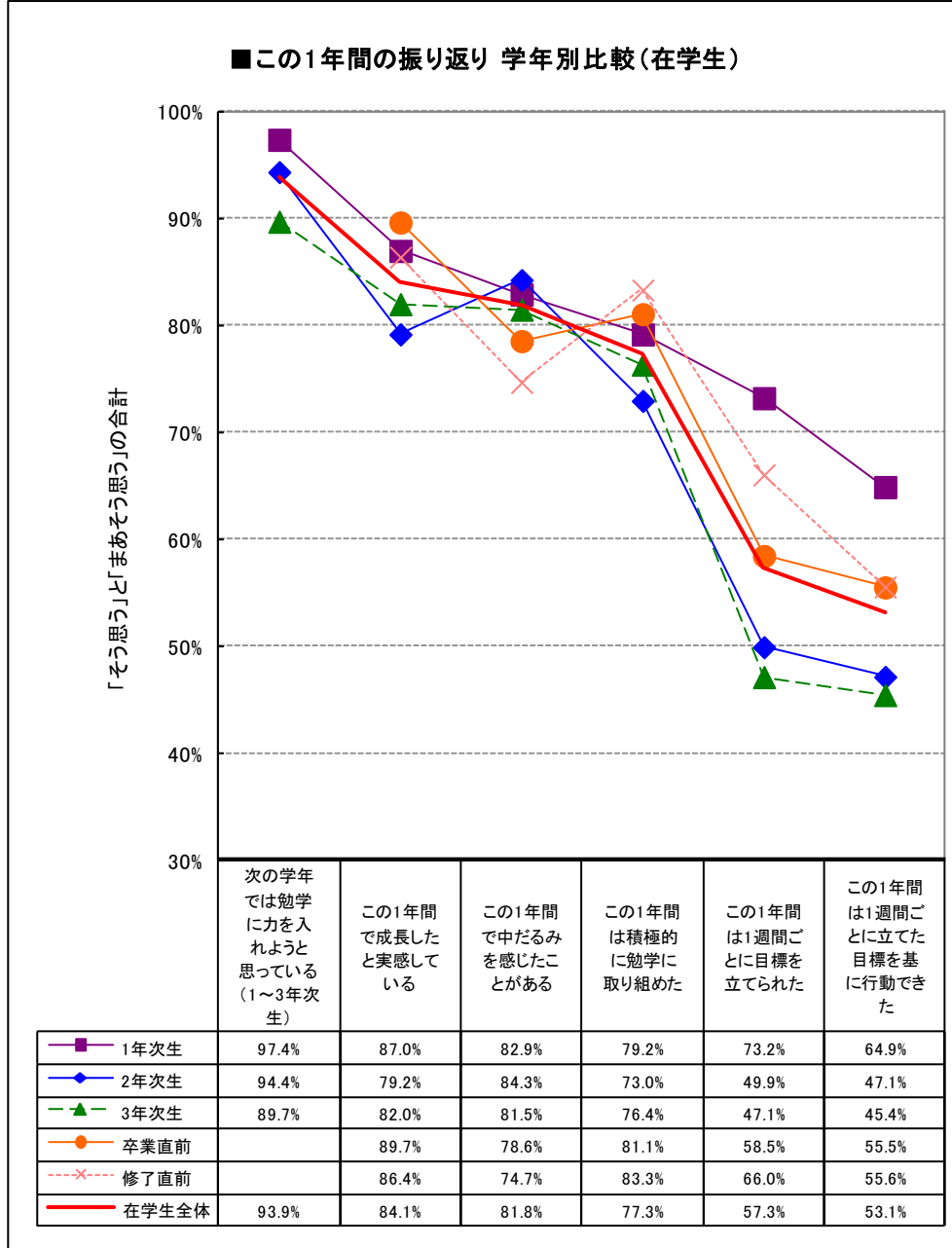
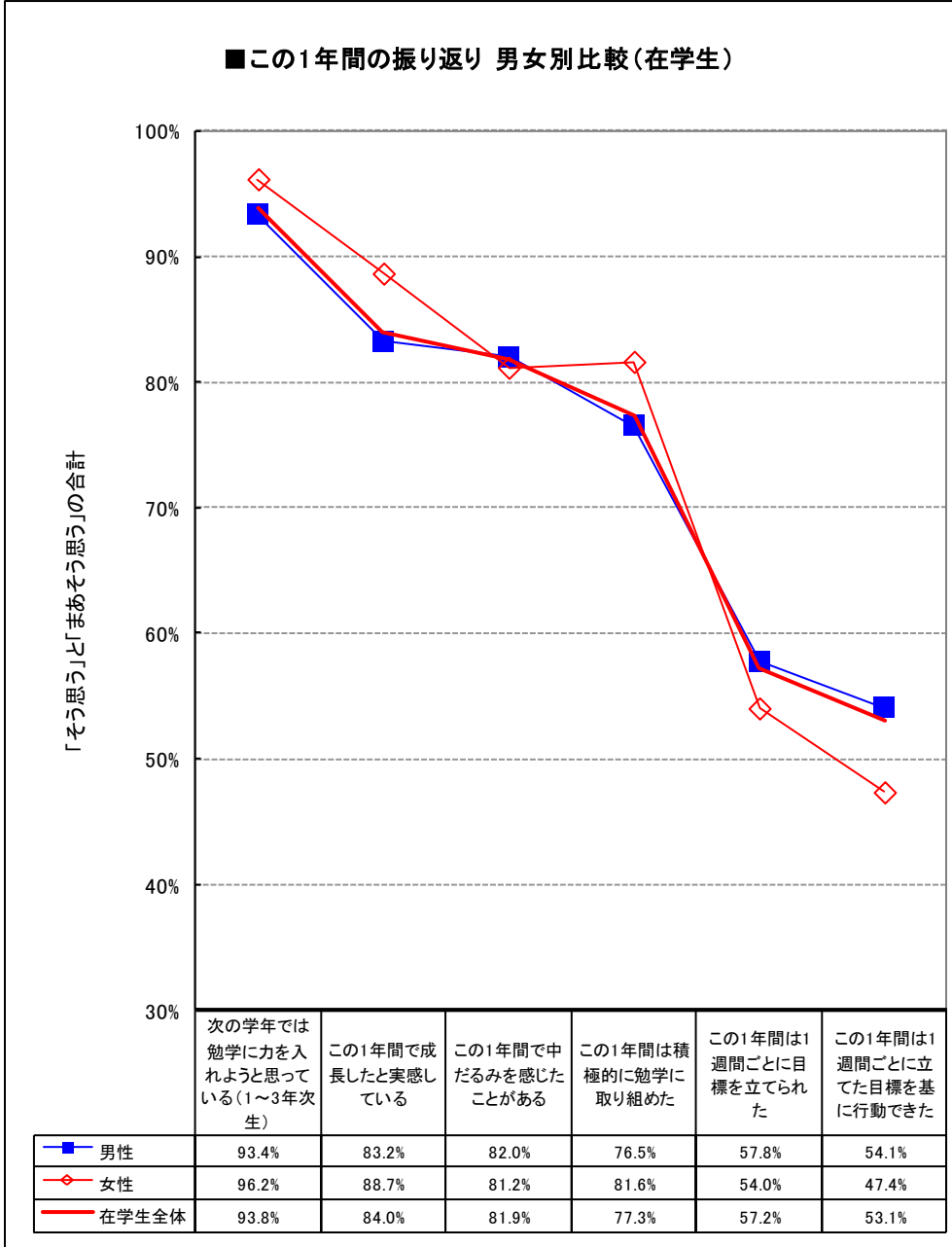


■分野別の満足度:職員に関する満足度 学科別・年度別比較

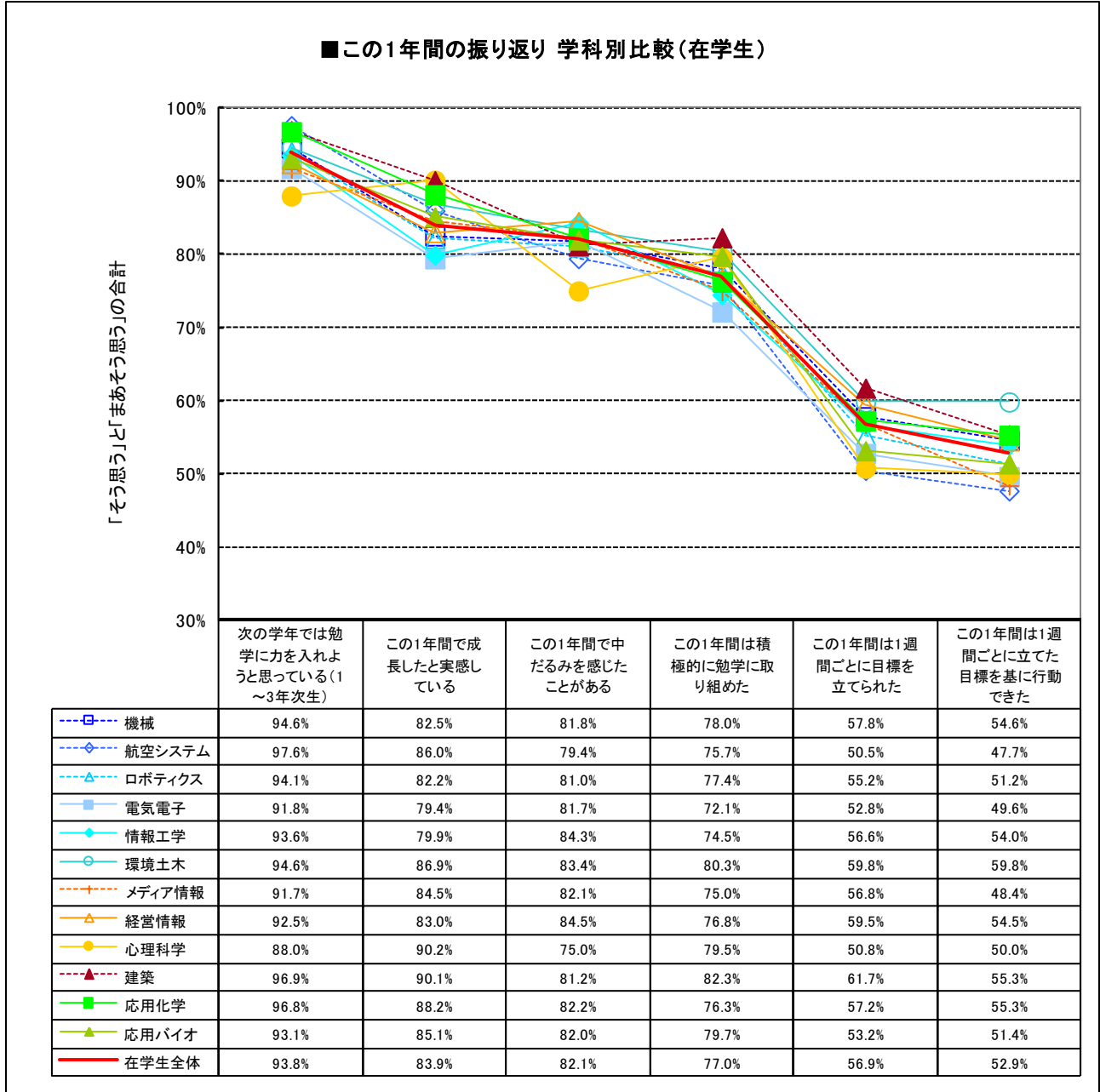


	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
---□--- 機械	78.2%	75.1%	83.5%	84.3%	84.0%	85.2%	87.5%	85.4%	86.6%	87.3%	93.0%	89.4%	91.1%	93.1%
---◇--- 航空システム	82.4%	83.3%	88.2%	88.4%	88.8%	81.2%	84.8%	79.6%	84.6%	87.9%	91.6%	87.9%	88.8%	93.3%
---△--- ロボティクス	74.5%	74.6%	83.3%	83.1%	84.9%	84.8%	83.6%	87.1%	89.6%	88.5%	92.7%	92.8%	92.9%	95.0%
---■--- 電気電子	75.9%	80.7%	84.8%	84.1%	84.9%	86.4%	83.2%	85.2%	86.7%	86.7%	90.6%	92.4%	89.7%	92.8%
---◆--- 情報工学	75.8%	78.5%	79.1%	83.3%	83.6%	84.6%	85.3%	89.6%	88.9%	88.6%	91.8%	91.6%	91.8%	92.3%
---○--- 環境土木	75.9%	78.9%	81.3%	84.8%	87.8%	84.3%	91.4%	87.7%	88.0%	86.5%	91.8%	92.9%	87.6%	94.2%
---+--- メディア情報	73.5%	75.0%	81.9%	79.2%	82.1%	75.6%	82.5%	82.5%	86.5%	87.2%	92.3%	88.9%	91.1%	93.6%
---△--- 経営情報	73.2%	73.0%	81.5%	84.7%	84.1%	79.3%	87.0%	88.1%	89.0%	86.9%	90.1%	90.4%	92.3%	92.0%
---●--- 心理科学	68.0%	75.1%	80.3%	82.4%	85.1%	80.5%	84.7%	87.0%	90.8%	92.8%	95.7%	92.4%	90.7%	93.8%
---▲--- 建築	82.3%	81.9%	84.2%	87.0%	86.8%	85.2%	87.6%	89.5%	92.2%	90.5%	92.4%	90.4%	91.8%	94.4%
---■--- 応用化学	77.6%	74.9%	83.7%	90.6%	87.5%	85.6%	88.3%	87.2%	89.6%	86.2%	90.9%	89.3%	92.0%	93.4%
---▲--- 応用バイオ	74.1%	72.3%	79.9%	82.8%	86.3%	86.0%	87.2%	84.8%	81.7%	84.6%	91.1%	85.9%	87.4%	92.1%
---■--- 在学生全体	76.5%	77.4%	82.7%	84.4%	85.1%	84.0%	85.9%	86.6%	88.1%	87.9%	91.9%	90.6%	90.9%	93.3%

■この1年間の振り返り 男女別比較、学年別比較

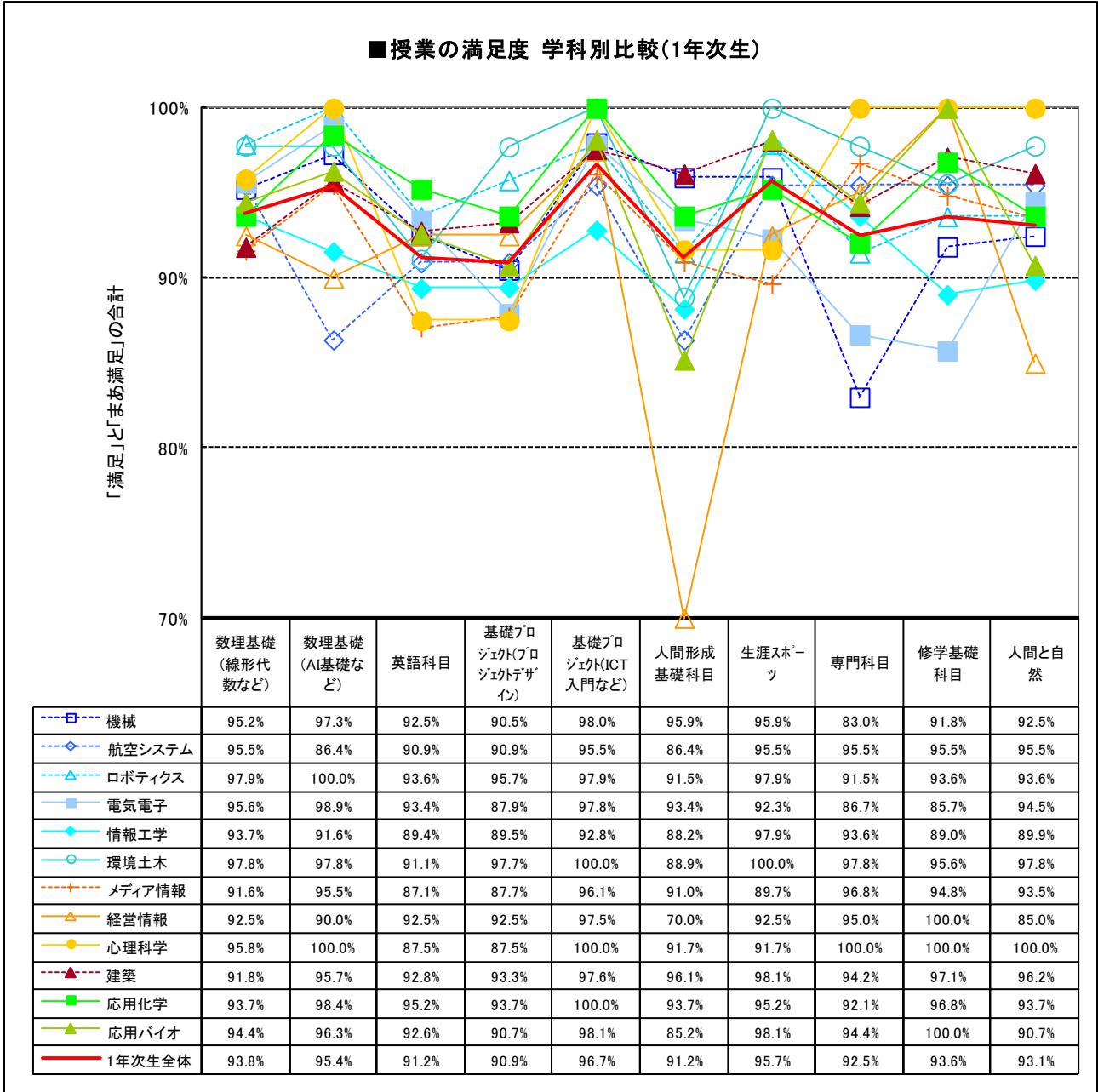


■この1年間の振り返り 学科別比較



<資料:3>授業の満足度の属性別比較

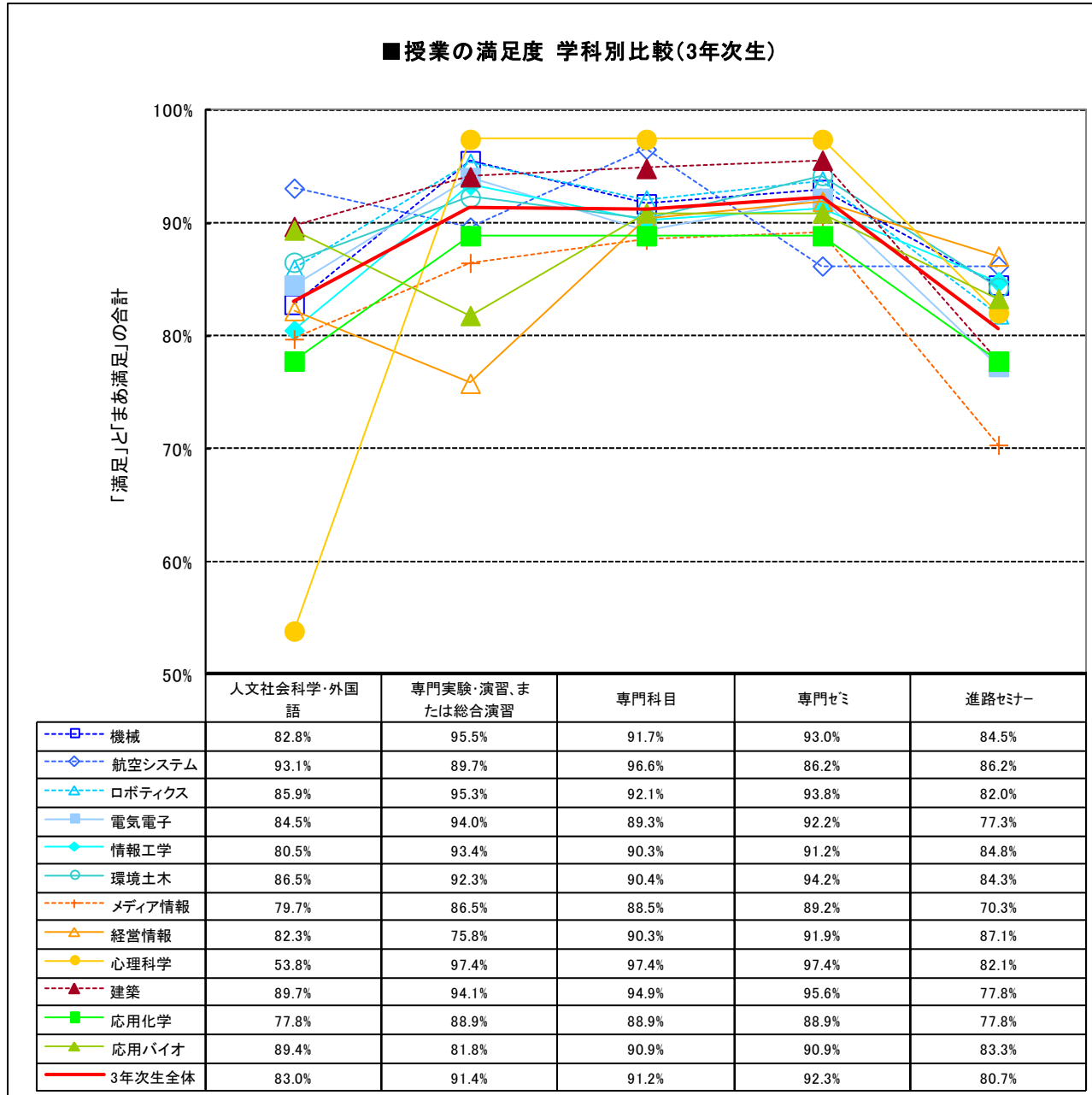
■授業の満足度の学科別比較 1年次生



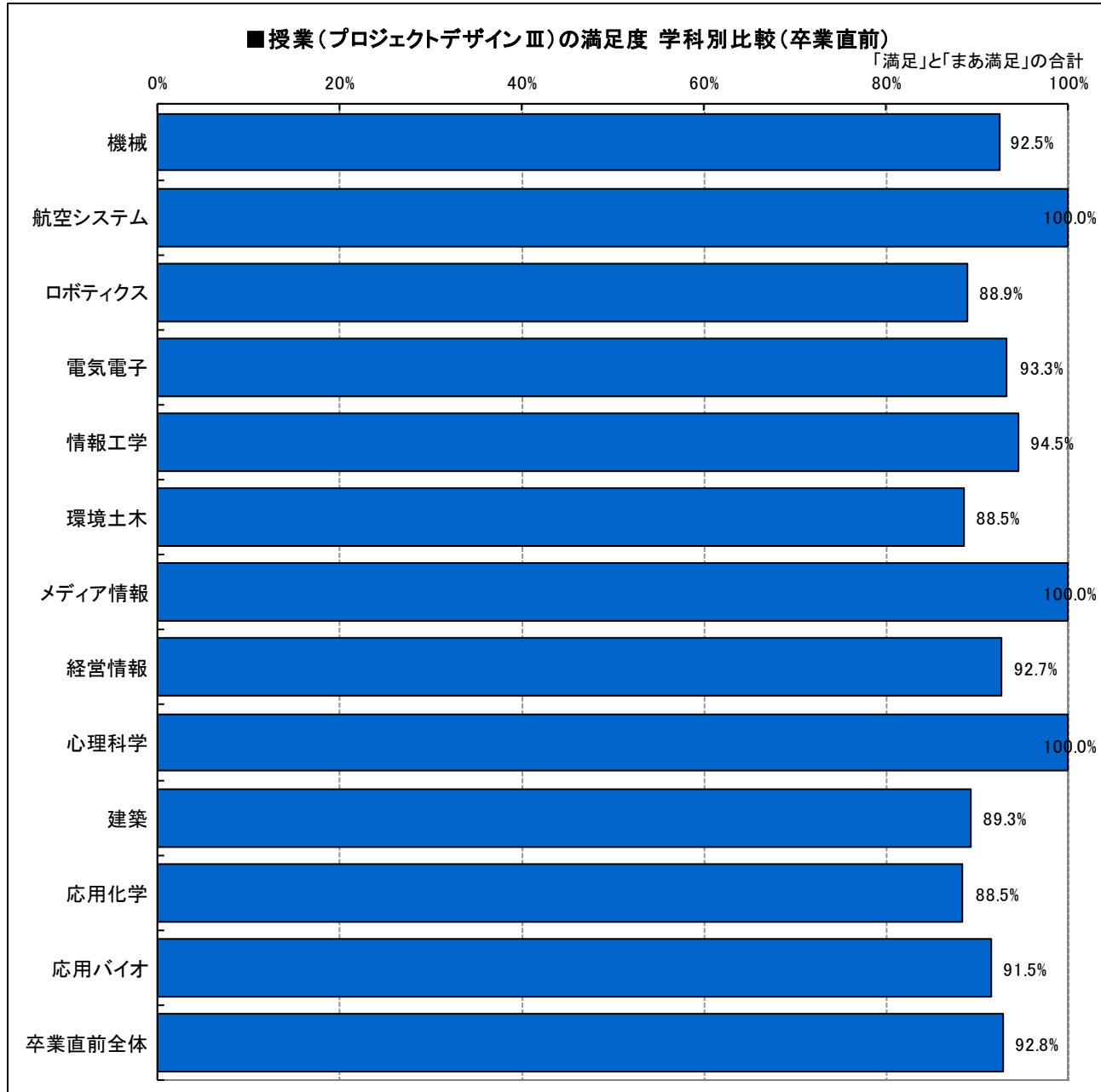
■授業の満足度の学科別比較 2年次生



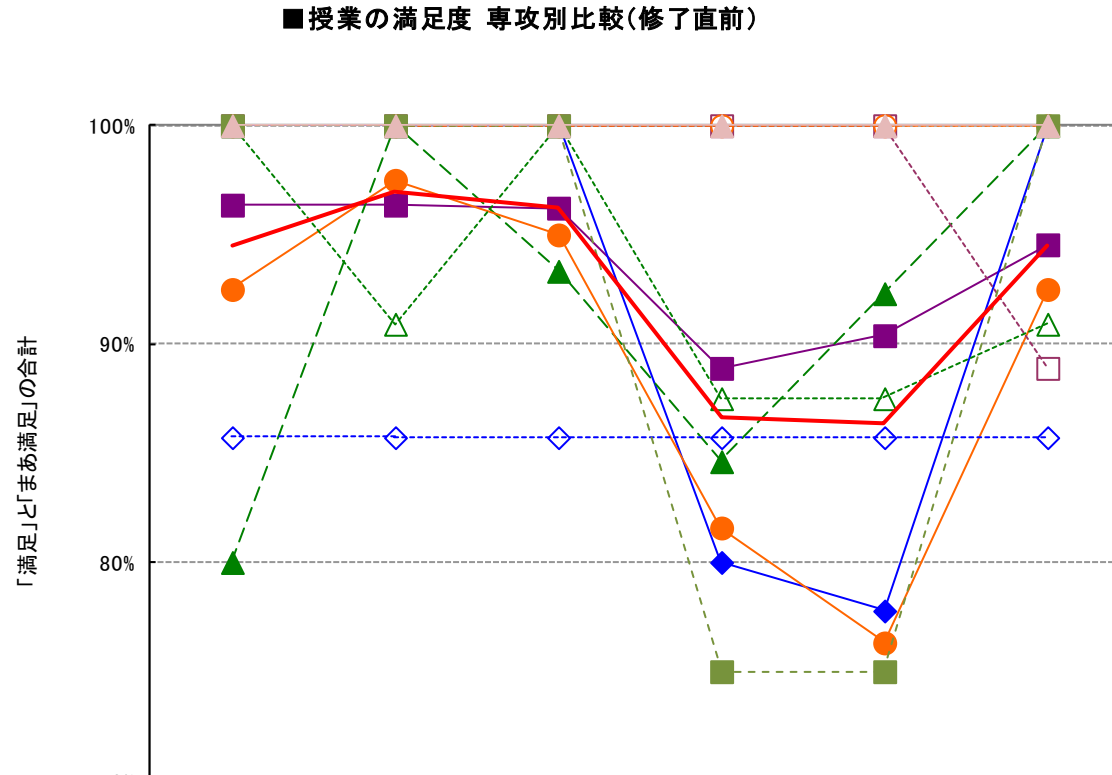
■授業の満足度の学科別比較 3年次生



■授業の満足度の学科別比較 卒業直前

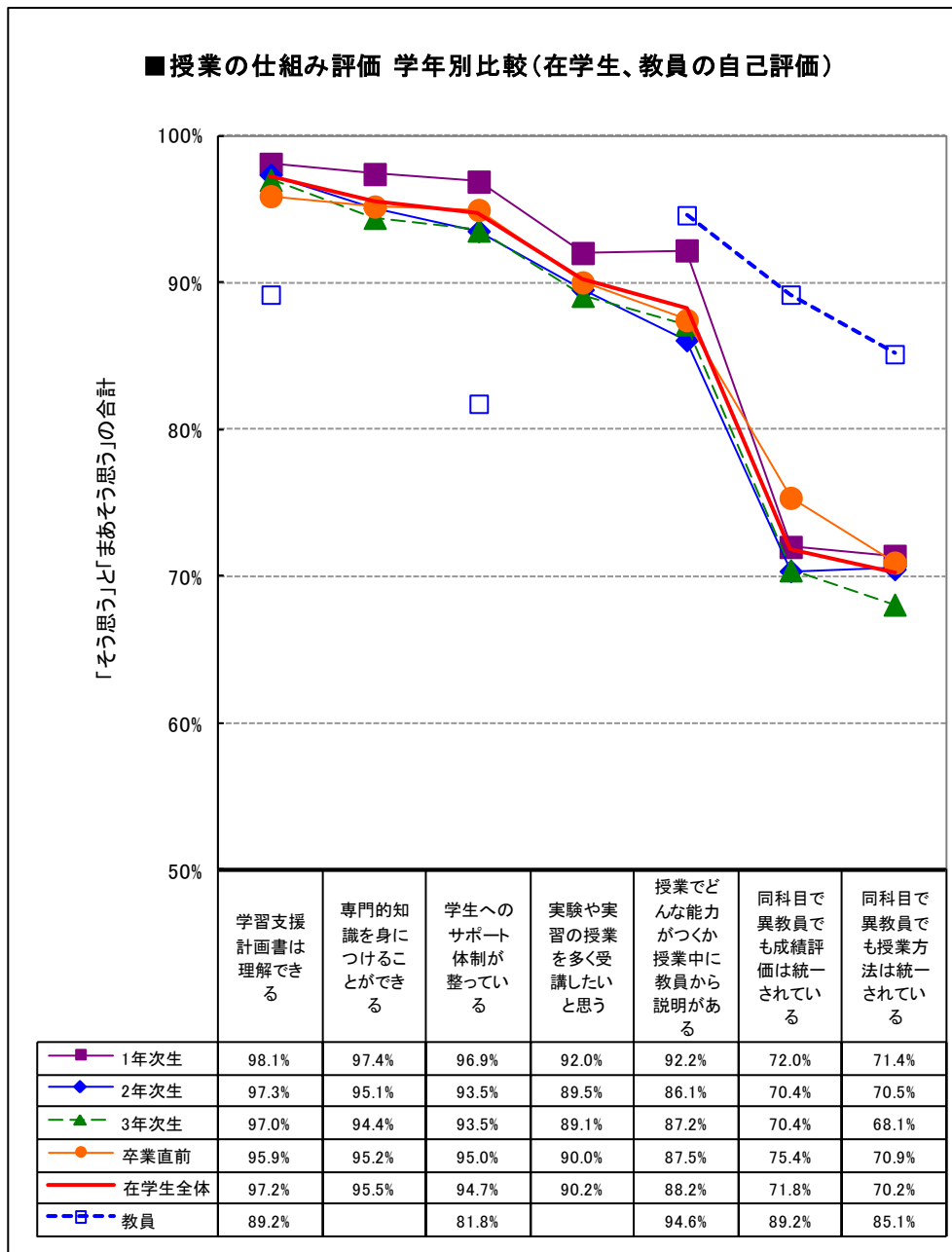
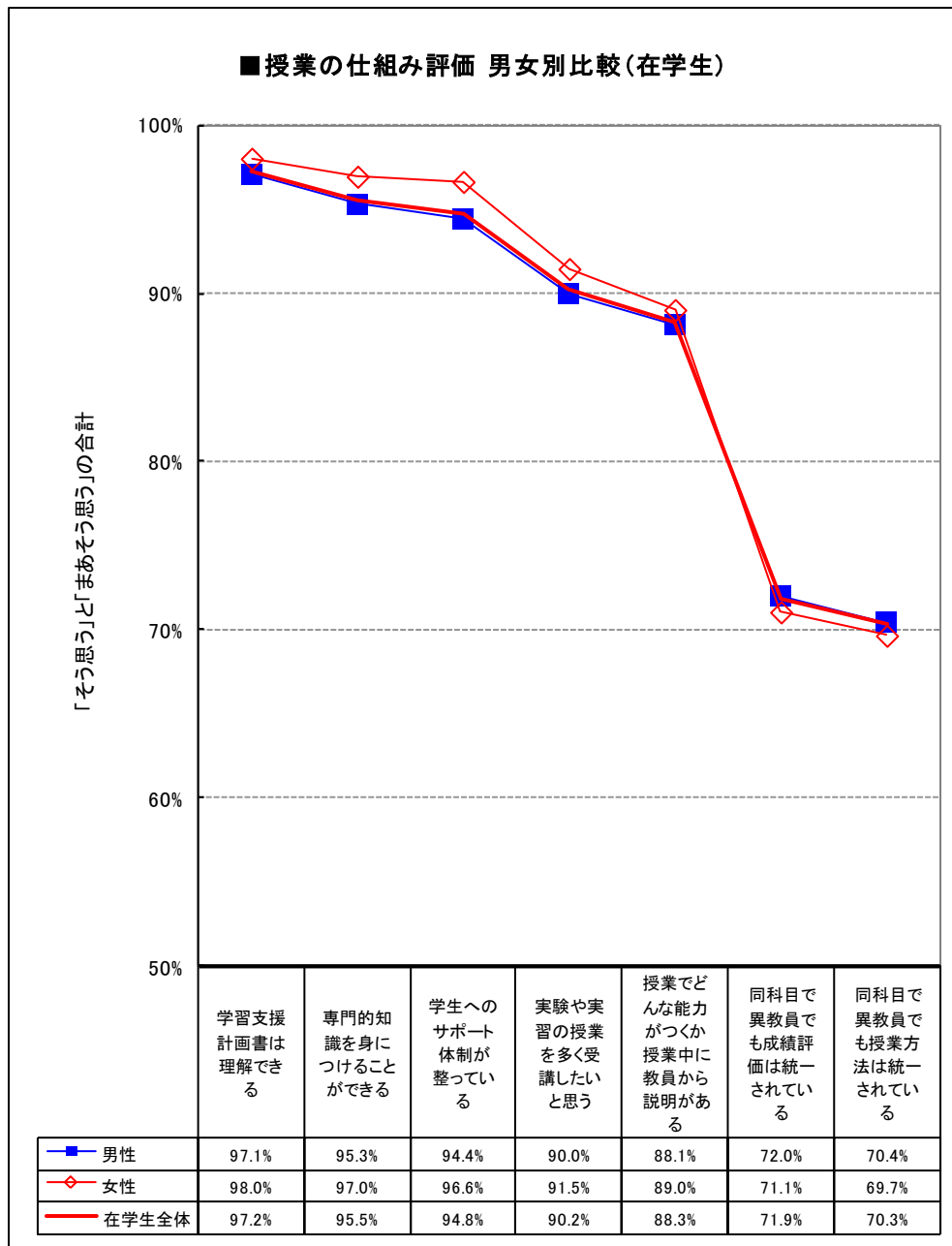


■授業の満足度の専攻別比較 修了直前

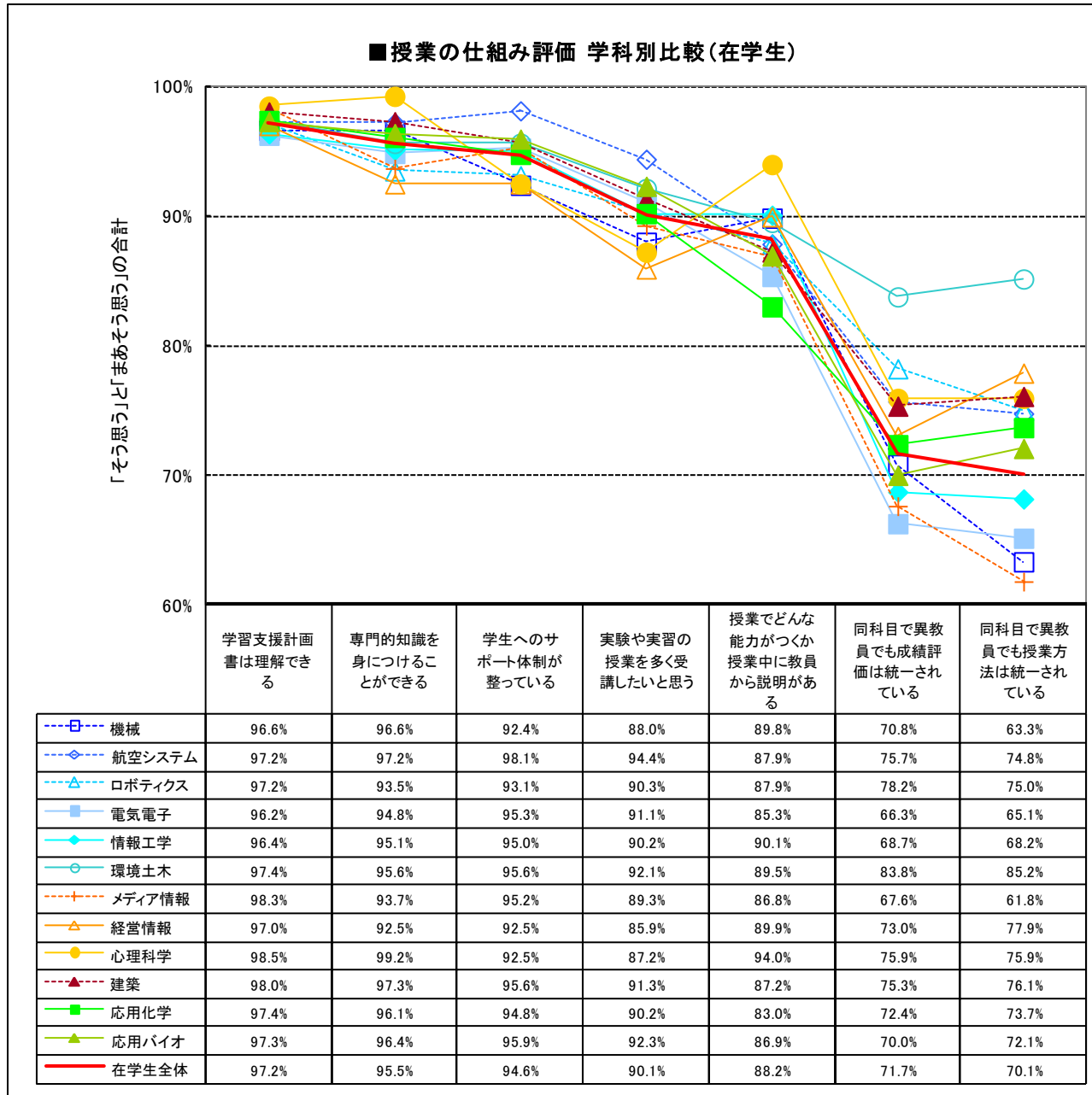


	各専攻の主要科目	専攻共通科目	専修科目	連携大学院による教育システム	他大学院との単位互換制度	TA制度による、教育の経験
■ 機械工学専攻	96.4%	96.4%	96.2%	88.9%	90.4%	94.5%
■ 環境土工学専攻	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	77.8%	100.0%
■ 情報工学専攻	80.0%	100.0%	93.3%	84.6%	92.3%	100.0%
■ 電気電子工学専攻	92.5%	97.5%	95.0%	81.6%	76.3%	92.5%
■ システム設計工学専攻	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	88.9%
■ バイオ・化学専攻	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%
■ 建築学専攻	100.0%	90.9%	100.0%	87.5%	87.5%	90.9%
■ 高信頼ものづくり専攻	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
■ ビジネスアキテクト専攻	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	75.0%	100.0%
■ 臨床心理学専攻	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
■ 修了直前全体	94.4%	96.9%	96.2%	86.7%	86.4%	94.4%

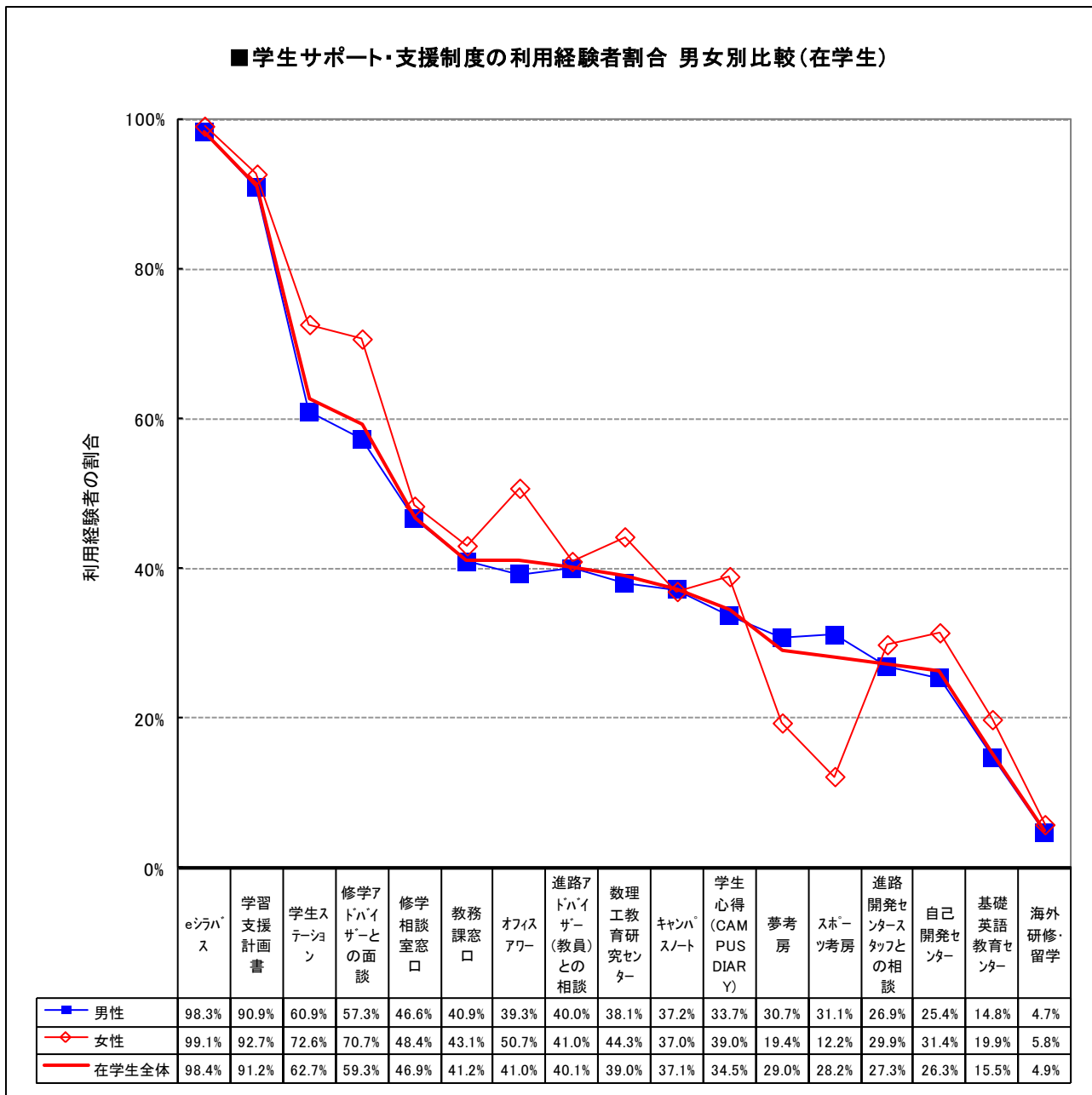
■授業の仕組み評価 男女別比較、学年別比較



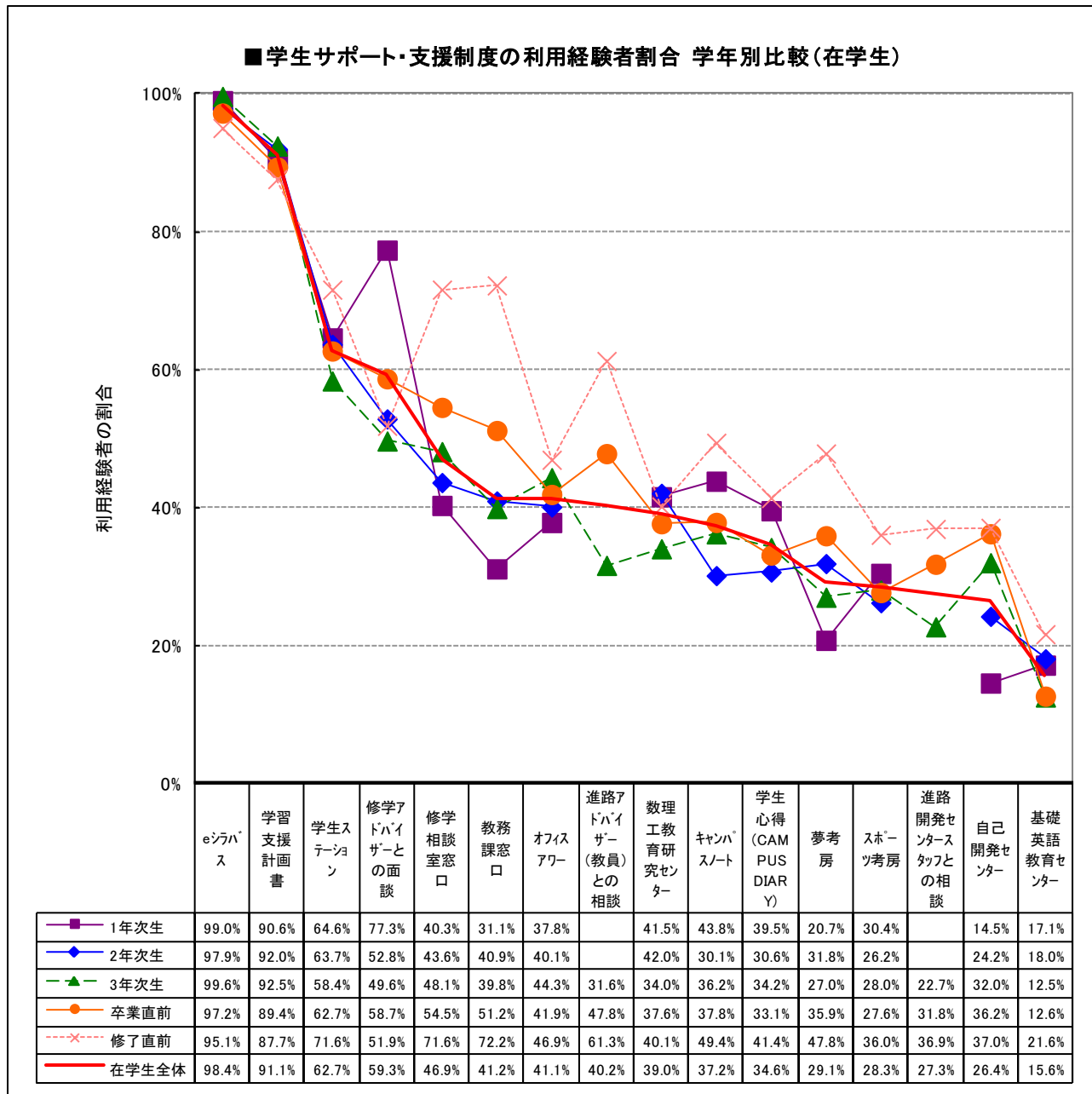
■授業の仕組み評価 学科別比較



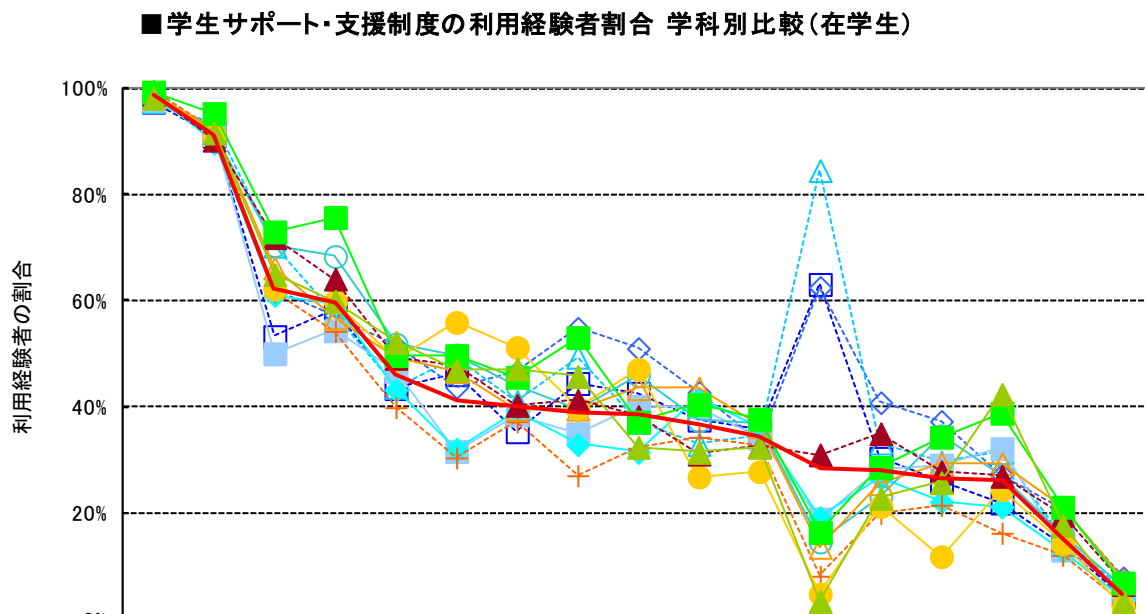
■ 学生サポート・支援制度の利用経験者割合 男女別比較



■ 学生サポート・支援制度の利用経験者割合 学年別比較

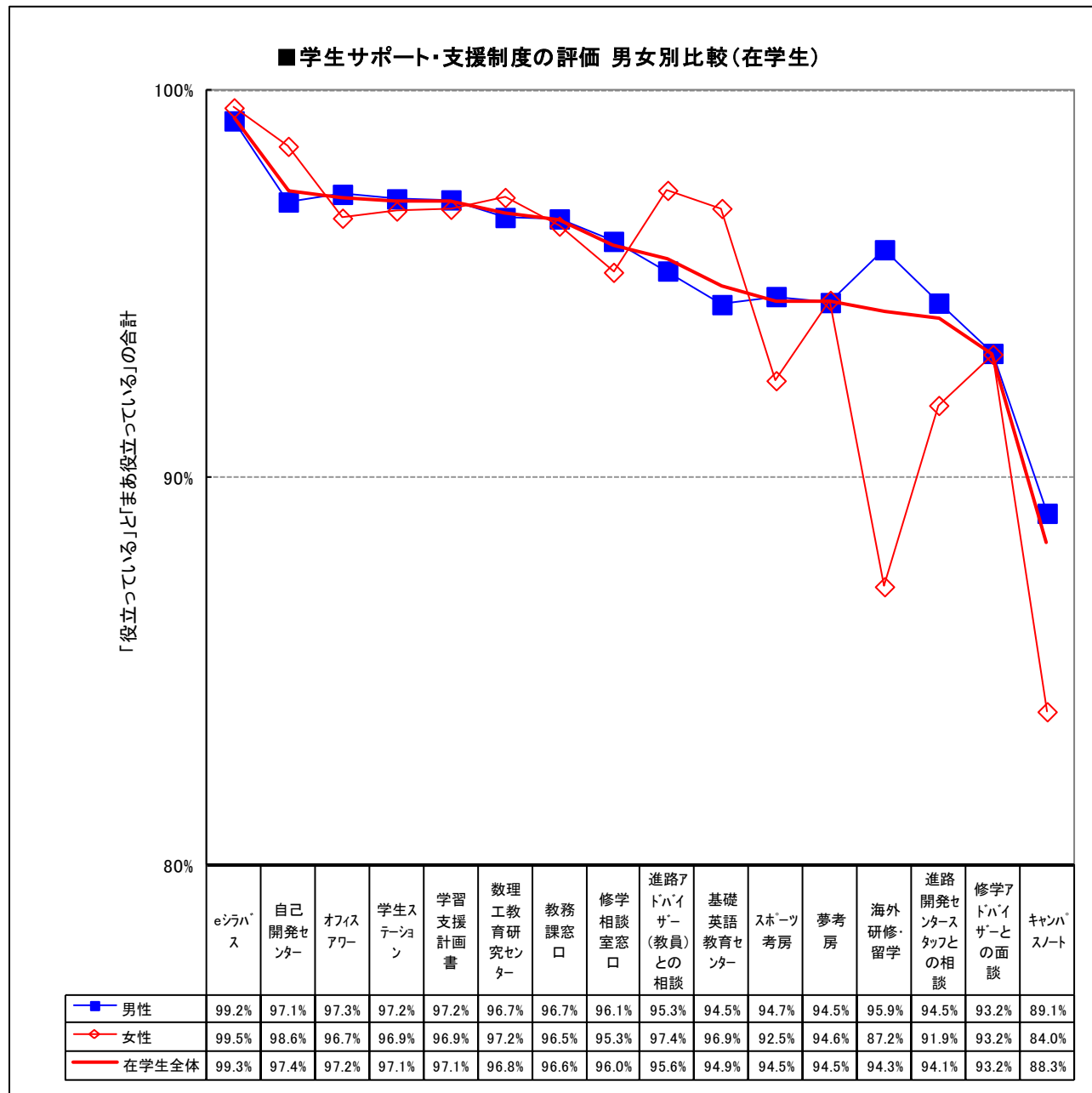


■ 学生サポート・支援制度の利用経験者割合 学科別比較

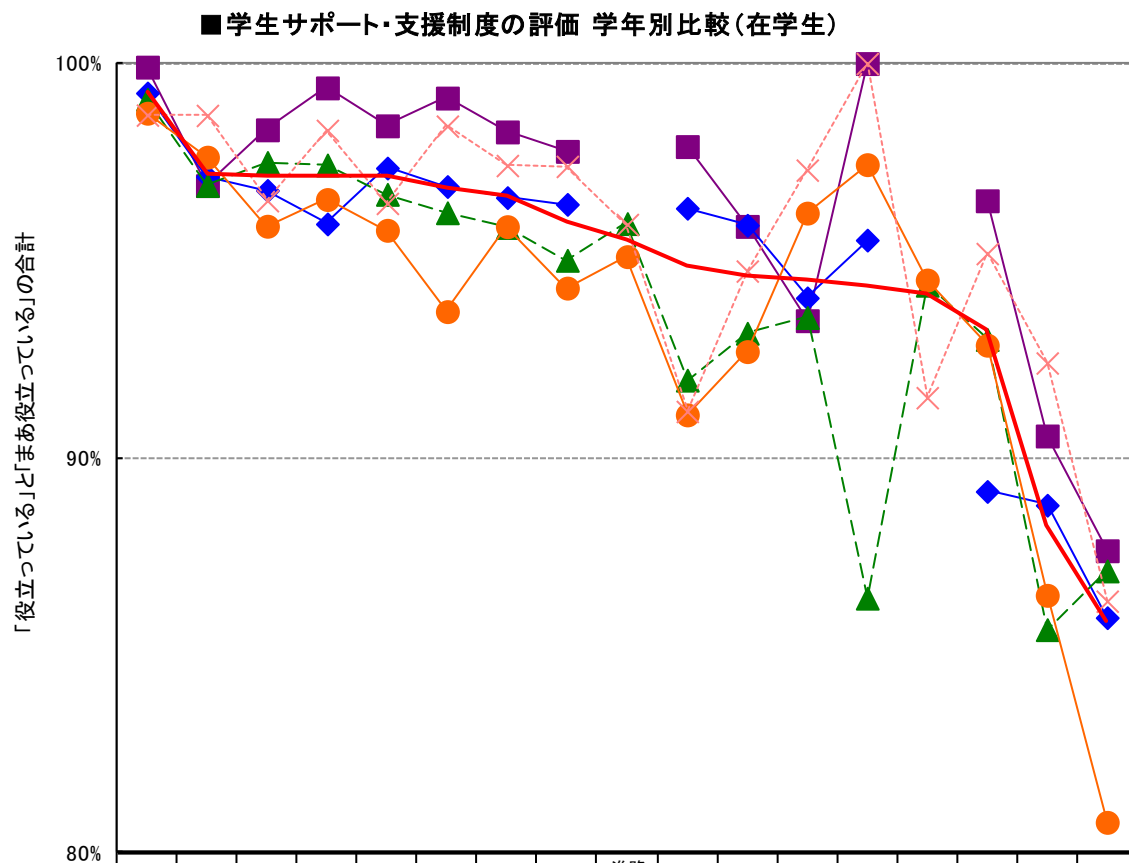


	eシ パス	学習 支援 計画 書(シ パス)	学生 ステ ーション	修学 アド バイ ザー との 面談	修学 相談 室窓 口	オフィ スア ワー	教務 課窓 口	数理 工教 育研 究セ ンター	進路 アド バイ ザー (教 員)と の相 談	キャン パス ポート	学生 心得 (CAM PUS DIAR Y)	夢考 房	スポ ーツ考 房	進路 開発 セン ター スタッ フと の相 談	自己 開発 セン ター	基礎 英語 教育 セン ター	海外 研修 ・留 学
---□--- 機械	97.4%	91.0%	53.2%	58.4%	43.5%	46.1%	35.3%	44.4%	42.6%	37.5%	35.6%	63.1%	30.3%	25.9%	21.9%	13.8%	4.2%
---◇--- 航空システム	98.1%	91.3%	62.1%	57.3%	51.5%	43.7%	46.6%	54.8%	51.0%	42.7%	33.3%	62.5%	40.8%	37.3%	27.2%	20.6%	7.8%
---△--- ロボティクス	97.5%	93.3%	70.3%	57.3%	43.7%	49.2%	41.0%	49.4%	37.1%	32.9%	34.7%	84.5%	33.2%	29.6%	31.4%	15.1%	5.4%
---■--- 電気電子	97.8%	91.3%	50.0%	54.3%	46.7%	31.6%	38.5%	34.9%	40.1%	40.0%	34.1%	18.9%	28.2%	29.0%	32.1%	13.0%	5.5%
---◆--- 情報工学	99.0%	89.7%	61.0%	59.5%	43.2%	32.0%	39.2%	32.9%	31.4%	41.6%	36.0%	19.1%	26.5%	22.1%	21.1%	12.8%	3.6%
---○--- 環境土木	98.2%	91.5%	70.4%	68.3%	51.8%	49.8%	43.9%	39.5%	45.9%	37.4%	36.7%	14.5%	23.1%	34.5%	27.1%	15.9%	5.9%
---+--- メディア情報	99.6%	92.3%	61.7%	54.2%	39.8%	30.4%	37.2%	27.0%	32.2%	34.3%	32.7%	8.1%	19.9%	21.5%	16.2%	12.0%	3.0%
---△--- 経営情報	99.0%	92.3%	66.1%	56.8%	49.2%	46.6%	39.6%	39.6%	43.4%	43.5%	36.3%	13.5%	25.5%	29.3%	29.3%	20.8%	7.4%
---●--- 心理学	99.2%	91.3%	62.2%	59.8%	48.8%	55.9%	51.2%	39.7%	47.1%	26.8%	27.8%	4.7%	21.3%	11.8%	24.4%	14.2%	2.4%
---▲--- 建築	98.9%	90.2%	71.9%	64.1%	49.1%	47.8%	40.3%	41.2%	38.2%	31.1%	32.5%	30.9%	34.9%	27.8%	26.9%	19.6%	6.5%
---■--- 応用化学	99.3%	95.3%	73.0%	75.7%	49.7%	49.7%	45.6%	53.1%	37.1%	40.4%	37.7%	16.3%	28.6%	34.3%	38.8%	21.1%	6.8%
---▲--- 応用バイオ	98.1%	91.6%	64.9%	59.9%	52.2%	46.9%	47.1%	45.7%	32.4%	31.4%	32.4%	3.3%	22.7%	25.7%	42.4%	17.6%	3.3%
---●--- 在学生全体	98.5%	91.3%	62.3%	59.6%	45.9%	41.0%	40.0%	38.9%	38.4%	36.8%	34.3%	28.5%	27.9%	26.4%	26.0%	15.3%	4.8%

■学生サポート・支援制度の評価 男女別比較

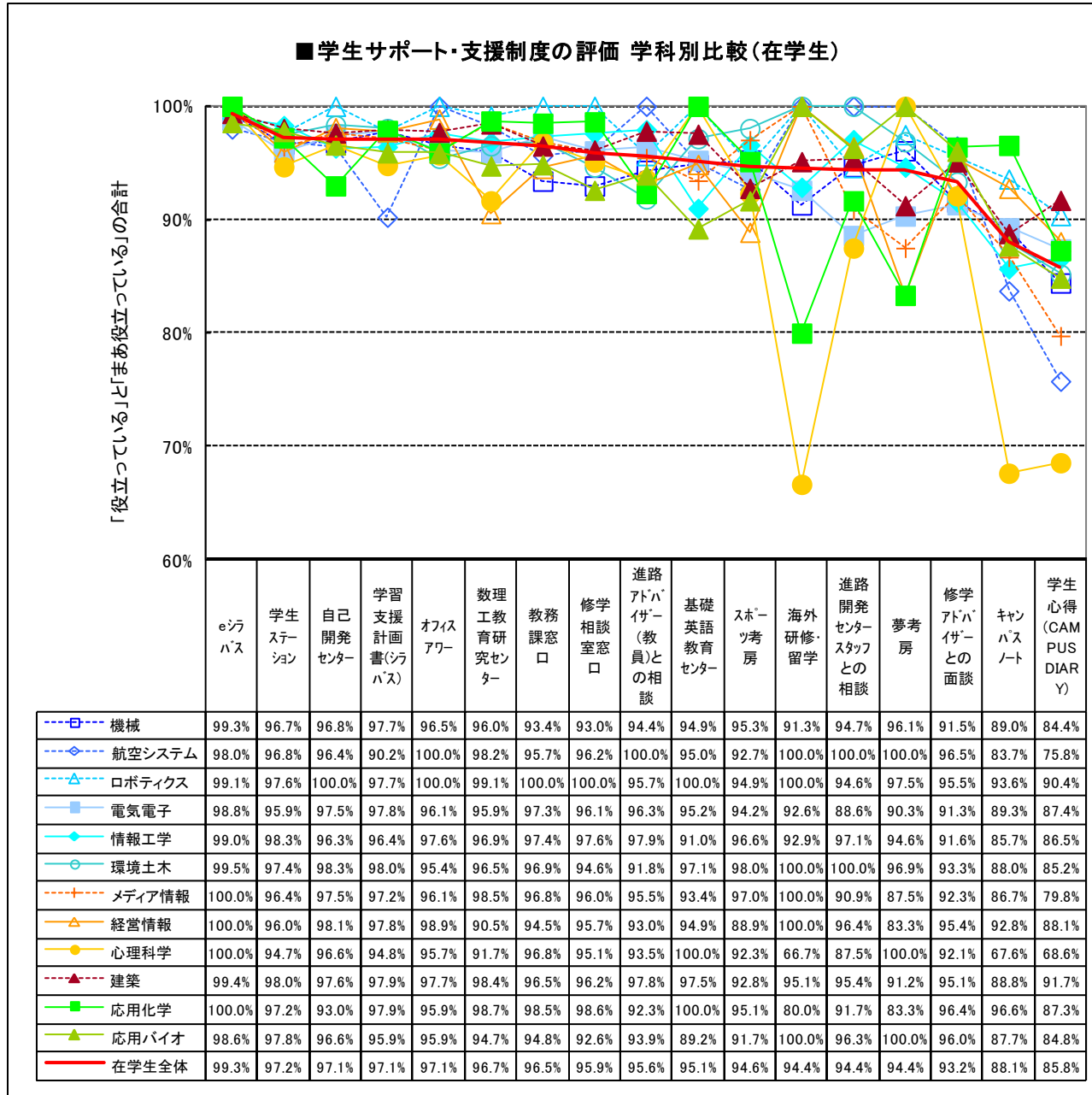


■ 学生サポート・支援制度の評価 学年別比較

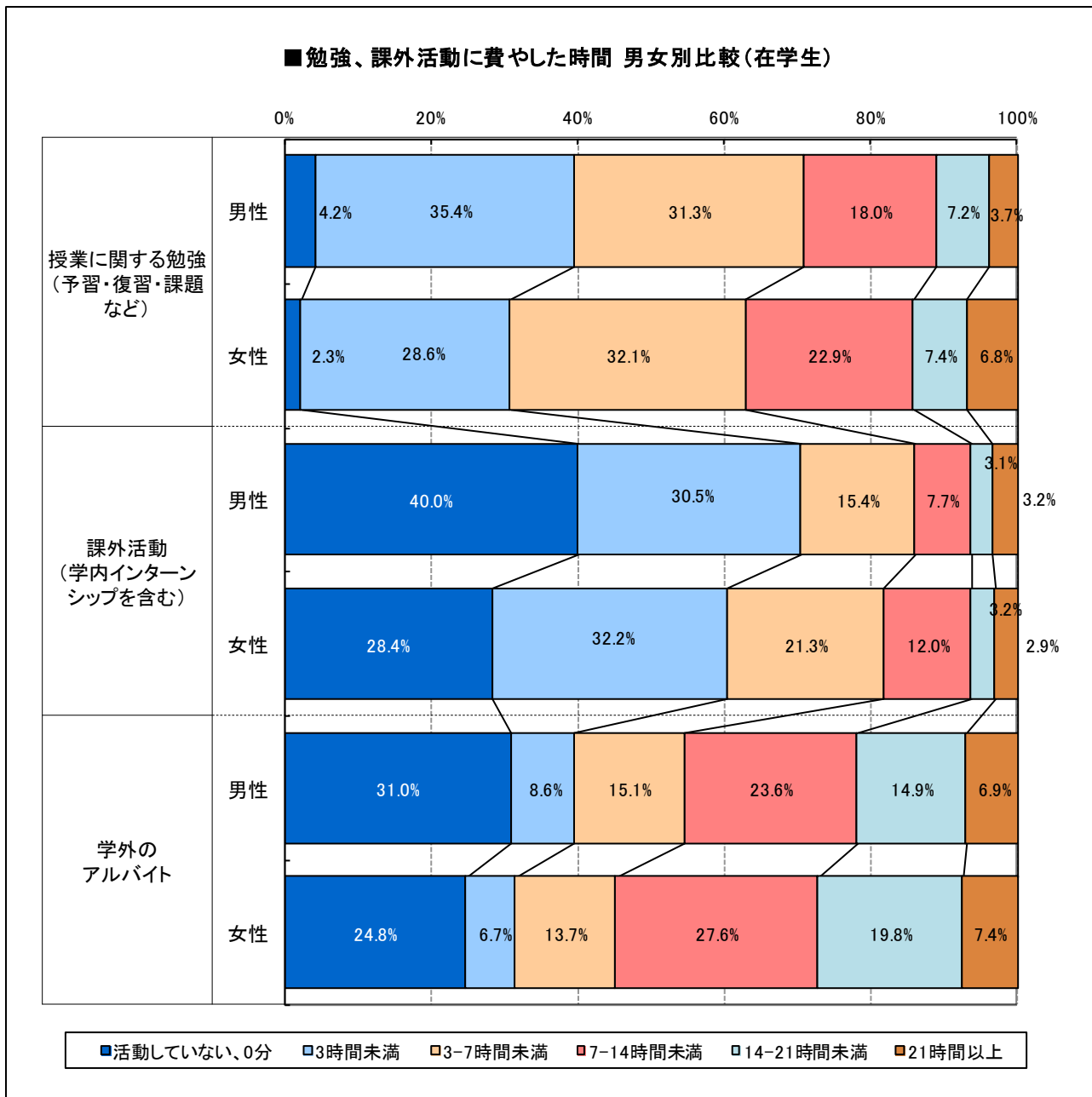


	eシ バス	オフィ スア ワー	学生 ステー ション	自己 開発 センター	学習 支援 計画 書	数理 工教 育研 究セ ンター	教務 課窓 口	修学 相談 室窓 口	進路 アドバ イザー (教員) との相 談	基礎 英語 教育 センタ ー	スポ ーツ考 房	夢考 房	海外 研修・ 留学	進路 開発 センタ ー スタッ フと の相 談	修学 アドバ イザー との 面談	キャン パス ノート	学生 心得 (CAM PUS DIAR Y)
■ 1年次生	99.9%	96.9%	98.3%	99.4%	98.4%	99.1%	98.3%	97.8%		97.9%	95.9%	93.5%	100.0%		96.5%	90.6%	87.6%
■ 2年次生	99.3%	97.1%	96.8%	95.9%	97.3%	96.9%	96.6%	96.4%		96.3%	95.9%	94.1%	95.5%		89.1%	88.8%	85.9%
■ 3年次生	99.1%	96.9%	97.5%	97.4%	96.7%	96.2%	95.8%	95.0%	95.9%	92.0%	93.2%	93.6%	86.4%	94.4%	93.0%	85.6%	87.1%
■ 卒業直前	98.7%	97.6%	95.9%	96.6%	95.8%	93.7%	95.9%	94.3%	95.1%	91.1%	92.7%	96.2%	97.4%	94.5%	92.9%	86.5%	80.8%
---×---	98.7%	98.7%	96.5%	98.3%	96.5%	98.4%	97.4%	97.4%	95.9%	91.2%	94.7%	97.3%	100.0%	91.5%	95.2%	92.4%	86.4%
— 在学生全体	99.3%	97.2%	97.2%	97.1%	97.1%	96.8%	96.6%	96.0%	95.5%	94.9%	94.6%	94.5%	94.3%	94.1%	93.3%	88.3%	85.8%

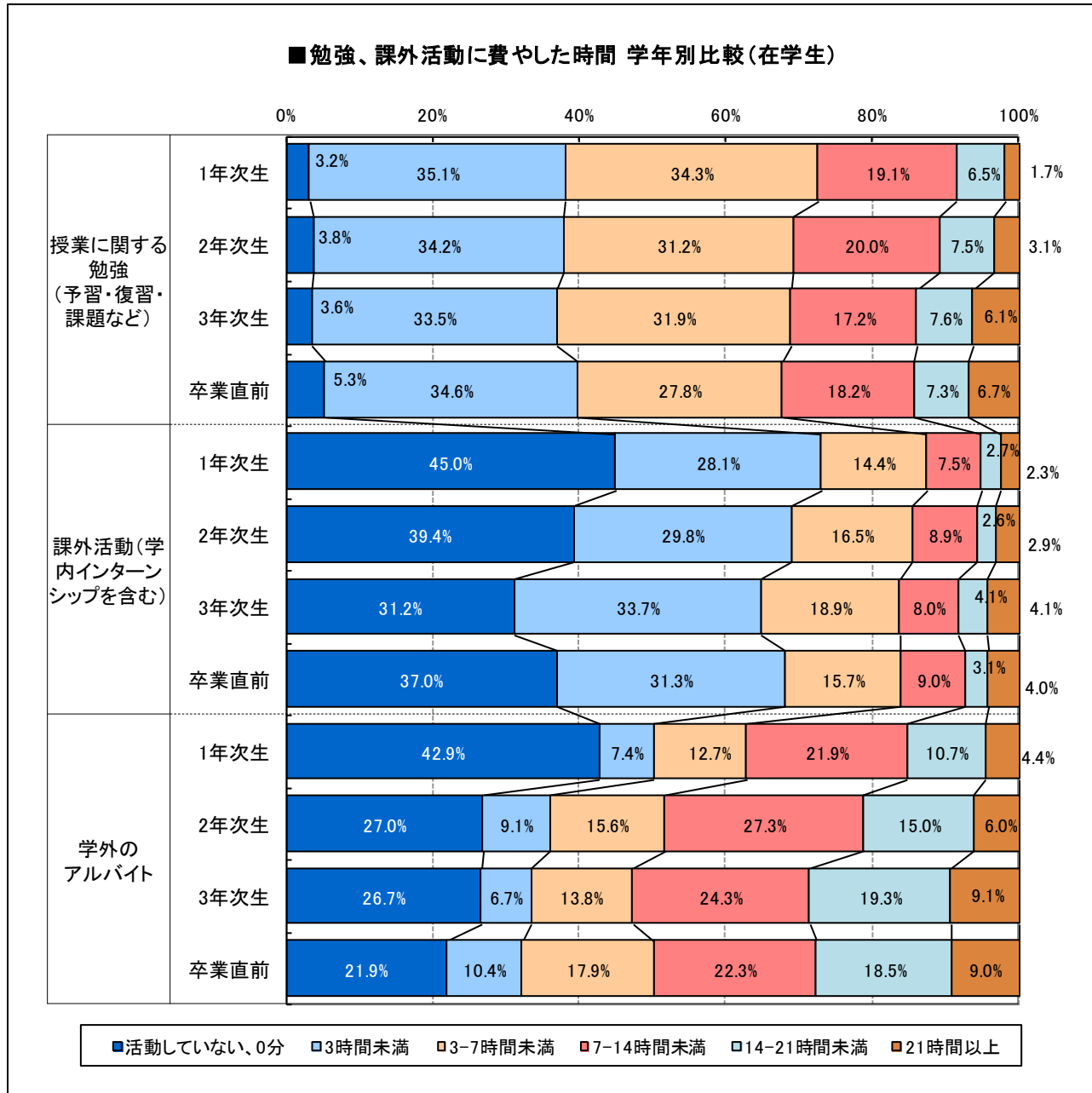
■ 学生サポート・支援制度の評価 学科別比較



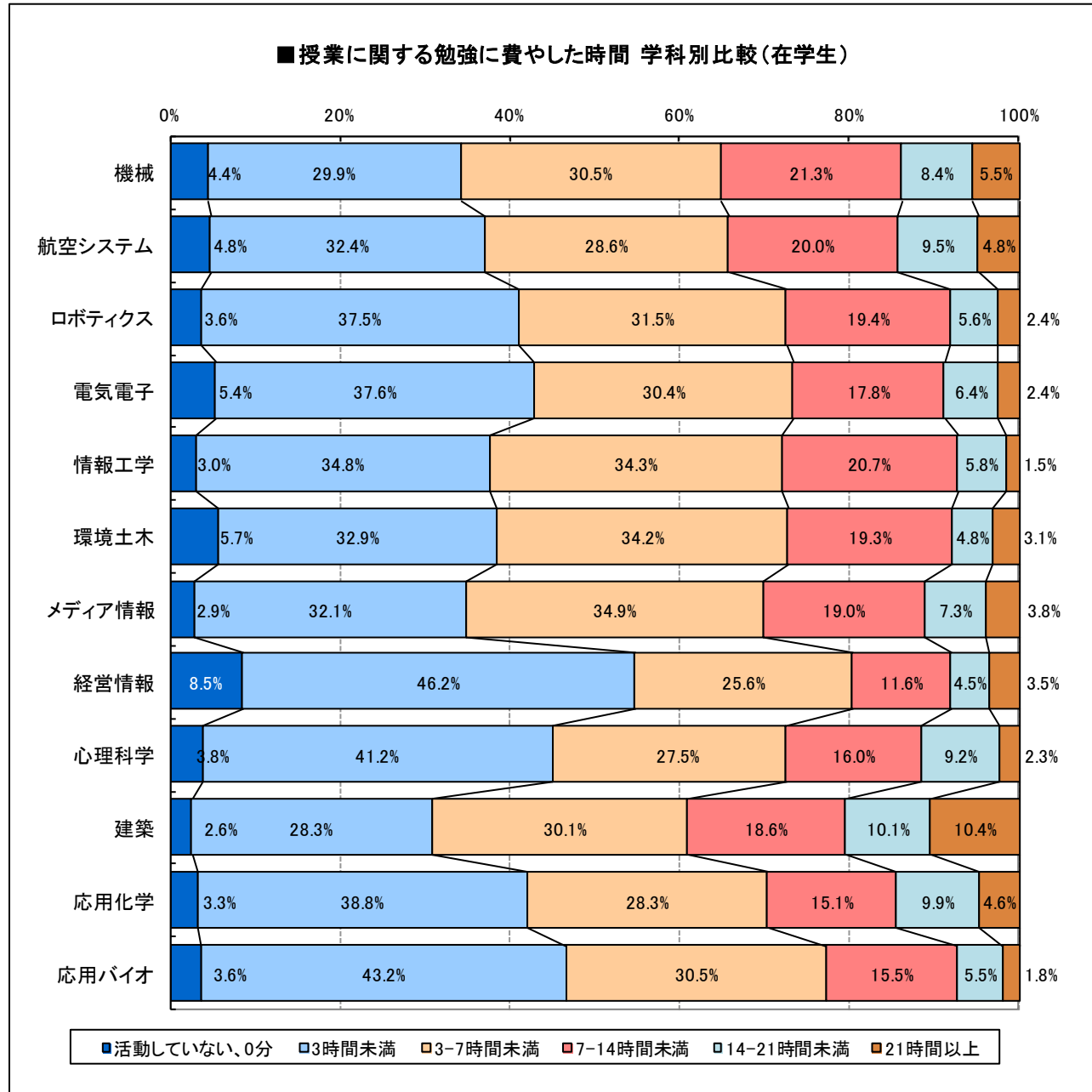
■ 勉強、課外活動に費やした時間 男女別比較



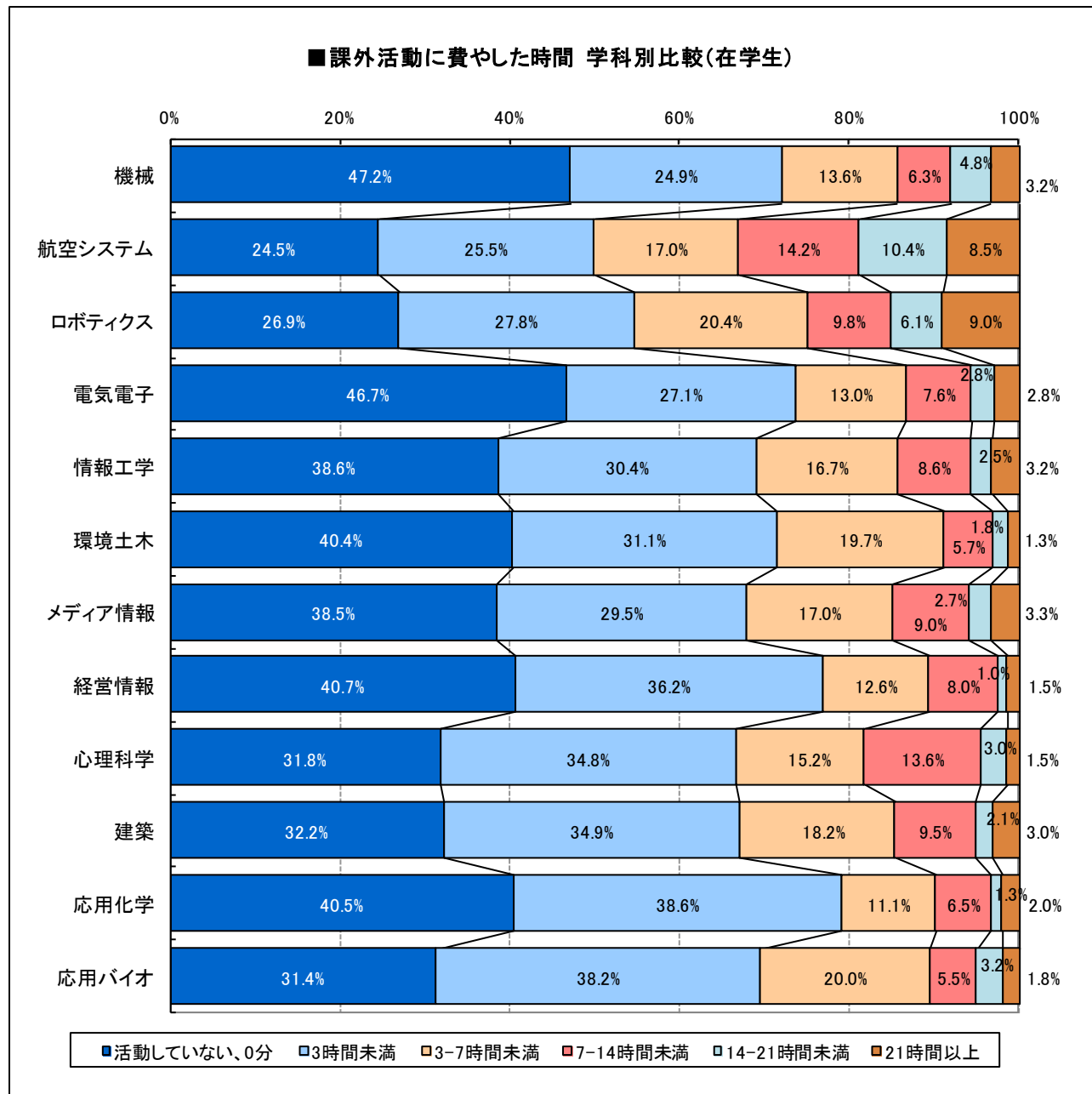
■ 勉強、課外活動に費やした時間 学年別比較



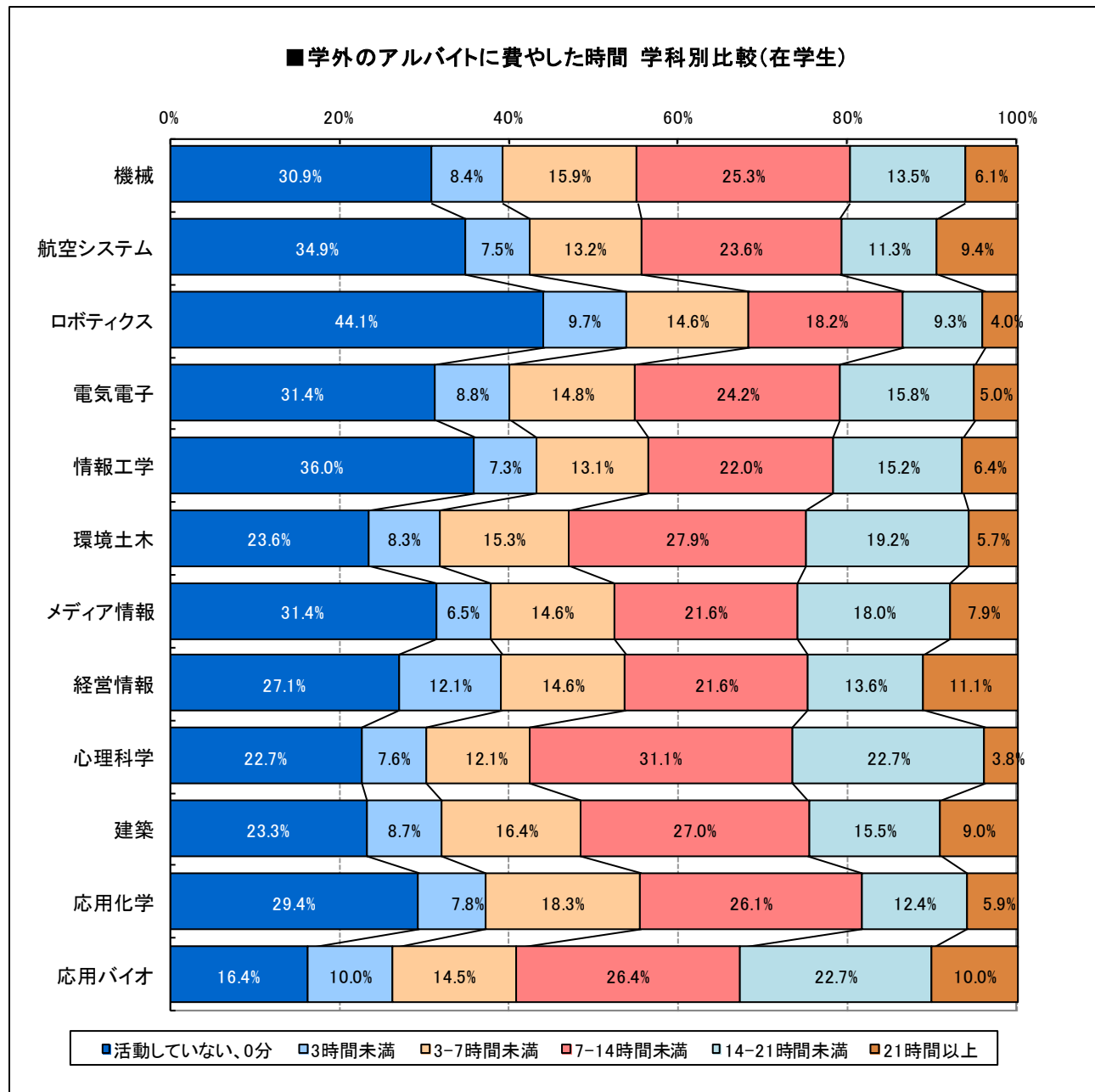
■勉強、課外活動に費やした時間：授業に関する勉強 学科別比較



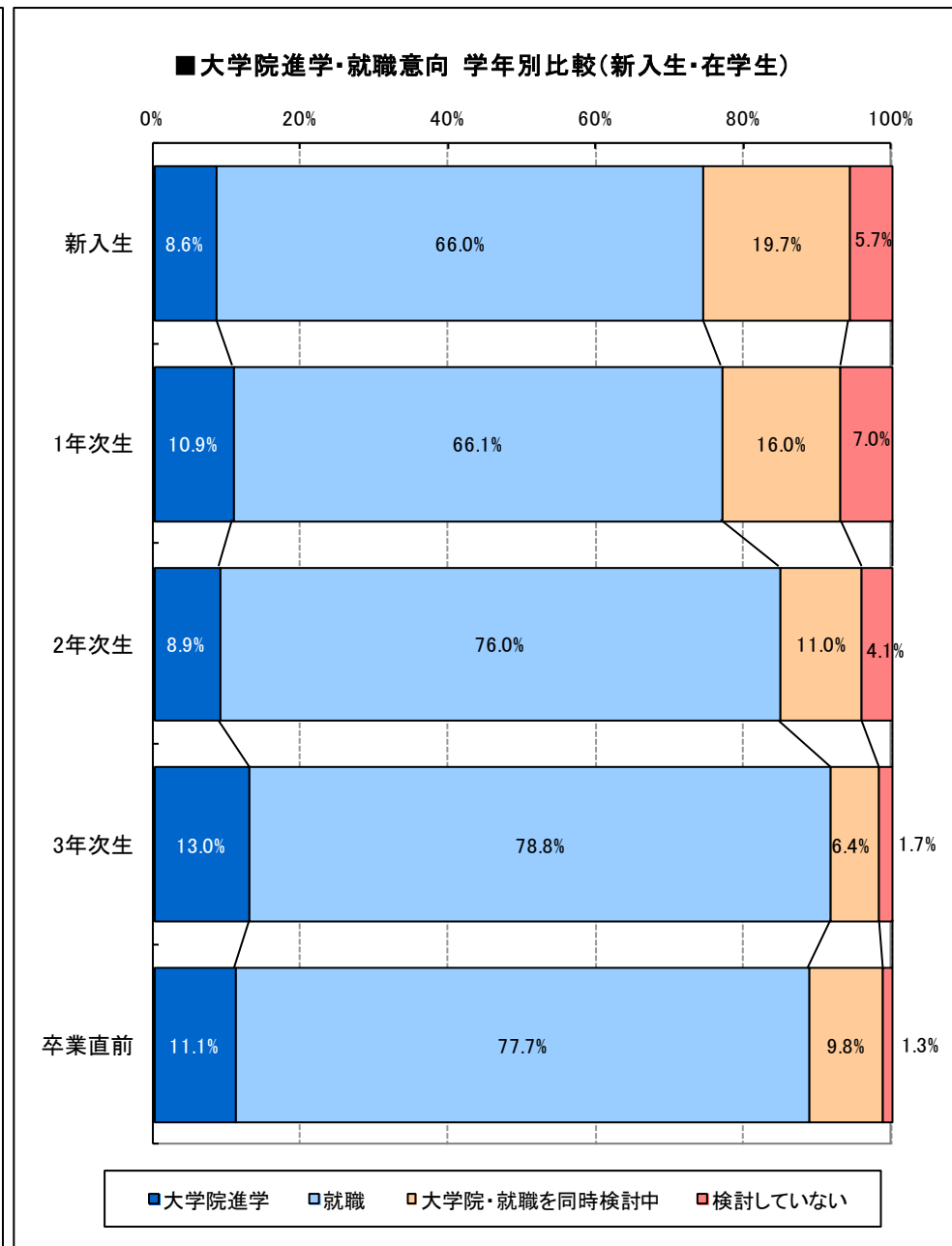
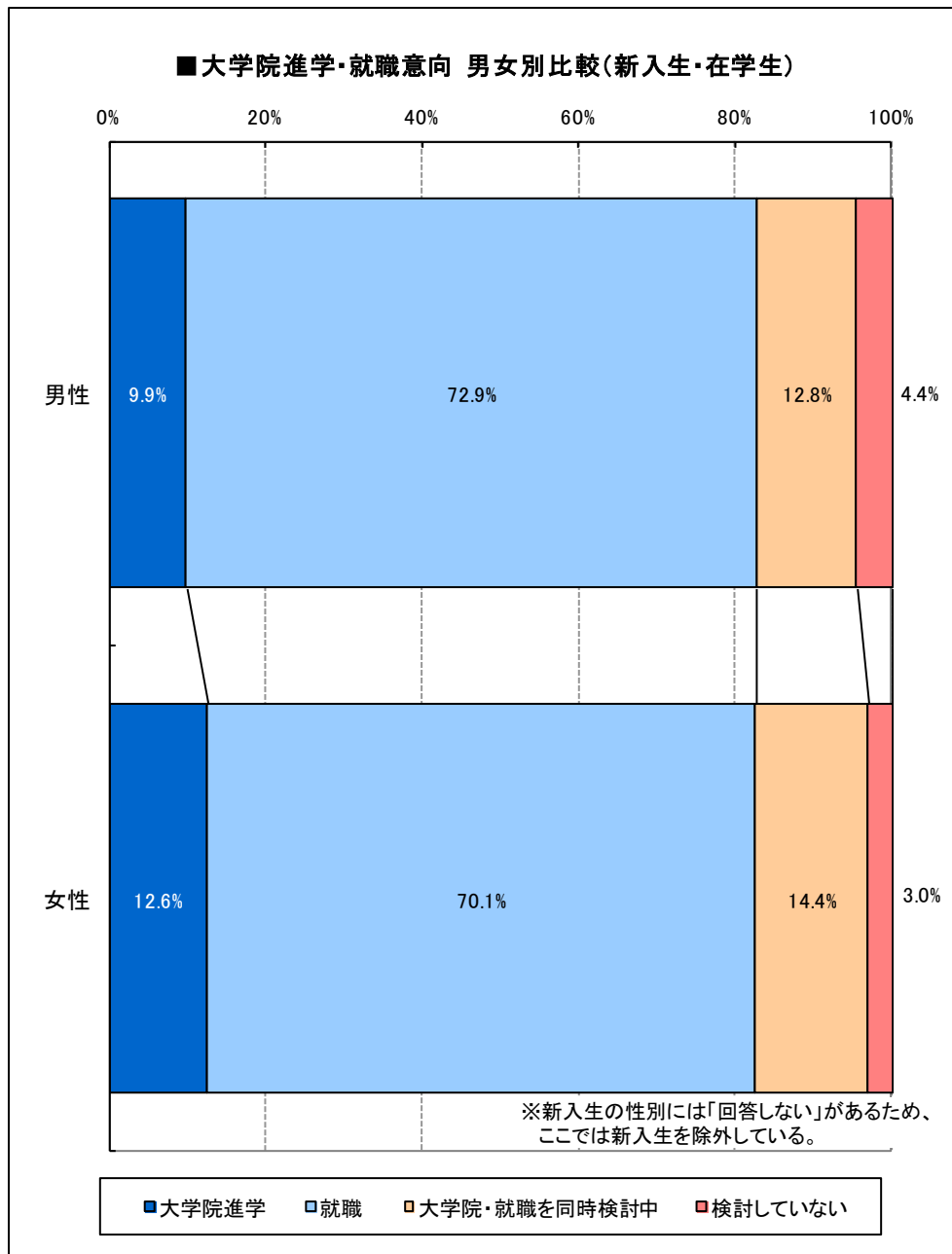
■勉強、課外活動に費やした時間：課外活動 学科別比較



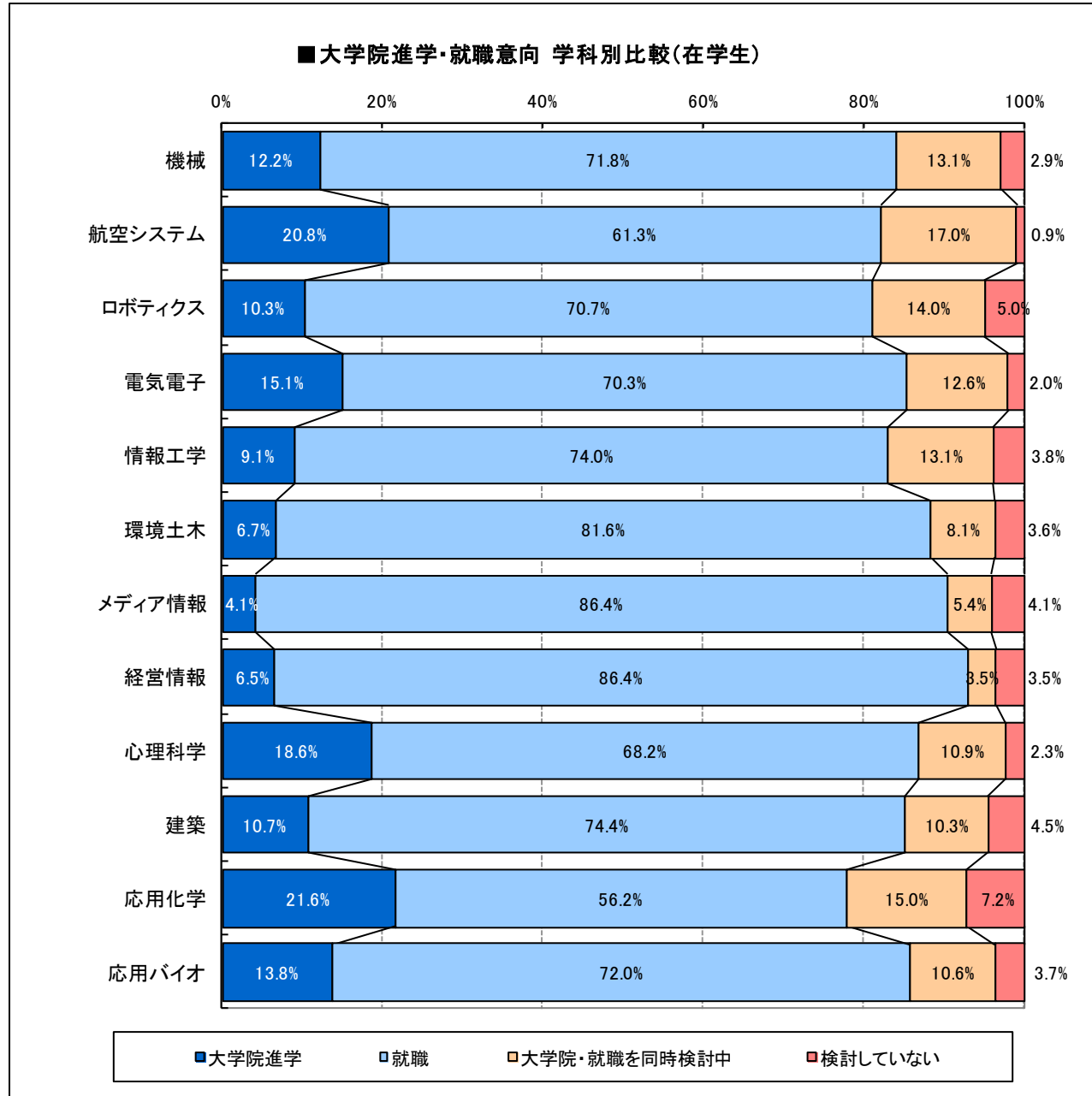
■勉強、課外活動に費やした時間：学外のアルバイト 学科別比較



■大学院進学・就職意向 男女別比較、学年別比較

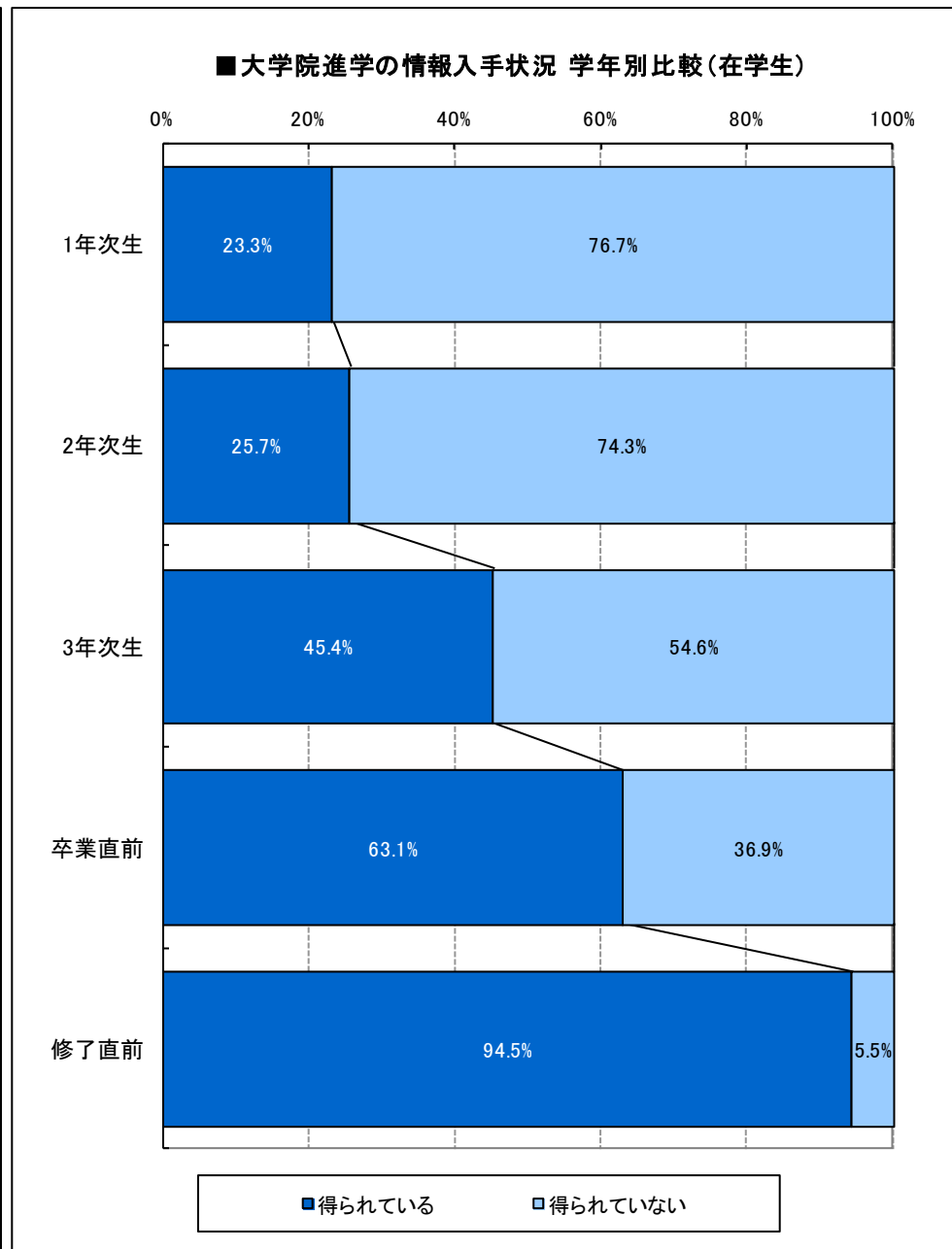
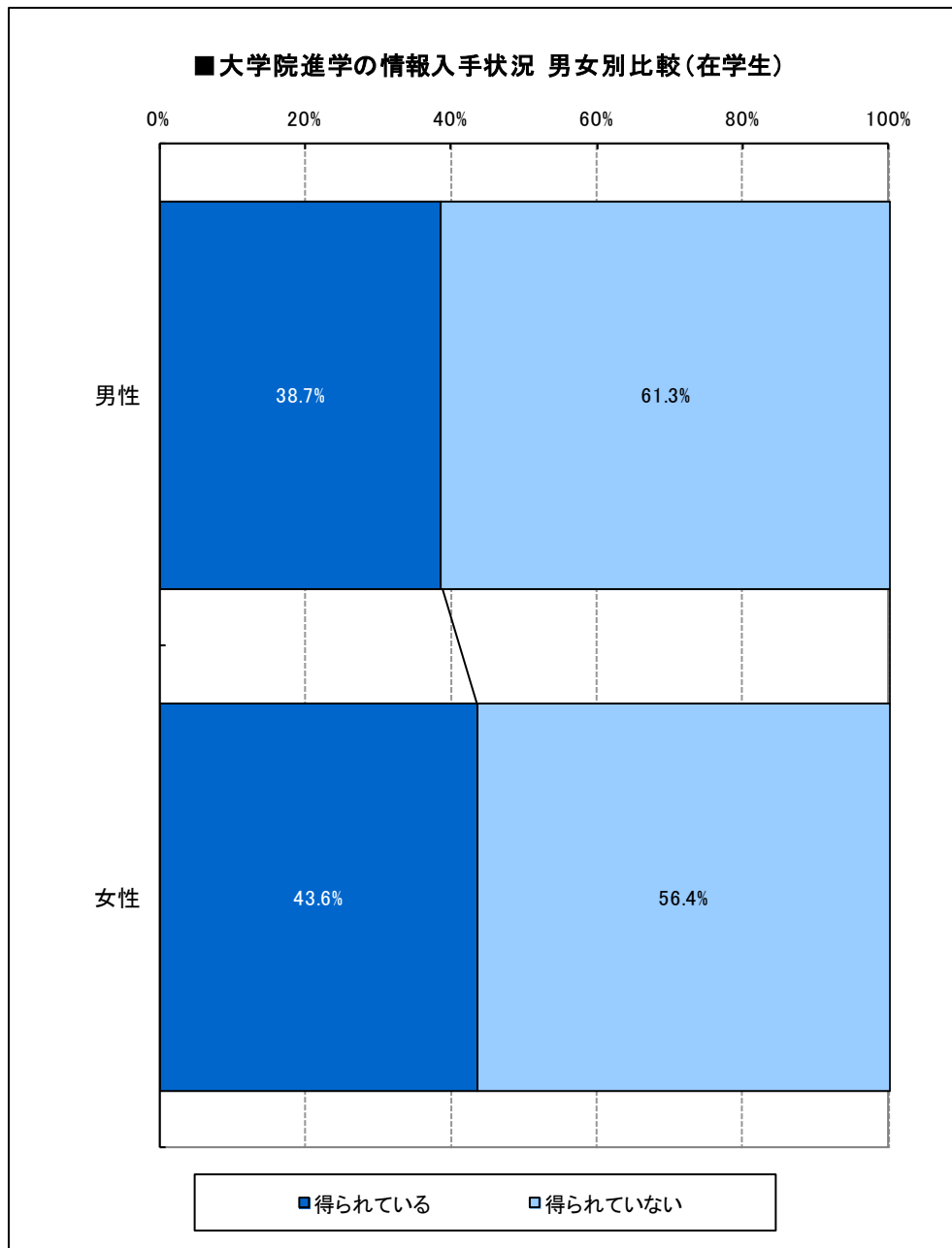


■大学院進学・就職意向 学科別比較

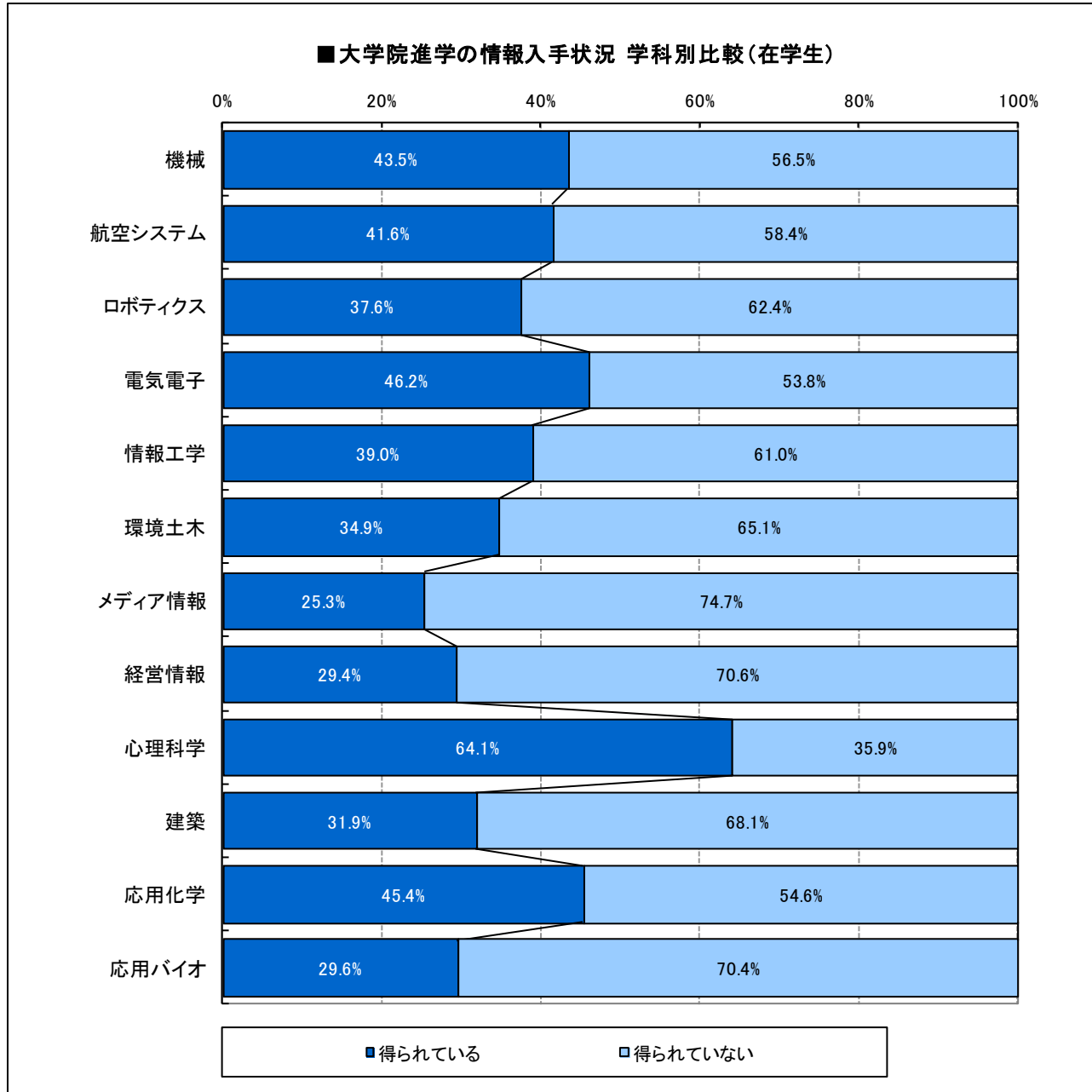


※新入生だけ17学科となるため、ここでは新入生を除外している。

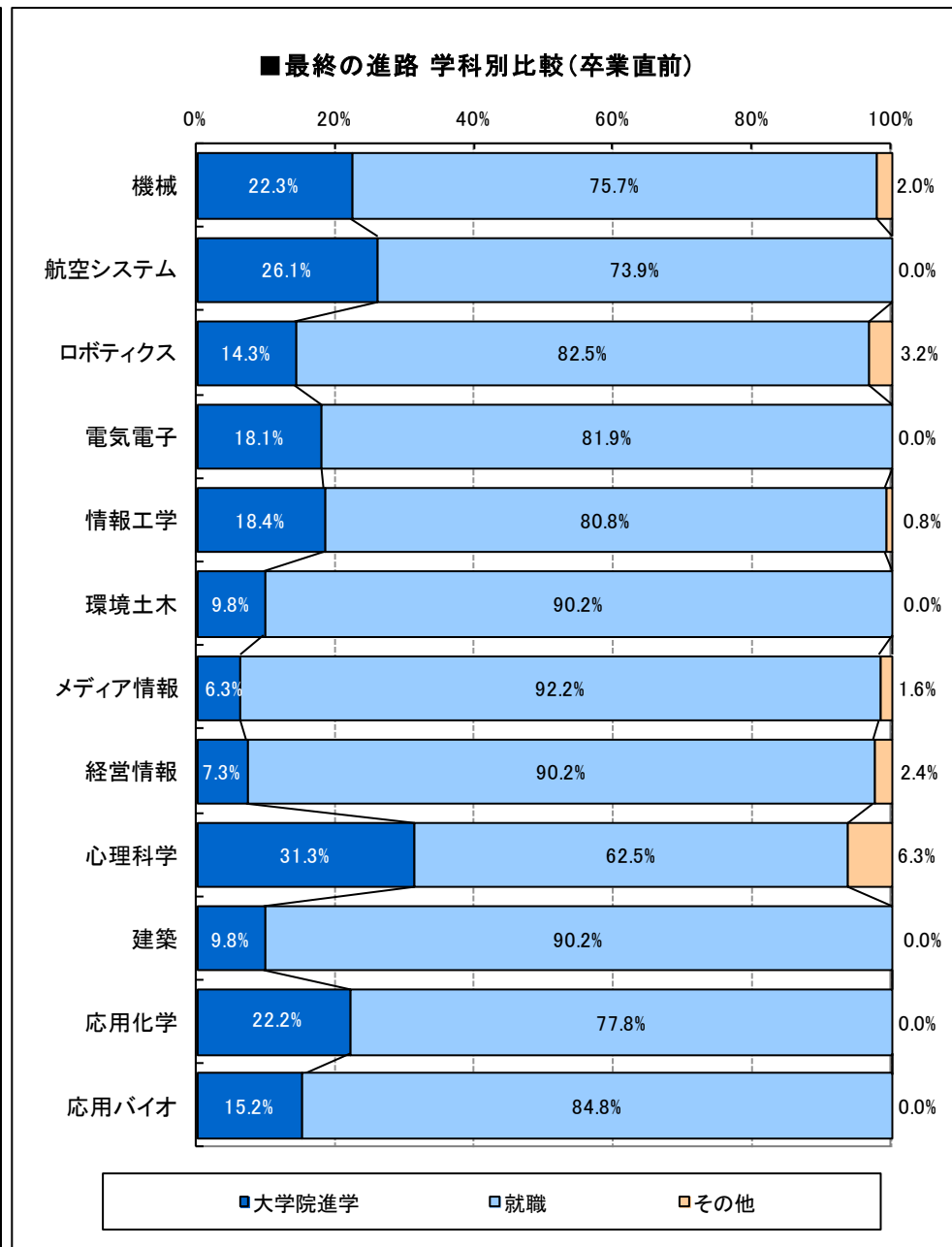
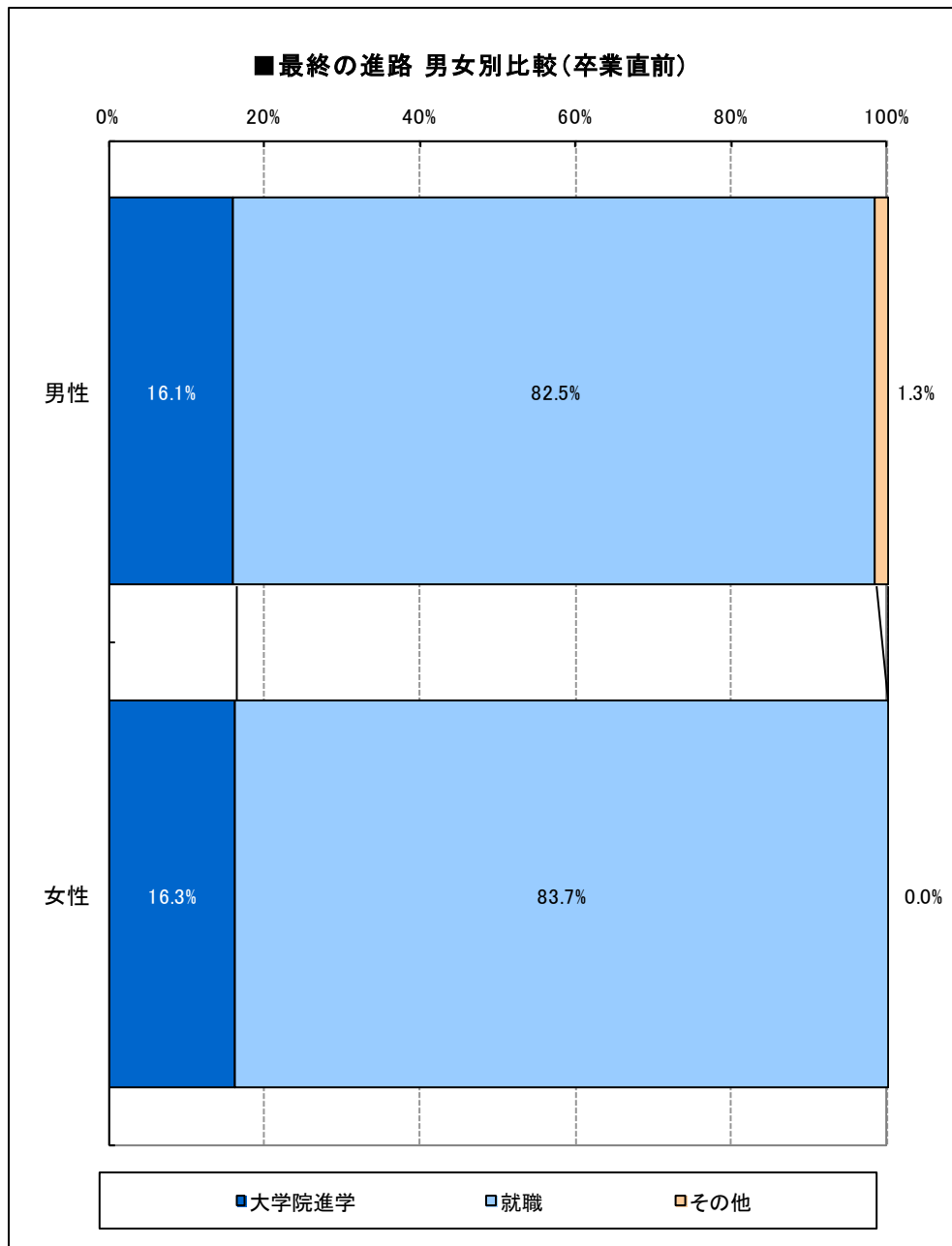
■大学院進学の情報入手状況 男女別比較、学年別比較



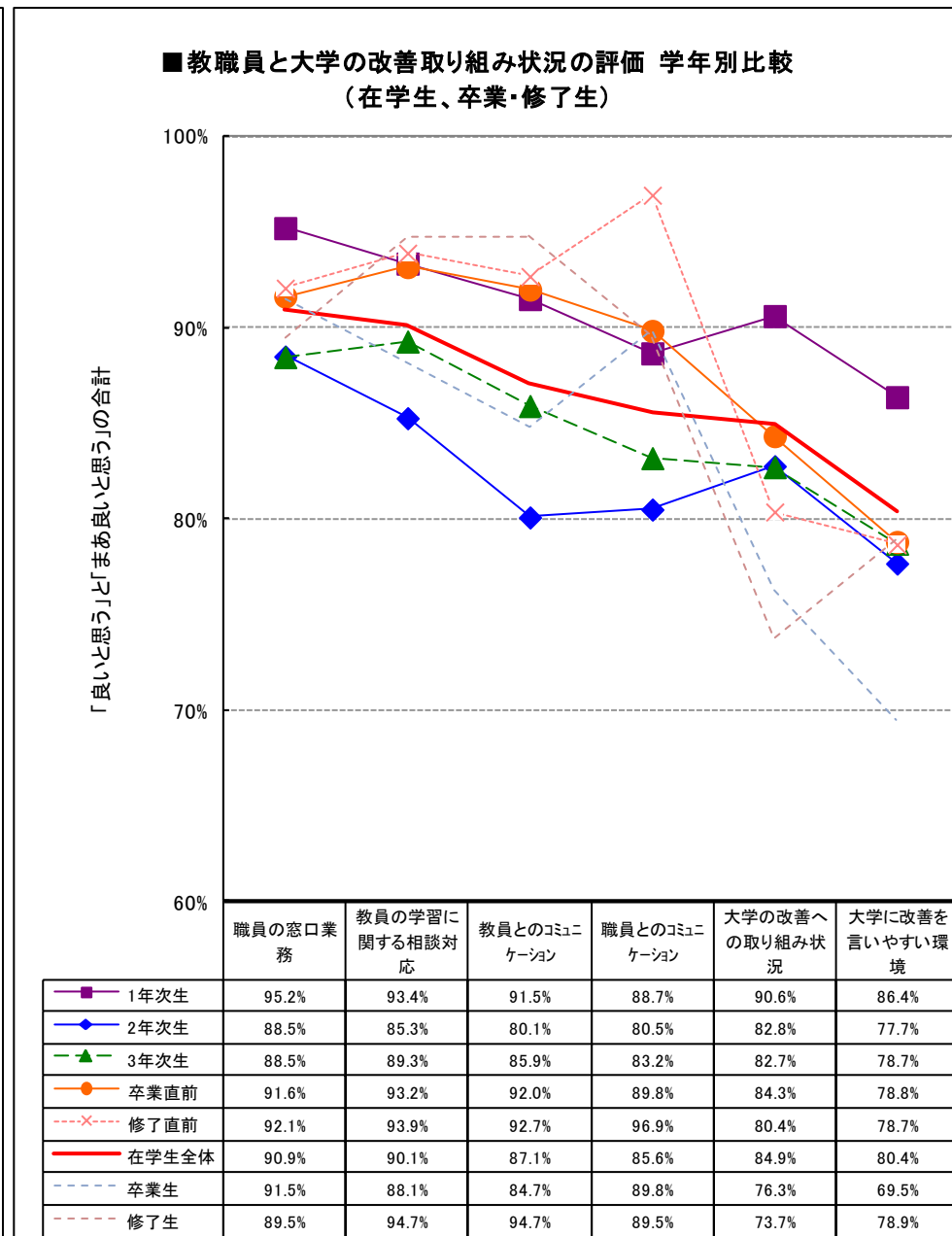
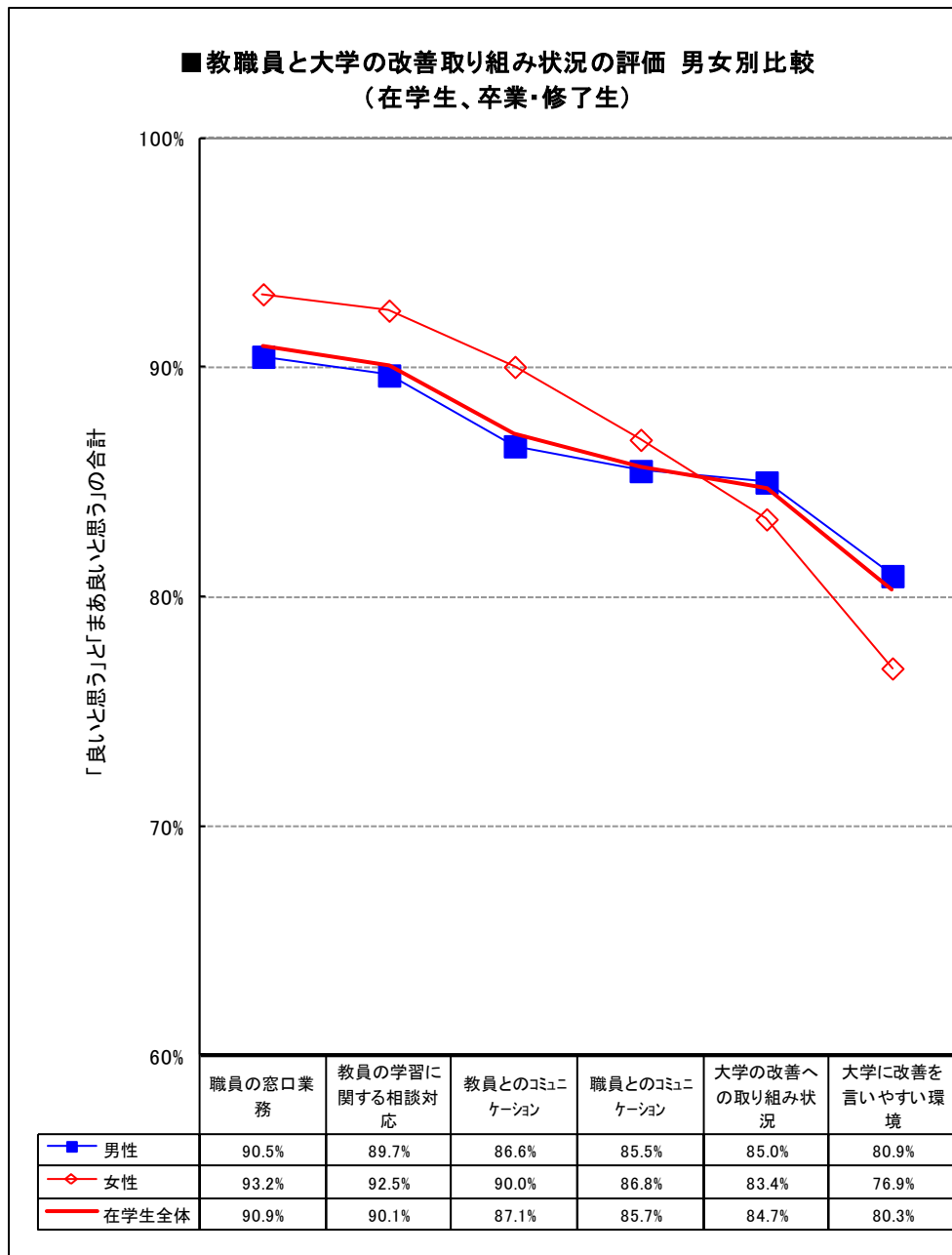
■大学院進学情報の入手状況 学科別比較



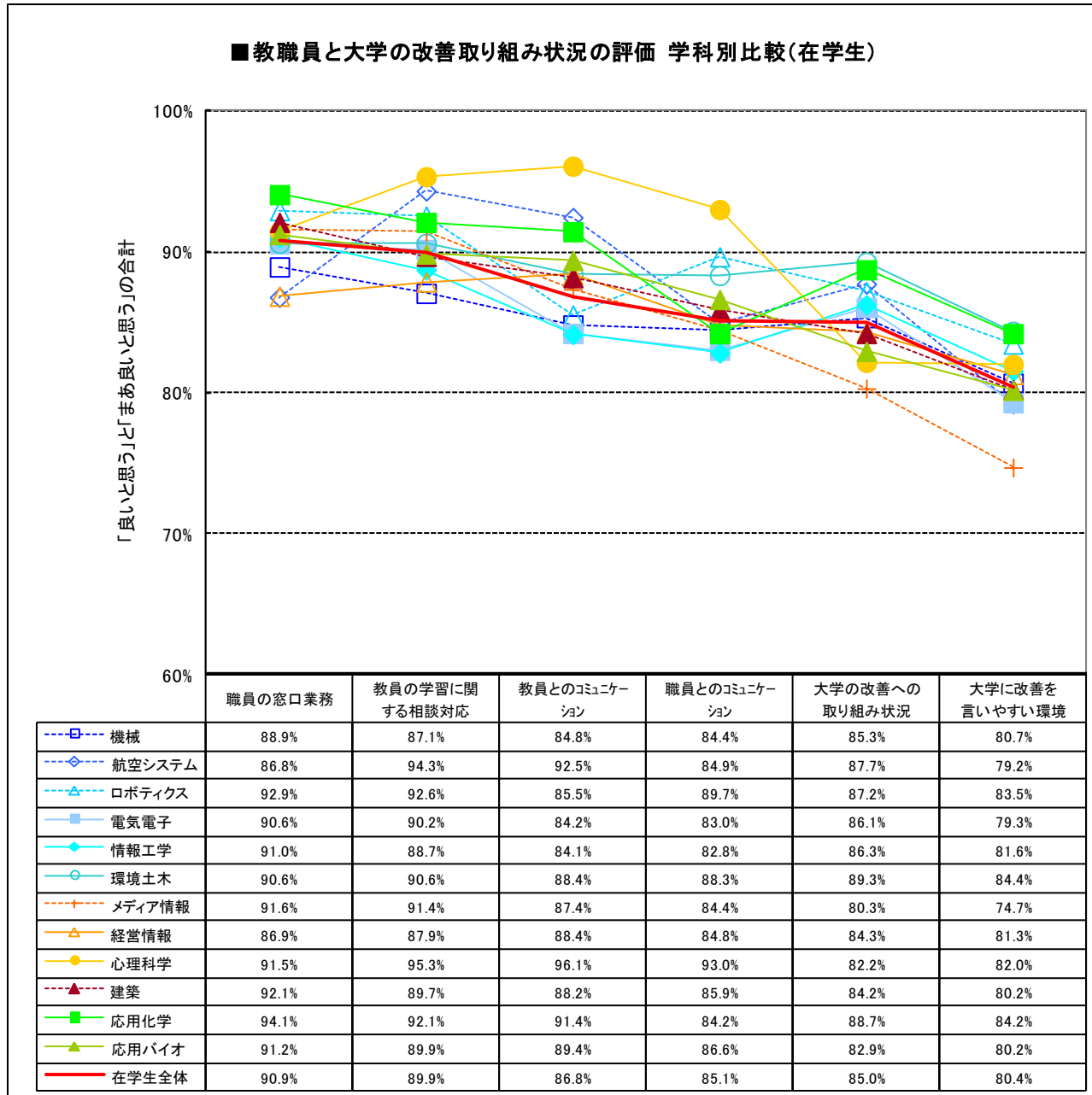
■最終の進路 男女別比較、学科別比較



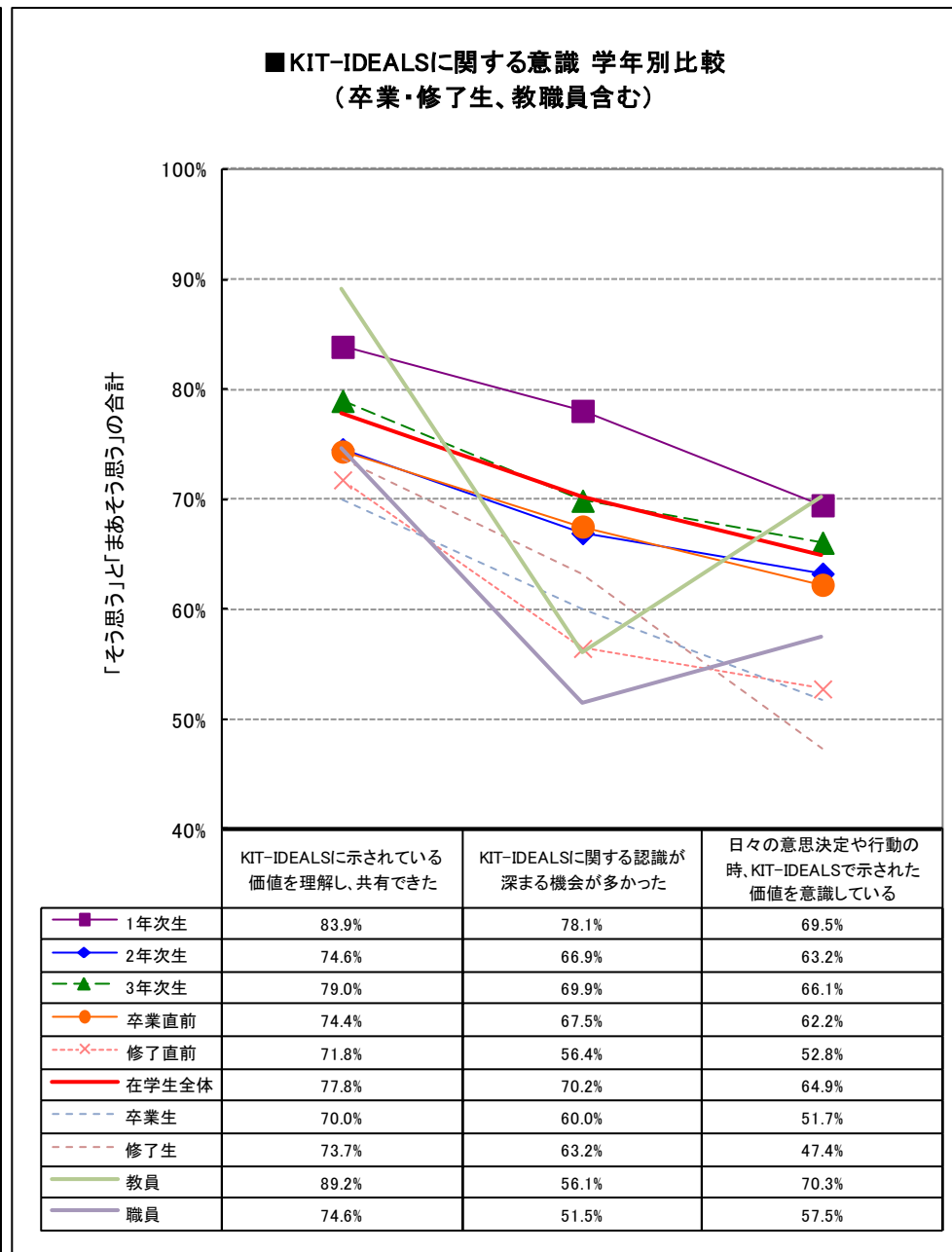
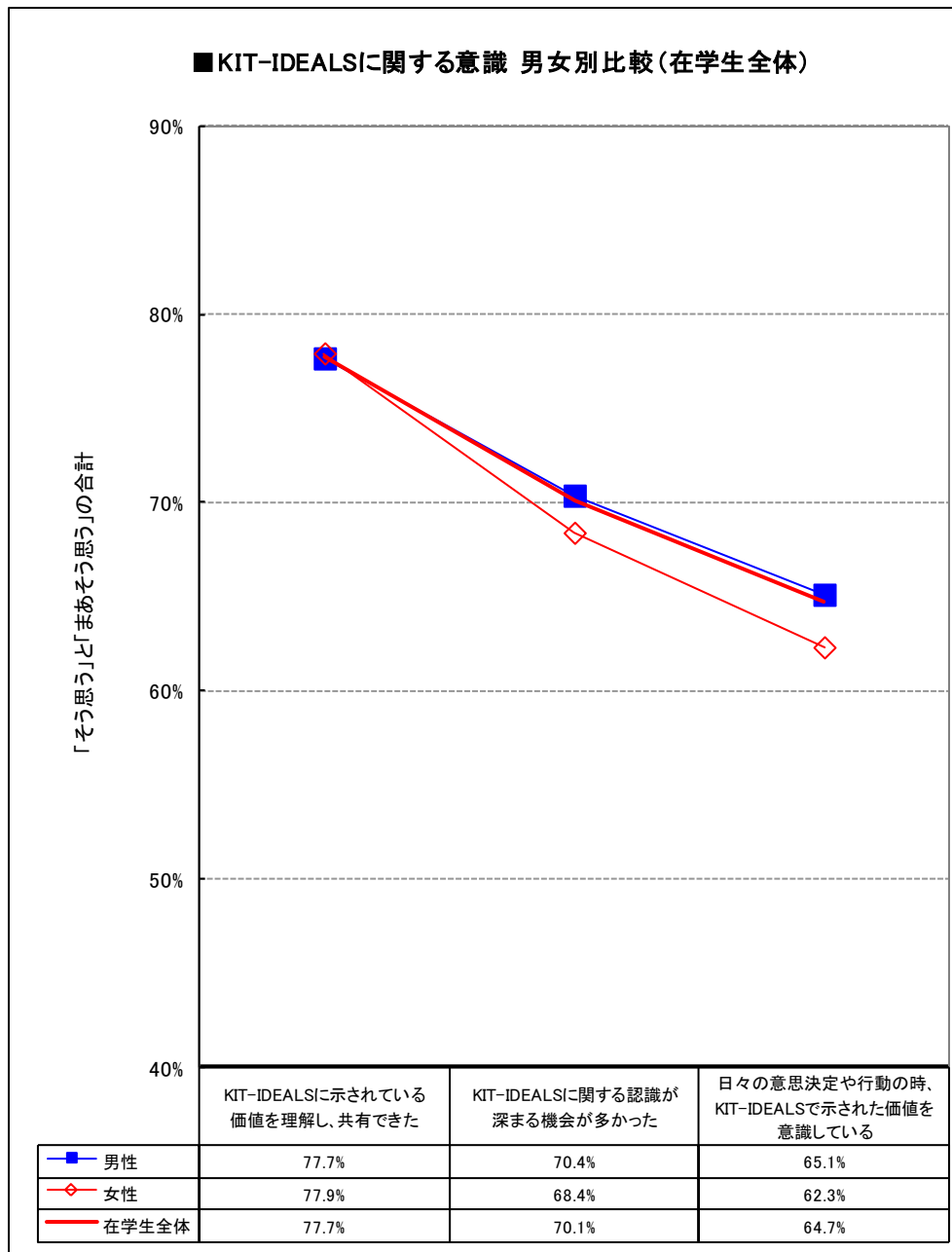
■教職員と大学の改善取り組み状況の評価 男女別比較、学年別比較



■教職員と大学の改善取り組み状況の評価 学科別比較



■KIT-IDEALSに関する意識 男女別比較、学年別比較



■KIT-IDEALSに関する意識 学科別比較

